学修の手引き

第 2 学 年

（ Segment 4 ）

令和 4（2022）年度

東京女子医科大学
医 学 部

目　　次

東京女子医科大学設立の精神…… 1
東京女醫學校設立主意…… 2
序　言…… 3

東京女子医科大学の目的…… 4
東京女子医科大学医学部における４つのポリシー …… 5
MD プログラム 2011 改訂版について …… 8
　学部教育を通じて達成する医師としての実践力…… 9
　医の実践力_アウトカム・ロードマップ…… 11
　慈しむ心の姿勢_アウトカム・ロードマップ…… 14
　カリキュラムの構造…… 16
　週間の授業予定…… 17

セグメント４
Ⅰ　　学修内容…… 19

Ⅱ　到達目標
　Ａ．包括的到達目標…… 20
　Ｂ．科目別シラバス
　・基幹科目
　　「臨床診断総論」…… 22
　　「循環器系１」…… 32
　　「循環器系２」…… 52
　　「呼吸器系１」…… 65
　　「呼吸器系２」…… 83
　　「腎尿路系１」…… 95
　　「腎尿路系２」…… 111
　　「生殖器系１」…… 126
　　「生殖器系２」…… 137
　　「妊娠と分娩」…… 155
　・縦断教育科目
　　「「至誠と愛」の実践学修」…… 170
　　「AI・データサイエンスと医療」……193
　　「基本的・医学的表現技術」……197
　　「国際コミュニケーション」……200

「医療・患者安全学」……206
「健康管理」……216

Ⅲ　試験科目表・試験日程表……221

Ⅳ　テュートリアル・TBL 学修……223
1　テュートリアル・TBL について……224
2　テュートリアル・TBL 課題一覧表……229
3　リソースパースン一覧表……230

Ⅴ　第２学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員……235

Ⅵ　選択科目……236

Ⅶ　講義・実習時間割表……239

東京女子医科大学設立の精神

Ⅰ． 建学の精神

東京女子医科大学は、1900 年（明治 33 年）に創立された東京女醫學校を母体として設立された。東京女子医科大学の創立者である吉岡彌生は、1952 年（昭和 27 年）新制大学設立に際し、東京女醫學校創立の主意をもって建学の精神とした。その主旨は、高い知識・技能と病者を癒す心を持った医師の育成を通じて、精神的・経済的に自立し社会に貢献する女性を輩出することであった。新制大学設立時の学則には「医学の蘊奥を究め兼ねて人格を陶冶し社会に貢献する女性医人を育成する。」と記されている。

建学の精神に基づく医療人育成の場として、1998 年（平成 10 年）度より新たに看護学部が新設された。医療を行うものが学ぶ学府として、現在の東京女子医科大学の使命は、最良の医療を実践する知識・技能を修め高い人格を陶冶した医療人および医学・看護学研究者を育成する教育を行うことである。大学建学の精神に基づき、大学教育では社会に貢献する女性の医療人を育成する。

Ⅱ． 大学の理念

東京女子医科大学の使命を達成するための教育・研究・診療の基盤となる理念は、「至誠と愛」である。至誠は、「常住不断私が患者に接するときの根本的な心構えを短い二つの文字のなかに言い現したもの（吉岡彌生傳）」という創立者吉岡彌生の座右の銘であり、「きわめて誠実であること」「慈しむ心（愛）」は教育・研究・診療の総ての場において求められる。大学およびそこに学び働くものは本学の理念である「至誠と愛」に従って活動しなくてはならない。

東京女醫學校

○設立主意

世界ノ文化ハ日一日ト其歩ヲ進メ我日本モ泰西ノ制度文物輸入以來女子ノ教育ハ長足ノ進歩ヲ成シ今ヤ普通教育ニ至リテハ殆ンド間然スル所ナシ豈吾人女子ノ至幸之レニ比スルモノアランヤ蓋シ一歩ヲ進メテ益々其必要ヲ感ズルハ女子ノ専門學ニアリ由來女子ノ専門學ナルモノハ歐米ニ於テハ業ニ既ニ數十年以前ヨリ實施サレ其職ヲ或ハ政治界ニ或ハ新聞記者ニ或ハ醫業ニ或ハ教育界ニ或ハ銀行會社ニ奉ジツヽ、其資格毫モ男子ト軒輊スル處ナシ我邦モ條約實施以來對等ノ地位ヲ以テ列國ト交際スルニ至リタレバ女子ノ品位モ彼我又對等ナラザルヲ得ズ此際ニ當リテ社會ノ人心皆茲ニ意ヲ注クト雖モ其意ヲ滿タスノ設備不完全ナルヲ如何セン思フニ女子ノ専門學校トシテハ女子師範學校、音楽學校、美術學校等ノ設ケアリテ各自其志望ヲ達セシムルト雖モ獨リ女醫學校ニ至リテハ未タ日本全國否日本ノ首府タル東京ニ於テ其設立アルヲ見ズ聞説ク將ニ設立セラレントスル女子大學ニ於テモ文學科家政科等アル而已ト余ノ考フル處ニ依レバ女子ノ本性ニ最モ適シ且ツ女子ノ品位ヲ高尚ナラシムル業務ハ醫學ヲ以テ唯一ノ専門學トス随テ斯學ニ志スノ女子又少シト云フ可ラス然ルニ是等ノ姉妹ニ其志ヲ遂ゲシムル學校ナキハ我邦學校設備ノ欠點ニシテ幾多ノ高尚ナル思想アル姉妹ヲシテ岐路ニ迷ハシム是千歳ノ恨事ニアラズヤ已レ女醫ノ業ニ従事スル茲ニ九年塾ラ々々女醫教育ノ不完全ト女子ノ醫學研究ノ困難トヲ見滿腔ノ同情ハ傍觀座視スルニ忍ビス浅學不才ヲ顧ミズ決然起テ女醫學校ヲ設立スル所以ナリ

明治三十三年十一月

東京女醫學校主　鷲山彌生　識

序　言

学　長

東京女子医科大学は、社会的に自立する女性医療者の育成を建学の精神として、「至誠と愛」を理念に創立され、100 年以上に渡り医学生を育ててきた。良い医師を育てるために、質の高い教育を行い、優れた医療を提供し、医学に係わる高い水準の研究を推進してきた。本学は医学生が学ぶために最良の環境と教育プログラムを用意している。学生にはこの環境とプログラムを最も有効に活用して学んでもらいたい。

本学の最新の教育プログラムは 2017 年度に改訂された MD プログラム 2011（2011 年度 1 年生より導入）であるが、その原形は 1990 年に日本で初めてのテュートリアル教育、インタビュー教育（その後、『ヒューマンリレーションズ』、『人間関係教育』、そして 2018 年度には『「至誠と愛」の実践学修』に発展）、そして関連領域全体を理解して学ぶ統合カリキュラムである。

MD プログラム 2011 では、学生が学ぶ目標、すなわち自分が卒業するときに達成すべき知識・技能・態度の専門的実践力をアウトカム、アウトカムに到る途中の目標をロードマップで示した教育プログラムが導入された。2017 年度の改訂では、医師としての実践力の基本を学部卒業時に達成するための臨床教育の改善が行われた。2018 年度には、医師の態度、振る舞い、倫理、コミュニケーション力、女性医師キャリアなどを、創立者が臨床で常に実践した信念である「至誠と愛」の理念のもと、現代の医療を実践するカリキュラムとして、従来の『人間関係教育カリキュラム』を改訂し『「至誠と愛」の実践学修』と改称した。本学の教育は、至誠と愛を実践する良い医師となるための教育であるが、学生は本学で学ぶその意義を認識し、本学の卒業生としてこの理念を継承する自覚を持って学修してもらいたい。

どのように学修するかが示されているのが、この「学修の手引き」である。学生、教員がともに学修の目標、方法、内容、評価を共通に理解することが、良い教育が行われる一つの条件である。この手引きが有効に活用されることを望む。

東京女子医科大学の目的

本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、女子に医学の理論と実際を教授し、創造的な知性と豊かな人間性を備え、社会に貢献する医人を育成するとともに、深く学術を研究し、広く文化の発展に寄与することを目的とする。『学則第１条』

医学部の教育目標

将来医師が活躍しうる様々な分野で必要な基本的知識、技能および態度を身に体し、生涯にわたって学修しうる基礎を固める。

すなわち、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する態度を開発する。さらに、医学・医療・健康に関する諸問題に取り組むにあたっては、自然科学にとどまらず、心理的、社会的、論理的問題等も含め、包括的にかつ創造的に論理を展開でき、様々な人々と対応できる全人的医人としての素養を涵養する。

東京女子医科大学医学部における
人材の養成に関する目的・その他の教育上の目的

(趣旨)

第１条　本内規は、東京女子医科大学学則第１条第２項及び東京女子医科大学院学則第１条に基づき、人材の養成に関する目的、その他の教育研究上の目的に関して必要な事項を定める。

(医学部の目的)

第２条　医学部における人材の養成に関する目的は次のとおりとする。

(1)「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者を育成すること。

(2) 社会を先導する医療人、そして多様なキャリア形成とライフサイクルの中で、自分を磨き続けることのできる女性医師あるいは女性研究者を育成すること。

2　医学部におけるその他教育研究上の目的は次のとおりとする。

(1) 将来医師として自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得し、生涯にわたって学習を継続しうる基礎的能力を獲得すること。

(2) 患者一人ひとりに向き合い、それぞれの悩みを解決でき、かつ医療を実践する過程で、様々な人々と協働できる素地を獲得すること。

東京女子医科大学医学部における４つのポリシー

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

卒業時には定められた授業科目を修了し、学修成果（アウトカム）に示す「医の実践力」と「慈しむ心の姿勢」を修得して以下の能力を備えることが求められます。

1. 医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動することができる。
2. 自ら問題を発見し解決する能力を持つ。
3. 医学の発展、変化する地域や国際的な医療に適応する科学的および臨床的思考力を持つ。
4. 安全な医療を行える能力を有する。
5. 生涯にわたり女性医師として「至誠と愛」の理念を持ち、振る舞い、自立して社会に貢献する意思を持つ。

要件を満たした者には卒業を認め、学士（医学）を授与します。

カリキュラム・ポリシー　（教育課程編成・実施の方針）

卒業時に達成すべき医師として必要な基本知識、技能および態度を「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」として示した学修成果（アウトカム）を達成し、建学の精神に沿って自立して社会に貢献する医療者となる基礎を体得し、大学の理念である「至誠と愛」を生涯に亘り実践するカリキュラムが構築されています。アウトカムを達成するための段階的な目標はロードマップとして示され、様々なカリキュラム、学修法によりロードマップとアウトカムを達成します。

「医の実践力」の学修は、1年次から6年次まで関連した専門領域が統合（水平的統合）されたセグメントとして10に区分されたカリキュラム、および縦断的カリキュラムとして「情報処理・統計」、「国際コミュニケーション」および「基本的・医学的表現技術」を6学年通して統合（垂直的統合）し学修します。「医の実践力」に含まれる、自主的に課題に取り組み、問題点を把握しかつ追求する姿勢を養い、医学のみならず広く関連する諸科学を照覧して理論を構築し、問題を解決できる能力および継続的に自己学修する力を、テュートリアル、チーム基盤型学修、研究プロジェクト等の能動学修プログラムおよび各セグメントにおける実習を通じて学びます。

「慈しむ心の姿勢」の学修は、専門職としての使命感、倫理感、態度、女性医師としての特徴、キャリア、リーダーシップとパートナーシップ、コミュニケーション、医療安全、チーム医療等を体得する「『至誠と愛』の実践学修」が水平的ならびに垂直的に統合され6年間を通して学びます。一部は、セグメント科目やテュートリアルでも学びます。

医師となる訓練として、1年次から段階的に患者さんと接する実践の場やシミュレーション等で学ぶ機会が設けられ、4年次修了までに「医の実践力」および「慈しむ心の姿勢」の学修を含め、医師としての基本的知識、技能、態度の修得が求められ、さらに5年次から6年次では指導者の下で診療に参画して学修する診療参加型臨床実習を行い、卒業までに医師としての基本的診療能力を持ち、考え、行動できるように学修します。

医師としての素養、国際的医療実践、組織・社会の先導力を涵養するために、選択科目、国外での臨床実習、リーダーシップ学修の機会が提供され、学生が自分の個性を伸ばすため、医療者の新しい役割を認識するために活用できます。

セグメント、縦断的カリキュラム、テュートリアル、チーム基盤型学修、「『至誠と愛』の実践学修」の学修成果は、それぞれの学修目標に照らして、筆記試験、レポート、技能試験、態度・姿勢の観察評価により総合的に評価され、学年毎に定められた科目・単位の修了により、次学年に進級します。また、各科目の評価をGPA（Grade Point Average)として評価し進級の要件とします。さらに、共用試験として行われる4年次のCBT（Computer Based Testing)、 OSCE（Objective Structured Clinical Examination)、P-SAT（Problem-solving Ability Test)、ならびに6年次のPost-CC（Clinical Clerkship）OSCEは、進級の要件となります。進級の認定が得られなかった場合は、翌年に限り同一学年の全必修科目を再履修し、再度評価を受けます。

アウトカム・ロードマップの評価は、それぞれの科目試験、「『至誠と愛』の実践学修」評価、テュートリアル・チーム基盤型学修および実習の評価、臨床実習のポートフォリオ評価等から、関係する評価を統合して学修成果（アウトカム）に沿って評価を行います。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

自らの能力を磨き、医学の知識・技能を修得して自立し、「至誠と愛」を実践する女性医師および女性研究者となるために、学修者自身が問題意識をもち、自らの力で知識と技能を発展させていく教育を行います。

医師を生涯続ける意志を持ち、幅広い視野を身につけ、自ら能力を高め、問題を解決していこうとする意欲に燃えた向学者で、以下のような人材を求めます。

医学部が求める入学者像

1. きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
2. 礼節をわきまえ、情操豊かな人
3. 独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
4. 医師として活動するために適した能力を有する人

本学で学修しようとする者には、本学の建学の精神と大学の理念を理解して学ぶことを求めます。その上で、本学のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）に沿って学修して、学修成果（アウトカム）を達成し、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を満たし、生涯に亘り医師として、女性医療者として自立して多方面で活躍する人材を、多様な方法により選抜します。

一般選抜においては、高等学校等における学修成果の評価を筆記試験で、また医師となる適性、使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして「至誠と愛」の理念の下に本学で学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（一般推薦）では、高等学校等における知識・技能・態度の学修成果や医師となる適性を高等学校の推薦書等に基づき評価し、さらに医師としての使命感、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、そして問題を発見し、学修し、解決する自ら学ぶ力、「至誠と愛」の理念とカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成する意思を面接、小グループ討論、小論文、適性試験により評価します。

学校推薦型選抜（「至誠と愛」推薦）では、本学の建学の精神、大学の理念を継承し、生涯医療者として社会に貢献する意志をもつ優秀な者を受け入れるため、3 親等以内の親族に本学医学部同窓会至誠会の会員または準会員がおり、高等学校等の推薦に加えて、至誠会の推薦を受けた者を対象として、面接、受験生の建学の精神についての理解を問う小論文、思考力試験により評価します。

学校推薦型選抜（指定校推薦）では、指定校からの推薦書から本学の建学の精神と理念を理解しカリキュラム・ポリシーおよびディプロマ・ポリシーに適性の高い志望者であることを確認し、さらに志望者に対して医師となる使命感、適性、将来継続して女性医師として社会に貢献する心構え、「至誠と愛」の理念の下に本学のカリキュラム・ポリシーを理解して学びディプロマ・ポリシーを達成しようとする強い意思を、面接、小グループ討論、小論文、思考力試験により評価します。

入学までに期待する学修項目は、社会、医療を先導する女性医療者となる確固たる意思の醸成、専門職に求められる自らの学修を振り返りながら新たな課題を発見し問題解決する学び方、考え方の学修、ひと、特に病

めるひとに相対する医療者が持つべき態度、心配り、倫理観を学ぶ基盤となる、人と交わる力の醸成です。

アセスメントポリシー

入学時にはアドミッション・ポリシーを満たす人材か、在学中はカリキュラム・ポリシーに則って学修が進められているか、卒業時はディプロマ・ポリシーを満たす人材となったかを以下の基準で評価します。

	入学時	在学中	卒業時
大学 （機関レベル）	入学者選抜 入学時調査	休学率・退学率・学生調査・課外活動状況	学士授与（卒業）率・国家試験合格率・大学院進学率・就職率・学生調査・アンケート調査
医学部 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率 退学率・試験結果 GPA・ポートフォリオ・共用試験 CBT・共用試験 OSCE・Mini-CEX・実習評価・学生調査・課外活動状況	卒業試験・Post CC-OSCE・学士授与（卒業）率・国家試験合格率・ストレート卒業率・大学院進学率・就職率・アンケート調査
学部科目レベル	入学者選抜	単位認定・定期試験・レポート評価・実習評価・小テスト出席率・至誠と愛の体得度・ポートフォリオ・授業評価アンケート	
大学院医学研究科 （課程レベル）	入学者選抜 入学時調査	進級率・休学率・退学率・単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	学位授与率・修了率・学位論文の IF・就職率・学生調査・アンケート調査
大学院科目レベル	入学者選抜	単位認定・レポート評価・研究計画書・研究指導状況報告書・中間発表会評価	

学部学生では、科目等では合格基準として詳細は学修の手引きに示し、進級については、及落判定基準として学生便覧に示します。大学院生に関しては大学院便覧に示します。継続的に形成的評価を行い、学生への指導に使用します。また、その結果の学修成果（達成度）を評価するために、決まった時期と数の総括的評価を実施します。これらの評価は、統合教育学修センターでの解析等によって評価そのものの事後評価を行い、信頼性と妥当性を最大化します。

MD プログラム 2011 改訂版について

東京女子医科大学医学部で医学を学ぶことは、大学の理念を受け継ぎ、社会に貢献する力を持った医師を目指して学修することである。医学部は 110 年を超える歴史の中で女性医師を育てるための教育に力を入れてきたが、平成 29 年度新入生から新たなカリキュラムを導入した。新カリキュラムは、それまでのカリキュラム MD プログラム 2011 の良い点を踏襲しつつ、現代社会のニーズあるいは日本と世界で求められる、医師像を「至誠と愛」の理念のもとに達成することを目指す。

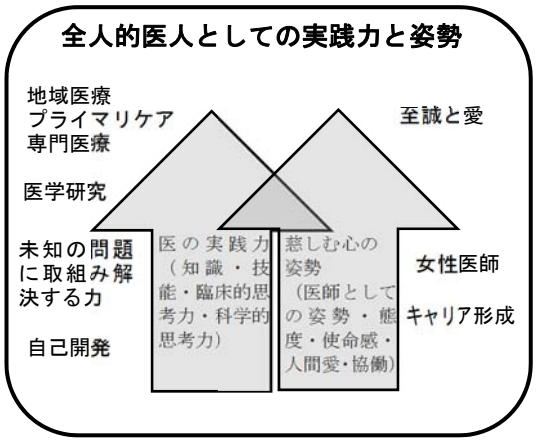
MD プログラム 2011 改訂版は 4 個の包括的目標を持つ。

1) 卒業時に基本的知識を持ち、医師として考え行動し、振る舞うことができる実践力を持つこと。
2) 学生が自分の目標を知り、自ら実践力を高められる教育となること。
3) 科学的思考力と臨床的思考力を持つこと。
4) 女性医師としての特徴をもち、基本的診療能力を備え、地域や国際を含めた現代の医療および医療ニーズに即した実践力を獲得すること。

MD プログラム 2011 改訂版は、以下の特徴を持つ。

1) 知識だけでなく技能と態度を備えた実践力の最終目標をアウトカム、途中の目標をロードマップとして具体的に示し、学生が入学時から最終目標に向けてどのように自己開発をしたらよいかを明示し、またその達成度を評価する事により学生が長い学修期間の中で目標と動機を失わないようにする。
2) 臨床的能力を高めるため、高学年の臨床実習開始前に臨床的思考力、技能、態度の学修を充実させ、実践的臨床実習を行う。
3) 基礎と臨床、知識と技能を統合して学ぶ統合カリキュラムを前カリキュラムから引き継ぎ、自ら問題を見つけ、科学的・医学的に且つ人間性を持ち、問題解決のための思考力を講義・実習・テュートリアル教育を通じて学ぶ。
4) 医師としての人間性・倫理・使命感・態度を育成する「至誠と愛」の実践学修を行う。
5) 医の実践力の一部となる基本的・医学的表現技術、情報処理・統計、国際コミュニケーションを 4 ないし 6 年間継続して積み上げる縦断教育を行う。
6) 医療を支える科学に自ら触れる機会を通じて、研究の面白さを知るとともに医師が持つべき研究的視点を学ぶ。
7) 女性の特性を意識した医療者となるための学修を行う。

学部教育を通じて達成する医師としての実践力



医学部の学修を通じて修得する実践力は、**医の実践力と慈しむ心の姿勢**に分かれる。医の実践力は主として知識・技術とその応用に関する 6 個の中項目、慈しむ心の姿勢は医人としての態度・情報と意志を疎通する能力・使命感・倫理感・専門職意識などに関する 5 個の中項目に分かれ、それぞれに数個のアウトカムが定められている。アウトカムは卒業時までに達成すべき目標の包括的目標であるが、低学年（1/2 年）、中学年（3/4 年）、高学年（5/6 年）で達成すべき具体的目標をロードマップとして表してある。

アウトカム・ロードマップは各教科の目標ではなく、学修の積み重ねにより修得すべき実際に自分でできる力、実践力、を示したものである。学生は、最終目標を見据えて学修段階に応じた目標を持ち、教員はそれぞれ担当する教育の中で、全体像のどの段階を学生が学ぶべきかを理解して教育にあたるために全体が示されている。学生の評価も、科目として受ける試験などによる評価と共に、様々な評価情報を組み合わせたロードマップ評価を行い、学生の到達度を認識できるようになる。

以下にアウトカムを示す。

Ⅰ　医の実践力

1. 知識と技能を正しく使う力

A. 医学的知識を医療に活用できる。

B. 診断・治療・予防を実践できる。

C. 基本的技能を実践できる。

2. 問題を見つけ追求する力

A. 解決すべき問題を発見できる。

B. 問題を深く追求できる。

C. 未知の問題に取り組むことができる。

3. 問題解決に向け考え実行する力

A. 適切な情報を集め有効に活用できる。

B. 解決方法を選び実行できる。

C. 結果を評価できる。

4. 情報を伝える力

A. 患者に情報を伝えることができる。

B. 医療情報を記録できる。

C. 医療者と情報交換ができる。

5. 根拠に基づいた判断を行う力
    A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。
    B. 根拠に基づいて診療を行える。
6. 法と倫理に基づいて医療を行う力
    A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。
    B. 医療倫理を理解し実践できる。
    C. 研究倫理を理解し実践できる。
    D. 社会の制度に沿った診療を行える。

Ⅱ 慈しむ心の姿勢
1. 患者を理解し支持する姿勢
    A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。
    B. 家族・患者周囲に配慮できる。
    C. 社会の患者支援機構を活用できる。
2. 生涯を通じて研鑽する姿勢
    A. 目標を設定し達成するために行動できる。
    B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。
    C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。
    D. 自分の特性を活かした医療を行うために研鑽する。
    E. 専門職として目標を持つ
3. 社会に奉仕する姿勢
    A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。
    B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。
4. 先導と協働する姿勢
    A. 自分の判断を説明できる。
    B. グループを先導できる。
    C. 医療チームのなかで協働できる。
5. ひとの人生へ貢献する姿勢
    A. 患者に希望を与えられる。
    B. 後輩を育てることができる。

次にそれぞれのアウトカムを達成するためのロードマップ（中間目標）を示す。

I 医の実践力—アウトカム・ロードマップ

	1. 知識と技能を正しく使う力			2. 問題を見つけ追求する力		
アウトカム	A. 医学的知識を医療に活用できる。	B. 診断・治療・予防を実践できる。	C. 基本的技能を実践できる。	A. 解決すべき問題を発見できる。	B. 問題を深く追求できる。	C. 未知の問題に取り組むことができる。
1、2年 ロードマップ	① 人体の正常な構造と機能を説明できる。 I-1-A-(1-2)-① ② 人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。 I-1-A-(1-2)-② ③ 受精から出生の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(1-2)-③	① データを読み解釈できる。 I-1-B-(1-2)-①	① 実習に必要な技術を実践できる。 I-1-C-(1-2)-① ② 安全に配慮して実習・研修を行える。 I-1-C-(1-2)-②	① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。 I-2-A-(1-2)-①	① 仮説を導くことができる。 I-2-B-(1-2)-① ② 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。 I-2-B-(1-2)-②	① 既知と未知の問題を明らかにできる。 I-2-C-(1-2)-① ② 医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる。 I-2-C-(1-2)-②
3、4年 ロードマップ	① 人体の臓器・器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-① ② 全身的疾患、外的要因による異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-② ③ 受精から出生、成長と発育、成熟と加齢の正常と異常を説明できる。 I-1-A-(3-4)-③ ④ 疾患、症候の病態を説明できる。 I-1-A-(3-4)-④	① 診断の過程を説明し実践できる。 I-1-B-(3-4)-① ② 適切な治療法とその根拠を説明できる。 I-1-B-(3-4)-② ③ 疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。 I-1-B-(3-4)-③	① 基本的医療技能を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-① ② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。 I-1-C-(3-4)-②	① 問題の優先度および重要度を判断できる。 I-2-A-(3-4)-① ② 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。 I-2-A-(3-4)-②	① 問題の科学的重要性を評価できる。 I-2-B-(3-4)-① ② 基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。 I-2-B-(3-4)-②	① 事例から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(3-4)-① ② 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。 I-2-C-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 患者の抱える異常とその病態を説明できる。 I-1-A-(5-6)-①	① 臨床推論を実践できる。 I-1-B-(5-6)-① ② 患者にあわせた診断・治療の判断ができる。 I-1-B-(5-6)-② ③ 患者に合わせた診療計画・経過観察計画を立てられる。 I-1-B-(5-6)-③	① 基本的医療技能を実践できる。 I-1-C-(5-6)-① ② 安全に配慮して、医療を実践できる。 I-1-C-(5-6)-②	① 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-① ② 患者の診療上の問題を明らかにできる。 I-2-A-(5-6)-②	① 患者の病態の原因を検索できる。 I-2-B-(5-6)-① ② 患者の苦痛の原因を人体の構造と機能、および「こころ」から説明できる。 I-2-B-(5-6)-②	① 患者から新しいことを学べる。 I-2-C-(5-6)-① ② 患者から自分の知らないことを発見できる。 I-2-C-(5-6)-② ③ 自分の能力では解決できない問題を判断できる。 I-2-C-(5-6)-③

	3. 問題解決に向け考え実行する力			4. 情報を伝える力		
アウトカム	A. 適切な情報を集め有効に活用できる。	B. 解決方法を選び実行できる。	C. 結果を評価できる。	A. 患者に情報を伝えることができる。	B. 医療情報を記録できる。	C. 医療者と情報交換ができる。
1、2年ロードマップ	① 問題解決のための情報収集ができる。 I-3-A-(1-2)-① ② 仮説を証明する手順を説明できる。 I-3-A-(1-2)-②	① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。I-3-B-(1-2)-① ② 複数の問題解決法を考えることができる。 I-3-B-(1-2)-②	① 問題解決結果の妥当性を評価できる。 I-3-C-(1-2)-① ② 結果に予想される誤差を考えられる。 I-3-C-(1-2)-②	① 自分の考えを他者に伝えることができる。 I-4-A-(1-2)-①	① 結論とその根拠が明確な文書を作成できる。 I-4-B-(1-2)-① ② 研究・実習の報告書が作成できる。I-4-B-(1-2)-② ③ 文書の要約を作成できる。 I-4-B-(1-2)-③	① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。I-4-C-(1-2)-① ② 相手の理解に合わせて、説明できる。I-4-C-(1-2)-② ③ 自己学修の結果を適切に伝えられる。I-4-C-(1-2)-③
3、4年ロードマップ	① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(3-4)-① ② 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(3-4)-②	① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。 I-3-B-(3-4)-① ② 事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。 I-3-B-(3-4)-②	① 適切な問題解決を行ったか検証できる。 I-3-C-(3-4)-① ② 結果の客観的評価ができる。I-3-C-(3-4)-② ③ 結果の解釈の限界を明らかにできる。 I-3-C-(3-4)-③	① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。 I-4-A-(3-4)-① ② 患者に分かる言葉を選択できる。I-4-A-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの要約が作成できる。I-4-B-(3-4)-① ② POMR に基づく診療情報記録方法を説明できる。 I-4-B-(3-4)-②	① 研究・実習・症例などの背景、目的、方法、結果、考察を適切に発表できる。I-4-C-(3-4)-① ② 医療チームでの情報共有について説明できる。I-4-C-(3-4)-②
5、6年ロードマップ	① 適切な診療ガイドラインを選択できる。 I-3-A-(5-6)-① ② 診療上の問題解決のために分析すべきことを明らかにできる。I-3-A-(5-6)-② ③ 診療上の問題解決のための情報検索ができる。 I-3-A-(5-6)-③ ④ 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。 I-3-A-(5-6)-④	① 診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。I-3-B-(5-6)-① ② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。 I-3-B-(5-6)-②	① 診療で得られた情報の信頼性を評価できる。 I-3-C-(5-6)-① ② 診療過程で予測される問題点を示せる。 I-3-C-(5-6)-② ③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。 I-3-C-(5-6)-③	① 病状を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-① ② 診療に関する情報を患者が理解できるように伝えられる。 I-4-A-(5-6)-②	① 診療録を適切に記載できる。 I-4-B-(5-6)-① ② 処方箋を適切に発行できる。 I-4-B-(5-6)-② ③ 症例要約を作成できる。 I-4-B-(5-6)-③ ④ 死亡診断書記入法を説明できる。I-4-B-(5-6)-④	① 口頭で症例提示ができる。 I-4-C-(5-6)-① ② 患者の問題点を指導医に報告できる。I-4-C-(5-6)-② ③ 必要な患者情報を要約して説明できる。I-4-C-(5-6)-③ ④ 専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。 I-4-C-(5-6)-④

	5. 根拠に基づいた判断を行う力		6. 法と倫理に基づいて医療を行う力			
アウトカム	A. 臨床・基礎医学の根拠を発見できる。	B. 根拠に基づいて診療を行える。	A. 医療者としての法的義務を理解し守れる。	B. 医療倫理を理解し実践できる。	C. 研究倫理を理解し実践できる。	D. 社会の制度に沿った診療を行える。
1、2年 ロードマップ	① 現象の原因・機序を検索できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-① ② 実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。Ⅰ-5-A-(1-2)-② ③ 情報の信頼度を評価できる。Ⅰ-5-A-(1-2)-③	① 根拠に基づいて解決法を判断できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-① ② 問題解決の適切性を評価できる。Ⅰ-5-B-(1-2)-②	① 社会的規範を守った生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-① ② 学則を守った学生生活ができる。Ⅰ-6-A-(1-2)-②	① 個人情報保護について説明できる。Ⅰ-6-B-(1-2)-① ② 倫理の概念について説明することができる。Ⅰ-6-B-(1-2)-②	① 研究倫理の概念について述べることができる。Ⅰ-6-C-(1-2)-① ② 研究倫理に配慮して実験・実習の結果報告書を作成できる。Ⅰ-6-C-(1-2)-②	
3、4年 ロードマップ	① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-① ② 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。Ⅰ-5-A-(3-4)-② ③ 根拠となる文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(3-4)-③	① 診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(3-4)-①	① 医学生の医行為水準を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-① ② 医師法・医療法の概要を説明できる。Ⅰ-6-A-(3-4)-②	① 医学における倫理の概念を説明できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-① ② 倫理的問題を明らかにできる。Ⅰ-6-B-(3-4)-② ③ 患者情報が含まれる文書・電子媒体を適切に使用できる。Ⅰ-6-B-(3-4)-③	① 基礎研究における倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-① ② 利益相反(Conflict of interest)について説明できる。Ⅰ-6-C-(3-4)-②	① 社会保障を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-① ② 医療に関する保証制度を概説できる。Ⅰ-6-D-(3-4)-②
5、6年 ロードマップ	① 基礎的・臨床的観察を通じて新たな発見ができる。Ⅰ-5-A-(5-6)-① ② 問題点に関わる臨床医学文献を検索できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-② ③ 検索した医学的情報の確かさを評価できる。Ⅰ-5-A-(5-6)-③	① 患者に合わせた診療上のエビデンスを選ぶことができる。Ⅰ-5-B-(5-6)-①	① 病院の規則に従って診療に関われる。Ⅰ-6-A-(5-6)-①	① 患者情報の守秘を励行して医療を行える。Ⅰ-6-B-(5-6)-① ② 臨床倫理を実践できる。Ⅰ-6-B-(5-6)-② ③ 立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。Ⅰ-6-B-(5-6)-③	① 臨床研究の倫理指針を概説できる。Ⅰ-6-C-(5-6)-①	① 患者に合わせて医療保険、医療補助制度を説明できる。Ⅰ-6-D-(5-6)-①

	1. 患者を理解し支持する姿勢			2. 生涯を通じて研鑽する姿勢				
アウトカム	A. 患者の意志と尊厳に配慮できる。	B. 家族・患者周囲に配慮できる。	C. 社会の患者支援機構を活用できる。	A. 目標を設定し達成するために行動できる。	B. 社会のニーズに応えて研鑽できる。	C. 自分のライフサイクルのなかでキャリアを構築できる。	D. 自分の特性を生かした医療を行うために研鑽する。	E. 専門職として目標を持つ。
1、2年ロードマップ	① 他者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(1-2)-① ② 他者を尊重して対話ができる。 II-1-A-(1-2)-② ③ 他者の自己決定を理解できる。 II-1-A-(1-2)-③	① 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。 II-1-B-(1-2)-①	① 社会支援制度を説明できる。 II-1-C-(1-2)-①	① 学修上の目標を設定することができる。 II-2-A-(1-2)-① ② 目標達成の手段を明らかにできる。 II-2-A-(1-2)-② ③ 省察（振り返り）を実践できる。 II-2-A-(1-2)-③ ④ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。 II-2-A-(1-2)-④	① 社会が期待する医師像を説明できる。 II-2-B-(1-2)-①	① 社会で活躍する女性の特性を述べられる。 II-2-C-(1-2)-① ② 学修のための時間を適切に自己管理できる。 II-2-C-(1-2)-②	① 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。 II-2-D-(1-2)-① ② 真摯に学びを励行できる。 II-2-D-(1-2)-②	① 自分の目標となる人物像を説明できる。 II-2-E-(1-2)-①
3、4年ロードマップ	① 傾聴できる。 II-1-A-(3-4)-① ② 患者の人権・尊厳を説明できる。 II-1-A-(3-4)-②	① 他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。 II-1-B-(3-4)-① ② 患者・家族の心理を説明できる。 II-1-B-(3-4)-②	① 社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。 II-1-C-(3-4)-①	① 卒業までの学修目標を立て、自分の達成度を評価できる。 II-2-A-(3-4)-① ② 医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。 II-2-A-(3-4)-②	① 地域社会の医療ニーズを説明できる。 II-2-B-(3-4)-①	① 学修目標を達成するための自己学修を計画的に行える。 II-2-C-(3-4)-① ② 女性のライフサイクルを説明できる。 II-2-C-(3-4)-② ③ キャリア継続の意思を持つ。 II-2-C-(3-4)-③	① 自分の特性を活かして学修できる。 II-2-D-(3-4)-① ② 学修の中で興味を持ったことを自ら学べる。 II-2-D-(3-4)-②	① 自分のモデルとなる先輩を示すことができる。 II-2-E-(3-4)-①
5、6年ロードマップ	① 患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。 II-1-A-(5-6)-① ② 患者の意志を聞き出すことができる。 II-1-A-(5-6)-② ③ 患者の尊厳に配慮した診察が行える。 II-1-A-(5-6)-③	① 患者・家族の解釈を理解し、対応できる。 II-1-B-(5-6)-① ② 患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。 II-1-B-(5-6)-② ③ 患者・家族への説明の場に配慮できる。 II-1-B-(5-6)-③	① 患者支援制度を検索し利用法を説明できる。 II-1-C-(5-6)-①	① 診察能力・技能を振り返り、目標を設定し、修得のための方法を明らかにできる。 II-2-A-(5-6)-①	① 研修（実習）する地域社会での医療ニーズから、学ぶべきことを明らかにできる。 II-2-B-(5-6)-①	① ライフサイクルを理解し、その中でキャリア継続のための計画を立てられる。 II-2-C-(5-6)-①	① 自分の目指す医師像を達成するための計画を示せる。 II-2-D-(5-6)-①	① 自分の特性を活かしてどのような医師を目指すかを述べることができる。 II-2-E-(5-6)-①

	3. 社会に奉仕する姿勢		4. 先導と協働する姿勢			5. ひとの人生へ貢献する姿勢	
アウトカム	A. 社会・地域で求められる医療を実践できる。	B. 医学研究を通じた社会貢献ができる。	A. 自分の判断を説明できる。	B. グループを先導できる。	C. 医療チームのなかで協働できる。	A. 患者に希望を与えられる。	B. 後輩を育てることができる。
1、2年ロードマップ	① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。 Ⅱ-3-A-(1-2)-①	① 医学研究の重要性について概説できる。 Ⅱ-3-B-(1-2)-①	① 自分の考えの根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(1-2)-①	① 共通の目標を設定できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-① ② 活動向上のための評価ができる。 Ⅱ-4-B-(1-2)-② ③ 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。Ⅱ-4-B-(1-2)-③	① 他者の話を聴くことができる。Ⅱ-4-C-(1-2)-① ② 対話の中で相手の述べることを要約できる。 Ⅱ-4-C-(1-2)-② ③ 役割分担を確実に実践できる。Ⅱ-4-C-(1-2)-③	① 医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。Ⅱ-5-A-(1-2)-① ② 困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。Ⅱ-5-A-(1-2)-②	① 学生として適切な振る舞いで行動できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-① ② 学んだことを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(1-2)-②
3、4年ロードマップ	① 医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。Ⅱ-3-A-(3-4)-①	① 基礎医学研究の意義と現在の動向を概説できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-① ② 医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。Ⅱ-3-B-(3-4)-② ③ 臨床や医学研究の動向に目を向け概説できる。 Ⅱ-3-B-(3-4)-③	① 自分の選択・判断の根拠を説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-① ② 他者の考えを聞いて自分の選択を判断し説明できる。 Ⅱ-4-A-(3-4)-②	① 討論・話し合いを促せる。Ⅱ-4-B-(3-4)-① ② 自分の方針を説明し同意を得ることができる。Ⅱ-4-B-(3-4)-② ③ 活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。 Ⅱ-4-B-(3-4)-③	① グループ目標達成のために行動できる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-① ② 講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。 Ⅱ-4-C-(3-4)-②	① 学修する事例について医学の貢献を説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-① ② 問題を解決できたときの状況を考え説明できる。 Ⅱ-5-A-(3-4)-②	① 自分が目標をどのように達成したかを他者に説明できる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-① ② 相手の知識・技能に合わせて質問に答えることができる。 Ⅱ-5-B-(3-4)-②
5、6年ロードマップ	① 臨床実習の中で医療に参加し社会・地域に貢献する。 Ⅱ-3-A-(5-6)-①	① 診療のなかで医学研究の課題を見つけることができる。 Ⅱ-3-B-(5-6)-①	① 診療上の判断を他者に分かるように説明できる。 Ⅱ-4-A-(5-6)-①	① 講成員の特性に合わせて個人と全体の活動を統括できる。 Ⅱ-4-B-(5-6)-①	① 自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。Ⅱ-4-C-(5-6)-① ② 与えられた医療の役割について責任を持ち確実に実施できる。 Ⅱ-4-C-(5-6)-①	① 医療の限界のなかで可能なことを説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-① ② 患者に医療が行うことのできる望ましい結果を説明できる。 Ⅱ-5-A-(5-6)-②	① 適切な振る舞いで診療に参加できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-① ② 他者の疑問を共に解決することができる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-② ③ 医療の中で他者に教えることを実践できる。 Ⅱ-5-B-(5-6)-③

カリキュラムの構造

カリキュラム（教育計画）は、学生が実践力を持つ医師になるために限られた時間のなかで最大の学修を得られるように構築されている。学生には、全てのカリキュラムに参加して最終目標を達成することが求められる。

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を 2 年前期までに学び、次に医療を行うために必要な臓器・器官系の正常と異常、臓器系をまたいでおこる全身的異常、人の発生・出産・出生・成長・発育・成熟・加齢の正常と異常を 3 年後期までに学ぶ。4 年前期は、全身的な変化と、社会・法律・衛生・公衆衛生と医学の関わりを学び、医療を取り巻く環境を理解する。そして 4 年後期は、5 年の臨床実習に備えた臨床入門を学ぶ。臨床入門は、基本的臨床技能を学ぶだけでなく、画像・検査などの臨床的理解、臨床推論の進め方などの臨床的思考力、麻酔・救急などの全身管理に係わる医学を学び、5 年の初めから医療の中に入って臨床実習を行えるようになるための仕上げとなる。臨床実習への準備は、総合試験（共用試験 CBT および問題解決能力試験）、共用試験 OSCE などで評価される。5 年から 6 年前半の臨床実習では、見学するのではなく参加する意識で実習を行って欲しい。臨床実習では、地域医療・プライマリケアなど現代の日本の医療に求められる領域、国外留学など国際的医療に係わる機会、基礎医学を学ぶ機会などが設けられ、且つ学生が自分のキャリアを考えて学修の場を選べるようになっている。6 年後期は、6 年間の学修の総括と卒業認定のための評価に充てられる。

学年毎に進むカリキュラムとは別に縦断的カリキュラムがある。これは、学生が 4 もしくは 6 年間で継続して自己開発する必要のある科目で、縦断教育科目と呼ぶ。

６年間のカリキュラム全体図

<table>
<tr><td rowspan="2">1年</td><td>前期
（4月～7月）</td><td>セグメント1</td><td>人体の基礎</td><td rowspan="2">人体の基本的構造と機能／
人体の防御機構</td><td rowspan="12">テュートリアル・TBL</td><td rowspan="12">「至誠と愛」の実践学修</td><td rowspan="12">医療・患者安全学</td><td rowspan="12">基本的・医学的表現技術</td><td rowspan="12">国際コミュニケーション</td><td rowspan="12">AI・データサイエンスと医療</td><td rowspan="12">選択科目</td></tr>
<tr><td>後期
（9月～3月）</td><td>セグメント2</td><td>人体の機能と
微細構造</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td>前期</td><td>セグメント3</td><td>人体の構造と
疾患の基礎</td><td>人体の発生と全体構造／
疾患の成り立ちと治療の基礎</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント4</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常１</td><td>臨床診断総論／循環器系
呼吸器系／腎尿路系／生殖器系／妊娠と分娩</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td>前期</td><td>セグメント5</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常２／
人の一生</td><td>消化器系／内分泌・高血圧系／栄養・代謝系
新生児・小児・思春期／加齢と老化、臨終</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント6</td><td>臓器・器官系の構造と
機能の正常と異常３／
医学研究</td><td>脳神経系／精神系／運動器系／
皮膚粘膜系／聴覚・耳鼻咽喉系／眼・視覚系</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td>前期</td><td>セグメント7</td><td>全身的な変化と医学／
医療と社会</td><td>全身的な変化／医学と社会</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント8</td><td>臨床入門</td><td>臨床入門</td></tr>
<tr><td rowspan="2">5年</td><td>前期</td><td rowspan="3">セグメント9</td><td rowspan="3">医療と医学の
実践</td><td rowspan="3">診療参加型臨床実習（研究実習）</td></tr>
<tr><td>後期</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6年</td><td>前期</td></tr>
<tr><td>後期</td><td>セグメント10</td><td>全体統合・
総合達成度評価</td><td>卒業試験</td></tr>
</table>

週間の授業予定

学生は全ての授業に出席し能動的に学ぶ事が求められる。

医学部の時間割の特徴は、テュートリアル・TBL を中心に十分な自己学修の時間が確保されていることである。自ら目標を定め能動的に学ぶことで医師となっても使い続けることのできる知識の活用を修得するように、授業・実習のない学修時間が確保されている。

セグメント4

2022年8月29日～2023年2月20日

Ⅰ　セグメント4 の学修内容

第 2 学年後期に相当するセグメント 4 では「臓器・器官系の構造と機能の正常と異常」を中心テーマとして学修する。いよいよ本格的に病気が登場する。臨床科目の登場である。

病の人を診察し診断する過程には患者の示す様々な生体情報を、患者の訴えを聞くことから始まって、診察、検査へと進むプロセスがある。この理解のために「臨床診断総論」がある。そしてそれぞれの「臓器･器官系の構造と機能の正常と異常」シリーズの始めとして「循環器系」「呼吸器系」「腎尿路系」「生殖器系」「妊娠と分娩」がある。

これらの科目はシリーズの始めだが、きわめて重要な臓器・器官であり、全ての臨床科目の理解に必要な内容が含まれている。循環器系、呼吸器系、腎尿路系では科目名には 1，2 と分けて記され、1 では（たとえば循環器系 1）構造と機能を主体に、2 では（たとえば循環器系 2）診断、検査、治療を中心に学ぶ。第 2 学年で学ぶこれら重要な臓器についての集中的講義実習は、この後第 5 学年の臨床実習まで扱われない。セグメント 4 で十分な理解をすることが要求され、この先のセグメントで疑問になったときにはいつでも振り返る学修が必要である。生殖器系の 1，2 はそれぞれ男性生殖器、女性生殖器に分かれている。また、妊娠と分娩では妊娠、分娩、産褥それぞれの正常と異常を対比させて学修する。

縦断科目も教育の柱であるテュートリアルを中心として、「至誠と愛」の実践学修では医療対話、解剖慰霊祭実習などがあり、情報処理・統計の講義数も多い。とくに、医療対話では外来患者と実際に対話する実習が持たれ、解剖慰霊祭実習では看護学部と合同のワークショップが計画されている。縦断科目においても臨床を意識した構成となっている。

臨床科目が始まった事により、医学生としてのより高い自覚につながるであろう。これまでの基礎科目の十分な復習と、臨床科目の向こう側にいる病の人を見据えた確実な学修が要求される。

Ⅱ 到達目標

A. 包括的到達目標（セグメント4）

1. 臨床診断のための生体情報を論ずることができる。
   1）医療面接
   2）身体診察法
   3）画像診断
   4）検体検査
   5）生体機能検査

2. 循環器系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
   1）循環器系の構造と機能
   2）循環器系の診断と検査の基本
   3）循環器系の症候
   4）循環器系の疾患

3. 呼吸器系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
   1）呼吸器系の構造と機能
   2）呼吸器系の診断と検査の基本
   3）呼吸器系の症候
   4）呼吸器系の疾患

4. 腎尿路系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
   1）腎尿路系の構造と機能
   2）腎尿路系の診断と検査の基本
   3）腎尿路系の症候
   4）腎尿路系の疾患

5. 生殖器系の構造と機能の正常と異常について論ずることができる。
   1）生殖器系の構造と機能
   2）生殖器系の診断と検査の基本
   3）生殖器系の症候
   4）生殖器系の疾患

6. 妊娠と分娩の経過と転帰の正常と異常について論ずることができる。
   1）正常妊娠と妊娠中の異常
   2）正常分娩と異常分娩
   3）正常産褥と異常産褥

B. 科目別到達目標

科目名	臨床診断総論
科目責任者(所属)	神崎　正人

到達目標	セグメント4のみならず、以降の各セグメントにおける臨床課題の学修を円滑にすすめるため、臨床診断に不可欠で基本となる医療面接から、身体診察法、画像診断、検体検査、生体機能検査に至るまでの診断項目を総合的に学ぶ。 医療面接では患者との接し方や聴取すべき病歴の内容について学ぶ。身体診察法では、全身的に観察する項目と局所的に観察する項目とにわけて広範囲かつ系統的に学修する。画像診断では、放射線診断の基礎的事項を学び、代表的なX線像、CT、MRI、PET、エコーについては身体解剖を念頭におき画像を立体的に把握する習慣を身につける。検体検査は検査項目とその意義について理解し、生体機能検査では生体の働きを評価するための検査法について広く学ぶ。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	・人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。　Ⅰ-1-A-(1-2)-② ・文書の要約を作成できる。　Ⅰ-4-B-(1-2)-③
学修(教育)方法	講義　実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	「講義への出席・態度」、「実習への出席・態度」、「定期試験」によって評価する。 診断総論であるため、基本的な事項の講義・実習に参加し、多岐にわたる項目については、各項目について出題された筆記試験の点数を科目の評価点とする。
評価方法 (2)評価項目	1)病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等)を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。　A-3-1) 2)網羅的に系統立てて適切な順序で効率的な身体診察を行える。異常所見を認識・記録し、適切な鑑別診断が行える。　A-3-1) 3)コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。　A-4-1) 4)臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。　F-2-3) 5)生体機能検査(心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。　F-2-3) 6)エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>と核医学検査の読影の基本を説明できる。　F-2-5) 7)内視鏡検査法の種類を列挙し、概説できる。　F-2-6) 8)超音波検査法の種類を列挙し、概説できる。　F-2-7) 9)病歴を聴取して身体診察を行う。　G-1-1)-(3) 10)基本的な検査の結果を解釈する。　G-1-1)-(3)
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	―
教科書・参考図書	

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『Textbook of radiology and imaging』	David Sutton	Churchill Livingstone 2003	9780443071096
2.	『カトラー臨床診断学 : 問題解決の思考プロセスと86例の症例』	Paul Cutler [著] ; 青木則明 [ほか]訳	丸善 2007	9784621078716
3.	『臨床検査法提要』	奥村伸生, 戸塚実, 矢冨裕編集	金原出版	9784307050425

			2015	
4.	『臨床検査のガイドライン　JSLM2015』	日本臨床検査医学会包括医療検討委員会, 厚生労働省編集	宇宙堂八木書店 2015	9784905314394
5.	『内科学書　1～6、別巻』	小川聡総編集 ; 伊藤裕 [ほか] 部門編集	中山書店 2009	9784521737751
6.	『ハリソン内科学 1,2』	デニス L. カスパー [ほか] 編	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2017	9784895928731
7.	『内科学』	矢崎義雄総編集	朝倉書店 2013	9784254322613
8.	『ベッドサイドの神経の診かた』	田崎義昭, 斎藤佳雄著	南山堂 2010	9784525247171
9.	『医科分子生物学』	村松正實, 谷口維紹編集	南江堂 1997	452420914X
10.	『PO臨床診断マニュアル』	Friedman, HH	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2002	4895922944
11.	『膠原病学:免疫学・リウマチ性疾患の理解のために』	塩沢俊一著	丸善 2008	9784621079461
12.	『画像診断を学ぼう : 単純X線写真とCTの基本』	ウィリアム ヘリング著 ; 菅原俊祐訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2008	9784895925778
13.	『標準放射線医学』	西谷弘 [ほか] 編集	医学書院 2011	9784260005975
14.	『核医学テキスト』	絹谷清剛編集	中外医学社 2013	9784498065246
15.	『MRの実践』	金森勇雄 [ほか] 編著	医療科学社 2011	9784860034160
16.	『放射線基礎医学』	尾内能夫, 坂本澄彦著	日本出版サービス 2007	9784889221190
17.	『放射線生物学』	増田康治編集	南山堂 2002	4525278145
18.	『核医学Q&A : 基礎から臨床まで』	仙田宏平 , 前田壽登編	丸善プラネット 2006	4901689495
19.	『超音波(ME教科書シリーズ)』	千原國宏著	コロナ社 2001	4339071633
20.	『生体工学概論』	村上輝夫編著	コロナ社 2006	4339070874
21.	『がんの細胞生物学』	Robert G.McKinnell [ほか] 著 ; 阿部達生, 三澤信一訳	医学書院 2000	4260124579
22.	『Robbins basic pathology』	Vinay Kumar, Abul K. Abbas, Jon C. Aster原著	Elsevier 2017	9780323480543

23.	『解明 病理学：病気のメカニズムを解く』	青笹克之編	医歯薬出版 2017	9784263731154
24.	『正常画像と比べてわかる病理アトラス』	下正宗, 長嶋洋治編	羊土社 2015	9784758117722
25.	『内視鏡所見の読み方と鑑別診断　上部消化管　第2版』	芳野純治、川口　実、浜田　勉編	医学書院 2007	9784260003131
26.	『この1冊ではじめる上部消化管内視鏡マニュアル―研修医・初心者のために』	赤松泰次編	南江堂 2013	9784524269082
27.	『基本をおさえる腹部エコー改訂版～撮りかた、診かた、考えかた』	谷口信行編	羊土社 2014	9784758110501
28.	『画像診断・放射線治療ビジュアルナーシング』	坂井修二、唐澤久美子	学研メディカル秀潤社 2019	4780912210

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/29(月)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	胸部(呼吸器)			
	担当者(所属)	桂　秀樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/08/29(月)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	医療面接			
	担当者(所属)	橋本　弥一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-2)①②③④⑤,F-3-3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/08/30(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	全身観察			
	担当者(所属)	島本　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-1)①②③, F-3-5)-(1)①⑤,F-3-5)-(2)①②③④⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/08/30(火)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	胸部(循環器)			
	担当者(所属)	島本　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①⑤⑩,D-5-3)⑥⑧⑨⑪⑫⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				

	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/08/31(水)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	腹部			
	担当者(所属)	徳重　克年			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-1-10)①,F-1-11)①②③,F-1-28)①②,F-1-29)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/01(木)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	腎・尿路系			
	担当者(所属)	土谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-3)-(2)①～⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/01(木)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	検体検査(1)　血液一般			
	担当者(所属)	篠原　明仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-1-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/01(木)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	検体検査(2)　血球産生			
	担当者(所属)	田中　淳司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-1-1)①②③⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/05(月)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	頭頸部			
	担当者(所属)	山村　幸江			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5)-(3)①～⑩,F-1-27)②,F-3-5)-(2)⑦,D-7-1)⑬,D-14-1)①②③,E-4-2)⑥,D-4-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/09/05(月)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	検体検査(3)　生化学			
	担当者(所属)	佐藤　麻子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-3)①②③④⑤⑥,D-7-3)①,D-8-2)②,D-12-4)-(5)①,D-12-4)-(6)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/09/05(月)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	検体検査(4)　尿、便、喀痰、髄液			
	担当者(所属)	平井　由児			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑧⑬⑮			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/09/12(月)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35

	タイトル	神経・筋			
	担当者(所属)	吉澤　浩志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-2-1)-(1)①, D-2-1)-(2)①②, D-2-1)-(3)①②③, D-2-1)-(4)①②③, D-2-1)-(5)①②③, D-2-1)-(6)①②,			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/09/14(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	画像診断(1)　核医学検査			
	担当者(所属)	金子　恒一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	E-6-2)②,F-2-5)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/09/15(木)	1時限	実習	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	呼吸機能検査			
	担当者(所属)	八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
15.	2022/09/16(金)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	画像診断(2)　超音波検査、内視鏡検査			
	担当者(所属)	中村　真一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-7-2)③④,F-2-3)⑫,F-2-6)①②③,F-2-7)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
16.	2022/09/16(金)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	画像診断(3)　CT			
	担当者(所属)	長尾　充展			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑪			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
17.	2022/09/16(金)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	検体検査(6) 微生物、病理			
	担当者(所属)	長嶋　洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-4)①②③④⑤,F-2-3)⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
18.	2022/09/16(金)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	検体検査(5)　免疫			
	担当者(所属)	川口　鎮司			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
19.	2022/09/22(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	ME機器(1)　治療機器			
	担当者(所属)	神崎　正人			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-12)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
20.	2022/09/22(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	画像診断(4) 原理、単純X線像			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
21.	2022/09/22(木)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	画像診断(5) 磁気共鳴画像			
	担当者(所属)	坂井 修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
22.	2022/09/22(木)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	ME機器(2) 臨床検査機器			
	担当者(所属)	正宗 賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-5)①⑤,F-2-12)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
23.	2022/09/22(木)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	全身の診察、重要なサイン			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-3)①⑤⑩⑪⑫⑯⑱⑲,D-6-3)②③④,E-2-3)①②⑫⑬⑭⑯⑰,F-2-3)④,F-3-1)①③,F-3-5)-(1)①②⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
24.	2022/10/03(月)	1時限	実習	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	胸部X線・CT像			
	担当者(所属)	有村 健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C2-4)⑧,D-5-1)⑤,D-5-1)⑨,D-6-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/10/07(金)	5時限	実習	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	胸部・腹部超音波検査			
	担当者(所属)	長尾 充展			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/11/02(水)	2時限	実習	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	腹部X線・CT像			
	担当者(所属)	海老沼 晶紗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-2)①,F-2-5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				26

27.	2023/02/06(月)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	試験　臨床診断総論(10:00-11:30)303講義室			
	担当者(所属)	土谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2023/02/06(月)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	試験　臨床診断総論(10:00-11:30)303講義室			
	担当者(所属)	土谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2023/02/21(火)	1時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	追再試験　臨床診断総論(10:00-11:30)303講義室			
	担当者(所属)	土谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2023/02/21(火)	2時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	追再試験　臨床診断総論(10:00-11:30)303講義室			
	担当者(所属)	土谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				30

[臨床診断総論]

科目責任者：神崎　正人（外科学（呼吸器外科学分野））

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．医療面接	1．主訴	
	2．病歴	
	3．出生・発達歴	
	4．既往歴	1）服薬、輸血　2）予防接種
	5．社会歴	1）居住歴　2）職歴　3）結婚歴　4）海外渡航歴　5）学歴　6）宗教　7）経済状態
	6．家族歴	
	7．月経・妊娠・分娩歴	
	8．生活歴	1）喫煙　2）酒　3）食物　4）生活行動
Ⅱ．全身の身体診察法	1．顔貌、顔色	
	2．精神状態	1）意識障害　2）知能（見当識、記名、記憶を含む）　3）感情状態（不安、抑鬱）
	3．体格、体重、栄養	1）身体計測
	4．Vital sign（脈拍、呼吸、体温、血圧）	
	5．姿勢、歩行	
	6．皮膚、粘膜、爪	1）視診　2）触診　3）理学検査（硝子圧法、皮膚描記法）
	7．リンパ節	1）触診
	8．浮腫	1）視診　2）触診
Ⅲ．局所の身体診察法	1．頭頸部の診察	1）視診　2）触診（甲状腺）　3）聴診　4）眼検査（眼球、眼底、蛍光眼底検査、結膜、眼位、視力、視野、眼圧、瞳孔反応、色覚・光覚、屈折・調節、隅角検査、電気生理的検査）　5）鼻検査　6）聴力検査　7）眼振検査　8）味覚検査
	2．呼吸器、胸壁の診察	1）視診（胸郭とその運動）　2）触診（声音振盪、乳房）　3）打診　4）聴診　5）バチ指
	3．心、脈管系の診察	1）視診（心尖拍動、動脈拍動静脈怒張）　2）触診　3）打診　4）聴診（心音）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	4. 腹部の診察	1）視診（膨隆、静脈怒張） 2）触診（肝・脾、腫瘤、Courvoisier 徴候） 3）聴診（グル音、血管雑音） 4）厚痛・叩打痛（胆嚢、膵）　5）打診（濁音界、波動）　6）知覚過敏帯　7）筋性防御
	5. 骨盤内諸臓器の診察	1）視診　2）触診　3）双手診
	6. 神経系の診察	1）脳神経症状の検査　2）運動機能検査 3）反射検査　4)感覚検査　5）起立・歩行検査 6）自立神経機能検査　7）髄膜刺激症状検査 8）構音・言語検査　9）失行・失認・高次脳機能の検査
	7. 筋の診察	1）視診・触診（変形、筋委縮） 2）筋力テスト　3）肢位
Ⅳ. 画像診断		
A. 画像診断の基礎	1. 電解放射線の種類と性質	1）放射線の種類　2）発生装置　3）放射線の線質　4）放射線同位元素
	2. 放射線の単位と測定	1）単位（照射線量、吸収線量、線量当量、放射能）　2）測定
	3. 非電離放射線	1）電波　2）レーザー　3）赤外線と紫外線
B. 画像による臨床診断	1. 単純 X 線像	1）単純 X 線写真（胸部、骨・関節、脊椎、腹部、頭蓋・顔面）
	2. CT 像	1）CT 写真（頭部、頸部、胸部、腹部）
	3. 放射線核医学検査	1）シンチグラフィー（ガリウム、テクネシウム、タリウム）
	4. 磁気共鳴画像（MRI）	1）MRI（頭部、頸部・脊椎、胸部、腹部）
	5. 超音波（エコー）検査	1）胸部・腹部エコー
	6. 内視鏡検査	1）気管支鏡、上部・下部消化管内視鏡
Ⅴ. 検体検査	1. 血液一般検査	1）血算　2）止血機能検査　3）造血能・溶血に関する検査
	2. 生化学検査	1）血糖　2）蛋白　3）含窒素成分　4）脂質 5）生体色素　6）酵素　7）電解質　8）重金属　9）微量元素　10）ビタミン　11）ホルモン　12）血中薬物と代謝産物
	3. 喀痰、尿、便、髄液	1）尿検査　2）糞便検査　3）喀痰　4）脳脊髄液検査　5）穿刺液（胸水、腹水）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	4．免疫検査	1）感染免疫　2）自己抗体　3）補体　4）免疫グロブリン　5）アレルギー　6）細胞免疫、食菌能検査　7）移植免疫　8）腫瘍マーカー
	5．微生物検査	1）材料採取法　2）染色法　3）培養同定法　4）抗菌薬の感受性テスト　5）細菌別検査
	6．病理検査	1）組織診 2）細胞診
Ⅵ．生体機能検査	1．呼吸機能検査	1）スパイロメトリー　2）フローボリューム曲線　3）血液ガス　4）その他精密機能検査
	2．心機能検査 a．血圧 b．心電図 c．心音図	1）原理 2）波形診断
	3．腎機能検査	1）GFR　2）RPF　3）PSP 試験　4）尿細管機能検査
	4．脳波	1）波形診断
	5．筋電図	1）波形診断
Ⅶ．ME 機器	1．臨床検査機器	1）機器の理論　2）検体検査装置　3）生体機能検査装置　4）監視装置
	2．治療機器	1）生体機能維持装置（人工呼吸器、心臓ペースメーカー、人工腎臓など） 2）複合デバイス　3）薬事法, 医療機器分類, 安全性

科目名	循環器系1
科目責任者(所属)	**次期教授**

到達目標	心臓血管系は人の生命を支え、種々の身体活動を可能にする身体の基幹装置(システム)であり、その疾病は日本人の死亡原因として悪性腫瘍とともに最重要である。ここでは、心臓と血管の発生、解剖、生化学、生理、病態生理、そして病理を学ぶ。 正常の発生過程を学び、その変位が形態異常(心臓大血管奇形)に結びつくことを学び、そして生体における完成されたそれらの形態(解剖)を学ぶ。心臓血管は極めて動的な器官であり、その基礎になっている微細構造を学ぶ。その微細構造の中の各器官が動的にいかに機能しているかを、イオンチャネルを主とする細胞膜機能、細胞内器官の機能、心筋および血管平滑筋の収縮機構などによって学ぶ。次に、それらの臨床表現としての心電図の基礎、心機能や血圧調整といた神経内分泌機能も含めた循環系のマクロ機能の基礎を学ぶ。さらに、生活習慣病として極めて重要な動脈硬化および冠状動脈疾患発生の機序の基礎を学ぶ。そして最後に、それらの病理像を概観して、循環器疾患の臨床を学ぶ基礎知識を習得する。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-②
	問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
	仮説を証明する手順を説明できる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-②
	情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-①
	自分の考えを他者に伝えることができる。	Ⅰ-4-A-(1-2)-①
	文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③
	自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
	現象の原因・機序を検索できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-①
	情報の信頼度を評価できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-③
	問題解決の適切性を評価できる。	Ⅰ-5-B-(1-2)-②
	他者を尊重して対話ができる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-②
	自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-①
	真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
	意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-③
	他者の話を聴くことができる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-①
	役割分担を確実に実践できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-③
学修(教育)方法	講義, 実習, テュートリアル	
評価方法 (1)総括的評価の対象	授業態度、実習の参加状況や態度、レポート等の内容と提出状況、定期試験結果を総合的に判断して評価を行う。ただし、全ての実習への参加とレポートの提出が定期試験への受験資格として必要である。	
評価方法 (2)評価項目	血管とリンパ管の微細構造と機能を説明できる。	C-2-2)-(1)③
	筋組織について、骨格筋、心筋、平滑筋の構造と機能を対比して説明できる。	C-2-2)-(1)⑤
	活動電位の発生機構と伝導を説明できる。	C-2-3)-(2)①
	運動生理学など、身体活動時の神経・骨格筋、循環器、代謝系の変化を説明できる。	C-2-3)-(4)⑤
	心血管系の形成過程を説明できる。	C-2-4)⑤
	細胞傷害・変性と細胞死の細胞と組織の形態的変化の特徴を説明できる。	C-4-2)②
	血行障害(阻血、虚血、充血、うっ血、出血)の違いとそれぞれの病因と病態を説明できる。	C-4-4)①
	梗塞(血栓、塞栓)の種類と病態を説明できる。	C-4-4)②
	血圧異常(高血圧、低血圧)を説明できる。	C-4-4)④
	心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。	D-5-1)①

	心筋細胞の微細構造と機能を説明できる。	D-5-1)②
	心筋細胞の電気現象と心臓の興奮（刺激）伝導系を説明できる。	D-5-1)③
	興奮収縮連関を概説できる。	D-5-1)④
	体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。	D-5-1)⑤
	大動脈と主な分枝（頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢）を図示し、分布域を概説できる。	D-5-1)⑥
	主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。	D-5-1)⑦
	毛細血管における物質・水分交換を説明できる。	D-5-1)⑧
	胸管を経由するリンパの流れを概説できる。	D-5-1)⑨
	心周期にともなう血行動態を説明できる。	D-5-1)⑩
	心機能曲線と心拍出量の調節機序を説明できる。	D-5-1)⑪
	主な臓器（脳、心臓、肺、腎臓）の循環調節を概説できる。	D-5-1)⑫
	血圧調節の機序を説明できる。	D-5-1)⑬
	体位や運動に伴う循環反応とその機序を説明できる。	D-5-1)⑭
	心カテーテル検査（心内圧、心機能、シャント率の測定）と結果の解釈を説明できる。	D-5-2)⑥
	心不全の定義と原因、病態生理（収縮不全、拡張不全）を説明できる。	D-5-4)-(1)①
	左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。	D-5-4)-(1)②
	急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。	D-5-4)-(1)③
	心不全診療における多職種連携（チーム医療）による疾病管理プログラムを概説できる。	D-5-4)-(1)④
	高齢者における心不全の特徴を説明できる。	D-5-4)-(1)⑤
	致死性不整脈の診断、初期対応、治療を説明できる。	D-5-4)-(3)⑥
	動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。	D-5-4)-(7)①
	リハビリテーションの概念と適応（心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む）を説明できる。	F-2-14)①
	リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。	F-2-14)②

評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上） A.良く理解している（80%以上90%未満）B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	ー

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『内科学』	矢崎義雄総編集	朝倉書店 2017	
2.	『ハリソン内科学』	デニス L. カスパー 他 編	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2017	
3.	『Braunwald's Heart Disease : A Textbook of Cardiovascular Medicine』	D.L.Mann他	Saunders 2014	
4.	『臨床発達心臓病学』	高尾篤良総編集	中外医学社 2001	
5.	『オピーの心臓生理学：細胞から循環まで』	L.H.オピー編著	西村書店 2008	
6.	『ハーバード大学テキスト：心臓病の病態生理』	レオナルド S. リリー [編]；川名正敏, 川名陽子訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	

			2017	
7.	『心臓血管病理アトラス』	由谷親夫	文光堂 2002	
8.	『ブラウンワルド心臓病学：レビュー＆アセスメント』	L.S.Lilly他	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2011	
9.	『Hurst's the Heart Manual of Cardiology』	R.A.Walsh他	Lippincott Williams & Wilkins 2013	
10.	『新臨床内科学　』	貫和敏博　他　編集	医学書院 2009	
11.	『心臓・循環生理学』	岡田隆夫　監訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2013	
12.	『臨床検査データブック2017-2018』	高久史麿　監修	医学書院 2017	
13.	『循環器病学　基礎と臨床』	川名正敏　他　編集	西村書店 2010	
14.	『ネッター解剖学アトラス』	M.N.Frank	南江堂 2016	
15.	『心筋細胞の電気生理学』	山下武志	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2002	
16.	『不整脈の診かたと治療』	山科　章，五十嵐正男	医学書院 2014	
17.	『図解　心電図テキスト：Dr.Dubin式はやわかり心電図読解メソッド』	D.Dubin著，村川裕二　訳	文光堂 2015	
18.	『心電図の読み方　パーフェクトマニュアル』	渡辺重行，山口　巌　編集	羊土社 2006	
19.	『血管超音波テキスト』	日本超音波学会監修	医歯薬出版株式会社 2016	
20.	『グロスマン・ベイム心臓カテーテル検査・造影・治療法』	絹川弘一郎　監修	南江堂 2017	
21.	『診断モダリティとしての心筋病理』	心筋生検研究会　編集	南江堂 2017	

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/30(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	心臓・脈管系の構造（1） 正常（形態）①			
	担当者（所属）	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/08/30(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	心臓・脈管系の構造（2） 正常（形態）②			
	担当者（所属）	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/08/31(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	循環系の発生（1） 正常①			
	担当者（所属）	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)⑤,D-5-1)①,D-5-4)-(6)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/08/31(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	循環系の発生（2） 正常②			
	担当者（所属）	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)⑧,D-5-1)⑤⑨,D-6-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/08/31(水)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	心臓・脈管系の構造（3） 微細構造①			
	担当者（所属）	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2)-(1)⑤, D-5-1)①②③⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/08/31(水)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	心臓・脈管系の構造（4） 微細構造②			
	担当者（所属）	森島 正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-2-)(1)③, D-5-1)①②③⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/01(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	心臓機能（1） 心筋代謝、心筋の構造、収縮蛋白			
	担当者（所属）	中村 史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)②,C-2-1)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/01(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	心臓機能（2） 受容体、情報伝達機構			
	担当者（所属）	中村 史雄			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-3)-(1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/09/02(金)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	微細構造(1) 循環器系組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①②③⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
10.	2022/09/02(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	微細構造(1) 循環器系組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①②③⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
11.	2022/09/02(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	微細構造(1) 循環器系組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①②③⑧⑨			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
12.	2022/09/08(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	病態(7)　不整脈、突然死			
	担当者(所属)	庄田　守男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)③,D-5-3)⑥⑬⑳			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
13.	2022/09/08(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	循環(1)　肺循環			
	担当者(所属)	志賀　剛			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)①②③⑤,D-5-1)⑪			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
14.	2022/09/15(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	病態(1)　フリーラジカルと虚血			
	担当者(所属)	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-5)⑭			

	講義資料番号/連番(LMS)				11
15.	2022/09/20(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	病態(2) 動脈硬化と脂質代謝			
	担当者(所属)	越野 一朗			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-5)⑧⑨,C-4-3)③,D-5-4)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
16.	2022/09/20(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	心臓機能(4) 心臓のポンプ機能			
	担当者(所属)	稲井 慶			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
17.	2022/09/20(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	循環(2) 血圧			
	担当者(所属)	青鹿 佳和			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①⑬⑭,D-8-1)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
18.	2022/09/20(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	病態(3) 高血圧、低血圧			
	担当者(所属)	森本 聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(6)①,D-5-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
19.	2022/09/20(火)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	病態(4) 心筋虚血			
	担当者(所属)	山口 淳一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
20.	2022/09/26(月)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	病態(5) 急性心不全			
	担当者(所属)	松浦 勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)①②③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
21.	2022/09/26(月)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	循環(3) 正常循環(反射,神経,体液調整)			
	担当者(所属)	片山 洋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)④,D-5-1)⑭、D-8-1)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
22.	2022/09/28(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10

	タイトル	心臓機能(5)　心筋細胞の電気生理			
	担当者(所属)	鈴木　敦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
23.	2022/09/28(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	心臓機能(6)　興奮と伝導			
	担当者(所属)	鈴木　敦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③,D-5-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
24.	2022/09/28(水)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	心臓機能(7)　心筋収縮特性、興奮収縮連関			
	担当者(所属)	稲井　慶			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
25.	2022/09/28(水)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	心臓機能(8)　弁・心膜			
	担当者(所属)	竹内　大二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(5)⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
26.	2022/10/04(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	心臓機能(9)　血栓、凝固			
	担当者(所属)	村崎　かがり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-4-4)①,D-1-1)⑧,D-5-4)-(2)③④⑥,F-2-8)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
27.	2022/10/04(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	心臓機能(10)　心臓リハビリテーション			
	担当者(所属)	上野　敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)③,D-5-4)-(2)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
28.	2022/10/04(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	心臓・脈管系の構造(5)　形態異常			
	担当者(所属)	森島　正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)⑤, D-5-1)⑤, D-5-4)-(6)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
29.	2022/10/04(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	循環系の発生(3)　異常			
	担当者(所属)	森島　正恵			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)⑤, D-5-1)⑤, D-5-4)-(6)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
30.	2022/10/11(火)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	病態(6) 慢性心不全			
	担当者(所属)	志賀 剛			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑤⑭,D-6-1)②⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
31.	2022/10/11(火)	6時限	講義	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	心臓機能(3) 心周期にともなう血行動態			
	担当者(所属)	志賀 剛			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑩⑪⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
32.	2022/10/14(金)	4時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	病理学的実習(2) 循環器系の病理			
	担当者(所属)	宇都 健太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(2)①⑤,D-5-4)-(4)①,D-5-4)-(5)①～⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
33.	2022/10/14(金)	5時限	実習	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	病理学的実習(2) 循環器系の病理			
	担当者(所属)	宇都 健太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(2)①⑤,D-5-4)-(4)①,D-5-4)-(5)①～⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
34.	2022/10/18(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	病理(1) 心臓			
	担当者(所属)	宇都 健太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(2)①⑤,D-5-4)-(4)①,D-5-4)-(5)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
35.	2022/10/18(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	病理(2) 血管			
	担当者(所属)	宇都 健太			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(7)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
36.	2022/10/28(金)	3時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	生化学的実習(1)			
	担当者(所属)	越野 一朗 田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)			

	題基準	(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2022/10/28(金)	4時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	生化学的実習(1)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3) (3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2022/10/28(金)	5時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	生化学的実習(1)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3) (3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2022/10/31(月)	3時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	生化学的実習(2)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3) (3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2022/10/31(月)	4時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	生化学的実習(2)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3) (3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2022/10/31(月)	5時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	生化学的実習(2)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3) (3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2022/11/29(火)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(1)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 尾崎　弘展 植田　禎史			

		緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2022/11/29(火)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(1)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 尾崎　弘展 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2022/11/29(火)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(1)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 尾崎　弘展 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2022/12/02(金)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(2)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2022/12/02(金)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(2)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2022/12/02(金)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(2)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史			

		緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2022/12/06(火)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(3)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2022/12/06(火)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(3)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2022/12/06(火)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(3)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2022/12/08(木)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(4)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2022/12/08(木)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(4)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子			

		植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2022/12/08(木)	5時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(4)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2022/12/13(火)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(5)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2022/12/13(火)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(5)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2022/12/13(火)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(5)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2022/12/15(木)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(6)　心筋細胞のイオンチャネル			

	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2022/12/15(木)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(6)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2022/12/15(木)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(6)　心筋細胞のイオンチャネル			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2023/01/13(金)	3時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(1)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2023/01/13(金)	4時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(1)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2023/01/13(金)	5時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(1)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久			

		村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2023/01/17(火)	3時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(2)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2023/01/17(火)	4時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(2)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2023/01/17(火)	5時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(2)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				65
66.	2023/01/24(火)	3時限	実習	PC室 2	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(3)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				66
67.	2023/01/24(火)	4時限	実習	PC室 2	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(3)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起			

		関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				67
68.	2023/01/24(火)	5時限	実習	PC室 2	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(3)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				68
69.	2023/02/03(金)	3時限	実習	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(4)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				69
70.	2023/02/03(金)	4時限	実習	PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(4)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				70
71.	2023/02/03(金)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(4)　臨床心電図			
	担当者(所属)	萩原　誠久 村崎　かがり 齋藤　聡 上野　敦子 市原　有起 関口　治樹 新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,G-3-2)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				71
72.	2023/02/07(火)	1時限	試験	ー	09:00-10:10
	タイトル	試験　循環器系1(10:00-11:30)　303講義室			
	担当者(所属)	萩原　誠久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				72

73.	2023/02/07(火)	2時限	試験	ー	10:25-11:35
	タイトル	試験　循環器系1(10:00-11:30)303講義室			
	担当者(所属)	萩原　誠久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				73
74.	2023/02/21(火)	3時限	追・再試験	ー	12:30-13:40
	タイトル	追再試験　循環器系1(13:00-14:30)301講義室			
	担当者(所属)	萩原　誠久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				74
75.	2023/02/21(火)	4時限	追・再試験	ー	13:55-15:05
	タイトル	追再試験　循環器系1(13:00-14:30)301講義室			
	担当者(所属)	萩原　誠久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				75

［循環器系1］

科目責任者：次期教授（循環器内科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．心臓・脈管	1．心臓・血管の構造と機能	1）心臓・大血管・冠血管・末梢血管 2）心臓の興奮を伝導 3）心周期と時相 4）心機能・心筋収縮性と弛緩性 5）心拍出量 6）血圧 7）循環血液量 8）冠循環 9）循環動態の調節・自律神経 10）容量血管と抵抗血管 11）末梢・微小循環・体液調節 12）静脈還流 13）運動時の循環 14）胎児循環
	2．心臓・血管・リンパ管の微細構造と機能	1）心臓 a）内膜（内皮細胞、弁） b）中膜（心筋細胞） c）外膜（臓側心膜、死亡組織、心臓の血管） d）刺激伝導系と特殊心筋 2）血管（内膜、中膜、外膜） a）弾性型動脈（有窓性男性板） b）筋型動脈（内・外弾性板） c）微小循環系（細動脈、毛細血管、細静脈、高内皮細静脈） d）中型・大型静脈（静脈弁） e）血管の血管、動静脈吻合 f）内皮細胞、周（皮）細胞と平滑筋 3）リンパ管 a）毛細リンパ管 b）集合リンパ管 c）リンパ本幹（胸管、静脈角）
Ⅱ．心臓・脈管の発生	1．器官形成	1）正常 2）異常
Ⅲ．病因・病態	1．遺伝性心血管疾患	1）多因子遺伝

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	2. 染色体・遺伝子異常	1）21 trisomy
		2）Marfan 症候群
	3. 代謝症候群	1）心筋梗塞
	4. 脂質代謝	1）動脈硬化
	5. 炎症	
	6. 虚血	1）ネクローシス・アポトーシス
		2）フリーラジカル
	7. 心肥大	
Ⅳ. 循環障害	1. 血行障害	1）阻血、虚血
		2）充血
		3）うっ血
		4）失血
	2. 梗塞	1）血栓
		2）塞栓
		3）スパスム
	3. リンパ流障害	
	4. ショック	
	5. 血圧異常	1）高血圧
		2）低血圧
		3）起立性低血圧
	6. 心不全	1）重症度
		2）病態生理
		3）神経体液動態
		4）右心不全・左心不全
	7. 不整脈	1）イオンチャネル
		2）心筋細胞の膜特性
		3）突然死
Ⅴ. 症候の基礎	1. チアノーゼ	1）中枢性チアノーゼ
		2）末梢性チアノーゼ
	2. 胸痛・呼吸苦	1）狭心症
		2）解離性大動脈瘤
		3）心不全
	3. 胸水	
	4. 心音異常	1）心音微弱
		2）過剰心音
		3）2 音分裂・亢進
	5. 心雑音	1）収縮期雑音
		2）拡張期雑音
		3）連続性雑音

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	6. 血管性雑音	1）頚動脈
	7. 不整脈	
	8. 脈の異常（触診）	1）速脈、遅脈
		2）大脈、小脈
		3）奇脈
		4）交互脈
	9. 血圧異常	1）高血圧
		2）低血圧
	10. 間欠跛行	
	11. 血液ガス異常	1）低酸素血症
		2）高二酸化炭素血症
		3）低二酸化酸素血症
Ⅵ. 検査	1. 心電図	1）心電計の特性
A. 生体機能検査		a）誘導法
		b）周波数特性
		c）ハムフィルター
		d）雑音と歪み
		e）電気的安全と管理
		2）波形診断
		a）右・左室（房）負荷
		b）右・左室肥大
		c）虚血性変化
		d）不整脈
		3）運動負荷心電図
		4）心腔内心電図
		a）His 束心電図
		b）心臓ペーシング検査
		5）Holter 心電図
		6）小児心電図の特徴
	2. 心音図、心機図	1）過剰心音　2）負荷心音図
		3）心尖拍動図　4）頚動脈波
		5）頚静脈波
Ⅶ. 治療		
A. 総論		
B. 基本的手技		
C. 生活指導と一般療法	1. 生活指導	
	2. 安静	
	3. 体位	
	4. 環境	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	5. 介護・ケア	
D. 食事・栄養指導	1. 総論	1）食生活と食事療法
	2. 心臓疾患と栄養	1）高脂血症
		2）高血圧症
E. リハビリテーション	1. 総論	1）リハビリテーションの考え方
		2）運動療法の意義
		3）社会復帰・参加の条件
	2. 心臓・血管疾患のリハビリテーション	1）心血管疾患
		2）開心術後

科目名	循環器系2
科目責任者(所属)	新浪　博

到達目標	「循環器系2：疾患と検査・治療」は膨大でありながら、しかし体系として整備されている。うっ血性心不全、あるいはショックなど病態生理の面から循環器系を閉鎖―巡回路として学び、ついで各論に入る。 先天性心疾患は、中隔欠損から複雑心奇形まで26 の病態を学ぶ。リウマチ性心疾患、感染性心内膜炎、これらによって引き起こされる弁膜症を学ぶ。虚血性心疾患の各論を学ぶ。不整脈についてその分類、病態について整理する。心膜疾患、心筋疾患、肺性心、腫瘍等についても重要な点を学ぶ。高血圧とその原因について学ぶ。動脈疾患について動脈硬化との関係、動脈瘤あるいは動脈炎の各タイプ閉塞性動脈疾患について概観する。静脈疾患、リンパ管疾患、心臓血管の外傷、各種疾患における循環器異常について解説する。心臓、脈管の手術についてその総論を学ぶ。各循環器疾患の各論にも分け入り、かつ循環器系の共通事項について認識を深くし、他の分野を理解するのに必須な循環器系の基盤づくりをする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	・人体の正常な構造と機能を説明できる。　Ⅰ-1-A-(1-2)-① ・人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。　Ⅰ-1-A-(1-2)-② ・人体の臓器･器官系の機能と構造、正常と異常を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-① ・疾患･症候の病態を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-① ・データを読み解釈できる。　Ⅰ-1-B-(1-2)-① ・安全に配慮して実習・研修を行える。　Ⅰ-1-C-(1-2)-②
学修(教育)方法	講義　実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	授業参加の態度・定期試験の結果を参考に、総合的に評価を行う。ただし全ての実習への参加とレポートの提出が定期試験への受験資格として必要である。
評価方法 (2)評価項目	1)心臓の構造と分布する血管・神経、冠動脈の特長とその分布域を説明できる。　D-5-1)-① 2)心筋細胞の電気現象と心臓の興奮(刺激)伝導系を説明できる。　D-5-1)-③ 3)興奮収縮連関を概説できる。　D-5-1)-④ 4)体循環、肺循環と胎児・胎盤循環を説明できる。　D-5-1)-⑤ 5)大動脈と主な分枝(頭頸部、上肢、胸部、腹部、下肢)を図示し、分布域を概説できる。　D-5-1)-⑥ 6)主な静脈を図示し、門脈系と上・下大静脈系を説明できる。　D-5-1)-⑦ 7)血圧調節の機序を説明できる。　D-5-1)-⑬ 8)胸部単純エックス線撮影写真、心電図の主な所見を説明できる。　D-5-2)-① 9)心臓超音波検査の主な所見を説明できる。　D-5-2)-② 10)運動負荷心電図、ホルター心電図を説明できる。　D-5-2)-③ 11)心臓シンチグラフィーを説明できる。　D-5-2)-④ 12)冠動脈造影、冠動脈コンピュータ断層撮影<CT>及び心臓磁気共鳴画像法<MRI>の主な所見を説明できる。　D-5-2)-⑤ 13)心カテーテル検査(心内圧、心機能、シャント率の測定)と結果の解釈を説明できる。　D-5-2)-⑥ 14)浮腫　D-5-3)-⑨ 15)呼吸困難　D-5-3)-⑪ 16)動悸　D-5-3)-⑬ 17)胸水　D-5-3)-⑭ 18)心不全の定義と原因、病態生理(収縮不全、拡張不全)を説明できる。　D-5-4)-(1)-① 19)左心不全と右心不全の徴候、病態、診断と治療を説明できる。　D-5-4)-(1)-②

	20)急性心不全と慢性心不全の診断と薬物療法、非薬物療法（心臓リハビリテーションを含む）を説明できる。	D-5-4)-(1)-③
	21)心不全診療における多職種連携（チーム医療）による疾病管理プログラムを概説できる。	D-5-4)-(1)-④
	22)高齢者における心不全の特徴を説明できる。	D-5-4)-(1)-⑤
	23)安定労作性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(2)-①
	24)冠攣縮性狭心症の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(2)-②
	25)急性冠症候群（不安定狭心症、非ST上昇型心筋梗塞及びST上昇型心筋梗塞）の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(2)-③
	26)主な徐脈性不整脈（洞不全症候群（sick sinus症候群）、房室ブロック）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。	D-5-4)-(3)-①
	27)主な上室性頻脈性不整脈（洞性頻脈、上室性期外収縮、心房細動、心房粗動、発作性上室性頻拍症）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。	D-5-4)-(3)-②
	28)主な心室性頻脈性不整脈（心室性期外収縮、心室頻拍、多源性心室頻拍（トルサード・ド・ポワント(torsades de pointes)、心室細動）の原因、症候、心電図の特徴、治療を説明できる。	D-5-4)-(3)-③
	29)不整脈の原因となる疾患や病態（電解質異常、QT延長症候群、薬剤、甲状腺機能亢進症、Wolff-Parkinson-White <WPW>症候群、Brugada症候群等）を説明できる。	D-5-4)-(3)-④
	30)不整脈の薬物療法、非薬物療法（カテーテルアブレーション、電気的除細動、ペースメーカー植え込み、植え込み型除細動器）を概説できる。	D-5-4)-(3)-⑤
	31)致死性不整脈の診断、初期対応、治療を説明できる。	D-5-4)-(3)-⑥
	32)主な弁膜症（僧帽弁疾患、大動脈弁疾患）の病因、病態生理、症候と診断を説明し、治療を説明できる。	D-5-4)-(4)-①
	33)心肥大の病態生理、リモデリング機序を説明できる。	D-5-4)-(5)-①
	34)特発性心筋症（肥大型心筋症、拡張型心筋症、拘束型心筋症）と二次性心筋疾患の定義・概念と病態生理を説明できる。	D-5-4)-(5)-②
	35)急性心筋炎の病態、症候、診断、治療症候を説明できる。	D-5-4)-(5)-③
	36)感染性心内膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(5)-④
	37)急性心膜炎、収縮性心膜炎の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(5)-⑤
	38)心タンポナーデの病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(5)-⑥
	39)主な心臓腫瘍（粘液腫など）の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(5)-⑦
	40)主な先天性心疾患（心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存、Fallot四徴症）の病態生理、症候と診断を説明し、治療を概説できる。	D-5-4)-(6)-①
	41)動脈硬化の危険因子、病態、非侵襲的検査法を説明できる。	D-5-4)-(7)-①
	42)急性大動脈解離の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(7)-②
	43)大動脈瘤（破裂）の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(7)-③
	44)閉塞性動脈硬化症とBuerger病の病態、症候、診断、治療を説明できる。	D-5-4)-(7)-④
	45)高安動脈炎（大動脈炎症候群）を概説できる。	D-5-4)-(7)-⑤
	46)本態性高血圧症の疫学、診断、合併症、予後、治療を説明できる。	D-5-4)-(9)-①
	47)各種降圧薬の作用機序、適応、禁忌、副作用を説明できる。	D-5-4)-(9)-③
	48)他疾患（脳血管疾患、心疾患、腎疾患、糖尿病）を合併する場合の血圧管理を説明できる。	D-5-4)-(9)-⑤
	49)粘液腫の定義と病態、症候、検査所見、画像所見、病理所見、診断、治療法を説明できる。	D-5-4)-(11)-①
	50)診断仮説を想起するためには、解剖学、病理学、生理学、生化学等の基礎医学や疾患頻度が重要であることを説明できる。	F-2-1)-③
	51)得られた情報の批判的吟味ができる。	F-2-2)-⑤
	52)生体機能検査（心電図、心臓機能検査、呼吸機能検査、超音波検査、内分泌・代謝機能検査、脳波検査、針筋電図検査、末梢神経伝導検査）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。	F-2-3)-⑫
	53)主な疾患、病態のエコー像を概説できる。	F-2-7)-③
	54)12誘導心電図を記録できる。	F-3-6)-2)-④
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上） A.良く理解している（80%以上90%未満）B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	

伝達事項	形成的評価は知識　技能　態度全般にわたって実習やTBLの際に随時行なうので学修の参考にしてください。
教科書・参考図書	

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『標準　外科学』	畠山勝義	医学書院 2016	
2.	『心臓病の病態生理』	川名正敏	メディカルサイエンスインターナショナル	

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/10/11(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	心臓血管外科治療総論			
	担当者(所属)	齋藤　聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/10/11(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	虚血性心疾患(1)			
	担当者(所属)	新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①,D-5-4)-(1)③,D-5-4)-(2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/10/11(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	薬物療法(1)　心臓作動薬			
	担当者(所属)	塚原　富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)①,D-5-1)③④,D-5-4)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/10/11(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	薬物療法(2)　血管系作動薬			
	担当者(所属)	塚原　富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑬,D-5 -4)-(2)①②,D-5-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/10/17(月)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	診断　小児			
	担当者(所属)	豊原　啓子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-2)⑥			

	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/10/17(月)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	臨床疫学			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-2)⑤,F-2-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/10/18(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	先天性心疾患(2)			
	担当者(所属)	稲井　慶			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4-6)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/10/19(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	検査(3) 心電図①			
	担当者(所属)	柳下　大悟			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,F-3-6)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/10/19(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	検査(4) 心電図②			
	担当者(所属)	柳下　大悟			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-2-3)⑫,F-3-6)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/10/19(水)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	心不全の外科治療			
	担当者(所属)	齋藤　聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/10/19(水)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	高血圧、高血圧性心疾患			
	担当者(所属)	志賀　剛			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(9)①③⑤,D-5-4)-(5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/10/25(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	先天性心疾患(1)			
	担当者(所属)	原田　元			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4－6)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/10/25(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40

	タイトル	虚血性心疾患(2)			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/10/25(火)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	虚血性心疾患(3)			
	担当者(所属)	山口　淳一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/10/25(火)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	検査(2)　心臓超音波①			
	担当者(所属)	島田　衣里子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/10/26(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	肺高血圧、肺性心、腫瘍、その他			
	担当者(所属)	西井　明子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(5)④⑦,D-5-4)-(11)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/10/27(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	治療総論、心不全の治療			
	担当者(所属)	松浦　勝久			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)①②③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/10/27(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	先天性心疾患の外科治療(1)			
	担当者(所属)	松村　剛毅			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(6)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/10/27(木)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	先天性心疾患の外科治療(2)			
	担当者(所属)	松村　剛毅			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/10/27(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	検査(1)　心カテーテル、心血管造影			
	担当者(所属)	竹内　大二			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-2)⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/11/01(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	大動脈瘤のステントグラフト治療			
	担当者(所属)	東　隆			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(7)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/11/01(火)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	弁膜疾患			
	担当者(所属)	村崎　かがり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)(4)①,D-5-3)⑨⑪⑬⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/11/01(火)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	検査(5)　胸部X線、CT、MRI、核医学			
	担当者(所属)	百瀬　満			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)①⑥,D-5-2)①④⑤,D-5-4)-(7)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/11/02(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	弁膜症の外科			
	担当者(所属)	齋藤　聡			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(1)①②,D-5-4)-(5)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/11/02(水)	3時限	講義	PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	不整脈(2)			
	担当者(所属)	庄田　守男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(3)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
26.	2022/11/02(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	不整脈(1)			
	担当者(所属)	庄田　守男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-4)-(3)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
27.	2022/11/04(金)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	大動脈、その他の脈管疾患			
	担当者(所属)	上部　一彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-1)⑥,D-5-4)-(7)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				27

28.	2022/11/08(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	心筋疾患			
	担当者(所属)	南　雄一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-2)②,D-5-4)-(5)④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/11/08(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	心膜疾患、心内膜疾患			
	担当者(所属)	南　雄一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-2)②,D-5-4)-(5)④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/11/08(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	検査(6)　心臓超音波②			
	担当者(所属)	芦原　京美			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-5-2)②,F-2-7)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2023/02/09(木)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	循環器系 2(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2023/02/09(木)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	循環器系 2(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2023/02/22(水)	1時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	循環器系 2(追・再試)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2023/02/22(水)	2時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	循環器系 2(追・再試)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	新浪　博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34

[循環器系 2]

科目責任者：新浪　博（心臓血管外科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．循環障害	1．うっ血性心不全	
	2．ショック	
Ⅱ．先天性心疾患	1．心房中隔欠損症	
	2．心室中隔欠損症	
	3．心内膜床欠損症（完全型・部分型）	
	4．単心房	
	5．単心室	
	6．動脈管開存症	
	7．Eisenmenger 症候群	
	8．肺動脈弁狭窄症	
	9．肺動脈閉鎖症	
	10．Fallot 症候群	1）Blalock－Taussing 短絡手術
	11．三尖弁閉鎖症	
	12．Ebstein 奇形	
	13．大動脈縮窄症	
	14．大動脈狭窄症	
	15．大動脈中隔欠損症	
	16．（完全）大血管転位症	
	17．修正大血管転位症	
	18．両大血管右室起始症（Taussing－Bing 症候群を含む）	
	19．総動脈幹症（遺残）	
	20．（全・部分）肺動脈還流異常症	
	21．左室低形成症候群	
	22．Valsalva 洞動脈瘤	
	23．冠動脈奇形	
	24．肺動静脈瘻	
	25．右胸心	
	26．無脾症候群、多脾症候群	
Ⅲ．リウマチ性心疾患	1．リウマチ熱	1）リウマチ性心炎

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅳ．感染性心内炎	1．自己弁の心内膜炎	1）Osler 結節
	2．人工弁の心内膜炎	
Ⅴ．弁膜症	1．僧帽弁狭窄症	
	2．僧帽弁閉鎖不全症	
	3．僧帽弁逸脱症候群	
	4．大動脈弁狭窄症	
	5．大動脈弁閉鎖不全症	
	6．三尖弁閉鎖不全症	
	7．肺動脈弁閉鎖不全症	
	8．連合弁膜症	
Ⅵ．虚血性心疾患	1．心筋梗塞症	1）再灌流療法
	2．狭心症	1）冠動脈形成術
	3．川崎病による冠動脈障害（小児急性熱性皮膚粘膜症候群）	
	4．無痛性虚血性心疾患	
Ⅶ．不整脈	1．心停止（突然死）	
	2．期外収縮	
	3．上室（性）頻拍	
	4．心室（性）頻拍	
	5．WPW 症候群	1）LGL 症候群
	6．心房粗・細動	
	7．心室粗・細動	1）QT 延長症候群
	8．洞不全症候群（sick sinus 症候群）	1）洞房ブロック　2）洞徐脈洞停止 3）徐脈頻脈症候群
	9．房室ブロック	
	10．脚ブロック	1）三枝ブロック 2）分枝ブロック 3）心室内伝導障害
Ⅷ．心膜疾患	1．急性心膜炎	
	2．収縮性心膜炎	
	3．心膜液貯留	
	4．心タンポナーデ	
Ⅸ．心筋疾患	1．心筋炎	
	2．拡張型心筋症	
	3．肥大型心筋症	1）肥大型閉塞性心筋症

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	4．拘束型心筋症	
	5．二次性心筋疾患	
Ⅹ．肺性心疾患	1．慢性肺性心	
	2．肺塞栓症	
	3．原発性肺高血圧症	
Ⅺ．心臓腫瘍	1．粘液腫	
	2．その他の腫瘍	
Ⅻ．血圧異常	1．本態性高血圧	
	2．腎性高血圧症（腎血管性高血圧症を含む）	
	3．内分泌性高血圧症	
	4．その他の二次性高血圧症	
	5．悪性高血圧症	
	6．低血圧症	
	7．起立性低血圧症	1）Shy－Drager 症候群
	8．起立性調節障害	
ⅩⅢ．動脈疾患	1．動脈硬化症	
	2．動脈硬化と脂質代謝	1）血管内皮細胞における脂質代謝 a）アラキドン酸カスケードとその調節 b）アラキドン酸代謝物質の作用 c）血小板活性化因子の作用 2）動脈硬化と脂質 a）コレステロール b）リポ蛋白質 c）リン脂質 d）エイコサノイド
	3．大動脈瘤（胸部・胸腹部・腹部）	
	4．解離性大動脈瘤	
	5．Annulo-aorticectasia（Marfan 症候群を含む）	
	6．大動脈炎症候群（高安病、脈なし病）	
	7．腹部大動脈分岐部閉塞症（Leriche 症候群）	
	8．動静脈瘻	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	9．動脈瘤（冠状動脈瘤を含む）	
	10．急性動脈閉塞（血栓・塞栓症）	
	11．Raynaud 病（症候群を含む）	
	12．閉塞性動脈硬化症	
	13．閉塞性血栓血管炎（Buerger 病）	
	14．その他の慢性動脈閉塞症	
XIV．静脈疾患	1．上大静脈症候群	
	2．血栓性静脈炎、静脈血栓症	
	3．（下肢）静脈瘤	
XV．リンパ管疾患	1．リンパ浮腫	
	2．リンパ管炎	
XVI．外傷	1．心臓外傷	
	2．大血管外傷	
	3．末梢血管外傷	
XVII．各種疾患における循環器異常	1．甲状腺中毒性心疾患	
	2．粘液水腫心	
	3．電解質異常	
	4．心臓神経症（神経循環無力症）	
	5．膠原病	
XVIII．検査		
A．生体機能検査	1．循環諸量測定法（心カテーテル検査を含む）	1）循環時間　2）静脈圧　3）循環血液量 4）短絡量　5）心内圧 6）動脈圧 a）大動脈圧　b）肺動脈圧 7）希釈法 a）色素　b）熱
	2．持続監視	1）心電図　2）血圧
B．放射線などによる検査	1．胸部エックス線単純撮影	
	2．造影検査	1）心臓　2）血管　3）リンパ管

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	3. 特殊検査	1）CT　a）単純　b）造影　c）ダイナミック
		2）DSA　3）MRI
	4. 核医学	1）心筋シンチグラフィ
		2）心筋梗塞シンチグラフィ
		3）心機能シンチグラフィ
		4）RI アンギオグラフィと血液プールシンチグラフィ
C. 超音波検査	1. 特徴と臨床的役割	1）種類
		a）B モード　b）M モード
XIX. 治療		
A. 薬物療法	1. 薬物動態	
	2. 薬効	
	3. 薬剤の選択と薬用量	1）処方
	4. 用法	1）舌下投与
	5. 副作用	
B. 輸液	1. 適応と一般的注意	
	2. 輸液剤の種類と用法	
C. 輸血	1. 適応と一般的注意	1）供血者に対する一般的検査
		2）採血と保存
	2. 成分輸血	1）血液製剤使用基準
		a）新鮮凍結血漿・アルブミン製剤
		b）赤血球濃厚液
	3. 副作用とその対策	1）自己血輸血
D. 呼吸療法	1. 人工呼吸	1）適応　2）補助呼吸
		3）間歇的陽圧呼吸
		4）持続的陽圧呼吸
		5）間歇的強制呼吸
	2. 人工呼吸器	
E. 救急治療・処置	1. 総論	
	2. 心肺蘇生	1）ショック　2）失神　3）呼吸困難
		4）胸痛　5）動悸　6）不整脈
F. 手術		
G. 手術患者の管理		
H. 人工臓器		1）人工血管　2）人工弁　3）人工心肺
		4）補助循環　5）心臓ペースメーカー

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
XX. 心臓の脈管の手術	1. 到達法	
	2. 開心術	
	3. 低体温法	
	4. 心筋保護法	
	5. 補助循環	1）対外循環　2）IABP　3）補助心臓
	6. 根治手術	
	7. 姑息手術	
	8. 術後管理	

科目名	呼吸器系1
科目責任者(所属)	多賀谷　悦子

到達目標	呼吸器疾患について学修するにあたり、その理解を円滑にするため講義と実習により呼吸器系の形態、機能と基本的病態像について学ぶ。呼吸器の正常構造では、気道や肺の構築に加え臓器発生や微細構造、胸郭系を含め学修し、呼吸器の機能や病的異常への総合的理解の基礎を形成する。呼吸器の機能は、酸素の取り込みや炭酸ガスの排出などのガス交換や非呼吸性の代謝機能を通して生体のホメオスターシス維持に重要な働きをしていることを理解する。 以上の呼吸器系の構造・機能の基礎的学修をふまえた上で、換気障害、循環障害、免疫異常、病理検査について概括的に学修し、呼吸器系Ⅱの個別的疾患を学ぶための基礎とする。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
	人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-②
	データを読み解釈できる。	Ⅰ-1-B-(1-2)-①
	実習に必要な技術を実践できる。	Ⅰ-1-C-(1-2)-①
	安全に配慮して実習・研修を行える。	Ⅰ-1-C-(1-2)-②
	現象・事例から学ぶべきことを発見できる。	Ⅰ-2-A-(1-2)-①
	問題解決のための情報収集ができる。	Ⅰ-3-A-(1-2)-①
	情報に即して適切な解決方法を導くことができる。	Ⅰ-3-B-(1-2)-①
	問題解決結果の妥当性を評価できる。	Ⅰ-3-C-(1-2)-①
	研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
	文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③
	簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-①
	自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
	現象の原因・機序を検索できる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-①
	実験・実習などで得られた結果を評価し予想との相違を明確にできる。	Ⅰ-5-A-(1-2)-②
	自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-①
	真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
	自分の考えの根拠を説明できる。	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
	共通の目標を設定できる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-①
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル	
評価方法 (1)総括的評価の対象	筆記試験を80%、実習点を20%で成績とする。筆記試験の出題内容は評価項目のリストに相当する。	
評価方法 (2)評価項目	気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。	D-6-1)①
	肺循環と体循環の違いを説明できる。	D-6-1)②
	縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。	D-6-1)③
	呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	D-6-1)④
	肺気量分画、換気、死腔(換気力学(胸腔内圧、肺コンプライアンス、抵抗、クロージングボリューム(closing volume)))を説明できる。	D-6-1)⑤
	肺胞におけるガス交換と血流の関係を説明できる。	D-6-1)⑥
	肺の換気と血流(換気血流比)が動脈血ガスにおよぼす影響(肺胞気-動脈血酸素分圧較差(alveolar-arterial oxygen difference <A-aDO2>))を説明できる。	D-6-1)⑦

呼吸中枢を介する呼吸調節の機序を説明できる。	D-6-1)⑧
血液による酸素 と二酸化炭素 の運搬の仕組みを説明できる。	D-6-1)⑨
気道と肺の防御機構（免疫学的・非免疫学的）と代謝機能を説明できる。	D-6-1)⑩
単純エックス線撮影、コンピュータ断層撮影<CT>、磁気共鳴画像法<MRI>、及び核医学検査（ポジトロン断層法(positron emission tomography <PET>)検査を含む）等の画像検査の意義を説明できる。	D-6-2)①
気管支内視鏡検査の意義を説明できる。	D-6-2)②
喀痰検査（喀痰細胞診、喀痰培養）の意義を説明できる。	D-6-2)③
喘鳴の発生機序と原因疾患を説明できる。	D-6-3)-(1)①
胸水	D-6-3)-(2)①
胸痛・胸部圧迫感	D-6-3)-(2)②
呼吸困難・息切れ	D-6-3)-(2)③
咳・痰	D-6-3)-(2)④
血痰・喀血	D-6-3)-(2)⑤
呼吸不全の定義、分類、病態生理と主な病因を説明できる。	D-6-4)-(1)①
低酸素血症と高二酸化炭素血症の病因、分類と診断を説明し、治療を概説できる。	D-6-4)-(1)②
急性上気道感染症（かぜ症候群）と扁桃炎の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(2)①
気管支炎・細気管支炎・肺炎（定型肺炎、非定型肺炎）の主な病原体を列挙し、症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(2)②
肺結核症と肺真菌症の症候、診断、治療と届出手続を説明できる。	D-6-4)-(2)③
非結核性（非定型）抗酸菌症を概説できる。	D-6-4)-(2)④
誤嚥性肺炎の発生機序とその予防法を説明できる。	D-6-4)-(2)⑤
クループ症候群と急性喉頭蓋炎の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(2)⑥
肺化膿症と膿胸を概説できる。	D-6-4)-(2)⑦
慢性閉塞性肺疾患(chronic obstructive pulmonary disease <COPD>)の病因を列挙できる。	D-6-4)-(3)①
慢性閉塞性肺疾患<COPD>の病因、診断、治療、呼吸器リハビリテーションを説明できる。	D-6-4)-(3)②
気管支喘息（小児喘息を含む）の病態生理、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(3)③
間質性肺炎（特発性、膠原病及び血管炎関連性）の病態、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(3)④
びまん性汎細気管支炎を概説できる。	D-6-4)-(3)⑤
放射線肺炎を概説できる。	D-6-4)-(3)⑥
じん肺症（珪肺(silicosis)、石綿肺(asbestosis)）を概説できる。	D-6-4)-(3)⑦
肺性心の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(4)①
急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome <ARDS>)の病因、症候と治療を説明できる。	D-6-4)-(4)②
肺血栓塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(4)③
肺高血圧症を概説できる。	D-6-4)-(4)④
過敏性肺炎の病因、症候と診断を説明できる。	D-6-4)-(5)①
サルコイドーシスの症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(5)②
好酸球性肺炎を概説できる。	D-6-4)-(5)③
薬剤性肺炎を概説できる。	D-6-4)-(5)④
過換気症候群を概説できる。	D-6-4)-(6)①
肺胞低換気症候群を概説できる。	D-6-4)-(6)③
気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(7)①
無気肺の病因と診断を説明できる。	D-6-4)-(7)②
新生児呼吸促迫症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(7)③

	肺リンパ脈管筋腫症を概説できる。	D-6-4)-(7)④
	肺胞タンパク症を概説できる。	D-6-4)-(7)⑤
	胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(8)①
	胸膜生検の適応を説明できる。	D-6-4)-(8)④
	肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。	D-6-4)-(9)①
	転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(9)②
	縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(9)③
	胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。	D-6-4)-(9)④

評価方法 (3)評価基準	評価項目についての筆記試験の点数と実習点を上記の総括的評価方法により100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	ー

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『Principles of Internal Medicine 16th.ed.』	Dennis L. Kasper	McGraw-Hill 2006	9780071802154
2.	『Pulmonary Diseases and Disorders 3rd.ed.』	Alfred P. Fishman	McGraw-Hill 2002	007911167X
3.	『Sabiston Textbook of Surgery 18th.ed.』	Courtney M. Townsend, Jr	Saunders 2005	9781416036753
4.	『Surgery of the Chest 8th.ed.』	Sellke, FW	Saunders 2007	9781416052258
5.	『Principles of Surgery 9th.ed.』	F. Charles Brunicardi	McGraw-Hill 2011	9780071606363
6.	『臨床呼吸器外科』	渡辺洋宇, 藤村重文, 加藤治文編集	医学書院 2003	4260122517
7.	『ハイツマン肺の診断 : X線所見と病理所見の相関』	ハイツマン著 ; 太田保世 [ほか] 訳	医学書院MYW 1995	4872670086
8.	『よくわかる酸塩基平衡』	北岡建樹著	永井書店 2007	9784815917777
9.	『臨床呼吸機能検査』	日本呼吸器学会肺生理専門委員会編集	メディカルレビュー社 2016	9784779216800
10.	『内科学』	矢崎義雄総編集	朝倉書店 2013	9784254322613
11.	『ハリソン内科学 1,2』	デニス L. カスパー [ほか] 編	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2013	9784895927345
12.	『胸部X線写真ベスト・テクニック』	齋田幸久著	医学書院 2013	9784260017688
13.	『全部見える呼吸器疾患:スーパービジュアル』	玉置淳監修	成美堂出版	9784415316833

				2013	
14.	『A Textbook of Medicine 22th.ed.』	Lee Goldman, Dennis Ausiello	Saunders 2003	072169652X	
15.	『呼吸器外科学』	藤井義敬編	南山堂 2009	9784525312145	
16.	『呼吸調節のしくみ』	川上義和編集	文光堂 1997	4830617136	
17.	『肺癌取扱い規約』	日本肺癌学会編	金原出版 2010	9784307202848	
18.	『EBMの手法による肺癌診療ガイドライン 2005年版』	日本肺癌学会	金原出版 2005	4307202163	
19.	『胸部X線写真の読み方』	大場覚著	中外医学社 2001	4498013336	
20.	『ウエスト呼吸生理学入門　正常肺編 第2版』	ジョン B ウエスト著；桑平一郎訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2017	978-4-89592-871-7	
21.	『ウエスト呼吸生理学入門　疾患肺編 第2版』	ジョン B ウエスト著；桑平一郎・堀江孝至訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2018	978-4-8157-0116-1	

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/08/29(月)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	呼吸器正常構造(1)　呼吸器の発生、構造①			
	担当者(所属)	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②,D-14-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/08/29(月)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	呼吸器正常構造(2)　呼吸器の発生、構造②			
	担当者(所属)	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②⑥⑨,C-2-4)④⑧,D-14-1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/06(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	呼吸器正常構造(3)　肺の微細構造①			
	担当者(所属)	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②,C-2-2)-(1)①②③⑤,D-14-1)③④			

	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/06(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	呼吸器正常構造(4)　肺の微細構造②			
	担当者(所属)	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②⑥⑨,C-2-2)-(1)①②③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/09(金)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	微細構造実習(2) 呼吸器系組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②⑥⑨,C-2-2)-(1)①②③⑤,C-2-4)④,D-14-1)③④⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
6.	2022/09/09(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	微細構造実習(2) 呼吸器系組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②⑥⑨,C-2-2)-(1)①②③⑤,C-2-4)④,D-14-1)③④⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
7.	2022/09/09(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	微細構造実習(2) 呼吸器系組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①②⑥⑨,C-2-2)-(1)①②③⑤,C-2-4)④,D-14-1)③④⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
8.	2022/09/12(月)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	呼吸器正常構造(5)　縦隔			
	担当者(所属)	辻　真世子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)③④⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
9.	2022/09/21(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	呼吸メカニズム(1)　呼吸運動と換気力学①			
	担当者(所属)	緑川　光春			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
10.	2022/09/21(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35

	タイトル	呼吸メカニズム（2） 呼吸運動と換気力学②			
	担当者（所属）	緑川　光春			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)④⑤⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
11.	2022/09/21(水)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	呼吸メカニズム（3） 肺におけるガス交換			
	担当者（所属）	片山　洋子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)②⑤⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
12.	2022/09/21(水)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	呼吸メカニズム（4） 血液によるガス運搬			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑥⑦⑧⑨,C-2-3)-(4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
13.	2022/09/27(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	病理（1） 肺の病理①			
	担当者（所属）	長嶋　洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(4)①②③④,D-6-4)-(5)①②③④,D-6-4)-(7)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
14.	2022/09/27(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	病理（2） 肺の病理②			
	担当者（所属）	長嶋　洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)①～⑦,D-6-4)-(3)①～⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
15.	2022/09/27(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	呼吸メカニズム（5） 呼吸と酸塩基平衡			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑥⑦⑨,D-8-3)-(2)①,C-2-3)-(4)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
16.	2022/09/27(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	呼吸メカニズム（6） 呼吸生理機能まとめ			
	担当者（所属）	宮田　麻理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1),D-8-3),C-2-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
17.	2022/09/27(火)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	非呼吸性肺機能			
	担当者（所属）	中村　史雄			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
18.	2022/09/29(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	病態と検査(1)呼吸器感染症			
	担当者(所属)	菊池　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-2)③,D-6-4)-(2)①②③④⑥⑦,E-2-2)②③④⑤,F-2-3)⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
19.	2022/09/29(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	腫瘍性肺疾患			
	担当者(所属)	中村　史雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
20.	2022/09/30(金)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	呼吸器疾患の主要兆候と身体所見			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3)-(1)①,D-6-3)-(2)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
21.	2022/09/30(金)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	病態と検査(2)　急性呼吸不全			
	担当者(所属)	桂　秀樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
22.	2022/09/30(金)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	病態と検査(3)　慢性呼吸不全			
	担当者(所属)	桂　秀樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
23.	2022/10/03(月)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	病態と検査(4)　気道、肺胞アレルギー			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(5)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
24.	2022/10/06(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	呼吸器正常構造(6)　画像診断①			
	担当者(所属)	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21

25.	2022/10/06(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	呼吸器正常構造(7)　画像診断②			
	担当者(所属)	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
26.	2022/10/07(金)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	病態と検査(5)　閉塞性、拘束性換気障害			
	担当者(所属)	桑平　一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)④⑤,D-6-4)-(3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
27.	2022/10/07(金)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	病態と検査(6)　不均等分布と拡散障害			
	担当者(所属)	桑平　一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1) ⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
28.	2022/10/13(木)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	病理(3)　肺の病理③			
	担当者(所属)	吉澤　佐恵子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①②③④,D-6-4)-(8)①④			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
29.	2022/10/13(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	病態と検査(7)　内視鏡			
	担当者(所属)	有村　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)①②③,A-2-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
30.	2022/10/18(火)	4時限	実習	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	病理学的実習(1)　呼吸器系の病理			
	担当者(所属)	長嶋　洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)②③,D-6-4)-(3)③④,D-6-4)-(7)①,D-6-4)-(9)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/10/18(火)	5時限	実習	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	病理学的実習(1)　呼吸器系の病理			
	担当者(所属)	長嶋　洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)②③,D-6-4)-(3)③④,D-6-4)-(7)①,D-6-4)-(9)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/11/29(火)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-13:40

	タイトル	生理学的実習(1)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/11/29(火)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(1)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2022/11/29(火)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(1)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2022/12/02(金)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(2)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2022/12/02(金)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(2)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			

	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2022/12/02(金)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(2)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2022/12/06(火)	3時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(3)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2022/12/06(火)	4時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(3)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2022/12/06(火)	5時限	実習	大実習室 2 大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(3)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2022/12/08(木)	3時限	実習	講義室 203 大実習室 2	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(4)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子			

		夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2022/12/08(木)	4時限	実習	講義室 203 大実習室 2	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(4)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2022/12/08(木)	5時限	実習	講義室 203 大実習室 2	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(4)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2022/12/13(火)	3時限	実習	講義室 203 大実習室 2	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(5)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2022/12/13(火)	4時限	実習	講義室 203 大実習室 2	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(5)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2022/12/13(火)	5時限	実習	講義室 203 大実習室 2	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(5)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			

	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				46
47.	2022/12/15(木)	3時限	実習	講義室 203 大実習室 2	12:30-13:40
	タイトル	生理学的実習(6)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2022/12/15(木)	4時限	実習	講義室 203 大実習室 2	13:55-15:05
	タイトル	生理学的実習(6)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2022/12/15(木)	5時限	実習	講義室 203 大実習室 2	15:15-16:25
	タイトル	生理学的実習(6)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換			
	担当者(所属)	宮田　麻理子 植田　禎史 緑川　光春 河村　寿子 金谷　萌子 片山　洋子 夏堀　晃世 丸山　拓真			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①～⑩,D-6-4)-(1)①②,D-6-4)-(3)①②,D-6-4)-(6)①③,D-8-3)-(2)①②,A-4-1)②,A-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2023/01/13(金)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(1)　スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子 八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				50
51.	2023/01/13(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(1)　スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子 八木　理充			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				51
52.	2023/01/13(金)	5時限	実習	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(1) スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				52
53.	2023/01/17(火)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(2) スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				53
54.	2023/01/17(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(2) スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				54
55.	2023/01/17(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(2) スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				55
56.	2023/01/24(火)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(3) スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				56
57.	2023/01/24(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(3) スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷 悦子 八木 理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				57
58.	2023/01/24(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(3) スパイロメトリー(臨床)			

	担当者(所属)	多賀谷　悦子 八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				58
59.	2023/02/03(金)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(4)　スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子 八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				59
60.	2023/02/03(金)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(4)　スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子 八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				60
61.	2023/02/03(金)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(4)　スパイロメトリー(臨床)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子 八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				61
62.	2023/02/08(水)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	呼吸器系 1(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				62
63.	2023/02/08(水)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	呼吸器系 1(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				63
64.	2023/02/22(水)	3時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	呼吸器系 1(追・再試)　13:00～14:30　303講義室			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				64
65.	2023/02/22(水)	4時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	呼吸器系 1(追・再試)　13:00～14:30　303講義室			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			

コアカリキュラム/S10国試出題基準		
講義資料番号/連番(LMS)		65

〔呼吸器系 1〕

科目責任者：多賀谷悦子（呼吸器内科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ.呼吸器正常構造	1. 呼吸器系の発生、肺	1）先天奇形との関わり 2）気管　3）気管支 4）肺動静脈　5）気管支動脈
	2. 呼吸器系の微細構造とその機能	1）鼻腔（呼吸器、嗅部）、副鼻腔 2）咽頭、喉頭（喉頭蓋） 3）気管、気管支（兼気管支、区域気管支、細気管支、終末細気管支）、肺小葉 4）呼吸部（呼吸細気管支、肺胞管、肺胞嚢、肺胞） a）肺胞上皮（Ⅰ型・Ⅱ型肺胞上皮） b）肺胞マクロファージ c）毛細血管網（血液―空気関門） 5）肺の機能血管と栄養血管 6）リンパ管系、縦隔リンパ節
	3. 胸郭と胸郭内臓器	1）胸郭　2）胸膜　3）縦隔　4）胸膜炎 5）胸腺　6）胸管　7）横隔膜 8）呼吸筋　9）乳房
	4. 画像	1）X 線　2）CT　3）MRI　4）核医学 5）超音波
Ⅱ.呼吸メカニズム	1. O_2 カスケード	1）大気からミトコンドリアまで
	2. メカニクス	1）呼吸運動と呼吸筋　2）肺気量 3）抵抗　4）コンプライアンス　5）仕事　6）胸腔内圧
	3. 肺胞におけるガス交換	1）肺胞動脈血酸素分圧較差 2）死腔　3）シャント　4）拡散 5）換気血流比不均等分布
	4. 肺循環	1）胎循環　2）肺動脈圧　3）肺楔入圧 4）混合静脈血　5）心拍出量
	5. 血液による酸素、二酸化炭素の運搬	1）酸素運搬能　2）二酸化炭素運搬能 3）運動負荷　4）無酸素作業閾値
	6. 呼吸と酸塩素平衡	1）血液の緩衝機能 2）呼吸性アルカローシス・アシドーシス 3）代謝性アルカローシス・アシドーシス 4）BE、アニオンギャップ 5）Significance band

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	7. 呼吸調節機能	1）呼吸様式の制御
		2）換気量の制御
		3）中枢性・末梢性調節
		4）化学的刺激と換気反応
Ⅲ.非呼吸性肺機能	1. 代謝機能	1）肺表面活性物質
		2）血管作動物質
	2. 防御機能	1）神経反射機構
		2）粘液線毛輸送
		3）体液性・細胞性免疫
Ⅳ. 病態と検査	1. 閉塞性換気障害	1）胸腔内・外
		2）固定性・可動性
	2. 拘束性換気障害	1）神経筋疾患
		2）胸郭脊椎異常
		3）胸膜肺疾患　4）気道抵抗
		5）スパイロメトリー
		6）肺気量
		7）フローボリュウム曲線
		8）メカニクス
		9）換気シンチグラム
	3. 不均等分布と拡散異常	1）メカニズムと関与因子
		2）ガス分析　3）DLco
		4）クロージングボリュウム
	4. 肺循環障害	1）低酸素性血管収縮
		2）心原性肺水腫
		3）透過性肺水腫
		4）肺高血圧症
		5）右心カテーテル法
		6）肺動脈造影
		7）肺血流シンチグラム
	5. 急性呼吸不全	1）急性呼吸切迫症候群
		2）換気不全
	6. 慢性呼吸不全	1）基礎疾患と成因
		2）CO_2 ナルコーシス
		3）肺性心
	7. 気道、肺胞とアレルギー	1）気管支喘息
		2）細気管支炎
		3）肺臓炎
		4）気道攣縮
		5）気道過敏性

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	8. 呼吸器疾患の主要徴候と理学所見	1）胸痛　2）息切れ　3）喘鳴 4）呼吸困難　5）咳　6）痰 7）血痰・喀痰　8）チアノーゼ 9）バチ状指　10）胸水
	9. 病理検査	1）喀痰細胞診 2）擦過細胞診 3）気管支鏡下肺生検 4）CT 下肺生検
	10. 呼吸器疾患の病理	1）閉塞性肺疾患 2）拘束性肺疾患 3）腫瘍 4）感染症 5）循環障害
	11. 呼吸器感染症	

科目名	呼吸器系2
科目責任者(所属)	神崎　正人

到達目標	「呼吸器系2」は、肺疾患を中心とした胸膜・胸壁・横隔膜より構成されている。肺疾患は、換気障害のみならず循環障害、血液疾患、感染症、神経・筋疾患、アレルギー・免疫疾患、内分泌疾患、悪性疾患など幅広い分野の知識を必要とする。疾患数も多く記憶すべき事柄も多い。ブロック1「人間生物学」、ブロック2「臨床総論」、「臨床診断総論」、「病因と病態」、「呼吸器系Ⅰ」で学んだ知識をもとに種々の疾患の病態生理を理解することが最も重要である。このためには講義のみならず自己学修にも充分な時間を必要とする。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の正常な構造と機能を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-①
	人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-②
	真摯に学びを励行できる。	Ⅱ-2-D-(1-2)-②
学修(教育)方法	講義・実習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	定期試験(筆記試験)の点数を科目の評価点とする。	
評価方法 (2)評価項目	1)気道の構造、肺葉・肺区域と肺門の構造を説明できる。	D-6-1)-①
	2)肺循環と体循環の違いを説明できる。	D-6-1)-②
	3)縦隔と胸膜腔の構造を説明できる。	D-6-1)-③
	4)呼吸筋と呼吸運動の機序を説明できる。	D-6-1)-④
	5)肺性心の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(4)①
	6)急性呼吸促(窮)迫症候群(acute respiratory distress syndrome <ARDS>)の病因、症候と治療を説明できる。	D-6-4)-(4)②
	7)肺血栓塞栓症の病因、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(4)③
	8)肺高血圧症を概説できる。	D-6-4)-(4)④
	9)気管支拡張症の症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(7)①
	10) 無気肺の病因と診断を説明できる。	D-6-4)-(7)②
	11) 新生児呼吸促迫症候群の症候、病態、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(7)③
	12) 肺リンパ脈管筋腫症を概説できる。	D-6-4)-(7)④
	13) 肺胞タンパク症を概説できる。	D-6-4)-(7)⑤
	14) 胸膜炎の病因、症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(8)①
	15) 気胸(自然気胸、緊張性気胸、外傷性気胸)の病因、症候、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(8)②
	16) 縦隔気腫の病因、症候と診断を説明できる。	D-6-4)-(8)③
	17) 胸膜生検の適応を説明できる。	D-6-4)-(8)④
	18) 肺癌の組織型、病期分類、病理所見、診断、治療を説明できる。	D-6-4)-(9)①
	19) 転移性肺腫瘍の診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(9)②
	20) 縦隔腫瘍の種類を列挙し、診断と治療を説明できる。	D-6-4)-(9)③
	21) 胸膜中皮腫の病因、診断、治療を概説できる。	D-6-4)-(9)④
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上)　A.良く理解している(80%以上90%未満)　B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)　D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	

伝達事項	–

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『Principles of Internal Medicine 16th.ed.』	Dennis L. Kasper	McGraw-Hill 2006	9780071802154
2.	『Pulmonary Diseases and Disorders 3rd.ed.』	Alfred P. Fishman	McGraw-Hill 2002	007911167X
3.	『Sabiston Textbook of Surgery 18th.ed.』	Courtney M. Townsend, Jr	Saunders 2005	9781416036753
4.	『Surgery of the Chest 8th.ed.』	Sellke, FW	Saunders 2007	9781416052258
5.	『Principles of Surgery 9th.ed.』	F. Charles Brunicardi	McGraw-Hill 2011	9780071606363
6.	『臨床呼吸器外科』	渡辺洋宇, 藤村重文, 加藤治文編集	医学書院 2003	4260122517
7.	『ハイツマン肺の診断 : X線所見と病理所見の相関』	ハイツマン著 ; 太田保世 [ほか] 訳	医学書院MYW 1995	4872670086
8.	『よくわかる酸塩基平衡』	北岡建樹著	永井書店 2007	9784815917777
9.	『臨床呼吸機能検査』	日本呼吸器学会肺生理専門委員会編集	メディカルレビュー社 2016	9784779216800
10.	『内科学』	矢崎義雄総編集	朝倉書店 2013	9784254322613
11.	『ハリソン内科学 1,2』	デニス L. カスパー [ほか] 編	メディカル・サイエンス・インターナショナル 2013	9784895927345
12.	『胸部X線写真ベスト・テクニック』	齋田幸久著	医学書院 2013	9784260017688
13.	『全部見える呼吸器疾患:スーパービジュアル』	玉置淳監修	成美堂出版 2013	9784415316833
14.	『A Textbook of Medicine 22th.ed.』	Lee Goldman, Dennis Ausiello	Saunders 2003	072169652X
15.	『呼吸器外科学』	藤井義敬編	南山堂 2009	9784525312145
16.	『呼吸調節のしくみ』	川上義和編集	文光堂 1997	4830617136
17.	『肺癌取扱い規約 8版』	日本肺癌学会編	金原出版 2017	9784307203661
18.	『EBMの手法による肺癌診療ガイドライン 2005年版』	日本肺癌学会	金原出版 2005	4307202163

	19.	『胸部X線写真の読み方』	大場覚著	中外医学社	4498013336
				2001	
	20.	『ウエスト呼吸生理学入門　正常肺編』	ジョン B ウエスト著；桑平一郎訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9784895926058
				2009	
	21.	『ウエスト呼吸生理学入門　疾患肺編』	ジョン B ウエスト著；桑平一郎訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	9784895926065
				2009	
	22.	『呼吸器外科テキスト』	日本呼吸器外科学会／呼吸器外科専門医合同委員会	南江堂	97848524258581
				2016	
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/07(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	拘束性肺疾患(1)			
	担当者(所属)	近藤　光子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/11/07(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	感染性肺疾患(1)			
	担当者(所属)	八木　理充			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/11/07(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	呼吸管理、人工呼吸			
	担当者(所属)	桑平　一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/11/07(月)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	呼吸中枢の異常			
	担当者(所属)	桑平　一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/11/07(月)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	タバコによる肺障害と禁煙指導			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-5)①,D-6-4)-(3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/11/08(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	感染性肺疾患(2)			
	担当者(所属)	小林　治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/11/08(火)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	感染性肺疾患(3)			
	担当者(所属)	小林　治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/09(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	感染性肺疾患(5)　呼吸器寄生虫			
	担当者(所属)	本間　一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-3-1)-(5)①②③④⑤,E-2-2)⑤,E-2-4)-(3)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/11/09(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	感染性肺疾患(6)　国際的動向			
	担当者(所属)	岩下　華子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-7-2)③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/11/09(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	アレルギー性気道・肺疾患(1)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(3)③,D-6-3)-(2)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/11/09(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	アレルギー性気道・肺疾患(2)			
	担当者(所属)	多賀谷　悦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(5)①③④,D-6-2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/11/10(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	肺腫瘍(3)			
	担当者(所属)	西内　正樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①,C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12

13.	2022/11/10(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	肺腫瘍(2)			
	担当者(所属)	有村　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①,C-4-6)①②③④⑤⑥,E-3-5)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/11/10(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	外傷・異物			
	担当者(所属)	松本　卓子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(8)①②③,D-6-4)(2)④⑤⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/11/10(木)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	先天性肺疾患			
	担当者(所属)	松本　卓子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)①③,D-6-3)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/11/11(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	横隔膜・胸壁疾患			
	担当者(所属)	井坂　珠子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(8)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/11/11(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	物理・化学的原因による肺障害			
	担当者(所属)	辻　真世子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(3)⑥,D-6-4)-(5)④,E-5-2)⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/11/11(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	肺腫瘍(5)			
	担当者(所属)	小山　邦広			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①②,C-4-6)①③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/11/11(金)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	肺循環障害			
	担当者(所属)	神崎　正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①,C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/11/14(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	肺腫瘍(1)			

	担当者(所属)	神崎　正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(4)①②③④,D-6-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/11/14(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	縦隔疾患(2)			
	担当者(所属)	青島　宏枝			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)③,D-6-4)-(8)③,D-6-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/11/14(月)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	胸膜疾患			
	担当者(所属)	小山　邦広			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(8)①②③④,D-6-4)-(9)④,D-6-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/11/14(月)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	肺腫瘍(4)			
	担当者(所属)	青島　宏枝			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①,C-4-6)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/11/14(月)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	肺癌ならびに縦隔腫瘍の放射線治療			
	担当者(所属)	栗林　茂彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(9)①②,D-6-4)-(3)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/11/15(火)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	閉塞性肺疾患(1)			
	担当者(所属)	桂　秀樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(3)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/11/15(火)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	閉塞性肺疾患(2)			
	担当者(所属)	桂　秀樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(3)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2022/11/15(火)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	拘束性肺疾患(2)			
	担当者(所属)	近藤　光子			
	コアカリキュラム/S10国試出	D-6-4)-(3)⑦,D-6-4)-(7)②⑤			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2022/11/15(火)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	全身疾患と肺病変			
	担当者(所属)	近藤　光子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(5)②,D-6-4)-(3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/11/15(火)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	感染性肺疾患(4)　嚢胞および拡張性気管支・肺疾患			
	担当者(所属)	松本　卓子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(7)(8)①②③,D-6-1)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/11/16(水)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	呼吸器異常構造、画像診断(1)			
	担当者(所属)	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3),D-6-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/11/16(水)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	呼吸器異常構造、画像診断(2)			
	担当者(所属)	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-3),D-6-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/11/17(木)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	縦隔疾患(1)			
	担当者(所属)	井坂　珠子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-1)③,D-6-4)-(8)③,D-6-4)-(9)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/11/17(木)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	睡眠時無呼吸症候群			
	担当者(所属)	山口　佳壽博			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-6-4)-(6)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2023/02/13(月)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	呼吸器系 2(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	神崎　正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				34

35.	2023/02/13(月)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	呼吸器系 2(試験) 10:00～11:30 303講義室			
	担当者(所属)	神崎 正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2023/02/24(金)	1時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	呼吸器系 2(追・再試) 10:00～11:30 301講義室			
	担当者(所属)	神崎 正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2023/02/24(金)	2時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	呼吸器系 2(追・再試) 10:00～11:30 301講義室			
	担当者(所属)	神崎 正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37

［呼吸器系 2］

科目責任者：神崎　正人（呼吸器外科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．先天性肺疾患	1．気管・気管支・肺の発育異常および形成不全	
	2．気管食道瘻	
	3．気管支嚢胞	
	4．肺分画症	
Ⅱ．感染性肺疾患	1．普通感冒（かぜ症候群）	
	2．クループ	
	3．急性気管支炎	
	4．インフルエンザ	
	5．ウイルス性肺炎	
	6．オウム病	
	7．マイコプラズマ肺炎	
	8．細菌性肺炎	
	9．肺真菌症	
	10．肺結核	
	11．非定型抗酸菌症	
	12．レジオネラ haienn	
	13．ニューモシスチス・リニ肺炎	
	14．肺寄生虫	
	15．肺化膿症（肺膿瘍）	
	16．免疫不全状態下の肺感染症（AIDS による肺病変を含む）	
	17．嚥下性肺炎	
	18．気管支拡張症	1）Kartagener 症候群
		2）Immotile cilia 症候群
	19．気管支嚢胞	
	20．気腫性嚢胞	1）ブラ　2）ブレブ
	21．巨大肺嚢胞症	1）Vanishing lung
Ⅲ．閉塞性肺疾患	1．慢性閉塞性肺疾患	
	2．慢性気管支炎	
	3．気管支喘息	
	4．肺気腫	
	5．閉塞性細気管支炎	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	6．びまん性汎細気管支炎	
	7．気管・気管支の狭窄閉塞	
Ⅳ．拘束性肺疾患	1．間質性肺炎および肺線維症	1）Hamman－Rich 症候群
	2．過敏性肺（臓）炎	
	3．塵肺	1）社会医学的事項
	4．石綿肺	
	5．有機塵肺	
	6．無気肺	
	7．中葉（舌区）症候群	
	8．肺胞蛋白症	
	9．肺胞微石症	
	10．リポイド肺炎	
Ⅴ．肺循環障害	1．肺血栓・肺梗塞症	
	2．肺水腫	
	3．肺高血圧症	
	4．肺動静脈瘻	
	5．肺性心	
	6．成人呼吸切迫症候群（ARDS）	
Ⅵ．呼吸不全	1．低酸素血症	
	2．高二酸化炭素血症	
Ⅶ．呼吸中枢の異常	1．低換気症候群	1）睡眠無呼吸症候群
		2）Pickwick 症候群
	2．過換気症候群	
Ⅷ．アレルギー性気道・肺疾患	1．アレルギー性鼻炎	
	2．枯草熱	
	3．アレルギー性気管支・肺アスペルギルス症	
	4．PIE(Pulmonary infiltrationwith eosinophilia)	1)好酸球性肺炎
Ⅸ．物理・化学的原因による肺障害	1．放射線肺（臓）炎	
	2．薬剤誘因性肺（臓）炎	
	3．パラコート肺	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	4．酸素中毒肺	
Ｘ．肺腫瘍	1．良性腫瘍	1）肺過誤腫
		2）硬化性肺胞上皮腫
	2．肺癌	1）扁平上皮癌
		2）腺癌
		3）小細胞癌
		4）大細胞癌
		5）腺扁平上皮癌
		6）カルチノイド
		7）腺様嚢胞癌
		8）粘表皮癌
	3．転移性肺腫瘍	
XI．全身疾患と肺病変	1．サルコイドーシス	
	2．膠原病性肺・胸膜病変	
	3．Wegener 肉芽腫症	
	4．Goodpasture 症候群	
	5．肺組織球症(Histiocy tosisx)	
	6．悪性リンパ腫・白血病	
	7．神経疾患による呼吸障害	
XII．胸膜疾患	1．胸膜炎	1）胸膜生検
	2．膿胸	
	3．血胸	
	4．乳糜胸	
	5．自然気胸	
	6．胸膜中皮腫	
	7．気胸・縦隔気腫	
XIII．縦隔疾患	1．急性縦隔炎	
	2．縦隔気腫・皮下気腫	
	3．縦隔腫瘍	
	4．　胸腺腫	
	5．　神経原性腫瘍	
	6．　奇形腫	
	7．迷入甲状腺腫	
XIV．横隔膜・胸壁疾患	1．横隔膜位置異常	1）食道裂孔ヘルニア
	2．横隔膜の損傷	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	3．横隔膜ヘルニア	
	4．横隔膜弛緩症	
	5．胸壁結核	
	6．胸郭の変形	1）ロート胸
		2）マルファン症候群
XV．外傷、異物	1．胸部外傷	
	2．肋骨、胸骨骨折	
	3．Flail chest	
	4．気胸	
	5．血胸	
	6．肺・気管支損傷	1）皮下気腫
		2）縦隔気腫
	7．気管・気管支異物	
XVI．呼吸器異常構造	1．画像診断	1）X 線　2）CT　3）MRI
		4）核医学　5）超音波　6)血管撮影
XⅦ．呼吸管理、人工呼吸	1．人工呼吸器	1）肺機能の補助・代行法
		a）低圧酸素療法
		b）高圧酸素療法
		c）胸郭外陰圧式人工呼吸器
		d）陽圧式人工呼吸器
		e）ECMO
		2）種類
		a）従圧式　b）従量式
		c）小児用　d）高頻度
		3）調節呼吸法
		4）補助呼吸法
		5）呼吸管理中のモニター
		6）人工呼吸の合併症
		7）人工呼吸器の安全管理
XⅧ．肺・胸壁・縦隔の手術術式	1．気管切開	
	2．胸腔ドレナージ	
	3．縦隔鏡	
	4．胸腔鏡下手術	
	5．開胸術	
	6．胸壁・胸膜の手術	
	7．縦隔の手術	
	8．肺・気管支の手術	1）気管支形成術
	9．術前術後管理	1）術後合併症

科目名	腎尿路系1
科目責任者(所属)	星野　純一

到達目標	生命を支える機能別単位として、セグメント4では循環器系、呼吸器系と腎尿路系について学修する。腎尿路系1では、まず正常な腎・尿路の解剖と生理を学修する。その上で病的状態における調節機構を知り、その程度や質を評価するための腎機能検査と診断方法、さらに様々な疾患における主要な症候と病態について学修する。腎尿路系では他の機能系以上に病理の知識が要求されるため、その各論を終了して腎尿路系2 に進み、その後に改めて腎生検として組織所見についての総括を行う。下部尿路機能、特に排尿機能については異常をきたすと上部尿路(腎)機能にも影響を及ぼす。排尿機能を評価する検査及び機能の評価方法を学ぶ。 腎・尿路系の形態変化を確認する画像および内視鏡検査の適応と検査手技について学修し、腎・尿路系の正常画像を理解することにより疾患鑑別診断の基本とする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる。　Ⅰ-1-A-(1-2)-② データを読み解釈できる。　Ⅰ-1-B-(1-2)-① 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。　Ⅰ-2-A-(1-2)-① 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。　Ⅰ-2-B-(1-2)-② 問題解決のための情報収集ができる。　Ⅰ-3-A-(1-2)-① 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。　Ⅰ-3-B-(1-2)-① 問題解決結果の妥当性を評価できる。　Ⅰ-3-C-(1-2)-① 自分の考えを他者に伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(1-2)-① 文書の要約を作成できる。　Ⅰ-4-B-(1-2)-③ 自己学修の結果を適切に伝えられる。　Ⅰ-4-C-(1-2)-③ 現象の原因・機序を検索できる。　Ⅰ-5-A-(1-2)-① 問題解決の適切性を評価できる。　Ⅰ-5-B-(1-2)-② 他者を尊重して対話ができる。　Ⅱ-1-A-(1-2)-② 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。　Ⅱ-4-B-(1-2)-③ 他者の話を聴くことができる。　Ⅱ-4-C-(1-2)-① 役割分担を確実に実践できる。　Ⅱ-4-C-(1-2)-③
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル
評価方法 (1)総括的評価の対象	評価は講義の出席や態度、実習の参加態度やレポートなどの提出物、定期試験結果を総合的に判断して行う。
評価方法 (2)評価項目	D-8-1) 2. 腎尿路系疾患における主要な症候と病態を理解し、説明できる。　D-8-1) 3. 腎尿路系疾患における調節機構を評価するための腎機能検査と診断方法を理解し、説明できる。　D-8-1) 4. 腎疾患の診断に最も重要な検査である腎生検についてその組織所見を理解し、説明できる。　D-8-2) 5. 下部尿路機能、特に排尿機能を評価する検査及び機能の評価方法を理解し、説明できる。　D-8-3) 6. 腎・尿路系の形態変化を確認する画像および内視鏡検査の適応と検査手技を理解し、説明できる。　D-8-2)
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	_

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『The Kidney 9th.ed.』	Barry M. Brenne	Saunders 2012	9781416061939
2.	『透析療法パーフェクトガイド』	飯田喜俊, 秋葉隆編	医歯薬出版 2014	9784263706275
3.	『General Urology 18th ed.』	Jack W. McAninch, Thomas F. Lue,Smith, Donald R.	McGraw-Hill 2013	9780071624978
4.	『Adult and Pediatric Urology 4th ed.』	Gillenwater, Jay Y	Lippincott Williams & Wilkins 2002	9780781732208
5.	『Operative urology : at the Cleveland Clinic』	Novick, Andrew C.	Williams & Wilkins 2006	9781617373459
6.	『The Kidney 5th. Ed. (physiology and pathophysiology)』	Seldin and Giebisch's	Academic Press 2012	9780123814623
7.	『Diseases of the Kidney and Urinary Tract (Deseases of the Kidney(schrier)) 9th ed.』	Thomas M. Coffman	Lippincott Williams & Wilkins 2012	9781451110753
8.	『Heptinstall's Pathology of the Kidney set 2(Pathology of the Kidney(geptinstall's)) 7th ed.』	Charles, J	Lippincott Williams & Wilkins 2015	9781451144116
9.	『内科学書』	小川 聡総編集	中山書店 2013	9784521737751
10.	『内科学』	矢崎義雄総編集 ; 赤司浩一 [ほか] 編集	朝倉書店 2017	9784254322712
11.	『新臨床内科学』	貫和敏博 [ほか] 編	医学書院 2009	9784260003056
12.	『腎生検病理アトラス 「腎生検病理診断標準化への指針」』	日本腎臓学会・腎病理診断標準化委員会, 日本腎病理協会編集	東京医学社 2010	9784885631986
13.	『図説腎臓病学』	東京女子医科大学第四内科	日本医事新報社 2005	4784950737
14.	『腎不全の臨床』	杉野信博著	医学書院 1995	4260108808
15.	『血液浄化療法』	秋葉隆, 峰島三千男編集	南江堂 2004	4524224068
16.	『Campbell-Walsh Urology 10th ed.』	Wein, AJ	Saunders 2012	9781416069119
17.	『標準泌尿器科学』	並木幹夫, 堀江重郎編集 ; 本間之夫 [ほか] 執筆	医学書院 2014	9784260018708
18.	『腎癌のすべて 第2版』	田邉一成編集	メジカルビュー社	9784758312608

				2014	
	19.	『小児急性血液浄化療法マニュアル』	服部元史, 金子岩和編集	医学図書出版 2002	4871513157
	20.	『子どもの腎臓病 101の質問』	伊藤克己 [ほか] 編集	東京医学社 2004	4885631459
	21.	『ベッドサイド泌尿器科学　改訂第4版』	小川修 [ほか] 編	南江堂 2013	9784524250370
	22.	『小児泌尿器疾患診療ガイドブック : 泌尿器科医,小児外科医,小児科医も使える』	島田憲次編集	診断と治療社 2015	9784787821485
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/06(火)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	腎・尿路系の局所解剖（1）			
	担当者（所属）	小針　悠希			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/06(火)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	腎・尿路系の局所解剖（2）			
	担当者（所属）	小針　悠希			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/06(火)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	腎・尿路系の局所解剖（3）			
	担当者（所属）	小針　悠希			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/08(木)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	腎・尿路系ガイダンス　腎疾患の基礎と臨床 （腎症候群）			
	担当者（所属）	星野　純一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②③,A-2-1)①②③,A-2-2)②,B-3-1)③,C-4-3)⑥,F-1-29)①②③,G-2-4),G-2-11),G-2-29)			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/08(木)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	腎・尿路系の解剖（1）　腎・尿路系の正常構造			

	担当者(所属)	近藤　恒徳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②③,D-9-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/13(火)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	腎・尿路系の解剖(2)　腎・尿路の微細構造①			
	担当者(所属)	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②③④⑤⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/13(火)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	腎・尿路系の解剖(3)　腎・尿路の微細構造②			
	担当者(所属)	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②③④⑤⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/09/13(火)	3時限	実習	ー	12:30-13:40
	タイトル	微細構造(3) 腎尿路系			
	担当者(所属)	松下　晋 浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 北原　秀治 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(6)①②③④⑤,D-8-4)-(3)①,D-8-4)-(9)①,D-8-4)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
9.	2022/09/13(火)	4時限	実習	ー	13:55-15:05
	タイトル	微細構造(3) 腎尿路系			
	担当者(所属)	松下　晋 浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 北原　秀治 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
10.	2022/09/13(火)	5時限	実習	ー	15:15-16:25
	タイトル	微細構造(3) 腎尿路系			
	担当者(所属)	松下　晋 浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 北原　秀治 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
11.	2022/10/04(火)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	腎・尿路系の生理(1)　正常糸球体の機能			

	担当者(所属)	星野　純一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)①②③④⑤,D-8-4)-(6)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
12.	2022/10/05(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	腎・尿路系の生理(2)　尿細管における物質の輸送			
	担当者(所属)	塚原　富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)⑤⑦,D-8-4)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
13.	2022/10/05(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	主要症候と病態生理(1)　細胞外液の調節(体液量と 水電解質、浮腫)			
	担当者(所属)	亀井　大悟			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)①,D-8-3)-(1)①②③④,D-8-3)-(3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
14.	2022/10/05(水)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	診断と検査(2)　腎機能検査			
	担当者(所属)	森山　能仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②③④⑤,D-8-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
15.	2022/10/05(水)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	診断と検査(1)　検体検査(免疫学的検査など)・ 腎生検(適応・検査法)			
	担当者(所属)	中谷　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
16.	2022/10/12(水)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	主要症候と病態(2)　泌尿器科症候論			
	担当者(所属)	吉田　一彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)⑧、D-8-2)①④,D-8-3)(1)①②③,D-8-3)(3)①②③④,D-8-4)(1)①②,F-1-28)①②③,F-1-29)①②③,G-2-28),G-2-29)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
17.	2022/10/12(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	診断と検査(3)　腎・尿路の画像診断(検査方法と正常像:上部尿路)			
	担当者(所属)	吉田　一彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
18.	2022/10/12(水)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	診断と検査(4)　腎・尿路の画像診断(検査方法と正常像:下部尿路)			
	担当者(所属)	高木　敏男			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
19.	2022/10/12(水)	4時限	講義	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	主要症候と病態生理(3) 腎における酸塩基平衡			
	担当者(所属)	花房 規男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
20.	2022/10/13(木)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	主要症候と病態(4) 排尿機能			
	担当者(所属)	巴 ひかる			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-4-1)⑤,D-8-1)⑧,D-8-2)④,D-8-3)-(3)④,D-9-3)-(2)④,D-9-3)-(4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
21.	2022/10/14(金)	3時限	講義	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	主要症候と病態生理(2) 腎の排泄機能と内分泌機能			
	担当者(所属)	秋山 健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)④⑤⑥⑦,D-8-3)-(1)①②,D-8-3)-(2)①,D-8-3)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
22.	2022/10/17(月)	5時限	講義	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	特別講義 腎疾患の病態に関する最近の進歩			
	担当者(所属)	星野 純一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(6)①②③④⑤,D-8-4)-(3)①,D-8-4)-(9)①,D-8-4)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
23.	2022/10/17(月)	6時限	講義	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	主要症候と病態(3) 糸球体疾患			
	担当者(所属)	森山 能仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)①②③④⑤,D-8-4)-(6)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
24.	2022/10/18(火)	6時限	講義	講義室 301	16:35-17:45
	タイトル	主要症候と病態(1) 尿細管疾患			
	担当者(所属)	土谷 健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
25.	2022/10/26(水)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	腎病理(3) 各論②			
	担当者(所属)	種田 積子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(6)①②③④⑤,D-8-4)-(3)①,D-8-4)-(9)①,D-8-4)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				22

26.	2022/10/26(水)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	腎病理(1) 総論			
	担当者(所属)	種田 積子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
27.	2022/10/26(水)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	腎病理(2) 各論①			
	担当者(所属)	種田 積子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
28.	2022/10/28(金)	3時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	生化学的実習(1)			
	担当者(所属)	越野 一朗 田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/10/28(金)	4時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05
	タイトル	生化学的実習(1)			
	担当者(所属)	越野 一朗 田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/10/28(金)	5時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	生化学的実習(1)			
	担当者(所属)	越野 一朗 田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/10/31(月)	3時限	実習	大実習室 1	12:30-13:40
	タイトル	生化学的実習(2)			
	担当者(所属)	越野 一朗 田中 正太郎 新敷 信人 中村 史雄 瀧澤 光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/10/31(月)	4時限	実習	大実習室 1	13:55-15:05

	タイトル	生化学的実習(2)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/10/31(月)	5時限	実習	大実習室 1	15:15-16:25
	タイトル	生化学的実習(2)			
	担当者(所属)	越野　一朗 田中　正太郎 新敷　信人 中村　史雄 瀧澤　光太郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①③,A-2-2)②,A-8-1)②,G-3-1)⑤,C-4-4)②,G-3-2)①,D-5-4)-(2)①②③⑤,D-8-1)④,D-8-2)②,D-8-3)(3)④,D-8-4)-(1)①②③,F-2-1)③④⑤,F-2-3)②③⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2022/11/01(火)	1時限	実習	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	病理学的実習(3)　腎尿路系の病理			
	担当者(所属)	種田　積子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)①②③④,D-8-4)-(3)①,D-8-4)-(9)①,D-8-4)-(6)①②③⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2023/01/13(金)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(1)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2023/01/13(金)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(1)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2023/01/13(金)	5時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(1)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗			

		秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2023/01/17(火)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(2)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2023/01/17(火)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(2)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2023/01/17(火)	5時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(2)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2023/01/24(火)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(3)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2023/01/24(火)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(3)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴			

		森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2023/01/24(火)	5時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(3)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2023/02/03(金)	3時限	実習	大実習室 3	12:30-13:40
	タイトル	臨床実習(4)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				44
45.	2023/02/03(金)	4時限	実習	大実習室 3	13:55-15:05
	タイトル	臨床実習(4)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				45
46.	2023/02/03(金)	5時限	実習	大実習室 3	15:15-16:25
	タイトル	臨床実習(4)　尿沈渣			
	担当者(所属)	横山　貴 森山　能仁 高木　敏男 佐藤　啓太郎 唐澤　一徳 石井　瑠美 海老沼　晶紗 秋久　太良 秋山　健一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				46

47.	2023/02/14(火)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	腎尿路系　1(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				47
48.	2023/02/14(火)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	腎尿路系　1(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				48
49.	2023/02/24(金)	3時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	腎尿路系　1(追・再試)　13:00～14:30　301講義室			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				49
50.	2023/02/24(金)	4時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	腎尿路系　1(追・再試)　13:00～14:30　301講義室			
	担当者(所属)	未定			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				50

[腎尿路系 1]

科目責任者：星野　純一（内科学（腎臓内科学））

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．腎尿路系の形態と機能	1．腎・尿路の発生	1）腎の発生と分化
		2）尿管の発生
		3）膀胱の発生
	2．腎・尿路の構造	
	a．局所解剖	1）腎（糸球体、尿細管、間質、血管系）の構造
		2）腎盂・尿管の構造
		3）膀胱、尿道の構造
	b．機能的解剖	1）尿の生成（濾過、再吸収、分泌）とネフロン
		2）尿の運搬と尿路
		3）排尿
		4）腎血管系と血圧調整
	c．微細構造	1）腎臓皮質
		a）ネフロン（腎小体：糸球体+ボーマン嚢、近位尿細管、ヘンレのループ、遠位尿細管）
		b）導管部（集合管、乳頭管、腎杯、腎盂）
		c）糸球体傍装置とホルモン
		2）尿管（内膜、中膜、外膜）
		3）膀胱（移行上皮、排尿筋、括約筋）
		4）尿道（性差）
	3．腎臓の機能	1）腎循環の調節
		2）細胞外液の調節
		a）体液の量と組成
		b）水･電解質の代謝（ホメオスターシス）
		3）酸塩基平衡
		4）尿の生成
		5）腎の内分泌機能
	4．腎盂、尿管の機能	
	5．膀胱、尿道の機能	1）蓄尿　2）排尿　3）逆流防止
Ⅱ．主要症候と病態生理		
A．症候	1．無尿、乏尿	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	2. 多尿	
	3. 尿性状の異常	1）蛋白尿　2）血尿　3）膿尿 4）細菌尿　5）乳糜尿　6）塩類尿
	4. 水・電解質の異常 a. 浮腫 b. 脱水	
	5. 酸塩基平衡の異常	
	6. 高血圧	
	7. 貧血	
	8. 尿毒症	
	9. 排尿障害	1）排尿痛　2）頻尿　3）排尿困難 4）尿閉、残尿　5）尿失禁、遺尿 6）尿線の異常　7）二段排尿
	10. 疼痛	1）自発痛、疝痛　2）圧痛 3）運動痛　4）牽引痛　5）関連痛 6）腹痛、下腹痛、背部痛、腰痛
	11. 自律神経障害	1）膀胱障害
B. 全身疾患と腎障害	1. 糖尿病性腎症	
	2. 高尿酸血性腎症	
	3. 膠原病の腎障害 a. ループス腎炎 b. 強皮症腎 c. 多発性動脈炎 d. 関節リウマチ e. Wegener 肉外腫症 f. Sjogren 症候群 g. Goodpasture 症候群 h. Behcet 症候群	
	4. 紫斑病性腎炎	
	5. アミロイド腎症	
	6. 骨髄腫腎	
	7. 溶血性尿毒症性症候群	
	8. 血液疾患と腎障害	
	9. 肝疾患と腎障害	
	10. 感染症に伴う腎障害	
	11. 悪性腫瘍に伴う腎障害	
	12. 電解質異常に伴う腎障害	
C. 妊娠と腎機能	1. 正常妊娠時の腎機能	
	2. 妊娠合併症（妊娠中毒症、尿路感染症、急性腎不全を含む）	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	3．腎疾患と妊娠	
D．医原性腎障害	1．診断に伴う医原性腎障害	
	2．治療に伴う医原性腎障害	
Ⅲ．診断・検査		
A．診察	1．一般診察	1）問診　2）全身診察
	2．腎・尿路の診察（腹部、背部、骨盤内諸臓器）	1）視診　2）触診（腎、腫瘤） 3）打聴診（血管雑音） 4）知覚過敏帯　5）筋性防御 6）放散痛　7）叩打痛　8）圧痛点
	3．男性性器の診察	1）陰嚢透照法 2）前立腺の触診（直腸指診）
B．検体検査	1．尿検査	1）採尿法、導尿法 2）一般定性検査（pH、尿蛋白、尿糖、尿潜血ほか） 3）尿生化学検査 4）尿沈渣鏡検 5）細菌検査（尿塗沫染色、尿定量培養） 6）尿細胞診
	2．血液生化学検査	1）尿素窒素 2）クレアチニン 3）尿酸 4）総蛋白、蛋白分画 5）コレステロール、脂質 6）電解質（Na, K, Cl, Ca, P, HCO_3） 7）凝固・線溶系
	3．免疫学的検査	1）血清 ASO 値 2）血清免疫グロブリン 3）血清補体価 4）抗核抗体 5）免疫複合体 6）腫瘍マーカー（AFP, CEA, hCG, PSA, PAP） 7）組織適合性検査
	4．微生物学的検査	1）細菌検査（塗沫、培養・同定、薬剤感受性試験） 2）結核・抗酸菌検査 3）梅毒トレポネーマ 4）クラミジア
	5．病理組織検査	1）標本（光顕、電顕） 2）染色法（H-E、PAS、蛍光抗体法ほか）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		3）細胞診
		4）生検法（腎、膀胱）
		5）染色体検査
C．腎機能検査	1．糸球体濾過値（GFR）	1）クレアチニンクリアランス（Ccr）
		2）イヌリンクリアランス（Cin）
		3）推定糸球体濾過値（eGFR）
	2．腎血漿流量（RPF）	1）パラアミノ馬尿酸（PAH）
		クリアランス（CPAH）
	3．尿細管機能	1）尿 β 2MG　2）尿 NAG
	4．酸・塩基平衡試験	1）動脈血ガス分析
		2）尿酸性化能
		3）酸排泄量
		4）負荷試験（酸・アルカリ）
	5．インジゴカルミン排泄試験	
	6．内分泌機能検査	1）下垂体ホルモン
		a）抗利尿ホルモン（ADH）
		2）副腎皮質ホルモン
		a）アルドステロン
		3）腎ホルモン
		a）血漿レニン活性（PRA）
		b）プロスタグランデイン
		c）エリスロポエチン
		4）副甲状腺ホルモン（PTH）
D．泌尿器科的検査	1．内視鏡検査	1）適応　2）種類　3）方法
	a．尿道鏡	4）合併症
	b．膀胱鏡	5）尿管カテーテル法
	c．腎盂・尿管鏡	6）生検
	d．腹腔鏡	
	2．排尿機能検査	1）膀胱内圧検査
		2）尿流量検査
		3）尿道内圧検査
		4）括約筋筋電図
E．画像診断	1．腹部単純撮影（KUB）	
	2．腎盂造影	1）適応と方法　2）種類
	a．排泄性腎盂造影	3）造影剤　4）合併症
	b．逆行性腎盂造影	5）正常画像と解剖
	c．順行性腎盂造影	
	3．膀胱尿道造影	1）適応と方法　2）種類
	a．排尿時膀胱尿道撮影	3）合併症
	4．腎血管造影	1）適応と方法　2）造影剤
		3）合併症　4）正常画像

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	5. 核医学検査	1）適応　2）撮影法
	a. 腎静態シンチグラフィ	3）放射線医薬品
	b. 腎動態シンチグラフィ	
	6. 超音波検査	1）原理と検査技術
		2）方法（腹部、膀胱、陰嚢、前立腺）
		3）ドップラー法
	7. CT 検査	1）適応と原理
		2）単純、造影検査
		3）ダイナミック CT
		4）正常画像と解剖
	8. MRI 検査	1）適応と原理
		2）T1, T2 強調画像
		3）造影剤
		4）正常画像と解剖

科目名	腎尿路系2
科目責任者(所属)	高木　敏男

到達目標	人の内部環境（体液）の恒常性（ホメオスターシス）を維持することはその生命維持のもっとも基本となるものであり、その主たる担い手は腎尿路系である。腎尿路系1 においてその構造、機能およびその異常について基本的な事柄を学んできた。腎尿路系2 においてはこれらの腎尿路系に生じるさまざまな疾患や異常について病態生理をはじめ診断、治療、予防法など具体的臨床的事項について主として学修することになる。極めて重要かつ豊富な学修内容を含んでいるので、学生諸君の十分な自己学修が要求される。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	・人体の正常な構造と機能を説明できる　Ⅰ-1-A-(1-2)① ・実習に必要な技術を実践できる　Ⅰ-1-C-(1-2)① ・安全に配慮して実習・研修を行える　Ⅰ-1-C-(1-2)② ・研修・実習の報告書が作成できる　Ⅰ-4-B-(1-2)② ・真摯に学び励行できる　Ⅱ-2-D-(1-2)② ・自分の考えの根拠を説明できる　Ⅱ-4-A-(1-2)① ・意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる　Ⅱ-4-B-(1-2)③
学修（教育）方法	講義・実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	試験での知識定着の評価に合わせ実習態度、実習レポートの内容を検討し総合的に評価する
評価方法 (2)評価項目	1）腎・尿路系の解剖と生理機能について理解し説明できる　D-8-1)② 2）腎・尿路系に特徴的な臨床検査の意義とその方法について説明できる　D-8-2)① 3）尿沈渣検査を実際に行い尿検査の臨床的意義、結果から推測する疾患について学ぶ　D-8-3)-(3)③ 4）腎・尿路系に特有な臨床症状や症候について説明できる　D-8-3) 5）腎・尿路系疾患についてその症候、診断方法、病期分類、鑑別診断などについて理解し説明できる　D-8-4)(9)①②
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している（90%以上） A.良く理解している（80%以上90%未満）B.平均的に理解している（70%以上80%未満）C.最低限は理解している（60%以上70%未満）D.理解が不十分である（60%未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	形式的評価（最終成績には使用しないが、学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識、技能、態度全般にわたって実習（レポートを含む）の際に随時行うので学修のヒントにしていただきたい

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『The Kidney 9th.ed.』	Barry M. Brenne	Saunders 2012	9781416061939
2.	『透析療法パーフェクトガイド』	飯田喜俊, 秋葉隆編	医歯薬出版 2014	9784263706275
3.	『General Urology 18th ed.』	Jack W. McAninch, Thomas F. Lue,Smith, Donald R.	McGraw-Hill 2013	9780071624978
4.	『Adult and Pediatric Urology　4th ed.』	Gillenwater, Jay Y	Lippincott Williams & Wilkins	9780781732208

				2002	
	5.	『Operative urology : at the Cleveland Clinic』	Novick, Andrew C.	Williams & Wilkins 2006	9781617373459
	6.	『The Kidney　5th. Ed. (physiology and pathophysiology)』	Seldin and Giebisch's	Academic Press 2012	9780123814623
	7.	『Diseases of the Kidney and Urinary Tract (Deseases of the Kidney(schrier)) 9th ed.』	Thomas M. Coffman	Lippincott Williams & Wilkins 2012	9781451110753
	8.	『Heptinstall's Pathology of the Kidney　set 2(Pathology of the Kidney(geptinstall's)) 7th ed.』	Charles, J	Lippincott Williams & Wilkins 2015	9781451144116
	9.	『内科学書』	小川　聡総編集	中山書店 2013	9784521737751
	10.	『内科学』	矢崎義雄総編集 ; 赤司浩一 [ほか] 編集	朝倉書店 2017	9784254322712
	11.	『新臨床内科学』	貫和敏博 [ほか] 編	医学書院 2009	9784260003056
	12.	『腎生検病理アトラス 「腎生検病理診断標準化への指針」』	日本腎臓学会・腎病理診断標準化委員会, 日本腎病理協会編集	東京医学社 2010	9784885631986
	13.	『図説腎臓病学』	東京女子医科大学第四内科	日本医事新報社 2005	4784950737
	14.	『腎不全の臨床』	杉野信博著	医学書院 1995	4260108808
	15.	『血液浄化療法』	秋葉隆, 峰島三千男編集	南江堂 2004	4524224068
	16.	『Campbell-Walsh Urology　10th ed.』	Wein, AJ	Saunders 2012	9781416069119
	17.	『標準泌尿器科学』	並木幹夫, 堀江重郎編集 ; 本間之夫 [ほか] 執筆	医学書院 2014	9784260018708
	18.	『腎癌のすべて 第2版』	田邉一成編集	メジカルビュー社 2014	9784758312608
	19.	『小児急性血液浄化療法マニュアル』	服部元史, 金子岩和編集	医学図書出版 2002	4871513157
	20.	『子どもの腎臓病 101の質問』	伊藤克己 [ほか] 編集	東京医学社 2004	4885631459
	21.	『ベッドサイド泌尿器科学　改訂第4版』	小川修 [ほか] 編	南江堂 2013	9784524250370
	22.	『小児泌尿器疾患診療ガイドブック : 泌尿器科医,小児外科医,小児科医も使える』	島田憲次編集	診断と治療社 2015	9784787821485
添付ファイル					

※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/17(木)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	2次性高血圧症　腎血管性			
	担当者(所属)	神澤　太一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)(3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/11/17(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	腎・泌尿器疾患(1)　嚢胞性腎疾患			
	担当者(所属)	吉田　一彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(7)①,D-8-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/11/18(金)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	画像診断(1)腎・泌尿器疾患　上部尿路			
	担当者(所属)	町田　治彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/11/18(金)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	画像診断(2)腎・泌尿器疾患　下部尿路			
	担当者(所属)	町田　治彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/11/18(金)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	腎・泌尿器疾患(4)　尿路結石症			
	担当者(所属)	八木澤　隆史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(8)①,D-8-1)②,D-8-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/11/21(月)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	血圧と腎疾患、良性腎硬化症、悪性腎硬化症			
	担当者(所属)	小川　哲也			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/11/21(月)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	膀胱機能障害(OABなど)			

	担当者(所属)	濵﨑　和代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(8)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/21(月)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	腎疾患の治療(1)　薬物、ステロイド、免疫抑制薬、ARB含む			
	担当者(所属)	大前　清嗣			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(1)②③,F-2-8)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/11/21(月)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	原発性糸球体疾患(1)急性糸球体腎炎、急速進行性糸球体腎炎			
	担当者(所属)	唐澤　一徳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)①④⑤,D-8-4)-(6)②④			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/11/21(月)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	腎・泌尿器疾患(5)　腎・尿路外傷			
	担当者(所属)	石田　英樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②、D-8-2)①,D-8-4)-(7)②,D-9-3)-(2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/11/22(火)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	泌尿器腫瘍(1)　尿路上皮腫瘍(腎盂尿管)			
	担当者(所属)	近藤　恒徳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②,E-3-5)⑧,D-8-2)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/11/22(火)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	腎移植			
	担当者(所属)	田邉　一成			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)(1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2022/11/22(火)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	泌尿器腫瘍(2)　尿路上皮腫瘍(膀胱)			
	担当者(所属)	橋本　恭伸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(9)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2022/11/22(火)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	副腎疾患			
	担当者(所属)	飯塚　淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出	D-12-4)-(4)①②③,D-12-4)-(10)②			

	題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2022/11/24(木)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	尿細管間質疾患(1)尿細管間質性腎炎、腎血管障害、薬剤性・医原性腎障害			
	担当者(所属)	佐藤　尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2022/11/24(木)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	尿細管間質疾患(2)電解質異常とその治療			
	担当者(所属)	川口　祐輝			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(5)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2022/11/24(木)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	泌尿器腫瘍(3)　その他の腫瘍(陰茎、後腹膜など)			
	担当者(所属)	飯塚　淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(9)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2022/11/25(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	泌尿器腫瘍の放射線治療			
	担当者(所属)	橋本　弥一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(9)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/11/25(金)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	原発性糸球体疾患(2)糸球体腎炎・ネフローゼ症候群(総論)			
	担当者(所属)	宮部　陽永			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)②③④⑤,D-8-3)-(3)②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/11/25(金)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	腎・泌尿器疾患(6)　尿路感染症、尿路結核			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/11/25(金)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	続発性糸球体疾患(1)(DM腎症など)　　遺伝性腎疾患(遺伝性腎炎・多発性嚢胞腎)			
	担当者(所属)	佐藤　尚代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(6)①,D-8-4)-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				21

22.	2022/11/28(月)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	続発性糸球体疾患（3）血液疾患に伴う腎障害（アミロイド腎など）、妊娠と腎			
	担当者（所属）	中谷　裕子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(6)③,D-1-4)-(2)②③④⑤⑥⑦,D-10-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/11/28(月)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	続発性糸球体疾患（2）膠原病・血管炎に伴う腎障害（ループス腎炎など）			
	担当者（所属）	唐澤　一徳			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(6)②④,D-8-4)-(2)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/11/28(月)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	原発性糸球体疾患（3）慢性糸球体腎炎（IgA腎症、紫斑病性腎炎）			
	担当者（所属）	森山　能仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/11/28(月)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	原発性糸球体疾患（4）ネフローゼ症候群（各論；微小変化型、膜性腎症など）			
	担当者（所属）	森山　能仁			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2022/11/29(火)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	腎・泌尿器疾患(2)　先天性疾患①(腎、腎盂)			
	担当者（所属）	鈴木　万里			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2022/11/29(火)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	腎・泌尿器疾患(3)　先天性疾患②(尿管、膀胱)			
	担当者（所属）	鈴木　万里			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4-(7)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2022/11/30(水)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	尿細管間質疾患(3)遺伝性尿細管疾患、尿細管性アシドーシス、利尿薬			
	担当者（所属）	片岡　浩史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(4)①②,D-8-3)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2022/11/30(水)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	腎不全(1)　慢性腎臓病（CKD）総論			

	担当者(所属)	星野　純一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)④、A-6-1)①,A-7-1)⑦,B-1-7)③,B-4-1)⑫,C-2-3)①,D-8-1)③⑦,D-8-4)-(1)②③⑤⑥,D-8-4)(2)⑤,F-2-2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2022/12/01(木)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	腎不全(2) 慢性腎臓病各論(CKD3～5の病態)			
	担当者(所属)	片岡　浩史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(4)①②,D-8-3)-(3)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2022/12/01(木)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	腎不全(3) 急性腎障害(AKI)			
	担当者(所属)	土谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(1)①⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2022/12/01(木)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	泌尿器腫瘍(4) 腎腫瘍			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2022/12/01(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	腎疾患の治療(2) 脱水症と輸液療法			
	担当者(所属)	望月　俊雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-3)-(1)①,D-8-1)①⑥,D-8-3)-(3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2022/12/02(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	腎疾患の治療(3) 食事および生活指導			
	担当者(所属)	板橋　美津世			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(1)②,D-8-4)-(2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2022/12/06(火)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	腎疾患の治療(4) 血液浄化療法(CKD5Dも含めて)			
	担当者(所属)	花房　規男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(1)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2022/12/06(火)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	腎疾患の治療(5) 血液浄化療法と合併症			
	担当者(所属)	花房　規男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(1)①⑤⑥			

	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2022/12/07(水)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	小児腎疾患(3)			
	担当者(所属)	服部　元史			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(7)①,D-8-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2022/12/07(水)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	小児腎疾患(1)			
	担当者(所属)	三浦　健一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-1)②③④,D-8-2)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				38
39.	2022/12/07(水)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	小児腎疾患(2)			
	担当者(所属)	三浦　健一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(2)①②③④⑤,D-8-3)-(3)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				39
40.	2022/12/07(水)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	特別講義			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)(7)①②,D-8-4)(8)①②③,D-8-4)(9)①②,D-9-4)(1)①②③,D-9-4)(3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				40
41.	2023/02/15(水)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	腎尿路系 2　試験　(10:00-11:30)　303講義室			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				41
42.	2023/02/15(水)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	腎尿路系 2　試験　(10:00-11:30)　303講義室			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				42
43.	2023/02/27(月)	1時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	腎尿路系 2　追・再試(10:00-11:30)　301講義室			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				43
44.	2023/02/27(月)	2時限	追・再試験	ー	10:00-11:30

タイトル	腎尿路系 2　追・再試（10:00–11:30） 301講義室	
担当者（所属）	高木　敏男	
コアカリキュラム／S10国試出題基準		
講義資料番号／連番(LMS)		44

［腎尿路系 2］

科目責任者：高木　敏男（泌尿器科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．血圧と腎疾患	1．動脈硬化性腎障害	
	2．本態性高血圧	
	3．悪性高血圧	
	4．高血圧性腎障害	
	5．腎血管性高血圧症（腎動脈狭窄）	1）レニン・アンジオテンシン・アルドステロン系
		2）線維筋性異形成
		3）アンジオテンシン変換酵素
	6．腎血管障害	
	a．腎動脈瘤	
	b．腎動静脈瘻	
	c．腎梗塞	
	d．腎静脈血栓	
	e．腎皮質壊死	
	7．副腎疾患と高血圧	
	a．褐色細胞腫	1）カテコラミン
	b．原発性アルドステロン症	1）低カリウム血症
Ⅱ．糸球体腎炎	1．　急性糸球体腎炎	
	2．　急性進行性糸球体腎炎	Goodpasture 症候群
	3．	ANCA 関連血管炎
	4．　慢性糸球体腎炎	IgA 腎症
Ⅲ．原発性ネフローゼ症候群	1．　微小変化群	先天性ネフローゼ症候群
	2．　巣状糸球体硬化症	
	3．　膜性腎症	
	4．　膜性増殖性腎炎	
Ⅳ．全身疾患に伴う腎疾患	1．　糖尿病腎症	
	2．　紫斑病性腎炎	
Ⅴ．膠原病に伴う腎病変	1．　全身性エリテマトーデス（SLE）	
	2．　全身性強皮症	1）糖尿病性腎症
	3．　関節リウマチ	
	4．　結節性多発動脈炎	
	5．　顕微鏡的多発血管炎	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	6. 多発血管炎性肉芽腫症＜Wegener 肉芽腫症＞	
Ⅵ. 無症候性血尿・タンパク尿	1. 無症候性血尿 2. 無症候性タンパク尿	
Ⅶ. 遺伝性腎炎	1. Alport 症候群 2. 基底膜菲薄化症候群＜良性家族性 血尿＞ 1. Fabry 病	
Ⅷ. 尿細管・間質性疾患	1. 急性尿細管壊死 2. 骨髄腫腎 3. 尿酸腎症＜痛風腎＞ 4. 急性間質性腎炎 5. 慢性間質性腎炎 6. Sjögren症候群 7. 中毒性腎障害	薬剤性
Ⅸ. 尿細管機能異常	1. 腎性糖尿 2. Fanconi 症候群 3. Bartter 症候群 4. Gitelman 症候群 5. Liddle症候群 6. 尿細管性アシドーシス 7. 腎性尿崩症 8. シスチン尿症 9. 家族性低リン血症性くる病 10. Dent 病、Lowe 症候群 11. 偽性低アルドステロン症	
Ⅹ. 腎不全	1. 急性腎不全 a. 腎前性 b. 腎性 c. 腎後性 d. 多臓器不全（MOF） 2. 慢性腎不全 a. 保存期 b. 透析療法期 c. 腎移植	1）糸球体過剰濾過（glomerular hyperfi ltration）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
XI. 小児腎疾患、小児泌尿器疾患	1. 小児の注意すべき徴候	1）小奇形　2）発熱 3）体重増加不良　4）夜尿
	2. 学校検尿	1）学童期好発年齢と予防 2）児童の慢性疾患と管理
	3. 先天性ネフローゼ症候群	
	4. 家族性・遺伝性腎炎	
	5. 先天性水腎症	
	6. 逆流性腎症	
XII. 泌尿器科的腎尿路疾患	1. 嚢胞性腎疾患	1）von Hippel－Lindau 病
	a. 単純性腎嚢胞	
A. 先天性異常	b. 嚢胞腎 （ADPKD, ARPKD）	
	c. 海綿腎	
	2. 馬蹄腎	
	3. 腎盂・尿管の奇形	1）腎盂尿管移行部通過障害
	a. 先天性水腎症	2）尿管膀胱移行部通過障害
	b. 重複腎盂尿管	
	c. 巨大尿管・水尿管	
	d. 尿管逆流	
	4. 膀胱の奇形	
	a. 膀胱憩室	
	b. 総排泄腔異常	
	c. 尿膜管疾患	
B. 外傷	1. 腎損傷	
	2. 尿管損傷	1）尿管腟瘻 2）膀胱腟瘻
	3. 膀胱損傷	
	4. 尿道損傷	
C. 腎・尿路結石と異物	1. 腎結石、腎盂結石	1）尿細管性アシドーシス
	a. 腎石灰化症	2）高 Ca 血症
	b. 尿酸結石	3）高 Ca 尿症
	c. シスチン結石	4）副甲状腺機能亢進症
	2. 尿管結石	5）シスチン尿症
	3. 膀胱結石	
	4. 膀胱異物	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
D. 尿路閉塞性疾患と機能障害	1. 上部尿路閉塞性疾患	
	2. 下部尿路閉塞性疾患	
	3. 神経因性膀胱	1）間欠自己導尿法
	4. 尿失禁	
	5. 過活動膀胱	
E. 腎血管障害	1. 腎硬化症（良性、悪性）	1）Nut cracker 症候群
	2. 腎動脈狭窄	2）PTRA
	3. 腎動脈瘤	
	4. 腎動静脈瘻	
	5. 腎梗塞	
	6. 腎動脈血栓症	
F. 腎・尿路の炎症	1. 急性腎盂腎炎	
	2. 慢性腎盂腎炎	1）腎瘢痕（renal scarring）
	3. 腎膿瘍	
	4. 腎尿路結核	
	5. 急性膀胱炎	
	6. 慢性膀胱炎	
	7. 間質性膀胱炎	
	8. 急性尿道炎	
	a. 淋菌性尿道炎	1）性感染症
	b. 非淋菌性尿道炎	2）クラミジア・トラコマティス
	9. 慢性尿道炎	
G. 腎・尿路の腫瘍	1. 腎細胞癌	
	2. 腎芽細胞腫（Wilms 腫瘍）	1）TNM 分類
	3. 腎の良性腫瘍	
	a. 血管筋脂肪腫	
	4. 尿路上皮腫瘍	1）結節性硬化症(tuberous sclerosis)
	a. 腎盂癌	1）発癌物質
	b. 尿管癌	2）病期分類
	c. 膀胱癌	
H. 副腎腫瘍	1. Cushing 症候群	
	2. 原発性アルドステロン症（Conn 症候群）	
	3. 続発性アルドステロン症	
	4. 褐色細胞腫	
	5. 男性化副腎腫瘍	1）先天性副腎皮質過形成
	6. 神経芽細胞腫	
XIII. 腎・尿路の後天性障害・異常	1. 腎下垂、遊走腎	
	2. 無症候性血尿	
	a. 特発性腎出血	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	3. 無症候性蛋白尿	
	4. 体位性蛋白尿（起立性蛋白尿）	
	5. 特発性後腹膜線維化症	
XIV. 腎尿路疾患の治療	1. 生活指導	
A. 一般療法	1. 食事・栄養療法の基本	1）食事療法　2）栄養所用量
	2. 腎疾患と栄養	3）栄養処方
B. 食事・栄養療法	1. 利尿薬	
	2. 降圧薬	
	3. 副腎皮質ステロイド剤	
	4. 免疫抑制薬	
	5. 非ステロイド抗炎症薬	
	6. 抗血小板薬	
	7. 抗凝固薬	
	8. 抗悪性腫瘍薬	
C. 薬物療法	1. 適応と一般的注意	1）薬物動態　2）薬効　3）薬剤の選択と薬用量　4）用法　5）副作用
	2. 輸液の種類と用法	
	3. 成分輸血	
	4. 副作用とその対策	
D. 輸液・輸血		1）血液製剤使用基準
E. 血液浄化	1. 血液透析	1）vascular access
		2）透析器と透析液
		3）長期透析合併症
		a）腎性骨異栄養症
		b）腎性貧血
		c）透析アミロイドーシス
		d）後天性のう胞性腎疾患（ACDK）
	2. 腹膜透析	
	3. 血漿交換	1）適応と原理 2）CAPD
	4. 血液吸着・濾過	3）合併症
F. 泌尿器外科的治療	1. 腎の手術	
	a. 開腹	
	b. 鏡視下	
	c. ロボット補助下	
	2. 尿路の手術	1）適応　2）種類　3）体位
	a. 腎・尿管全摘出術	4）術前術後の管理　5）合併症
	b. 膀胱全摘出術	
	c. 経尿道的膀胱腫瘍切除術	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	d．尿路変更術	
	3．副腎の手術	
	4．尿路結石破砕術	
	a．ESWL	
	b．PNL, TUL	
	c．切石術	
G．腎移植	1．腎移植の適応	1）腎提供（生体腎、献腎）
	2．提供者（donor）と被移植者（recipient）	2）組織適合性検査
		3）拒絶反応
	3．移植と免疫	4）免疫抑制療法
		5）合併症
		6）治療成績
		7）社会医学的事項（腎バンク）

科目名	生殖器系1
科目責任者(所属)	高木　敏男

到達目標	生殖器系の正常な解剖、生理機能を学ぶことで、疾患によりどのように変化したか、あるいは変化を起こすのかを理解する手立てとする。女性と男性の生殖器発生について遺伝子やホルモンの関与および性決定のメカニズムについて学ぶ。性ホルモンの機能および全身に対する影響と受精について学ぶ事で人の発生から年齢にそった生体変化を理解する。 病院実習の準備としてそれぞれ特徴的な診察方法、検査、診断方法を学修し実践できる基礎知識とする。また生殖器系といった特殊な臓器のため診察や検査には心理的な配慮も必要となることを理解する。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	・人体の正常な構造と機能を説明できる　Ⅰ-1-A-(1-2)① ・人体の構造と機能に異常が起こる原因と過程を概説できる　Ⅰ-1-A-(1-2)② ・受精から出生の正常と異常を説明できる　Ⅰ-1-A-(1-2)③ ・事象、現象、観察などからその原因について考えられる　Ⅰ-2-B-(1-2)② ・真摯に学びを励行できる　Ⅱ-2D-(1-2)②
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル
評価方法 (1)総括的評価の対象	評価は講義出席・態度、実習態度、試験結果を総合的に判断して行う
評価方法 (2)評価項目	1) 生殖器系臓器の発生、解剖、機能について理解し説明できる　D-9-1①②③④⑤ 2) 性ホルモンの全身における栄光、年齢的な変化について理解し説明できる　D-9-2)(1)① 3)生殖器系に特徴的な臨床検査の意義とその方法について説明できる　D-9-3)(1)①② 4) 生殖器系臓器に特有な臨床症状や症候について説明できる　D-9-3)(2)①②③ 5)生殖器系臓器についてその症候、診断法、病気分類、鑑別診断などについて説明できる　D-9-4)(1)①②③ 6)生殖器系の診察や検査において比肩所に対する配慮ができる　A-4-1①
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	形式的評価(最終成績には使用しないが学生の成長のためのフィードバックとしての評価)は、知識、技能、態度全般にわたって実習(レポートを含む)の際に随時行うので、学修のヒントとしていただきたい

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『The Kidney』	Brenner and Rector	Saunders 2016	1455748366
2.	『免疫学イラストレイテッド』	David Male	南江堂 2009	9784524247196
3.	『Fundamental Immunology』	William E. Paul	Lippincott Williams & Wilkins 2013	9781451117837
4.	『Smith & Tanagho's General Urology (Smith's General Urology)』	Emil A. Tanagho	McGraw-Hill 2012	9780071624978

	5.	『Adult and Pediatric Urology』	Gillenwater, Jay Y	Lippincott Williams & Wilkins 2002	9780781732208
	6.	『Campbell-Walsh Urology』	Wein, Alan J.	Saunders 2015	0323263747
	7.	『Stewart's Operative Urology』	Andrew C. Novick	Lippincott Williams & Wilkins 1989	9780683065893
	8.	『Uropathology』	Ming Zhou	Elsevier 2012	9781437725230
	9.	『The Scientific Basis of Urology』	Mundy, Anthony R.	CRC Press 2010	9781841846798
	10.	『標準泌尿器科学』	赤座英之	医学書院 2014	9784260018708
	11.	『ベッドサイド泌尿器科学』	小川修	南江堂 2013	9784524250370
	12.	『小児急性血液浄化療法マニュアル』	服部元史	医学図書出版 2002	4871513157
	13.	『乳腺腫瘍学』	日本乳癌学会	金原出版 2016	9784307203524
	14.	『乳腺MRI実践ガイド : 撮影法、読影基準、治療』	戸崎光宏	文光堂 2007	9784830637346
	15.	『手にとるようにわかる乳腺MRI : 撮像・読影の基本と臨床例』	川島博子	ベクトル・コア 2004	490238003X
	16.	『乳房超音波診断ガイドライン』	日本乳腺甲状腺超音波診断会議	南江堂 2014	9784524269174
	17.	『マンモグラフィのあすなろ教室(画像診断別冊)』	石山公一	秀潤社 2007	9784879623577
	18.	『婦人科MRIアトラス(画像診断別冊KEYBOOKシリーズ)』	今岡いずみ	秀潤社 2004	9784879622730
	19.	『ネッター解剖学アトラス』	Frank H. Netter	南江堂 2016	9784524259670
	20.	『画像解剖アトラス』	平松慶博	榮光堂 2008	9784900410220
	21.	『グラント解剖学図譜　第7版』	Anne M. R. Agur	医学書院 2016	9784260020862
	22.	『新乳房画像診断の勘ドコロ』	角田博子	メジカルビュー 2016	9784758315968
	23.	『NEWエッセンシャル産科学・婦人科学』	池ノ上克	医歯薬出版 2004	4263207955

添付ファイル	

※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/30(水)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	女性生殖器の微細構造(1)			
	担当者(所属)	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①⑥⑦⑧,D-10-3)①②,D-11-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/11/30(水)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	女性生殖器の微細構造(2)			
	担当者(所属)	菊田　幸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①⑥⑦⑧,D-10-3)①②,D-11-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/12/01(木)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	受精			
	担当者(所属)	中林　章			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/12/08(木)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	男性生殖器の解剖			
	担当者(所属)	乾　政志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1),D-9-3),D-9-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/12/08(木)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	男性生殖器の発生			
	担当者(所属)	乾　政志			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1),D-9-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/12/09(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	女性ホルモンの動態と更年期			
	担当者(所属)	石谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)⑥⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/12/09(金)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	男性生殖器の微細構造と機能(1)			

	担当者(所属)	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/12/09(金)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	男性生殖器の微細構造と機能(2)			
	担当者(所属)	北原　秀治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/12/12(月)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	泌尿器科面接法心理的配慮			
	担当者(所属)	小内　友紀子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-4-1)①②③,A-4-2)①②⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/12/12(月)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	男性生殖器の検査方法とその画像			
	担当者(所属)	飯塚　淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-3-1)①②③,A-4-2)⑥,D-8-1)②,D-8-2)①②④,D-8-3)-(3))③④,D-9-2)-(1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/12/12(月)	3時限	実習	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	女性生殖器組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①⑥⑦⑧,D-10-3)①②,D-11-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
12.	2022/12/12(月)	4時限	実習	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	女性生殖器組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①⑥⑦⑧,D-10-3)①②,D-11-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
13.	2022/12/12(月)	5時限	実習	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	女性生殖器組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①⑥⑦⑧,D-10-3)①②,D-11-1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
14.	2022/12/13(火)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	女性生殖器の発育と排卵月経開始			
	担当者(所属)	劉　樺			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)①⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
15.	2022/12/13(火)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	女性生殖器局所解剖			
	担当者(所属)	本橋　卓			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-4-2)⑥,F-3-2)④,F-3-5)-(1)①③,F-3-5)-(5)②④,F-3-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
16.	2022/12/14(水)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	男性ホルモンの動態と精子産生、射精の機序			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
17.	2022/12/14(水)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	男性生殖器局所解剖			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
18.	2022/12/14(水)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	婦人科検査法			
	担当者(所属)	下地　香乃子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-2)-(2)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
19.	2022/12/14(水)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	産婦人科面接法、診察法、心理的配慮			
	担当者(所属)	高橋　伸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)⑨,D-9-4)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
20.	2022/12/15(木)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	女性生殖器の画像			
	担当者(所属)	森田　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1),D-9-2)-(2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				17

21.	2022/12/15(木)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	乳腺の発育・構造と機能			
	担当者(所属)	塚田　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-11-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
22.	2022/12/16(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	乳腺検査法			
	担当者(所属)	坂井　修二			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-11-1),D-11-2)			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
23.	2022/12/16(金)	3時限	実習	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	男性生殖器組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2022/12/16(金)	4時限	実習	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	男性生殖器組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2022/12/16(金)	5時限	実習	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	男性生殖器組織			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 菊田　幸子 森島　正恵 石井　泰雄 石津　綾子 望月　牧子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2023/02/16(木)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	生殖器系1　試験 (10:00-11:30)　303講義室			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				26
27.	2023/02/16(木)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	生殖器系1　試験 (10:00-11:30)　303講義室			

	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2023/02/27(月)	3時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	生殖器系1　追・再試 (13:00-14:30)　301講義室			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2023/02/27(月)	4時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	生殖器系1　追・再試 (13:00-14:30)　301講義室			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				29

［生殖器系 1］

科目責任者：高木　敏男（泌尿器科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 生殖器の形態と機能	1. 女性生殖器の発生と構造	1）　外性器・内性器 a）　外陰（Bartholin 腺） b）　会陰 c）　膣 d）子宮（子宮体部、子宮内膜、子宮頸部、内子宮口、子宮峡部、外子宮口） e）　子宮支持組織（広靭帯、円靭帯、仙骨子宮靭帯、膀胱子宮靭帯、基靭帯） f）　卵巣［白膜、皮質、卵胞、黄体、白体、髄質］ g）　卵管（間質部、峡部、膨大部、卵管漏斗、卵管采） 2）　骨盤骨、骨盤底、Douglas 窩 3）　骨盤内の脈管系、神経系、骨盤内リンパ節 4）　乳房（乳房、乳暈） 5）　乳腺疾患の画像診断 a）　乳腺の画像解剖 b）　乳房撮影と乳管造影 c）　超音波検査 d）　MRI 検査 e）　核医学検査 f）　乳房撮影のカテゴリー分類 g）　乳腺疾患の鑑別診断 6）　女性生殖器の微細胞構造 a）　卵巣（卵胞成熟過程: 思春期前、成人）［白膜、皮質、卵胞（原始卵胞、発育卵胞、成熟卵胞、閉鎖卵胞）、黄体、白体、髄質、門］ b）　卵管（卵管采、膨大部、峡部） c）　子宮（体部と月経周期、頚部、子宮膣部） d）　膣と女性尿道 e）　乳腺（妊娠期、授乳期、休止期） f）　胎盤、臍帯
	2. 男性生殖器の発生と構造	1）　精巣の発生と分化 2）　男性生殖器の発生と分化 3）　局所解剖 a）　精巣　b）精巣上体 c）　精管　d）精嚢 e）　前立腺　f）射精管 g）　陰茎　h）Denonvilliers 筋膜

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		4）　男性生殖器の微細構造 a）　精上皮における精子発生と血液精巣関門 b）　精巣間質と Leydig 細胞 c）　精路の構成および精索に含まれる構造について d）　付属腺（精嚢・前立腺・尿道球腺） e）　外生殖器（特に陰茎海綿体、陰嚢壁）
	3. 女性生殖器組織の機能	1）　視床下部・下垂体・卵巣系 2）　卵巣周期（卵胞期・黄体期） 3）　排卵（卵と卵胞の発育と成熟） 4）　子宮内膜の周期的変化（増殖期・分泌期） 5）　月経およびその発来の機序 6）　月経周期（基礎体温） 7）　授乳
	4. 男性生殖器組織と機能	1）　精子の生成、輸送、活性化 2）　勃起のメカニズム 3）　射精のメカニズム 4）　内分泌機能 a）　視床下部・下垂体・精巣系 feedback 機構 b）　LH－RH c）　下垂体ホルモン d）　副腎皮質ホルモン e）　テストステロンとデハイドロテストステロン
Ⅱ. 性ホルモンの生殖機能	1. 女性の性ホルモンとその動態と作用機序	1）　視床下部・下垂体・卵巣系（視床下部ホルモン（視床下部ホルモン LH－RH, TRH, 下垂体ホルモン LH, FSH, プロラクチン（PRL)、卵巣ホルモン（エストラゲン（E）プロゲステロン（P）） 2）　視床下部・下垂体・卵巣系の動的関連フィードバック（positive feedback, negative feedback)、性周期におけるホルモン変化と形態的変化（子宮内膜、頸管、膣） 3）　排卵［卵と卵胞の発育と成熟（原始卵胞、発育卵胞、Graaf 卵胞、卵の成熟分裂、卵と卵胞の成熟とホルモン分泌の関係)］［排卵（排卵の機構)）（黄体（黄体形成、黄体維持、黄体萎縮、黄体ホルモン分泌)］

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		4)　子宮内膜［子宮の周期的変化（増殖期、分泌期）、月経周期（緻密層と海綿層、基礎層）］
		5)　月経［月経発来の機序（エストロゲン、プロゲステロンの消退、基礎体温（パターンの理解）］
	2. 男性の性ホルモンとその動態・作用機序	1)　視床下部・下垂体系調節
		2）男性ホルモン
		3）副腎ホルモン
		4）精子産生
		5）射精
Ⅲ. 診察と検査	1. 一般診察	1)　問診
		2)　全身診察
	2. 女性性器の診察と検査	
	a. 女性性器の診察	1)　視診
		2)　内診、双合診
		a)　方向（前後傾、前後屈、他）
		b)　位置（子宮脱、子宮下垂、他）
		3)　触診（直腸診）
		4)　膣鏡診
		5)　消息子診
	b. 検査	1)　膣分泌物
		2)　膣部プールスメア、膣部擦過スメア、子宮頚管内スメア、体部スメア
		3)　コルポスコープ
		a)　正常（偽びらん）
		b)　異常（モザイク、赤点斑、白色上皮、白斑、異型血管、他）
		c)　ねらい組織診
		4)　子宮内膜掻爬（頚部、体部）
		5)　腫瘍マーカー
		6)　子宮卵管造影
		7)　子宮鏡・腹腔鏡
		8)　Douglas 窩穿刺
		9)　超音波断層法
		10）CT, MRI, PET
	3. 男性性器の診察と検査	1)　視診
	a. 男性性器の診察	2)　触診
		a)　陰嚢内容
		b)　前立腺（直腸指診）
		3)　陰嚢透照（徹照）法

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	b. 検体検査	1）　精液検査 a）　精子数　b）運動率　c）奇形率 2）　前立腺液検査 3）　尿道分泌物検査 a）　グラム染色 b）　細菌培養 4）　内分泌検査 5）　腫瘍マーカー a）　前立腺特異抗原（PSA） b）　hCG, hCG－β c）　AFP d）　CEA 6）経直腸的前立腺超音波検査（TRUS） 7）病理組織学的検査（生検）
	4. 乳房の診察と検査	
	a. 乳房の診察	1）　視診（分泌、乳頭陥凹、乳頭偏位、乳頭びらん、slight dimple、Delle、発赤、浮腫：peau d'orange、変色、潰瘍、衛星皮膚結節） 2）　触診（乳房、腋窩リンパ節）
	b. 検査	1）　超音波検査 2）　マンモグラフィ 3）　MRI 4）　針組織生検、穿刺吸引細胞診 5）　マンモトーム生検 6）　バコラ生検 7）　乳管造影 8）　乳管内視鏡 9）　分泌駅細胞診 10）分泌液 CEA 11）PET 12）CT 13）腫瘍マーカー

科目名	生殖器系2
科目責任者(所属)	田畑　務

到達目標	以下に示す性器の構造や機能の異常および疾患についてその疫学、病因、病態生理、主要症候、診断、検査および治療とその予後などを説明することができる。 またそれらにより人間が生きていくなかで生じる健康と疾病/ 障害と社会の関わり、保健· 医療· 医療経済などの問題を心理的、倫理的、社会的背景を取り込んで全人的医療をおこなうための学修をする。 1. 男性性器の構造および機能の異常 2. 女性性器及び乳房の構造および機能異常 3. 性機能異常と不妊 4. 男性性器疾患(感染症、良性腫瘍を含む良性疾患、悪性腫瘍など) 5. 女性性器及び乳房疾患(感染症、良性腫瘍を含む良性疾患、悪性腫瘍など)
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	受精から出生の正常と異常を説明できる。　Ⅰ-1-A-(1-2)-③ 疾患、症候の病態を説明できる。　Ⅰ-1-A-(3-4)-④ 問題の優先度および重要度を判断できる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。　Ⅰ-3-A-(3-4)-① 病態を明らかにする方法を挙げることができる。　Ⅰ-3-B-(3-4)-① 適切な問題解決を行ったか検証できる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-① 医学的情報をわかりやすく伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-① データ・結果の根拠を批判的に説明できる。　Ⅰ-5-A-(3-4)-① 結果・情報をもとに新たな仮説を立てられる。　Ⅰ-5-A-(3-4)-②
学修(教育)方法	講義・実習
評価方法 (1)総括的評価の対象	評価は講義の出席や態度、実習の参加態度やレポートなどの提出物、定期試験結果を総合的に判断して行う。
評価方法 (2)評価項目	男性・女性生殖器及び乳房の構造・機能異常について論ずることができる。　D-9-1) D-9-2)-(1)① D-9-2)-(2)①② D-11-1)① 性機能の異常と不妊の診断・治療について説明できる。　D-9-4)-(1)①②③ D-9-4)-(2)①②③ 乳腺疾患の病因、病態生理、症候、診断と治療について説明できる。　D-11-4)-(1)① D-11-4)-(2)①
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	講義に際しては、事前に教科書等で該当の項目についての準備学修を1時間程度行って頂きたい。また、担当講義によっては、ポータルサイト上で事前の指示が掲示されることがあるので、これを確認の上で講義に臨んで頂きたい。
教科書・参考図書	

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『Smith & Tanagho's General Urology (Smith's General Urology)』	Emil A. Tanagho	McGraw-Hill 2013	9780071624978

2.	『Adult and Pediatric Urology』	Gillenwater, Jay Y	Lippincott Williams & Wilkins 2002	9780781732208
3.	『Campbell-Walsh Urology』	Wein, Alan J.	Saunders 2011	9781416069119
4.	『Stewart's Operative Urology』	Andrew C. Novick	Lippincott Williams & Wilkins 1989	9780683065893
5.	『Uropathology』	Ming Zhou	Elsevier 2012	9781437725230
6.	『The Scientific Basis of Urology』	Mundy, Anthony R.	CRC Press 2010	9781841846798
7.	『標準泌尿器科学』	赤座英之	医学書院 2014	9784260018708
8.	『ベッドサイド泌尿器科学　手術編・診断治療編』	小川修	南江堂 2013	9784524250370
9.	『小児科学』	大関武彦	医学書院 2008	9784260005128
10.	『乳腺腫瘍学』	日本乳癌学会	金原出版 2016	9784307203524
11.	『Robbins and Cotran Pathologic Basis of Disease』	Vinay Kumar	Saunders 2014	9781455726134
12.	『組織病理アトラス』	小池盛雄	文光堂 2015	9784830604768
13.	『Newエッセンシャル産科学・婦人科学』	池ノ上克	医歯薬出版 2004	4263207955
14.	『産婦人科研修の必修知識　2016-2018』	日本産科婦人科学会	日本産科婦人科学会 2016	9784907890087

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/12/16(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	子宮悪性腫瘍（体癌）			
	担当者（所属）	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)③,E-3-2)①②③,E-3-3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2023/01/06(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10

	タイトル	陰茎腫瘍　尿道腫瘍　尿膜管癌			
	担当者(所属)	飯塚　淳平			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)-(9)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2023/01/06(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	前立腺良性腫瘍			
	担当者(所属)	小林　博人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2023/01/06(金)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	男性不妊の原因と診断			
	担当者(所属)	土岐　大介			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4),D-9-1),D-9-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2023/01/06(金)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	男性生殖器の先天異常			
	担当者(所属)	鈴木　万里			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D)8 4-(7)①,D)9 4-(1)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2023/01/06(金)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	月経異常の成因とホルモン治療			
	担当者(所属)	安達　知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-12-3)-(3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2023/01/11(水)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	男性生殖器の感染症			
	担当者(所属)	高木　敏男			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-8-4)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2023/01/11(水)	3時限	講義	講義室 203	12:30-13:40
	タイトル	良性卵巣腫瘍			
	担当者(所属)	橋本　和法			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2023/01/11(水)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	悪性卵巣腫瘍			
	担当者(所属)	橋本　和法			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)④,D-9-3)-(4)③,D-1-3)-⑦,E-3-2)①②③,E-3-3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2023/01/12(木)	1時限	実習	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	病理学的実習(4) 男性生殖器の病理			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)①②,D-9-4)-(1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
11.	2023/01/12(木)	2時限	実習	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	病理学的実習(4) 男性生殖器の病理			
	担当者(所属)	長嶋 洋治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)①②,D-9-4)-(1)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
12.	2023/01/13(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	生殖器と尿失禁			
	担当者(所属)	小内 友紀子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D)8 4-(8)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
13.	2023/01/13(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	乳がん			
	担当者(所属)	野口 英一郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-11-4)-(2)①,E-3-5)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
14.	2023/01/16(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	前立腺悪性腫瘍			
	担当者(所属)	橋本 恭伸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
15.	2023/01/16(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	精巣と副睾丸の異常 精巣腫瘍			
	担当者(所属)	橋本 恭伸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
16.	2023/01/17(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	女性生殖器の先天異常			
	担当者(所属)	熊切 順			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)①⑥,D-9-1)①⑥⑦,C-2-4)⑥			

	講義資料番号/連番(LMS)				14
17.	2023/01/17(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	子宮良性腫瘍			
	担当者(所属)	熊切　順			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)④⑤,D-9-3)-(4)①,D-1-4)-(1)②,D-1-3)-④			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
18.	2023/01/17(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	乳腺良性腫瘍			
	担当者(所属)	地曳　典恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-11-4)-(1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
19.	2023/01/17(火)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	女性の不定愁訴更年期老年期			
	担当者(所属)	高橋　伸子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-12-3)-(3)②,D-12-1)⑦,D-12-2)①,D-9-3)-(4)②⑤,D-9-4)-(2)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
20.	2023/01/18(水)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	外陰・膣の疾患			
	担当者(所属)	石谷　健			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
21.	2023/01/18(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	子宮悪性腫瘍(頸がん)			
	担当者(所属)	長野　浩明			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)③,C-3-1)-(1)⑤,D-9-3)-(4)④,E-3-2)①②③,E-3-3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
22.	2023/01/18(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	女性不妊の原因と診断			
	担当者(所属)	安達　知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-3)-(3)①,D-9-2)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
23.	2023/01/18(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	リプロダクティブヘルス・ライツ、避妊			
	担当者(所属)	安達　知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
24.	2023/01/19(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10

	タイトル	不妊治療　体外受精　胚移植			
	担当者(所属)	中林　章			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)③,D-9-2)-(2)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
25.	2023/01/19(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	男性の性ホルモンとその異常　男性機能障害(ED)			
	担当者(所属)	吉田　一彦			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-3),D-9-3)-(1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
26.	2023/01/19(木)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	絨毛性疾患			
	担当者(所属)	菅野　俊幸			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)⑤,D-9-2)-(2)①,E-3-2)①②③,E-3-3)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
27.	2023/01/19(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	子宮内膜症			
	担当者(所属)	熊切　順			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
28.	2023/01/19(木)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	女性生殖器の感染症			
	担当者(所属)	秋澤　叔香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(2)⑥,E-2-4)-(3)①,E-2-4)-(4)①②③④,D-9-3)-(3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
29.	2023/01/27(金)	1時限	実習	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	病理学的実習(5)　女性生殖器の病理			
	担当者(所属)	増永　敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)③④,D-9-4)-(2)④,C-4-6)①②③④⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2023/01/27(金)	2時限	実習	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	病理学的実習(5)　女性生殖器の病理			
	担当者(所属)	増永　敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)③④,D-9-4)-(2)④,C-4-6)①②③④⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				30
31.	2023/01/27(金)	3時限	実習	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	婦人科診察法			
	担当者(所属)	中林　章			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-2)④,F-3-5)-(1)①③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				31
32.	2023/01/27(金)	4時限	実習	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	女性生殖器系組織診、細胞診			
	担当者(所属)	秋澤　叔香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-1)⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				32
33.	2023/01/30(月)	1時限	実習	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	病理学的実習(6)　乳腺の病理			
	担当者(所属)	黒田　一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-11-4)-(2)①,D-11-4)-(1)①②,D-11-2),D-11-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				33
34.	2023/01/30(月)	2時限	実習	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	病理学的実習(6)　乳腺の病理			
	担当者(所属)	黒田　一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-11-4)-(2)①,D-11-4)-(1)①②,D-11-2),D-11-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				34
35.	2023/02/02(木)	5時限	実習	PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	乳腺診察法			
	担当者(所属)	塚田　弘子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	F-3-5-(4)⑤,D-11-2)①②,D-11-3)			
	講義資料番号/連番(LMS)				35
36.	2023/02/17(金)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	生殖器系 2(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				36
37.	2023/02/17(金)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	生殖器系 2(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				37
38.	2023/02/28(火)	1時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	生殖器系 2(追・再試)　10:00～11:30　301講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				38

39.	2023/02/28(火)	2時限	追・再試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	生殖器系 2(追・再試) 10:00～11:30 301講義室			
	担当者(所属)	田畑 務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				39

［生殖器系 2］

科目責任者：田畑　務（産婦人科学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．生殖器の先天異常	1. 性の分化と生殖器の発生	1)　性の決定因子 a)　遺伝子 b)　生殖器 c)　社会的性 2)　性分化異常 a)　Wolff 管 b)　Müler 管 c)　Gartner 管
	2. 性分化、染色体の異常 a. 性染色体異常に伴う性分化異常症（Turner 症候群、Klinefelter 症候群など） b. 46XY 性分化疾患（アンドロゲン不応症など） c. 46XX 性分化疾患（アンドロゲン過剰など）	a～c の疾患について 1)　定義　2）病因　3）症候 4)　診断　5）治療 6)　予後、社会医学的事項 アンドロゲンレセプター 先天性副腎過形成症 （欠損酵素の種類）
	3. 女性性器の形態異常 a. 外陰 b. 腟 c. 子宮	 1)　腟欠損、腟閉鎖 a)　Rokitansky 症候群 b)　仮性半陰陽 c)　月経モリミナ 2)　腟中隔 1)　子宮奇形の分類 a)　子宮欠損　b）双角子宮 c)　重複子宮　d）中隔子宮 e)　単角子宮　f）弓状子宮 2)　診断（子宮卵管造影、MRI） 3)　治療 a)　Strassmann 手術 b)　Jones&Jones 手術（不妊症、流産）
	4. 乳房の先天異常	1）乳頭、乳頭の数の異常 a）無乳房症　b）無乳頭症 c）多乳房症　d）多乳頭症 a～e の疾患について
	5. 男性生殖器の先天異常 a. 停留精巣 b. 精索水瘤 c. 鼠径ヘルニア d. 尿道下裂 e. 包茎	1)　病因　2）疫学　3）分類 4)　症候　5）診断　6）治療

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅱ. 性ホルモンとその異常	1.　女性の性ホルモンとその異常	1)　視床下部・下垂体・卵巣系（視床下部ホルモン LH－RH, TRH, 下垂体ホルモン LH, FSH, PRL, 卵巣ホルモン E, P） 2)　視床下部・下垂体・卵巣系の動的関連フィードバック（positive feedback, negative feedback）、性周期におけるホルモン変化と形態的変化（子宮内膜、頸管、腟） 3)　排卵［卵と卵胞の発育と成熟（原始卵胞、発育卵胞、Graaf 卵胞、卵の成熟分裂、卵と卵胞の成熟とホルモン分泌の関係）］［排卵（排卵の機構）、黄体（黄体形成、黄体維持、黄体萎縮、黄体ホルモン分泌）］ 4)　子宮内膜［子宮内膜の周期的変化（増殖期、分泌期）、月経周期（緻密層と海綿層、基底層）］ 5)　月経［月経発来の機序（エストロゲン、プロゲステロンの消退、基礎体温（パターンの理解）］
	a. 思春期早発症 b. 思春期遅発症	a, b の疾患について 1)　病因　2）診断　3）治療
	2. 月経異常 a. 無月経	1)　病因 2)　分類（原発· 続発性無月経· 生理的無月経、第 1 度· 第 2 度無月経、視床下部性無月経、下垂体性無月経、卵巣性無月経、子宮性無月経、心因性無月経、その他（体重減少、肥満性無月経、潜伏月経）） 3)　検査（P, E+P 負荷テスト、視床下部· 下垂体検査法（LH－RH テスト）、卵巣機能検査法（血中 T, E, P 測定、ゴナドトロピンテスト）子宮内膜生検、腹腔鏡、染色体検査、月経誘発療法、排卵誘発療法） 4)　治療
	b. 希発月経 c. 頻発月経 d. 過少月経 e. 過多月経 f. Sheehan 症候群	b～f の疾患について 1)　病因　2）検　3）治療
	g. 乳汁漏出症	1)　プロラクチノーマ 2)　Chiari－Frommel 症候群 3)　薬剤性 4)　原発性甲状腺機能低下 5)　GH 産生腫瘍 6)　検査（PRL, TRH テスト、トルコ鞍撮影）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	h. 神経性食思不振症	1)　病態生理
	i. 多嚢胞性卵巣症候群	1)　定義、症状（無月経、肥満、多毛、PCOS（Polycystic ovary syndrome）、内分泌状態
		2)　診断
		3)　治療（クロミフェン療法、卵巣楔状切除）
	j. 機能性子宮出血	1)　定義
		2)　診断
		随伴または鑑別病変（子宮筋腫、子宮頸癌、子宮体癌、子宮腟部びらん、子宮内膜ポリープ他）
		3)　治療
	k. 月経困難症	1)　病因
		a)　機能的（子宮後屈他）
		b)　器質的（子宮内膜症、子宮筋腫、子宮発育不全）
		2)　診断
		3)　治療
	3. 男性機能の異常	
	a. 原発性性腺機能不全	1)　病因
		2)　病態生理（内分泌異常）
		a)　視床下部· 下垂体系調節
		b)　男性ホルモン
		c)　副腎ホルモン
		3)　症候
		4)　診断
		a)　ホルモン検査
		b)　精液検査
		c)　精巣生検
		5)　治療
	b. 勃起障害（ED）	1)　病因
		a)　心因性
		b)　器質性
		2)　症候
		3)　診断
		a)　リジスキャン
		b)　パパベリン試験
		4)　治療
		a)　薬物治療（Sildenafil, PGEI、パパベリン）
		b)　プロステーシス
Ⅲ. 不妊	1. 不妊症	1)　定義
		2)　病因分類（原発不妊、続発不妊、男性不妊、女性不妊、機能性不妊、器質性不妊、排卵障害、受精障害、着床障害）、黄体機能不全

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		3)　検査（卵管疎通性検査法、排卵時期の診断法、精液検査精子頸管粘液適合試験）
		4)　診断（基礎体温（BBT)、子宮卵管造影（HSG)、通水通気（Rubin テスト)、通色素法、Hüer テスト、頸管粘液検査、子宮内膜組織診、月経血培養、腹腔鏡、子宮鏡、内分泌検査、染色体検査
		5)　治療（ 排卵誘発法（ クロミフェン、hMG－hCG, LH－RH)、副作用（卵巣過剰刺激症候群)、卵管形成術、通水法、人工授精（AIH, AID, GIFT)、体外受精· 胚移植（IVF－ET, 顕微授精）
	2. 男子不妊	1)　定義: 乏精子症、無精子症、精子無力症
		2)　病因
		3)　検査（精液検査、精巣生検、精管造影）
		4)　治療
	3. 体外受精	1)　適応
		2)　手技
		3)　医学的· 倫理的問題
	4. 不育症（習慣流産）	1)　定義: 原発、続発
		2)　頻度
		3)　原因（子宮の形態異常、内分泌異常、感染症、染色体異常、免疫性（同種免疫、自己免疫= 抗リン脂質抗体、ループスアンチコアグラント)、その他）
		4)　治療
Ⅳ. 生殖器の疾患	1. 女性性器の感染症（STD を含む）	
	a. 腟炎	1)　病因（Döderlein 桿菌、トリコモナス、カンジダ、非特異性細菌）
		2)　診断
	b. 骨盤内炎症性疾患（PID：pelvic inflamematory disease）	3)　治療
	c. 子宮頸管炎	
	d. 子宮内膜炎· 筋層炎	
	e. 付属器炎	
	f. 卵管留膿症	
	g. 子宮留膿症	
	h. 子宮傍結合織炎	
	i. 骨盤腹膜炎	
	j. 性器結核	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	k. 性感染症（STD）	1）　種類（STD：ヘルペス、パピローマ、クラミジア）
		2）　社会医学的事項
	l. 淋病（淋菌感染症）	1）　期別分類
	m. 梅毒	
	2. 男性性器の感染症	a～g の疾患について
	a. 急性前立腺炎	1）　病因　2）病態　3）症候
	b. 慢性前立腺炎	4）　診断　5）治療　6）予後
	c. 急性精巣上体炎	
	d. 慢性精巣上体炎	1）　Mumps
	e. 精巣炎	
	f. 亀頭包皮炎	
	g. STD（sexually trans-mitted diseases）	1）　梅毒
		a）　Treponema pallidum
		b）　梅毒血清反応
		2）　淋菌性尿道炎
		a）　Neisseria gonorrhoeae
		3）　非淋菌性尿道炎
		a）　Chlamydia trachomatis
		4）　AIDS
		5）　陰部疱疹
	3. 外陰部の病変	
	a. 外陰炎	1）　病因（尖形コンジローマ、トリコモナス、カンジダ、非特異性細菌）
	b. 尖形コンジローマ	
	c. 急性外陰潰瘍	ウイルス（ヘルペス、パピローマ）
	d. ベーチェット病	1）　病因
	e. Bartholin 腺炎	
	f. 外陰腫瘍	1）　Bartholin 腺膿瘍、Bartholin 嚢胞
		1）　前癌病変（外陰ジストロフィー、外陰 Paget）
		2）　外陰癌
		a）　疫学　b）病理　c）期別分類
		c）　症状　e）診断　f）治療　g）予後
		3）　黒色腫
		a）　定義　b）診断　c）予後　d）術式
	4. 腟腫瘍	
	a. 腟癌	a）　疫学　b）病理　c）期別分類
		d）　症状　e）診断　f）治療　g）予後
	b. 腟上皮内腫瘍	
	5. 子宮内膜症	1）　定義、分類
		2）　好発部位
		3）　症状、所見（月経困難症、チョコレート嚢胞、不妊症悪性化）
		4）　診断（腹腔鏡）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		5）　治療 a）　偽妊娠療法 b）　偽閉経療法 c）　手術療法
	6. 絨毛性疾患	
	a. 絨毛性疾患	1）　定義 2）　疫学 3）　病理 4）　分類
	b. 胞状奇胎	1）　定義（全胞状奇胎、部分胞状奇胎） 2）　診断（超音波断層法、HCG、LH レベル、βHCG） 3）　治療 4）　管理・予後 5）　胞状奇胎娩出後の管理 （BBT の有用性、HCG）
	c. 侵入奇胎	1）　定義、病理 2）　診断 3）　治療 4）　管理・予後（primary chemotherapy）
	d. 絨毛癌	1）　定義、病理 2）　診断（PAG、絨毛癌スコア、転移の部分） 3）　治療（化学療法、手術療法） 4）　管理・予後
	e. 存続絨毛症	
	7. 良性卵巣腫瘍 a. 漿液性嚢胞腺腫 b. 粘液性嚢胞腺腫 c. 線維腫 d. Brenner 腫瘍 e. 莢膜細胞腫 f. 甲状腺腫 g. 成熟嚢胞性奇形腫 h. 卵巣貯留嚢胞［類副腎腫、卵胞嚢胞、黄体嚢胞（ルテイン嚢胞）］、 Meigs 症候群	7～9 の疾患全てに対して 1）　頻度、好発年齢 （充実性腫瘍と嚢胞性腫瘍） 2）　症状 自・他覚症状（茎捻転、破裂） 3）　診断、鑑別診断 超音波断層法、CT, MRI, HSG ホルモン活性、腫瘍マーカー 4）　治療 a）　腫瘍摘出術 b）　卵巣摘出術 c）　付属器摘出術 d）　単純子宮全摘術+ 付属器摘出術 e）　d+ 骨盤リンパ節郭清術+ 大網切除術
	8. 境界悪性卵巣腫瘍 a. 漿液性嚢胞腺腫 b. 粘液性嚢胞腺腫 c. 顆粒膜細胞腫 d. セルトリ・間質細胞腫瘍（中分化型）	

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	e. ステロイド細胞腫瘍 f. ギナンドロブラストーマ g. 未熟奇形種（G1, G2）	
	9. 悪性卵巣腫瘍 a. 漿液性腺癌 b. 粘液性腺癌 c. 類内膜腺癌 d. 明細胞腺癌 e. セルトリ・間質細胞腫瘍（低分化型） f. 未分化胚細胞腫 g. 卵黄嚢腫瘍 h. 胎芽性癌 i. 絨毛癌 j. 未熟奇形腫（G3） k. 悪性転化を伴う成熟嚢胞奇形腫	9 の全てに対して 1）　病理 2）　期別分類（0 期、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期） 3）　治療、予後（手術療法、second look operation、化学療法）
	10. 子宮筋腫	1）　疫学（好発年齢、不妊、卵巣機能） 2）　分類 a）　体部筋腫　b）頸部筋腫　c）粘膜下筋腫　d）筋層内筋腫（壁内筋腫）　e）漿膜下筋腫　f）有茎筋腫（筋腫分娩） 3）　症状、診断 a）　月経困難症　b）過多月経 c）　貧血 4）　鑑別診断（充実性卵巣腫瘍、子宮内膜症、子宮腺筋症、子宮体癌、子宮肉腫） 5）　続発性変化（変性、悪性化） 6）　治療 a）　核出術 b）　腹式単純子宮全摘術 c）　腟式単純子宮全摘術 d）　筋腫合併妊娠 e）　薬物療法（GnRH アゴニスト療法の適応と限界） f）　塞栓術
	11. 子宮肉腫	1）　定義　2）分類　3）症状· 診断 4）　鑑別診断　5）治療· 予後
	12. 子宮頸癌	1）　疫学（好発年齢、人種別、体癌との比率、性生活） 2）　病理 a）　扁平円柱上皮境界（SCJ） b）　異形性（dysplasia） c）　上皮内癌 d）　浸潤癌

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		e)　扁平上皮癌 f)　腺癌 3)　期別分類（0 期、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期） 4)　症状（初期症状） 5)　診断 a)　細胞診 b)　コルポスコピー c)　組織診（狙い生検、円錐切除） d)　進展度の診断 （膀胱鏡、IVP、直腸鏡） 6)　治療法（方法の選択） a)　手術療法（円錐切除術、単純子宮全摘出術、準広汎子宮全摘出術、広汎子宮全摘出術、傍大動脈リンパ節郭清術） b)　放射線療法 c)　化学療法 d)　予後（期別予後）
	13. 子宮体癌	1)　疫学（好発年齢、人種差、頸癌との比率） 2)　病理（分化度（G1－G3）） 3)　期別分類（0 期、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期、Ⅳ期） 4)　症状 a)　不正子宮出血（閉経後出血） b)　子宮留膿症（Simpson 兆候） 5)　診断（内膜細胞診、内膜組織診） 6)　治療 a)　手術療法（単純子宮全摘出術、広汎子宮前摘出術） b)　放射線療法 c)　化学療法 d)　ゲスターゲン療法 7）予後（期別の予後）
	14. 前立腺肥大症 15. 前立腺癌	14～15 の腫瘍について 1)　疫学（発生頻度、人種、年齢） 2)　病因 3)　病態、病理 4)　症候 a)　シンプトム・スコア b)　尿流量測定 c)　残尿 5)　診断 a)　直腸指診（DRE） b)　腫瘍マーカー（PSA） c)　経直腸超音波検査（TRUS） d)　前立腺生検

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
		e)　病期診断（骨盤 CT、MRI、骨シンチ）
		6)　治療
		a)　薬物療法（αブロッカー、LH－RH アナログ、抗男性ホルモン剤）
		b)　手術療法（TUR（経尿道的前立腺切除術、被膜下前立腺摘出術、前立腺摘出術（鏡視下、ロボット補助下）、去勢術）
		c)　放射線療法
		7)　予後（生存率）
	16. 精上皮腫	16～19 の腫瘍に対して
	17. 非セミノーマ性胚細胞腫瘍	1)　疫学
		a)　頻度
	a. 奇形種（teratoma）	b)　好発年齢と組織像
	b. 胎児性癌（embryonal carcinoma）	2)　病因
		3)　病態、病理
	c. 絨毛上皮腫（choriocarcinoma）	4)　症候
		a)　陰嚢無痛性腫大
	d. 卵黄嚢腫瘍（yolk sac tumor）	b)　女性化乳房
		5)　診断
	18. その他の精巣腫瘍	a)　触診
	a. Sertoli 細胞腫	b)　腫瘍マーカー（HCG、HCG－β、AFP、CEA、LDH）
	b. Leydig 細胞腫	
	19. 陰茎癌	c)　陰嚢内超音波検査
		d)　病期診断（腹部超音波検査、CT 検査、胸部 X－P、CT 検査）
		6)　治療
		a)　手術療法（高位精巣摘出術、後腹膜リンパ節郭清）
		b)　化学療法（CDDP PVB 療法）
		c)　放射線療法
		7)　予後
Ⅴ．乳腺の疾患	1. 乳腺炎	1)　病因
	a. 急性乳腺炎	2)　症状
	b. 慢性乳腺炎	3)　治療
	c. 乳輪下膿瘍	
	2. 乳管内乳頭腫	1)　好発年齢
	3. 線維腺腫	2)　症状
	4. 葉状腫瘍	3)　診断
	5. 乳腺症	4）治療
	6. 女性化乳房症	
	7. 副乳	
	8. 乳癌	1)　疫学
	a. 非浸潤癌	2)　症状

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
	b. 浸潤癌	3）診断
	c. Paget 病	4）　治療
		a）　手術（乳房切除術、乳房温存術、センチネルリンパ節生検
		b）　薬物療法（ホルモン療法、化学療法、分子標的療法）
		c）　放射線療法
	9. 間質肉腫	1）　好発年齢
		2）　症状
		3）　診断
		4）　治療
Ⅵ. その他の男性性器の疾患	1. 性器外傷	1～4 の疾患に対して
	a. 陰茎折症	1）　病因　2）病態　3）症候
	b. 精巣損傷	4）　診断　5）治療　6）予後
	2. 陰嚢水瘤、精索水瘤	1）　陰嚢透光試験
		2）　手術療法
	3. 精索静脈瘤	1）　Prehn 徴候
	4. 精巣捻転症	2）　超音波ドップラー法

科目名	妊娠と分娩
科目責任者(所属)	田畑　務

到達目標	「妊娠と分娩」は新たな生命が女性の体内に宿る受精から始まり、妊娠の診断・胎児発育更に分娩・産褥に至る女性にとっての一大イベントについて生理的変化および正常妊娠・分娩の転帰を理解するための講義である。妊娠・分娩の大多数は正常経過・正常分娩となるが様々な合併症を持った女性の妊娠や分娩管理、また妊娠によって発症する可能性のある妊娠高血圧症候群など異常妊娠や異常分娩の病因、病態生理、治療法を学修する。更に出生前診断などの最新の知識や倫理上の問題点を説明できるように母体保護法などの母子保健についても学ぶ。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	受精から出生の正常と異常を説明できる。	Ⅰ-1-A-(1-2)-③
	疾患、症候の病態を説明できる。	Ⅰ-1-A-(3-5)-④
	診断の過程を説明し実践できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-①
	適切な治療法とその根拠を説明できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-②
	疾病予防・健康維持・公衆衛生の方法を説明できる。	Ⅰ-1-B-(3-4)-③
	基礎・病態・臨床を結びつけて考えられる。	Ⅰ-2-B-(3-4)-②
	事例で診療上の問題を解決する方法・手段を明らかにできる。	Ⅰ-3-B-(3-4)-②
	医師法・医療法の概要を説明できる。	Ⅰ-6-A-(3-4)-②
	社会の支援制度を利用する方法を明らかにできる。	Ⅱ-1-F-(3-4)-①
学修(教育)方法	講義・実習・テュートリアル	
評価方法 (1)総括的評価の対象	評価は講義の出席や態度、実習の参加態度やレポートなどの提出物、定期試験結果を総合的に判断して行う。	
評価方法 (2)評価項目	妊娠の診断法を・妊娠に伴う身体的変化を概説できる。	D-10-1)②
	胎児・胎盤検査法(超音波検査、分娩監視装置による)の意義を説明できる。	D-10-1)③
	羊水検査法の意義と異常所見を説明できる。	D-10-1)④
	妊娠・分娩・産褥での母体の解剖学的と生理学的変化を説明できる。	D-10-3)①
	胎児・胎盤系の発達過程での機能・形態的変化を説明できる。	D-10-3)②
	妊娠・分娩・産褥の正常経過について論ずることができる	D-10-3)③④⑤
	育児に伴う母体の構造的・生理的な変化、精神問題を説明できる。	D-10-3)⑥
	母子保健の意義を医学的に説明できる。	D-10-3)⑦
	妊娠時の薬物療法の注意点を説明できる。	D-10-3)⑧
	主な異常妊娠(流産、切迫流産、子宮外妊娠(異所性妊娠)、妊娠高血圧症候群、多胎妊娠、胎児発育不全)の病態を説明できる。	D-10-4)①
	主な異常分娩(早産、微弱陣痛、遷延分娩、回旋異常、前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、弛緩出血、分娩外傷)の病態を説明できる。	D-10-4)②
	主な異常産褥(子宮復古不全、産褥熱、乳腺炎)の病態を説明できる。	D-10-4)③
	産科救急(産科出血、播種性血管内凝固<DIC>)の病態と治療を説明できる。	D-10-4)④
	人工妊娠中絶・帝王切開術の適応を説明できる。	D-10-5)①②
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について定期試験にて100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90%以上) A.良く理解している(80%以上90%未満)B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。	
伝達事項		

	講義に際しては、事前に教科書等で該当の項目についての準備学修を1時間程度行って頂きたい。また、担当講義によっては、ポータルサイト上で事前の指示が掲示されることがあるので、これを確認の上で講義に臨んで頂きたい。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『Newエッセンシャル産科学・婦人科学』	池ノ上克	医歯薬出版 2004	4263207955
2.	『産婦人科研修の必修知識　2016-2018』	日本産科婦人科学会	日本産科婦人科学会 2016	9784907890087

添付ファイル
※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2023/01/20(金)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	科目の概要、妊娠の成立、胎児の発生と教育			
	担当者(所属)	小川　正樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-1)①②③,D-10-3)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2023/01/20(金)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	正常・異常産褥			
	担当者(所属)	小熊　怜子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-3)⑥,D-10-4)③			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2023/01/20(金)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	分娩の生理、三要素			
	担当者(所属)	橋本　和法			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2023/01/20(金)	5時限	講義	講義室 201	15:15-16:25
	タイトル	正常分娩の経過と管理			
	担当者(所属)	橋本　和法			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-3)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2023/01/23(月)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	妊娠／小児と薬物			
	担当者(所属)	塚原　富士子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-1)①②③④,D-10-3)①②③⑦			

	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2023/01/23(月)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	妊娠中、分娩時の麻酔			
	担当者(所属)	長坂　安子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)②,D-10-4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2023/01/24(火)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	胎児発育不全、羊水の異常			
	担当者(所属)	中島　義之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)①⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2023/01/24(火)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	臓器の形成			
	担当者(所属)	森島　正恵			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2023/01/24(火)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	多胎妊娠			
	担当者(所属)	鈴木　優人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2023/01/24(火)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	妊娠高血圧症候群、産科ショック			
	担当者(所属)	鈴木　正人			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)②,D-10-4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2023/01/25(水)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	胎盤(機能と形態)			
	担当者(所属)	藏本　吾郎			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-1)②,D-10-2)①②,D-10-3)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2023/01/25(水)	3時限	講義	講義室 201	12:30-13:40
	タイトル	受精のメカニズム			
	担当者(所属)	安達　知子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
13.	2023/01/25(水)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05

	タイトル	異常分娩（CPD、回旋異常）			
	担当者（所属）	橋本　和法			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	C-2-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				13
14.	2023/01/26(木)	1時限	講義	講義室 201	09:00-10:10
	タイトル	合併症妊娠（内科外科疾患合併）			
	担当者（所属）	小林　藍子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4）①,D-10-4）⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				14
15.	2023/01/26(木)	2時限	講義	講義室 201	10:25-11:35
	タイトル	流早産、異所性妊娠			
	担当者（所属）	小林　藍子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4）①			
	講義資料番号/連番(LMS)				15
16.	2023/01/31(火)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	正常妊娠の管理			
	担当者（所属）	正岡　直樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-1)①-④,D-10-3)①②③⑦			
	講義資料番号/連番(LMS)				16
17.	2023/01/31(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	合併症妊娠（婦人科疾患合併）			
	担当者（所属）	正岡　直樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
18.	2023/01/31(火)	3時限	講義	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	胎盤の異常（常位胎盤早期剥離、前置胎盤）			
	担当者（所属）	水主川　純			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-4)①④,D-10-3)②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2023/01/31(火)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	母子保健			
	担当者（所属）	水主川　純			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-3)⑥⑦,D-10-5)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2023/01/31(火)	5時限	講義	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	妊娠中の母体の生理的現象			
	担当者（所属）	橋本　友美			

	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-3)②③,D-5-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2023/02/02(木)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	分娩監視と胎児機能不全			
	担当者(所属)	阿部　結貴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-1)③,D-10-3)②④,D-10-4)④			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2023/02/02(木)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	遺伝相談・出生前診断			
	担当者(所属)	金沢　純子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-1)④,D-10-4)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2023/02/02(木)	3時限	実習	講義室 301 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	胎児循環（対面実習は303講義室）			
	担当者(所属)	菊田　幸子 森島　正恵 北原　秀治 島田　衣里子 和田　雅樹 細川　真一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-5)①,D-10-3)①②,E-7-1)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				23
24.	2023/02/02(木)	4時限	実習	講義室 301 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	胎児循環（対面実習は303講義室）			
	担当者(所属)	菊田　幸子 森島　正恵 北原　秀治 島田　衣里子 和田　雅樹 細川　真一			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-5)①,D-10-3)①②,E-7-1)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				24
25.	2023/02/03(金)	1時限	実習	講義室 303	09:00-10:10
	タイトル	病理学的実習(7)　妊娠の病理			
	担当者(所属)	増永　敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)⑤,D-10-3)①②,D-10-4)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				25
26.	2023/02/03(金)	2時限	実習	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	病理学的実習(7)　妊娠の病理			
	担当者(所属)	増永　敦子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)⑤,D-10-3)①②,D-10-4)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				26

27.	2023/02/20(月)	1時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	妊娠と分娩(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-5)①,D-10-3)①②,E-7-1)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
28.	2023/02/20(月)	2時限	試験	ー	10:00-11:30
	タイトル	妊娠と分娩(試験)　10:00～11:30　303講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-10-5)①,D-10-3)①②,E-7-1)①③			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
29.	2023/02/28(火)	3時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	妊娠と分娩(追・再試)　13:00～14:30　301講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)⑤,D-10-3)①②,D-10-4)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
30.	2023/02/28(火)	4時限	追・再試験	ー	13:00-14:30
	タイトル	妊娠と分娩(追・再試)　13:00～14:30　301講義室			
	担当者(所属)	田畑　務			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	D-9-4)-(3)⑤,D-10-3)①②,D-10-4)①②⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				30

[妊娠と分娩]

科目責任者：田畑　務（産婦人科学）

大　項　目	中　項　目	小　項　目
Ⅰ．総論	1．胎児の発生と発育	
Ⅱ．妊娠の成立	1．妊娠の生理（妊娠の成立と母体の生理現象）	1）性器の変化 2）全身の変化（性器外変化）
	2．受精・着床のメカニズム	1）受精の生理（卵と精子の成熟、受精の機構） 2）受精卵の分割と輸送 3）着床（子宮内膜の変化（脱落膜の形成）、着床機構、内分泌調節）
	3．胎児胎盤系	1）胎児胎盤循環（Botallo 管、Arantius 管） 2）内分泌（hCG、hPL、エストリオール） 3）ガス交換と物資代謝
Ⅲ．妊娠の診断	1．妊娠の徴候	1)自覚徴候(無月経・つわり・悪阻) 2)他覚徴候(子宮・腟)
	2．妊娠診断の検査	1)基礎体温 2)hCG 測定 3)超音波断層法
Ⅳ．妊娠と胎児発育	1．　発生のメカニズム（生理学的側面）	1）妊卵、胎芽、胎児 2）器官形成期 3）成長の評価 4）成長のパターン
	2．臓器形成（発生生物学的側面）	1）呼吸器系 2）心臓・脈管系 3）消化器系 4）内分泌・代謝系 5）血液・造血器系 6）免疫系 7）腎・泌尿器系 8）生殖器系 9）神経系 10）感覚器系 11）運動器系
	3．妊娠の管理 a．妊婦診察	1）妊娠時期の診断

		2）胎児に対する診断（Leopold 診察法） 3）妊婦健診 4）頸管成熟度（Bishop スコア）
大　項　目	中　項　目	小　項　目
		5）妊娠中の緊急時の状態把握
	4．多胎妊娠	1）定義、分類 2）発生、原因 3）疫学、頻度 4）症状、診断（膜性診断：1 卵性、2 卵性の鑑別） 5）合併症の管理 6）妊娠時の管理 7）児の予後（圧縮児、紙様児、双胎間輸血症候群）
Ⅴ．妊娠中の異常	1．流産	1）定義 2）種類（切迫流産、進行流産、不全流産、完全流産、稽留流産、習慣流産） 3）原因（母体側原因、胎児側原因） 4）病理・症状 5）検査（hCG、超音波断層法） 6）診断（鑑別診断）
	2．早産	1）定義（人工早産、自然早産） 2）原因（絨毛羊膜膜炎、頸管炎、頸管無力症） 3）治療（β2-刺激剤、頸管縫縮術）Shirodkar 手術、McDonald 手術） 4）予後
	3．異所性妊娠	1）定義 2）分類、頻度（卵管妊娠（膨大部妊娠、峡部妊娠、間質部妊娠）、腹膜（腔）妊娠、卵巣妊娠、頸管妊娠） 3）原因 4）病理 5）症状 6）診断（妊娠反応、Douglas 窩穿刺、超音波診断、腹腔鏡検査）
	4．妊娠高血圧症候群	1）定義、分類（軽症、重症）子癇（妊娠、分娩、産褥） 2）原因

		3）病理、病態生理（胎盤所見） 4）頻度 5）症状 6）診断（予知、予防） 7）治療（食事療法、薬物療法） 8）母児の管理
大　項　目	中　項　目	小　項　目
		9）母児の予後（児死亡、SGA(small for gestational age）の発生、症状） 10）子癇（診断（鑑別診断）、治療、予後）
	5．胎盤の異常	
	a．常位胎盤早期剥離（子宮胎盤溢血）	1）定義 2）病理 3）症状（DIC） 4）診断、鑑別診断 5）処置、管理
	b．前置胎盤	1）定義、分類（全前置胎盤、部分前置胎盤、辺縁前置胎盤） 2）症状（予告出血） 3）診断（超音波断層法、倚褥感） 4）鑑別診断 5）処置、管理
	c．低置（位）胎盤	1）診断 2）管理
	6．合併症妊娠など	
	a．血液型不適合妊娠	1）定義 2）分類（ABO 不適合、Rh 不適合、その他の血液型不適合） 3）検査（Rh 型、間接クームス試験、直接クームス試験、羊水分析） 4）管理（交換輸血、光線療法） 5）次回妊娠の予防、予後（抗 Rh ヒト免疫グロブリン）
	b．過期妊娠	1）定義（分娩予定日補正） 2）検査、診断（胎児胎盤機能検査） 3）児への影響
	c．胎盤機能不全	
	d．胎児発育不全（Fetal growth restriction, FGR）	1）定義 2）原因 3）診断
	e．Heavy for gestational age	1）頻度

		2）種類（合併症が妊娠母体に与える影響、合併症が胎児に与える影響、妊娠が合併症に与える影響）
	f．ハイリスク妊娠	
	g．妊娠偶発合併妊娠	
	h．子宮奇形	1）子宮奇形（双角子宮、双頸双角子宮、副角子宮（副子宮）、重複子宮）
大　項　目	中　項　目	小　項　目
		2）診断・治療（HSG、Strassmann 手術、Jones&Jones 手術（不妊症、流産））
	i．子宮筋腫	
	j．子宮頸癌	
	k．卵巣腫瘍	
	l．心臓・血管疾患	1）NYHA 分類
	m．血液疾患	1）貧血
		2）ITP
	n．泌尿器疾患	1）腎炎
		2）腎不全
	o．肝・胆道疾患	1）黄疸
		2）肝炎
		3）急性妊娠脂肪肝
		4）HELLP 症候群
	p．呼吸器疾患	
	q．内分泌・代謝疾患	1）種類（糖尿病、甲状腺疾患）
	r．自己免疫疾患	1）全身性エリテマトーデス
	s．感染症（母児感染、垂直感染）	1）梅毒
		2）サイトメガロウイルス感染症
		3）風疹
		4）B 型肝炎
		5）ヘルペス感染症
	7．出生前診断と胎児の発達	
	a．羊水検査	1）染色体分析
		2）生化学的検査（胎児成熟度の検査）
		（サーファクタント、△OD450）、L/S 比、shake test、血液型不適合妊娠）
	b．胎児機能・胎児胎盤機能	1）エストリオール（E3）
		2）hPL
		3）酸素

		4）胎児発育度 5）胎児成熟度 6）羊水鏡 7）胎児心拍数モニタリング
	c．胎児発育	1）胎児超音波検査（ドプラ法、Bモード） 2）biophysical profile score
	d．遺伝子病	1）種類 2）診断
	e．染色体異常	1）種類
	f．胎児病	1）種類 2）診断
	g．多胎	
大　項　目	中　項　目	小　項　目
	h．胎児発育不全	1）病因 2）診断
	i．溶血性疾患	
	j．形態異常	1）種類（無脳症、小頭症、水頭症、二分脊椎、唇裂、口蓋裂、横隔膜ヘルニア、気管食道瘻、消化管閉鎖、 臍帯ヘルニア、消化管破裂、鎖肛） 2）診断
	k．胎児水腫	
	l．子宮内胎児死亡	1）死胎児症候群 2）超音波診断法
Ⅵ．分娩	1．分娩の生理三要素 a．産道	1）骨産道（入口部（真結合線、入口の形態）濶部、峡部（坐骨棘）、出口部（恥骨開角、結節間距離）、 骨盤誘導線（骨盤軸） 2）軟産道（産道の形成・通過管（頸管の開大・短縮・子宮下部の形成））
	b．娩出物（胎児）	1）児頭（縫合・泉門、児頭計測、児頭の変形（応形機能）、産瘤） 2）胎向（第1、2胎向） 胎位（頭位、骨盤位、横位、斜位） 胎勢（屈位、反屈位）
	c．娩出力	1）陣痛（陣痛の性格、発来機序、陣痛の計測、妊娠陣痛、前駆陣痛、 分娩陣痛、後陣痛） 2）腹圧
	2．正常分娩の経過と管理	1）産徴（血性分泌物）

	a．分娩の経過	2）開始 3）分娩時期（第 1 期（開口期）、第 2 期（娩出期）、第 3 期（後産期）、止血の機序） 4）破水（適時破水、非適時破水（前期破水、早期破水、遅滞破水） 5）児頭の浮動、進入、固定、嵌入、下降 6）回旋（第 1～第 4 回旋） 7）児の娩出（排臨、発露、応形機能、骨重積） 8）胎盤の娩出（剥離機転、胎盤後血腫、剥離徴候（胎児面より娩出、母体面より娩出、混合型娩出）
大　項　目	中　項　目	小　項　目
	b．管理	1）分娩時期の診断 2）胎児の位置の診断 3）胎児の大きさの診断 4）胎児の下降度の診断・表現法（下向部、先進部、station、入口部、濶部、峡部、出口部、高在、中在、低在の意味） 5）児頭回旋の診断・表現法 6）頸管開大度（Friedman 曲線） 7）陣痛の観察、胎児心拍の観察 8）パルトグラム 9）分娩中の緊張時の状態把握
	3．分娩の取り扱い	1）産婦の取り扱い（分娩介助法（会陰切開法）
	4．産科出血	
	a．弛緩出血	1）鑑別診断 2）処置（救急処置、止血法、麦角剤）
	b．分娩時異常出血	1）病因 2）鑑別診断
	5．難産	
	a．胎児性難産	1）病因（巨大児、肩甲難産、水頭症、胎児奇形）
	b．遷延分娩	1）定義 2）病因 3）処置 ┌ 経腟産科手術：吸引分娩 　　鉗子分娩 　└ 経腹産科手術：帝王切開
	6．妊娠中、分娩時の麻酔（麻酔科学的側面）	1）妊娠時の生理学的変化 2）妊娠中の非産科的外科手術の麻酔

		3）経腟分娩の麻酔（無痛分娩） 4）帝王切開の麻酔
	7．分娩監視と胎児機能不全 a．分娩監視装置	1）陣痛曲線 2）胎児心拍数モニタリング 胎児心拍数基線：正常脈、頻脈、徐脈胎児心拍数基線細変動、胎児心拍数一過性変動：一過性頻脈、一過性徐脈：early deceleration（早発一過性徐脈）late deceleration(遅発一過性徐脈）variable deceleration（変動 一過性徐脈）
大　項　目	中　項　目	小　項　目
		prolonged deceleration(遷延一過性徐脈）LTV、sinusoidal pattern、reassuring pattern、non-reassuring pattern 3）ノンストレステスト（NST） 4）コントラクションストレステスト（CST） 5）オキシトシンチャレンジテスト（OCT）
	b．血液ガス分析	1）児頭採血
	c．胎児機能不全（non-reassuring fetal status：NRFS）	1）定義 2）病因 3）診断（胎児心拍数モニタリング、胎児 胎盤機能検査法、児頭末梢血 pH） 4）病態生理 5）処置 6）予後
Ⅶ．産褥	1．正常産褥	1）産褥の定義 2）後陣痛 3）子宮復古 4）悪露（赤色悪露、褐色悪露、黄色悪露、白色悪露） 5）産褥性無月経、授乳性無月経、産褥期 の諸種ホルモン動態、とくに下垂体・

		卵巣系） 6）全身の復古
	2．異常産褥 a．初期出血（軟産道裂傷、弛緩出血） b．晩期出血（子宮復古不全） c．産褥熱 d．血栓性静脈炎、白股腫 e.乳腺炎 f.乳汁分泌不全 g.産褥精神病（マタニティブルー）	1）病因
Ⅷ.母子保健	1．　母子関連統計	1）人口動態統計 2）妊産婦死亡 3）周産期死亡 4）死産
大　項　目	中　項　目	小　項　目
		5）人工妊娠中絶 6）乳児死亡
	2．　母子関連法規	1）母体保護法 2）母子保健法 3）児童福祉法 4）新感染症予防法 5）労働基準法
	3．診断書・証明書	出生証明書、死亡診断書、死体検案書、死胎検案書、死産証書、死亡届、出生届
Ⅸ.遺伝相談	1．遺伝カウンセリング 2．出生前診断 3．医の倫理	

縦 断 教 育 科 目

科目名	「至誠と愛」の実践学修
科目責任者(所属)	西村　勝治

到達目標	教育理念 本学は百年余に亘り、医学の知識・技能の修得の上に「至誠と愛」を実践する女性医師の育成を行ってきた。医学の進歩の一方で、患者の抱える問題を包括して解決する医学・医療の必要性が重視されている。今後さらに心の重要性が問われることは必定である。医師は温かい心をもって医療に臨み、患者だけでなく家族・医療チームとも心を通わせ問題を解決していく資質を高めなくてはならない。「「至誠と愛」の実践学修」では、全人的医人を育成するために、体験の中から感性を磨き、他者・患者と共感できる能力・態度を修得する教育を行う。 具体的には「至誠と愛」の実践学修の理念には下記のような6 本の柱がある。各講義・ワークショップ、実習はこの5 本の柱の下に構成されている。 【6 本の柱】 (1)専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力(患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係) (2)専門職としての使命感(医学と社会に奉仕する力) (3)医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ (4)医療人としての倫理―解釈と判断(法と倫理に基づく実践力) (5)女性医師のキャリア・ライフサイクル(医師とし女性医師として生涯研鑽する姿勢) (6)自校の理念、歴史を知る(自校教育)
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	セグメント3、セグメント4共通 実習に必要な技術を実践できる。　Ⅰ-1-C-(1-2)-① 安全に配慮して実習・研修を行える。　Ⅰ-1-C-(1-2)-② 医療安全に必要な配慮を示すことができる。　Ⅰ-1-C-(3-4)-② 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。　Ⅰ-2-A-(1-2)-① 自分の考えを他者に伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(1-2)-① 社会的規範を守った生活ができる。　Ⅰ-6-A-(1-2)-① 学則を守った学生生活ができる。　Ⅰ-6-A-(1-2)-② 個人情報保護について説明できる。　Ⅰ-6-B-(1-2)-① 他者の意志を聞き出すことができる。　Ⅱ-1-A-(1-2)-① 他者を尊重して対話ができる。　Ⅱ-1-A-(1-2)-② 他者の自己決定を理解できる。　Ⅱ-1-A-(1-2)-③ 患者の人権・尊厳を説明できる。　Ⅱ-1-A-(3-4)-② 様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。　Ⅱ-1-B-(1-2)-① 社会支援制度を説明できる。　Ⅱ-1-C-(1-2)-① 学修上の目標を設定することができる。　Ⅱ-2-A-(1-2)-① 目標達成の手段を明らかにできる。　Ⅱ-2-A-(1-2)-② 省察(振り返り)を実践できる。　Ⅱ-2-A-(1-2)-③ 卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。　Ⅱ-2-A-(1-2)-④ 社会が期待する医師像を説明できる。　Ⅱ-2-B-(1-2)-① 自分の目標となる人物像を説明できる。　Ⅱ-2-E-(1-2)-① 社会・地域に奉仕する姿勢を持つ。　Ⅱ-3-A-(1-2)-① 共通の目標を設定できる。　Ⅱ-4-B-(1-2)-① 活動向上のための評価ができる。　Ⅱ-4-B-(1-2)-② 意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。　Ⅱ-4-B-(1-2)-③ 討論・話し合いを促せる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-① 自分の方針を説明し同意を得ることができる。　Ⅱ-4-B-(3-4)-②

	活動向上のための評価に基づく行動をグループに導入できる。	Ⅱ-4-B-(3-4)-③
	他者の話を聴くことができる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-①
	対話の中で相手の述べることを要約できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-②
	役割分担を確実に実践できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-③
	グループ目標達成のために行動できる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-①
	講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-②
	学生として適切な振る舞いで行動できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-①
	学んだことを他者に説明できる。	Ⅱ-5-B-(1-2)-②
	セグメント3のみ	
	医学の発展に寄与した科学的発見を述べられる	Ⅰ-2-C-(1-2)-②
	結論とその根拠が明確な文書を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-①
	文書の要約を作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-③
	自己学修の結果を適切に伝えられる。	Ⅰ-4-C-(1-2)-③
	倫理の概念について説明することができる。	Ⅰ-6-B-(1-2)-②
	医学における倫理の概念を説明できる。	Ⅰ-6-B-(3-4)-①
	研究倫理の概念について述べることができる。	Ⅰ-6-C-(1-2)-①
	医療を通じた社会・地域への貢献を説明できる。	Ⅱ-3-A-(3-4)-①
	医学研究の重要性について概説できる。	Ⅱ-3-B-(1-2)-①
	医学研究成果の意義と応用・将来性を説明できる。	Ⅱ-3-B-(3-4)-②
	自分の考えの根拠を説明できる	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
	医学の進歩が人に希望を与えることを説明できる。	Ⅱ-5-A-(1-2)-①
	困難な状況にあっても、希望を見いだすことができる。	Ⅱ-5-A-(1-2)-②
	セグメント4のみ	
	事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。	Ⅰ-2-A-(3-4)-②
	研究・実習の報告書が作成できる。	Ⅰ-4-B-(1-2)-②
	他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
	患者・家族の心理を説明できる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-②
	社会で活躍する女性の特性を述べられる。	Ⅱ-2-C-(1-2)-①
学修（教育）方法	講義・WS、実習、行事、ディスカッション、ディベート、グループワーク	
評価方法 (1)総括的評価の対象	「至誠と愛」の実践学修の評価は、以下の項目を評価項目とする。 1. 講義の場合 出席、自己診断シート、試験、小テスト、その他の提出物 2. ワークショップの場合 出席、自己診断シート、その他の提出物 3. 実習の場合 出席、実習課題、提出物の提出期限と内容	
評価方法 (2)評価項目	セグメント3、セグメント4共通	
	患者の自己決定権の意義を説明できる。	A-1-2)②
	必要な課題を自ら発見できる。	A-2-1)①
	課題の解決に当たり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出すことができる。	A-2-1)④
	適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。	A-2-1)⑤
	得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。	A-2-2)②

実験・実習の内容を決められた様式に従って文書と口頭で発表できる。	A-2-2)③
コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	A-4-1)①
コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	A-4-1)②
患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	A-4-1)③
患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	A-4-2)①
患者に分かりやすい言葉で説明できる。	A-4-2)②
患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	A-4-2)③
医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	A-4-2)④
患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。	A-4-2)⑤
患者のプライバシーに配慮できる。	A-4-2)⑥
患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	A-4-2)⑦
チーム医療の意義を説明できる。	A-5-1)①
医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	A-5-1)②
自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	A-5-1)③
保健、医療、福祉と介護のチーム連携における医師の役割を説明できる。	A-5-1)④
実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	A-6-1)①
生涯学修の重要性を説明できる。	A-9-1)①
生涯にわたる継続的学修に必要な情報を収集できる。	A-9-1)②
キャリア開発能力を獲得する。	A-9-1)③
病気・健康・医療・死をめぐる文化的な多様性を説明できる。	B-4-1)②
自身が所属する文化を相対化することができる。	B-4-1)③
人々の暮らしの現場において病気・健康がどのようにとらえられているかを説明できる。	B-4-1)④
社会をシステムとして捉えることができる。	B-4-1)⑧
多職種の医療・保健・福祉専門職、患者・利用者、その家族、地域の人々など、様々な立場の人が違った視点から医療現場に関わっていることを理解する。	B-4-1)⑬
具体的な臨床事例に文化・社会的課題を見いだすことができる。	B-4-1)⑭
リハビリテーションの概念と適応（心大血管疾患、呼吸器疾患、癌等の内部障害を含む）を説明できる。	F-2-14)①
リハビリテーション・チームの構成を理解し、医師の役割を説明できる。	F-2-14)②
福祉・介護との連携におけるリハビリテーションの役割を説明できる。	F-2-14)③
理学療法、作業療法と言語聴覚療法を概説できる。	F-2-14)⑥
在宅医療の在り方、今後の必要性と課題を概説できる。	F-2-15)①
在宅医療における多職種連携の重要性を説明できる。	F-2-15)②
在宅における人生の最終段階における医療、看取りの在り方と課題を概説できる。	F-2-15)④
地域包括ケアシステムと介護保険制度、障害者総合支援法等の医療保健福祉制度を概説できる。	F-2-15)⑦
臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。	F-2-3)①
臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。	F-2-3)②
臨床検査の安全な実施方法（患者確認と検体確認、検査の合併症、感染症予防、精度管理）を説明できる。	F-2-3)③
適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。	F-3-2)①
身だしなみ、言葉遣い及び態度等に気を配ることができる。	F-3-5)⑤

セグメント3のみ

	診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。	A-1-3)①
	自分に必要な課題を、重要性・必要性に照らして順位付けできる。	A-2-1)②
	課題を解決する具体的な方法を発見し、課題を解決できる。	A-2-1)③
	講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。	A-2-2)①
	各自の興味に応じて選択制カリキュラム（医学研究等）に参加する。	A-2-2)⑤
	研究は、医学・医療の発展や患者の利益の増進を目的として行われるべきことを説明できる。	A-8-1)①
	医学研究と倫理（それぞれの研究に対応した倫理指針と法律）を説明できる。	B-3-1)①
	臨床研究、臨床試験、治験と市販後臨床試験の違いを概説できる。	B-3-1)②
	在宅療養と入院または施設入所との関係について総合的な考察ができる。	B-4-1)⑫
	乳幼児の正常な精神運動発達を説明できる。	E-7-2)②
	乳幼児の保育法・栄養法の基本を概説できる。	E-7-2)③
	セグメント4のみ	
	患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。	A-1-3)②
	医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	A-1-3)③
	医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。	A-1-3)④
	病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴、システムレビュー等）を適切に聴取するとともに患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を行える。	A-3-1)①
	患者の病状（症状、身体所見、検査所見等）、プロブレムリスト、鑑別診断、臨床経過、治療法の要点を提示し、医療チーム構成員と意見交換ができる。	A-3-1)⑤
	患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。	A-7-2)①
	地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。	A-7-2)②
	保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。	A-7-2)③
	病理解剖、法医解剖（司法解剖、行政解剖、死因・身元調査法解剖、承諾解剖）を説明できる。	B-2-1)⑤
	人の言動の意味をその人の人生史や社会関係の文脈の中で説明することができる。	B-4-1)⑤
	文化・ジェンダーと医療の関係を考えることができる。	B-4-1)⑥
	病人役割を概説できる。	B-4-1)⑨
	患者の死後の家族ケア（悲嘆のケア（グリーフケア））を説明できる。	E-9-1)⑩

**評価方法
(3)評価基準**

上記の評価項目について点数化し、以下の評価基準に従って評価する。
ただし、授業については、出席点を60%、提出物などについて40%とする。
評価基準:
5点 優:優れている
4点 良:平均的
3点 可:おおむね良いが向上心が必要
2点 劣る:一層の努力が必要である
1点　不可:著しく劣り問題がある

評価基準の合計を100点満点に換算し、総合評価を行う。総合評価の基準は下記とする。
S.大変よく理解し十分実行できている（90%以上） A.良く理解し十分実行できている（80%以上90%未満） B.理解および実行は平均的である（70%以上80%未満） C.最低限は理解し実行できている（60%以上70%未満） D.理解および実行が不十分である（60%未満）
のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。

伝達事項

特記事項
*講義、実習、ワークショップ、彌生記念講演会、解剖慰霊祭などを欠席した学生は欠席届を出す。やむを得ない理由での欠席については、担当委員が必要に応じて、代替のレポート課題を与えて評価する
*総合評価が不合格（D）の場合は、担当委員の意見を参考にして、本人と委員長または副委員長との面接を行うことがある。その上で委員長・副委員長の協議により最終評価を決定する。
*極めて優れていると委員が評価をした場合には、加点をすることがある。問題のある学生に対しては、担当委員が学生との面接による形成的評価を行い、その経過と結果を文書にて委員長に報告する。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『セグメント3、セグメント4共通』			

2.	『人間関係教育と行動科学テキストブック(第3版)-至誠と愛の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会編	三恵社 2018	9784864873642
3.	『患者の権利とは何か(岩波ブックレット　No.297)』	鈴木利廣	岩波書店 1993	400032372
4.	『インフォームド・コンセント(NHKブックス　711)』	森岡恭彦	日本放送出版協会 1994	4140017112
5.	『医学生と研修医のためのヒューマン・リレーションズ学習』	東京女子医科大学ヒューマン・リレーションズ委員会	篠原出版新社 2003	4884122496
6.	『人間の詩と真実:その心理学的考察』	霜山徳爾著	中央公論社 1978	9784121005243
7.	『人間関係教育と行動科学テキストブック(第3版)-至誠と愛の実践学修-』	東京女子医科大学「至誠と愛」の実践学修教育委員会編	三恵社 2018	9784864873642
8.	『ユーモアは老いと死の妙薬:死生学のすすめ』	アルフォンス・デーケン著	講談社 1995	4062079488
9.	『シリーズ生命倫理学 1　生命倫理学の基本構図』	今井道夫, 森下直貴責任編集	丸善出版 2012	9784621084786
10.	『出生と死をめぐる生命倫理 : 連続と不連続の思想』	仁志田博司著	医学書院 2015	9784260024013
11.	『インフォームド・コンセント(NHKブックス　711)』	森岡恭彦著	日本放送出版協会 1994	4140017112
12.	『コンプレックス(岩波新書　青-808)』	河合隼雄著	岩波書店 1971	400412073X
13.	『ケースで学ぶ異文化コミュニケーション:誤解・失敗・すれ違い』	久米昭元, 長谷川典子著	有斐閣 2007	9784641281080
14.	『平静の心:オスラー博士講演集　新訂増補版』	オスラー [述] ; 日野原重明, 仁木久恵訳	医学書院 2003	426012708X
15.	『対話のレッスン』	平田オリザ著	小学館 2001	409387350X
16.	『医者が心をひらくとき －a piece of my mind－(上)』	ロクサーヌ・K・ヤング編 ; 李啓充訳	医学書院 2002	4260138995
17.	『医者が心をひらくとき －a piece of my mind－(下)』	ロクサーヌ・K・ヤング編 ; 李啓充訳	医学書院 2002	4260139002
18.	『らくらく視覚障害生活マニュアル』	加藤明彦著	医歯薬出版 2003	4263234170
19.	『病院ボランティア －やさしさのこころとかたち－』	日本病院ボランティア協会編	中央法規出版 2001	4805821450
20.	『対人援助の基礎(ワークブック社会福祉援助技術演習1)』	山田容著	ミネルヴァ書房 2003	462303853X
21.	『セグメント3のみ』			

22.	『科学論入門 （岩波新書）』	佐々木力	岩波書店 1996	4004304571
23.	『医療倫理Q & A』	関東医学哲学・倫理学会	太陽出版 2013	9784884697693
24.	『生命倫理事典』	酒井昭夫	太陽出版 2010	9784884696672
25.	『対人援助とコミュニケーション：主体的に学び、感性を磨く』	諏訪茂樹	中央法規出版 2010	9784805832493
26.	『援助者のためのコミュニケーションと人間関係』	諏訪茂樹	建帛社 1997	9784767935454
27.	『学生のための医療概論』	千代豪昭	医学書院 2012	9784260015400
28.	『保健医療ソーシャルワーク原論』	日本医療社会事業協会	相川書房 2006	4750103403
29.	『病院ボランティアへの招待（青い鳥文庫）』	広瀬夫佐子	富士福祉事業団 2001	4805821450
30.	『セグメント4のみ』			
31.	『対人援助とコミュニケーション：主体的に学び、感性を磨く』	諏訪茂樹著	中央法規出版 2001	4805821140
32.	『援助者のためのコミュニケーションと人間関係』	諏訪茂樹著	建帛社 1995	4767935237
33.	『保健医療ソーシャルワーク原論』	日本医療社会事業協会編	相川書房 2001	4750102830
34.	『病院ボランティアへの招待（青い鳥文庫）』	広瀬夫佐子, 枝見静樹編	富士福祉事業団 1979	
35.	『医療倫理Q & A』	医療倫理Q&A刊行委員会編	太陽出版 2002	4884691482
36.	『生命倫理事典』	近藤均 [ほか] 編集委員	太陽出版 2002	4884693035
37.	『学生のための医療概論』	黒田研二 [ほか] 執筆 ; 千代豪昭, 黒田研二編集	医学書院 2003	4260332554
38.	『命は誰のものか（ディスカヴァー新書 42）』	香川知晶著	ﾃﾞｨｽｶﾊﾞｰ･ﾄｩｴﾝﾃｨﾜﾝ 2009	9784887597341
39.	『人間の記録63　吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史電気編纂委員会	日本図書センター 2019	978482054308

添付ファイル	

※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/04/21(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	社会規範教育(1)			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②, A-2-2)②, A-4-1)③, A-4-1)⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/04/22(金)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	医療コミュニケーション(1)「医療者の認識、患者・家族の認識」			
	担当者(所属)	西村　勝治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)③, A-4-1)③, B-4-1)②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/05/19(木)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	自省と気付き(2)			
	担当者(所属)	板橋　道朗 成宮　孝祐 松尾　真理 中島　豪 首里　京子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)①,A-2-1)④⑤,A-2-2)②③,A-9-1)①②③			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/05/19(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	医療コミュニケーション(2)「ナラティブ・ベイスト・メディスン」			
	担当者(所属)	諏訪　茂樹			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-4-1)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/05/23(月)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者(所属)	岩﨑　直子 遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 菊田　幸子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				13
6.	2022/05/23(月)	4時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者(所属)	岩﨑　直子			

		遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 菊田　幸子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				14
7.	2022/05/23(月)	5時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	吉岡彌生記念講演会			
	担当者(所属)	岩﨑　直子 遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 菊田　幸子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				15
8.	2022/05/24(火)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	女性医師の系譜(自校教育)			
	担当者(所属)	ー ー			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-9-1)①,B-4-1)③⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
9.	2022/05/26(木)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療(5)「リハビリに携わる職種、部門を知る」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子 山内　かづ代 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
10.	2022/05/26(木)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	チーム医療(6)「検査に携わる職種、部門を知る」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子 山内　かづ代 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
11.	2022/05/28(土)	2時限	行事	弥生記念講堂	10:25-11:35
	タイトル	献体登録者との懇談会 「しらぎくの集い」			
	担当者(所属)	本多　祥子 早川　亨 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②,A-4-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				16

12.	2022/05/28(土)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	献体登録者との懇談会 「しらぎくの集い」			
	担当者(所属)	本多　祥子 早川　亨 藤枝　弘樹 齋藤　文典 蒋池　かおり			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-1)②,A-4-1)②			
	講義資料番号/連番(LMS)				17
13.	2022/06/30(木)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療(7)「医療連携、入退院支援に携わる職種、部門を知る」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子 山内　かづ代 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
14.	2022/07/01(金)	1時限	講義	講義室 303	9:00-10:10
	タイトル	キャリアを考える(4)「医療情報誘導手術の近未来—Smart Cyber Operating Theater(SCOT) project」			
	担当者(所属)	村垣　善浩 田村　学			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-1)①,②③④⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
15.	2022/07/15(金)	4時限	講義・ワークショップ	大実習室 3	14:50-17:45
	タイトル	チーム医療(8～10)「実習前ワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
16.	2022/07/15(金)	5時限	講義・ワークショップ	大実習室 3	14:50-17:45
	タイトル	チーム医療(8～10)「実習前ワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
17.	2022/07/15(金)	6時限	講義・ワークショップ	大実習室 3	14:50-17:45
	タイトル	チーム医療(8～10)「実習前ワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)③④,A-2-2)①⑤,A-4-1)③,A-4-2)①②③⑥,A-5-1)①②③④,A-6-1)①			
	講義資料番号/連番(LMS)				12
18.	2022/09/07(水)	1時限	講義	講義室 301	9:00-10:10
	タイトル	医療コミュニケーション(3)「医師の態度、アサーション」			
	担当者(所属)	吉永　健太郎 浦瀬　香子			

		松嵜　英士 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				18
19.	2022/09/07(水)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	医療コミュニケーション(4)「医師の態度、アサーション」			
	担当者(所属)	吉永　健太郎 浦瀬　香子 松嵜　英士 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				19
20.	2022/09/07(水)	3時限	講義・ワークショップ	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	12:30-13:40
	タイトル	医療コミュニケーション(5)「ワークショップ(医師患者関係)」			
	担当者(所属)	吉永　健太郎 浦瀬　香子 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				20
21.	2022/09/07(水)	4時限	講義・ワークショップ	テュートリアル室 17 テュートリアル室 18 テュートリアル室 19 テュートリアル室 20 テュートリアル室 21 テュートリアル室 22 テュートリアル室 23 テュートリアル室 24 テュートリアル室 25 テュートリアル室 26 テュートリアル室 27 テュートリアル室 28 テュートリアル室 29 テュートリアル室 30	13:55-15:05
	タイトル	医療コミュニケーション(6)「ワークショップ(医師患者関係)」			
	担当者(所属)	吉永　健太郎 浦瀬　香子 石井　泰雄			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2)②,A-1-3)②,A-3-1)①,A-4-1)①②,A-4-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				21
22.	2022/09/14(水)	3時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	チーム医療(12)「振り返りワークショップ」			
	担当者(所属)	浦瀬　香子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)④⑤,A-2-2)②③,A-3-1)⑤,A-5-1)①②③④,A-6-1)①,B-4-1)②③⑧⑬			
	講義資料番号/連番(LMS)				22
23.	2022/09/14(水)	4時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	チーム医療(13)「振り返りワークショップ」			

	担当者（所属）	浦瀬　香子 辻村　貴子			
	コアカリキュラム／S10国試出題基準	A-2-1)④⑤,A-2-2)②③,A-3-1)⑤,A-5-1)①②③④,A-6-1)①,B-4-1)②③⑧⑬			
	講義資料番号／連番(LMS)				23
24.	2022/10/06(木)	3時限	行事	弥生記念講堂	12:30-13:40
	タイトル	解剖慰霊祭			
	担当者（所属）	遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム／S10国試出題基準				
	講義資料番号／連番(LMS)				31
25.	2022/10/06(木)	4時限	行事	弥生記念講堂	13:55-15:05
	タイトル	解剖慰霊祭			
	担当者（所属）	遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム／S10国試出題基準				
	講義資料番号／連番(LMS)				32
26.	2022/10/06(木)	5時限	行事	弥生記念講堂	15:15-16:25
	タイトル	解剖慰霊祭			
	担当者（所属）	遠藤　美香 佐藤　梓 浦瀬　香子 辻村　貴子 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム／S10国試出題基準				
	講義資料番号／連番(LMS)				33
27.	2022/10/27(木)	5時限	実習	講義室 303	15:15-16:25
	タイトル	医療コミュニケーション（7）「外来患者付き添い実習ガイダンス」			
	担当者（所属）	篠崎　和美 山口　俊夫 佐藤　梓 辻野　賢治			
	コアカリキュラム／S10国試出題基準	A-1-3)②,A-4-1)②③,A-4-2)⑥			
	講義資料番号／連番(LMS)				24
28.	2022/11/04(金)	1時限	実習	講義室 303 第一病棟 総合外来センター	9:00-10:10
	タイトル	医療コミュニケーション（8）「外来患者付き添い実習」			
	担当者（所属）	篠崎　和美 山口　俊夫 佐藤　梓 辻野　賢治			
	コアカリキュラム／S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①～⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭			
	講義資料番号／連番(LMS)				25

29.	2022/11/04(金)	2時限	実習	講義室 303 第一病棟 総合外来センター	10:25-11:35
	タイトル	医療コミュニケーション(9)「外来患者付き添い実習」			
	担当者(所属)	篠崎　和美 山口　俊夫 佐藤　梓 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①～⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				26
30.	2022/11/04(金)	3時限	実習	講義室 303 第一病棟 総合外来センター	12:30-13:40
	タイトル	医療コミュニケーション(10)「外来患者付き添い実習」			
	担当者(所属)	篠崎　和美 山口　俊夫 佐藤　梓 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①～⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				27
31.	2022/11/04(金)	4時限	実習	講義室 303 第一病棟 総合外来センター	13:55-15:05
	タイトル	医療コミュニケーション(11)「外来患者付き添い実習」			
	担当者(所属)	篠崎　和美 山口　俊夫 佐藤　梓 辻野　賢治			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-3)②,A-2-1)①⑤,A-2-2)③,A-4-1)②③,A-4-2)①～⑦,F-3-2)①②,B-4-1)②③④⑤⑥⑧⑨⑭			
	講義資料番号/連番(LMS)				28
32.	2022/11/16(水)	3時限	行事	大実習室 1 PC室 1	12:30-13:40
	タイトル	解剖慰霊祭ワークショップ			
	担当者(所属)	佐藤　梓 木林　和彦 藤枝　弘樹 吉武　久美子 石津　綾子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-2-1)⑤,A-5-1)①,E-9-1)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				29
33.	2022/11/16(水)	4時限	行事	大実習室 1 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	解剖慰霊祭ワークショップ			
	担当者(所属)	佐藤　梓 木林　和彦 藤枝　弘樹 吉武　久美子 石津　綾子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-2-1)⑤,A-5-1)①,E-9-1)⑩			
	講義資料番号/連番(LMS)				30

[「至誠と愛」の実践学修]

科目責任者：西村　勝治（精神医学）

東京女子医科大学医学部
「至誠と愛」の実践学修到達目標

医学生の人間関係（態度・習慣・マナー・コミュニケーションおよび人間関係に関連する技能）の到達目標を示す。
卒前教育の中で卒後の目標として俯瞰すべき到達目標は、＊印を付して示す。

到達目標の概略（構造）を以下に示す。次ページに示すのが全文で、具体的到達目標が述べられている。

概略（構造）

Ⅰ 習慣・マナー・こころ
- A 人として・医学生として
  1. 人間性
  2. 態度
  3. 人間関係
  4. 一般社会・科学に於ける倫理
- B 医師（医人）として
  1. 医人としての人間性
  2. 医人としての態度
  3. 医人としての人間関係
  4. 医療の実践における倫理
  5. 女性医師の資質

Ⅱ 技能・工夫・努力
- A 人と人との信頼
  1. 人としての基本的コミュニケーション
  2. 医人としての基本的コミュニケーション
  3. 医療面接におけるコミュニケーション
  4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション
  5. 医療における説明・情報提供
- B 信頼できる情報の発信と交換
  1. 診療情報
  2. 医療安全管理

「至誠と愛」の実践学修到達目標全文

I 習慣・マナー・こころ

A 人として・医学生として

1. 人間性

（自分）

1） 生きていることの意味・ありがたさを表現できる。
2） 人生における今の自分の立場を認識できる。
3） 自分の特性や価値観を認識し伸ばすことができる。

（他者の受け入れ）

4） 他の人の話を聴き理解することができる。
5） 他の人の特性や価値観を受け入れることができる。
6） 他の人の喜びや苦しみを理解できる。
7） 温かいこころをもって人に接することができる。
8） 人の死の意味を理解できる。

（自分と周囲との調和）

9） 自分の振る舞い・言動の他者への影響を考えることができる。
10） 他の人に適切な共感的態度が取れる。
11） 他の人と心を開いて話し合うことができる。
12） 他の人の苦しみ・悲しみを癒すように行動できる。
13） 他の人に役立つことを実践することができる。

2. 態度

（人・社会人として）

14） 場に即した礼儀作法で振舞える。
15） 自分の行動に適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる。
16） 自分の振る舞いに示唆・注意を受けたとき、受け入れることができる。
17） 自分の考えを論理的に整理し、分かりやすく表現し主張できる。
18） 話し合いにより相反する意見に対処し、解決することができる。

（医学を学ぶものとして）

19） 人間に関して興味と関心を持てる。
20） 自然現象・科学に興味と好奇心を持てる。
21） 学修目的・学修方法・評価法を認識して学修できる。
22） 動機・目標を持って自己研鑽できる。
23） 要点を踏まえて他の人に説明できる。
24） 社会に奉仕・貢献する姿勢を示すことができる。

3. 人間関係

（人・社会人として）

25） 人間関係の大切さを認識し、積極的に対話ができる。
26） 学生生活・社会において良好な人間関係を築くことができる。
27） 信頼に基づく人間関係を確立できる。
28） 対立する考えの中で冷静に振舞える。

（医学を学ぶものとして）

29） 共通の目的を達成するために協調できる。
30） 対立する考えの中で歩み寄ることができる。

4. 一般社会・科学に於ける倫理

（社会倫理）

31） 社会人としての常識・マナーを理解し実践できる。
32） 法を遵守する意義について説明できる。
33） 自分の行動の倫理性について評価できる。
34） 自分の行動を倫理的に律することができる。
35） 個人情報保護を実践できる。

36）他の人・社会の倫理性について評価できる。

（科学倫理）

37） 科学研究の重要性と問題点を倫理面から考え評価できる。

38） 科学研究上の倫理を説明し実践できる。

39） 動物を用いた実習・研究の倫理を説明し実践できる。

40） 個々の科学研究の倫理性について評価できる。

B 医師（医人）として

1. 医人としての人間性

（自己）

1） 健康と病気の概念を説明できる。

2） 医療・公衆衛生における医師の役割を説明できる。

3） 自己の医の実践のロールモデルを挙げることができる。

4） 患者／家族のニーズを説明できる。

5） 生の喜びを感じることができる。

6） 誕生の喜びを感じることができる。

7） 死を含む Bad news の受容過程を説明できる。

8） 個人・宗教・民族間の死生観・価値観の違いを理解できる。

（患者・家族）

9） 診療を受ける患者の心理を理解できる。

10） 患者医師関係の特殊性について説明できる。

11） 患者の個人的、社会的背景が異なってもわけへだてなく対応できる。

12） 医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを認識して医療を実践できる。

13） 病者を癒すことの喜びを感じることができる。

14） 家族の絆を理解できる。

15） 親が子供を思う気持ちが理解できる。

16） 死を含む Bad news を受けた患者・家族の心理を理解できる。

17） 患者を見捨てない気持ちを維持できる。

（チーム医療、社会）

18） 医行為は社会に説明されるものであることを理解できる。

19） 医の実践が、さまざまな社会現象（国際情勢・自然災害・社会の風潮など）のなかで行われることを理解できる。

2. 医人としての態度

（自己）

1） 医療行為が患者と医師の契約的な関係に基づいていることを説明できる。

2） 臨床能力を構成する要素を説明できる。

3） チーム医療を説明できる。

4） 患者の自己決定権を説明できる。

5） 患者による医療の評価の重要性を説明できる。

6） 多様な価値観を理解することができる。

（患者・家族）

7） 傾聴することができる。

8） 共感を持って接することができる。

9） 自己決定を支援することができる。

10）心理的社会的背景を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。（Narrative-basedmedicine, NBM）

11） 患者から学ぶことができる。

12） 患者の人権と尊厳を守りながら診療を行える。

13） 終末期の患者の自己決定権を理解することができる。

14） 患者が自己決定権を行使できない場合を判断できる。

15） 患者満足度を判断しながら医療を行える。＊

（チーム医療、社会）

16） 医療チームの一員として医療を行える。
17） 必要に応じて医療チームを主導できる。＊
18） クリニカル・パスを説明できる。
19） 医療行為を評価しチーム内の他者に示唆できる。＊
20） トリアージが実践できる。
21） 不測の状況・事故の際の適切な態度を説明できる。
22） 事故・医療ミスがおきたときに適切な行動をとることができる。＊
23） 社会的な奉仕の気持ちを持つことができる。
24） 特殊な状況（僻地、国際医療）、困難な環境（災害、戦争、テロ）でチーム医療を実践できる。＊

3. 医人としての人間関係

（自己）

1） 患者医師関係の歴史的変遷を概説できる。
2） 患者とのラポールについて説明できる。
3） 医療チームにおける共（協）働（コラボレーション）について説明できる。

（患者・家族）

4） 医療におけるラポールの形成ができる。
5） 患者や家族と信頼関係を築くことができる。
6） 患者解釈モデルを実践できる。

（チーム医療、社会）

7） 患者医師関係を評価できる。
8） 医療チームメンバーの役割を理解して医療を行うことができる。
9） 360 度評価を実践できる。＊

4. 医療の実践における倫理

（自己）

1） 医の倫理について概説し、基本的な規範を説明できる。
2） 患者の基本的権利について説明できる。
3） 患者の個人情報を守秘することができる。
4） 生命倫理について概説できる。
5） 生命倫理の歴史的変遷を概説できる。
6） 臨床研究の倫理を説明できる。

（患者・家族）

7） 医学的適応・患者の希望・QOL・患者背景を考慮した臨床判断を実践できる。
8） 事前指示・DNR 指示に配慮した臨床判断を実践できる。＊

（チーム医療、社会）

9） 自分の持つ理念と医療倫理・生命倫理・社会倫理との矛盾を認識できる。
10） 自己が行った医療の倫理的配慮を社会に説明できる。
11） 臨床研究の倫理に基づく臨床試験を計画・実施できる。＊
12） 医療および臨床試験の倫理を評価できる。＊

5. 女性医師の資質・特徴

（自己）

1） 東京女子医科大学創立の精神を述べることができる。
2） 女性と男性の心理・社会的相違点を説明できる。
3） 女性のライフ・サイクルの特徴を説明できる。
4） 女性のライフ・サイクルのなかで医師のキャリア開発を計画できる。

（患者・家族）

5） 同性の医師に診療を受けることの女性の気持ちを理解する。
6） 異性の医師の診療を受ける患者心理（恐怖心・羞恥心・葛藤）を説明できる。
7） 女性が同性の患者教育をする意義を説明できる。

（チーム医療、社会）

8） 保健・公衆衛生における女性の役割を述べることができる。

9） 女性組織のなかでリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
10） 男女混合組織の中でリーダーシップ・パートナーシップをとることができる。
11） 女性医師としての保健・公衆衛生の役割を実践できる。＊

Ⅱ 技能・工夫・努力

A 人と人との信頼

1. 人としての基本的コミュニケーション

（自己表現）

1） 挨拶、自己紹介ができる。
2） コミュニケーションの概念・技能（スキル）を説明できる。
3） 言語的、準言語的、および非言語的コミュニケーションについて説明できる。
4） 自分の考え、意見、気持ちを話すことができる。
5） 様々な情報交換の手段（文書・電話・e メールなど）の特性を理解し適切に活用ができる。

（対同僚・友人・教員）

6） 年齢・職業など立場の異なる人と適切な会話ができる。
7） 相手の考え、意見、気持ちを聞くことができる。
8） 同僚に正確に情報を伝達できる。
9） 他の人からの情報を、第 3 者に説明することができる。

2. 医人として基本的コミュニケーション

（対患者・家族）

1） 患者に分かりやすい言葉で説明できる。
2） 患者と話すときに非言語的コミュニケーション能力を活用できる。
3） 患者の状態・気持ちに合わせた対話が行える。
4） 患者の非言語的コミュニケーションがわかる。
5） 小児・高齢の患者の話を聞きくことができる。
6） 障害を持つ人（知的・身体的・精神的）の話を聞くことができる。
7） 家族の話を聞くことができる。
8） 患者・家族の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。

（対医療チーム・社会）

9） チーム医療のなかで、自分と相手の立場を理解して情報交換（報告、連絡、相談）ができる。
10） 医療連携のなかで情報交換ができる。
11） 救急・事故・災害時の医療連携で情報交換が行える。＊
12） 社会あるいは患者関係者から照会があったとき、患者の個人情報保護に配慮した適切な対応ができる。

3. 医療面接におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1） 自己紹介を含む挨拶を励行できる。
2） 基本的医療面接法を具体的に説明し、実践できる。
3） 患者の人間性（尊厳）に配慮した医療面接が行える。
4） 患者の不安な気持ちに配慮した医療面接を行える。
5） 共感的声かけができる。
6） 診察終了時に、適切な送り出しの気持ちを表現できる。
7） 適切な環境を設定できる。

（高次的技能）

8） 小児の医療面接を行える。
9） 高齢者の医療面接を行える。
10） 患者とのコミュニケーションに配慮しながら診療録を記載できる。

4. 身体診察・検査におけるコミュニケーション

（基本的技能）

1） 身体診察・検査の必要性とそれに伴う苦痛・不快感を理解して患者と接することができる。
2） 身体診察・検査の目的と方法を患者に説明できる。

3） 説明しながら診察・検査を行うことができる。
4） 患者の安楽に配慮しながら診察・検査ができる。
5） 診察・検査結果を患者に説明できる。

（高次的技能）

6） 患者の抵抗感、プライバシー、羞恥心に配慮した声かけと診察・検査の実践ができる。
7） 検査の目的・方法・危険性について口頭で説明し、書面で同意を得ることができる。

5. 医療における説明・情報提供

（基本的技能）

1） 医療における説明義務の意味と必要性を説明できる。
2） インフォームド・コンセントの定義と必要性を説明できる。
3） 患者にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で表現できる。
4） 説明を行うための適切な時期、場所と機会に配慮できる。
5） 説明を受ける患者の心理状態や理解度について配慮できる。
6） 患者に診断過程の説明を行うことができる。
7） 患者に治療計画について説明を行い、相談して、同意を得ることができる。
8） 患者に医療の不確実性について説明することができる。
9） 患者に EBM（Evidence Based Medicine）に基づく情報を説明できる。
10）セカンドオピニオンの目的と意義を説明できる。

（高次的技能）

11） 患者の行動変容に沿った説明・情報提供ができる。
12） 患者の質問に適切に答え、拒否的反応にも柔軟に対応できる。
13） 患者の不安を理解し拒否的反応の理由を聞き出すことができる。＊
14） 患者の受容に配慮した Badnews の告知ができる。＊
15） 家族の気持ちに配慮した死亡宣告を行うことができる。＊
16） 家族の気持ちに配慮した脳死宣告を行うことができる。＊
17） 特殊な背景を持つ患者・家族への説明・情報提供ができる。＊
18） セカンドオピニオンを求められたときに適切に対応できる。＊
19） 先進医療・臓器移植について説明を行い、同意を得ることができる。＊
20） 臨床試験・治験の説明を行い、同意を得ることができる。＊

B 信頼できる情報の発信と交換

1. 診療情報

（基本的技能）

1） POMR に基づく診療録を作成できる。
2） 診療録の開示を適切に行える。
3） 処方箋の正しい書き方を理解している。
4） 診療情報の守秘を実践できる。

（高次的技能）

5） 病歴要約を作成できる。
6） 紹介状・診療情報提供書を作成できる。
7） 医療連携のため適切に情報を伝達できる。
8） 診療情報の守秘義務が破綻する場合を説明できる。

2. 医療安全管理

（基本的技能）

1） 医療安全管理について概説できる。
2） 医療事故はどのような状況で起こりやすいか説明できる。
3） 医療安全管理に配慮した行動ができる。
4） 医薬品・医療機器の添付資料や安全情報を活用できる。

（高次的技能）

5） 医療事故発生時の対応を説明できる。
6） 災害発生時の医療対応を説明できる。

「至誠と愛」の実践学修の概要

【６本の柱】

(1) 専門職としての態度、マナー、コミュニケーション能力（患者を理解する力、支持する力、意志を通わす力、患者医師関係）
(2) 専門職としての使命感（医学と社会に奉仕する力）
(3) 医療におけるリーダーシップ・パートナーシップ
(4) 医療人としての倫理 - 解釈と判断（法と倫理に基づく実践力）
(5) 女性医師のキャリア・ライフサイクル（医師として、女性医師として生涯研鑽する姿勢）
(6) 自校の理念、歴史を知る（自校教育）

S3：「至誠と愛」の実践学修３		６本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
講義	・社会規範教育（１）	○	○			○	○
	・医療コミュニケーション						
	(1) 医療者の認識、患者・家族の認識	○	○				
	(2) ナラティブ・ベイスト・メディスン	○	○				
	・女性医師の系譜（自校教育）		○			○	○
	・キャリアを考える (4)						
	医療情報誘導手術の近未来		○	○			
	―Smart Cyber Operating Theater(SCOT) project						
講義	・チーム医療						
	(5) リハビリに携わる職種、部門を知る	○	○	○			
	(6) 検査に携わる職種、部門を知る	○	○	○			
	(7) 医療連携、入退院支援に携わる職種、部門を知る	○	○	○			
WS	(8～10) 実習前ワークショップ	○	○	○			
実習	(11) 実習	○	○	○			
講義	・自省と気付き (2)	○	○				
実習	・自省と気付き (3) 人間性を認める	○	○				
行事	・吉岡彌生記念講演			○		○	○

S4：「至誠と愛」の実践学修４		６本の柱					
		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
	・医療コミュニケーション						
講義	(3、4) 医師の態度、アサーション	○	○				
WS	(5、6) ワークショップ（医師患者関係）	○	○				
実習	(7～11) 外来患者付き添い実習	○	○	○			
WS	・チーム医療（12、13) 実習振り返りワークショップ	○	○	○			
	・解剖慰霊祭ワークショップ		○	○	○		
行事	・解剖慰霊祭		○				

セグメント５ 以降へ続く

「至誠と愛」の実践学修４

到達目標

Ⅰ. 講義・WS　医療コミュニケーション（3、4）「医師の態度、アサーション」
（5、6）「ワークショップ（医師患者関係）」

内田 啓子、松嵜 英士、吉永 健太郎、浦瀬 香子、石井 泰雄
ほか「至誠と愛」の実践学修実行委員および指導医師

日常の診療において、医師は数多くの患者と接することになるが、患者の受診目的は理解したとしても、診療を受けにきた患者の気持ちや希望を十分に理解しているとは限らない。実際に病院には患者からの多くの意見や不満が寄せられている。これらの意見や不満は医師に対してだけではなく病院全体へのものもあるが、その声には真摯な気持ちで対応しなければならない。患者は診察という場面をとおして初めて医師と接することになるが、医師に対しては、人として、医人として接してくれることを望んでいる。まだ医学のことを余り学んでいない低学年の時の方が、感受性が豊かであり、このような人間関係の形成が重要であると実感を持つことができよう。このような人間関係の形成にはまず患者や家族の気持ちを理解することから始めることが大切であり、この講義・ＷＳでは患者や家族の視点からの医療対話について学修する。

目　的

医師として患者と接する前に、患者や家族がどのような気持ちで病院へ訪れるかを知ることが大切である。患者やその家族は、医師である前に人と人との人間関係を望んでいる。この人間関係を構築するためにはどのようなことに気をつけたらよいのかを知る必要がある。この講義・ＷＳは、学生が患者役となり、疑似体験的に医療面接を行うことにより、患者との良い人間関係の形成の仕方について考えることを目的とする。

方　法

1）医療対話の意義、目的について講義を行う。
2）医療コミュニケーション（3、4）「医師の態度、アサーション」:ガイダンスと講義。医師と学生あるいはＳＰ(模擬患者)講師によるデモンストレーションを見学し討論する。
3）医療コミュニケーション（5、6）「ワークショップ（医師患者関係）」：小グループ(4~5 名/グループ)に分かれ、指導医を医師役とし、自らは患者役としてロールプレイを実施し、その都度グループ討論を行う。グループでの活動終了後、講義室に集合し全体討論を行い、他のグループと活動内容を共有する。

Ⅱ. 実習　医療コミュニケーション（7～11）「外来患者付き添い実習」

篠崎 和美、佐藤 梓、辻野 賢治、山口 俊夫、
小林 浩子、松村 美由紀、村崎 かがり
ほか「至誠と愛」の実践学修実行委員および指導医師

目　的

患者家族の立場になって病院で患者と 1 日をともに過ごすことにより「患者の体験している世界」を知

り、そのニーズを考えるとともに受診者の立場で医療の現状を理解する。受診者との会話の中から大学病院での医療の問題点を探り、解決法などを考える。

方　法

1）外来患者 1 名に受付から帰宅（病院を出るところ）まで付添い“患者体験”を行う。
2）各科実習指導医師より患者の紹介を受け、患者と一緒に行動する。
（受付→待合い室→診察室→検査→会計→薬局など）
3）患者と別れてから、第 2 学年講義室に戻りポストアンケートを記入する。
4）患者との会話、診療の流れから感じとったことをレポートにまとめる。

実習スケジュール

1）ガイダンス（10 月 27 日）実習に先立ってガイダンスがある。
2）実習（11 月 4 日）　第 2 学年講義室に集合。その後、各グループ毎に実習担当科の指定場所に移動。

Ⅲ. 講義・実習　チーム医療（12、13）「振り返りワークショップ」

辻村貴子、山内かづ代、浦瀬香子

医の倫理綱領（日本医師会）では「医学および医療は、病める人の治療はもとより、人びとの健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである。」としている。そして多職種との連携によるチーム医療に関して「医師は互いに尊敬し，医療関係者と協力して医療に尽くす。」としている。そこで、医学を学ぶ者として、医療に携わる多職種の存在を知った上で、奉仕と貢献する姿勢を学び、実践する。

目　的

将来医師になる者として、病院で働く多様な職種との実習を通して以下のことを学ぶ。

1）医療に携わる多職種の方々との連携や協力があって、医療が成り立っていることを学ぶ。
2）医療に携わる多職種の方々と協力した活動を通して、社会における協調と連帯のあり方を学ぶ。
3）対人援助の基本的な考え方と方法を身につける。
4）全ての人々と協働できる喜びを実感する。
5）どのような援助が必要とされているか、自分にどのような援助ができるかを考える。
6）医学生としての社会的立場・役割について考え、社会における奉仕と貢献の重要さを理解する。

方　法

1）ワークショップを通して、医師の社会における奉仕と貢献の意味と意義を理解する。
2）ワークショップを通して、医療に携わる多職種の職務および医師との連携について理解する。
3）ワークショップを通して、心構え、態度、服装、技術などの基本的必要事項を身につける。
4）自己の活動を振り返り、他者の経験や気づきを共有することで、社会一般に対する奉仕・と貢献の意義をとらえなおす。
5）今後どのような社会貢献ができるかを考える。

Ⅳ. 実習　解剖慰霊祭ワークショップ

木林和彦、藤枝弘樹、石津綾子、佐藤梓
吉武久美子、吉田千鶴

目　的

解剖慰霊祭への参列を契機として、各種解剖の意義を学修すると共に、生命の尊さと人の死の捉え方についての理解を深め、医師・看護師として死者とご遺族に敬意を持って接する能力を養う。看護学部の学生との合同実習であり、将来のチーム医療を担う両学部学生の相互理解のためにも貴重な機会である。

方　法

1）解剖学、病理学、法医学など解剖慰霊祭関連教室および看護学部教員のレクチャー
2）両学部学生混成の小グループで与えられた課題について討論
3）グループ別発表
4）総合討論、まとめ
5）学生はグループ別討論の記入用紙、授業評価アンケートに記入し提出する。
6）作成レポートは後日提出する。

到達目標

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
医療コミュニケーション		
Ⅰ.「医師の態度、アサーション」、「ワークショップ（医師患者関係）」	1. 医療者のあり方	1）習慣 2）マナー 3）人間性
	2. 患者・家族の気持ちの理解	1）不安感への理解
	3. 医療面接におけるコミュニケーション	1）　傾聴と共感
Ⅱ. 外来患者付き添い実習	1. 個人情報	1）守秘義務
	2. 医療従事者と患者とのコミュニケーション	1）共感 2）傾聴 3）言葉づかい
	3. 受診者側からみた病院診療	
	4. 患者・家族の立場への理解	1）患者のニーズ 2）病院側の配慮
	5. 礼儀作法	1）服装 2）マナー
Ⅲ.チーム医療振り返りワークショップ	1. 医師の奉仕と貢献の基礎知識	1）医師の社会における奉仕と貢献の意義の理解 2）　守るべきルールの習得

	2. 振り返り	1)　自己の活動の振り返り 2)　他者との経験・気づきの共有
	3. レポートの作成	1)　様式にそった作成 2)　実習に対する自己評価
Ⅳ. 解剖慰霊祭ワークショップ	1. 各種解剖の意義と関連法規	1）系統解剖 2）病理解剖 3）法医解剖（司法解剖、行政解剖、承諾解剖、死因・身元調査法解剖） 4）死体解剖保存法 5）医学及び歯学の教育のための献体に関する法律
	2. 死生観	1）死のとらえ方 2）生きることとは
	3. 献体する人とその家族の心の理解	1）死者への敬意 2）死者を悼む心 3）家族への接し方、態度
	4. 看護学部学生とのグループ討論	1）互いの共通点と違う点の認識 2）意見の交換 3）まとめて発表する力

科目名	AI・データサイエンスと医療
科目責任者(所属)	野原　理子

到達目標	縦断科目である情報処理・統計では、医療に関わる各種情報を効果的に活用するために、ICT (Information and Communication Technology) の利用を中心にした情報の収集・整理・統合・分析・選択・検索・発信・提示の実際を学修する。特にセグメント4では、統計学の基礎を学修し、統計データを適確に処理できること、また得られた結果を正確に解釈できるために必要な知識の習得を目標とする。実データの整理・要約を通して、記述統計学の基本を習得し、簡単な統計学的検定・推定の問題に触れて推測統計学の基本的考え方を理解する。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	仮説を導くことができる。　Ⅰ-2-B-(1-2)-① 仮説を証明する手順を説明できる。　Ⅰ-3-A-(1-2)-② 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。　Ⅰ-3-B-(1-2)-① 問題解決結果の妥当性を評価できる。　Ⅰ-3-C-(1-2)-① 結果に予想される誤差を考えられる。　Ⅰ-3-C-(1-2)-②
学修(教育)方法	講義・演習
評価方法 (1)総括的評価の対象	授業の出席態度(オンラインの場合は視聴状況)(20%)、授業中の課題(80%)。
評価方法 (2)評価項目	1) データの記述と要約(記述統計を含む)ができる。　B-1-1)① 2) 主要な確率分布を説明できる。　B-1-1)② 3) 正規分布の母平均の信頼区間を計算できる。　B-1-1)③ 4) 基本的な仮説検定の構造を説明できる。　B-1-1)④ 5) 2群間の平均値の差を検定できる(群間の対応のあり、なしを含む)。　B-1-2)① 6) パラメトリック検定とノンパラメトリック検定の違いを説明できる。　B-1-2)② 7) カイ2乗検定法を実施できる。　B-1-2)③ 8) 一元配置分散分析を利用できる。　B-1-2)④ 9) 2変量の散布図を描き、回帰と相関の違いを説明できる。　B-1-2)⑤ 10) 線形重回帰分析、多重ロジスティック回帰分析と交絡調整を概説できる。　B-1-2)⑥
評価方法 (3)評価基準	授業の出席態度(オンラインの場合は視聴状況)(20%)、授業中の課題(80%)を総括し、S.極めて良く理解している(90%以上)、A.良く理解している(80%以上90%未満)、B.平均的に理解している(70%以上80%未満)C.最低限は理解している(60%以上70%未満)、D.理解が不十分である(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	授業によってはPC(パーソナルコンピューター)を使用することがある。 PCを使用する場合は事前に担当教員より連絡する。
教科書・参考図書	

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『はじめての統計学』	鳥居泰彦著	日本経済新聞社 1994	9784532130749
2.	『基礎医学統計学(改訂第7版)』	加納克己著	南江堂 2019	9784524241491
3.	『いまさら誰にも聞けない医学統計の基礎のキソ 第1巻　まずは統計アレルギーを克服しよう!』	浅井隆著	アトムス	9784904307243

				2010	
	4.	『Excelで学ぶ統計解析入門 Excel2013/2010対応版』	菅民郎著	オーム社 2013	9784274069277
	5.	『やさしい保健統計学（改訂第5版増補）』	縣俊彦著	南江堂 2019	9784524241248
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/09/09(金)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	医学統計学の概要・統計学の復習			
	担当者（所属）	野原　理子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-1)①②③④,B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/16(金)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	相関と回帰（相関係数、回帰直線）			
	担当者（所属）	正宗　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/30(金)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	確率分布（正規分布）			
	担当者（所属）	正宗　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-1)①②③④			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/10/07(金)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	母集団と標本集団（標本抽出、サンプルサイズ）			
	担当者（所属）	正宗　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/10/14(金)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	母集団の平均の推定（点推定と誤差）			
	担当者（所属）	櫻谷　あすか			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/10/28(金)	1時限	講義	講義室 303	09:00-10:10

	タイトル	母集団の平均の推定（区間推定）			
	担当者（所属）	櫻谷　あすか			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/11/01(火)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	仮説検定の基礎（検定統計量、仮説、有意水準、検定）			
	担当者（所属）	櫻谷　あすか			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/17(木)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	平均値の推定と検定（対応のある・対応のない2群の差の検定）			
	担当者（所属）	櫻谷　あすか			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/11/18(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	頻度の推定と検定（カイ二乗検定・一元配置分散分析）			
	担当者（所属）	櫻谷　あすか			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/11/25(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	ビックデータを用いた臨床研究（膠原病リウマチ領域におけるビッグデータ解析）			
	担当者（所属）	針谷　正祥 酒井　良子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				10
11.	2022/12/02(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10
	タイトル	ビッグデータの収集と活用（感染症サーベイランスの仕組み）			
	担当者（所属）	菅原　民江			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				11
12.	2022/12/09(金)	2時限	講義	講義室 203	10:25-11:35
	タイトル	医療とスマートデバイス、ICTの活用			
	担当者（所属）	正宗　賢			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-2)①②③④⑤⑥			
	講義資料番号/連番(LMS)				12

[AI・データサイエンスと医療]

科目責任者： 野原　理子

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．統計学序論	1．データの見方と統計	1）データから何が言えるか?
		2）統計学の役割
	2．グラフと代表値	1）データをグラフで示す
		2）分布という概念
		3）集団性の代表値
	3．相関と回帰	1）相関関係
		2）相関関係を示す指標
		3）回帰とは?
		4）回帰直線の算出
	4．頻度の分析	1）事象・頻度・度数
		2）確率変数と確率分布
Ⅱ．推計統計学	1．統計学的推計の基礎	1）母集団
		2）標本集団
		3）無作為抽出
	2．点推定	1）代表値の点推定
	3．仮説検定	1）帰無仮説
		2）平均値の検定
		3）頻度の検定
	4．区間推定	1）信頼区間
		2）平均値の区間推定
		3）頻度の区間推定

科目名	基本的・医学的表現技術
科目責任者(所属)	木林　和彦

到達目標	自分の表現したいことと表現すべきことを的確に把握して文書で正確に表現する能力を養う。医師として患者自身に全人的な関心を持ち、患者の状態を表現し共有するため、診療録、患者要約、診療情報提供書の記載ができること、また、患者のニーズを把握してチームで適切な検査治療が行われるように処方箋・検査依頼書の作成ができること、さらに、診断書類を正確に作成できることを目標とする。医学研究のための研究計画書、症例報告と論文が作成できること、学会発表ができることも目標とする。 セグメント1 では大学生として基本的な読解力と文章力、学び・気づき・変容を省察して表現する技能を習得した。また、セグメント2 では科学的実験の記録方法、医療関係講演の記録方法、医学情報の伝達と説明に必要な基本的表現技術、基礎医学(機能系・形態系)に関する基本的表現技術を習得した。 セグメント4 では医学論文の読解と要旨作成に関する演習を通じて、医学情報を正しく読解し、他の研究者・医療者に文書で正しく伝える能力を養うことを目標とする。これまでの生命科学や医療技術の成果を学ぶことで医学研究への志向を涵養することも目標である。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	文書の要約を作成できる。　Ⅰ-4-B-(1-2)-③
学修(教育)方法	_
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義の出席を50%、講義(演習)での作成文書を50%の割合として成績を評価する。試験は行わないため、講義出席と作成文書提出が評価に必要である。
評価方法 (2)評価項目	①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。　A-2-2)① ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。　A-2-2)②
評価方法 (3)評価基準	講義出席を50%、作成文書を50%の割合とし、100点満点にて点数化を行い、S.極めて良く理解している(90点以上)、A.良く理解している(80点以上90点未満)、B.理解している(70点以上80点未満)、C.ある程度は理解しているが、十分ではない(60点以上70点未満)、D.あまり理解できていない(60点未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	-

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『大学生のためのスタディ・スキルズ』	学習技術研究会編著	くろしお出版 2006	9784874243558
2.	『手ぎわよい科学論文の仕上げ方』	田中潔著	共立出版 1994	9784320008854
3.	『これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現』	藤枝宏壽, 玉巻欣子, Randolph Mann編著	メジカルビュー社 2004	475830405X
4.	『研究室マネジメント入門 : 人・資金・安全・知財・倫理』	日本化学会編	丸善 2009	9784621081051
5.	『研究倫理とは何か : 臨床医学研究と生命倫理』	田代志門著	勁草書房 2011	9784326154173
6.	『大学生と留学生のための論文ワークブック』	浜田麻里, 平尾得子, 由井紀久子共著	くろしお出版 1997	4874241271
7.	『文書表現技術ガイドブック』	岸学編著	共立出版	9784320005785

				2008	
	8.	『医学・バイオ系のためのFig.作成ガイド：論文・プレゼンに役立つ Photoshop / Illustrator活用法』	吉田勝久	オーム社 2007	9784274204791
	9.	『最新医学用語演習：医学英語演習』	岡田聚, 名木田恵理子著	南雲堂 1993	4523172587
添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK					

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/24(木)	4時限	講義	大実習室 3 PC室 1	13:55-15:05
	タイトル	医学論文の読解と要旨作成1（演習）			
	担当者（所属）	佐藤　梓 多木　崇 木林　和彦 島田　亮 中尾　賢一朗 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/11/24(木)	5時限	講義	大実習室 3 PC室 1	15:15-16:25
	タイトル	医学論文の読解と要旨作成2（演習）			
	担当者（所属）	佐藤　梓 多木　崇 木林　和彦 島田　亮 中尾　賢一朗 辻村　貴子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-2)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2

[基本的・医学的表現技術]

科目責任者：木林　和彦（法医学）

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．医学論文の読解と要約	1．医学情報の理解 2．医学情報の要約	1）論文の読解 1）論文の要約作成 2）医学用語を用いた論理的な文書の作成 3）分かりやすい文章表現の工夫

科目名	国際コミュニケーション
科目責任者(所属)	長坂　安子

到達目標	到達目標 将来医療人として国際的に活躍できる人材を育成するために、また国際化する国内の医療現場での対応能力の育成をも視野に入れ、英語を用いて、臨床で患者および医療者とコミュニケーションができる能力を養成する。単に、英語を話すだけでなく、異なる文化的背景を持つ人の倫理観・社会観・死生観そして専門的言語についての理解を伴うコミュニケーション能力をも開発する。さらに、言語によるコミュニケーションに必要な、読む力・書く力を合わせて教育し、国際的に全人的医療を行える人材育成を目標とする。 セグメント1、2 では、国際コミュニケーションの基礎的能力を養うことを目標とし、様々な分野の英語のリーディングおよびリスニングと、英語での自己表現のためのスピーキング、ライティングに重点をおいた。セグメント3 では、これらの基礎能力を基に、以下の大きな3 つの到達目標を掲げて医学英語の世界へと足を踏み入れる。 1）医学における英語の重要性を認識する。 2）医学英語の語彙学修を継続的に行う。 3）医学関連のトピックに関心を持ち、意欲的に英語で学修する。 セグメント4　国際コミュニケーション到達目標及び概要 セグメント4 では、国際的医療活動を含め医学関連のトピックの英語を理解でき、やさしい医学論文の読解にも取り組み、さらに学んだことを自ら英語で発信できることを到達目標とする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	セグメント3、セグメント4共通 自分の考えを他者に伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(1-2)-① 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。　Ⅰ-4-C-(1-2)-① 自己学修の結果を適切に伝えられる。　Ⅰ-4-C-(1-2)-③ 他者を尊重して対話ができる。　Ⅱ-1-D-(1-2)-② 学修上の目標を設定することができる。　Ⅱ-2-A-(1-2)-① 学修のための時間を適切に自己管理できる。　Ⅱ-2-C-(1-2)-② 自分の学び方を知り、効果的な学び方に発展させられる。　Ⅱ-2-D-(1-2)-① 真摯に学びを励行できる。　Ⅱ-2-D-(1-2)-②
学修（教育）方法	講義
評価方法 (1)総括的評価の対象	演習を含む講義であるため、全講義への出席が必須。レポート提出。語彙テストの点数。e-learningの学修度。グループ発表の取り組み。
評価方法 (2)評価項目	セグメント3 1) 医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。　A-2-1)①②③④⑤ A-4-1)①② C-5-7)⑥⑦⑧ 2) ｅ－learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。　A-2-1)①②③④⑤ A-4-1)①② 3) 医学英語の語彙形成と発音を演習形式で習得することができる。　A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①② A-4-1)①② 4) 定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。　A-2-1)①②③⑤ 5) 英語を母語とする医師による医療関連のレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点を質問したり、自分の意見などを英語で表現できるようにする。　A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)①②③ A-4-1)①② C-5-7)⑥⑦⑧ セグメント4 1) セグメント3 に引き続き、医学関連のトピックに関心を持ち、英語で学ぼうという自主的な学修姿勢を維持できる。　A-2-1)①②③④⑤ A-4-1)①② C-5-7)⑥⑦⑧ 2) ｅ－learning による医学英語の語彙学修を継続的に行うことができる。　A-2-1)①②③④⑤

		A-4-1)①②
	3)グループ発表のために積極的にとりくみ、きちんとした発表ができるとともに、他のグループ発表を聴いて理解するとともに不明な点について質問ができる。	A-2-1)①②③④⑤ A-2-2)②③ C-5-7⑥
	4) 随時出される課題を期日迄にきちんと提出できる。	A)-2-1)①③⑤
	5)定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行うことができる。	A-2-1)①②③⑤

評価方法 (3)評価基準	セグメント3、セグメント4の国際コミュニケーションと一緒に通年で評価するが、上記の評価項目について S.極めて優れている(90%以上) A.優れている(80%以上90%未満) B.平均的にできている(70%以上80%未満)C.最低限はできている(60%以上70%未満) D.劣っていて問題がある(60%未満)のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	1)授業への参加度を重視。授業回数が少ないので、欠席・遅刻は大きなマイナス、また、講義中での積極的な回答や質問はプラスとして評価。 2)各講義で出される提出課題は提出期限を守ることが大切。(S,A,B,C,Dで評価され、提出期限を過ぎた場合はC以下。未提出はO。) 3)語彙テストが、セグメント3では3回、セグメント4では5回実施されますが、これはe-learningの学修成果をみるためのもの。2年生のうちは基本的な語彙が多いので、各回60%以上は正答できるよう学修を続けること。問題用紙は保存して復習に役立てること。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『セグメント3』			
2.	『これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現 第4版』	藤枝宏寿, 玉巻欣子, Randolph Mann	メジカルビュー社 2021	9784758309677
3.	『Medical terminology : an illustrated guide』	Cohen, BJ	Lippincott Williams & Wilkins 2013	9781451175974
4.	『英語プレゼンハンドブック : これ一冊で乗り切れる : 「プレゼンテーションの組み立て方とスライドの作り方」「すぐに使える応用自在の表現」』	味園真紀	ベレ出版 2010	9784860642532
5.	『医師のための即効!英会話フレーズ : 国際学会編』	伊達勲	メジカルビュー 2015	9784758304443
6.	『国際学会English:ポスター発表』	Langham C.S.	医歯薬出版 2013	9784263433546
7.	『国際学会English:スピーキング・エクササイズ : 口演・発表・応答』	Langham C.S.	医歯薬出版 2010	9784263433393
8.	『国際学会English : 挨拶・口演・発表・質問・座長進行』	Langham C.S.	医歯薬出版 2007	9784263433331
9.	『Medical terminology : a short course』	Davi-Ellen Chabner	Saunders /Elsevier 2015	9781455758302
10.	『English Medcial Terminology』	岡田 聚, 名木田恵理子	南雲堂 2018	9784523178699
11.	『セグメント4』			
12.	『Stedman's Medical Terminology』	Creason, C	Lippincott Williams & Wilkins 2011	9781582558165
13.	『国際学会English : 挨拶・口演・発表・質問・座長進行』	C.S. Langham	医歯薬出版 2007	9784263433331

14.	『医師のための即効!英会話フレーズ:国際学会編』	伊達勲編著	メジカルビュー社	9784758304443
			2015	
15.	『English Medcial Terminology』	岡田聚, 名木田恵理子著	南雲堂	9784523178699
			2018	
16.	『これだけは知っておきたい医学英語の基本用語と表現』	藤枝宏壽, 玉巻欣子, Randolph Mann編著	メジカルビュー社	9784758304399
			2013	
17.	『Current Medical Diagnosis & Treatment』		McGraw-Hill	
			2012	
18.	『The Language of Medicine』	Chabner, Davi-Ellen	Elsevier	9780323288125
			2014	
19.	『Medical Terminology : A Short Course』	Davi-Ellen Chabner	Elsevier	9781455758302
			2014	
20.	『CD book　英語プレゼンハンドブック』	味園真紀著	ベレ出版	9784860642532
			2010	
21.	『必ずアクセプトされる医学英語論文：完全攻略50の鉄則』	康永秀生	金原出版社	9784307004787
			2016	
22.	『トップジャーナル395編の「型」で書く医学英語論文』	河本健・石井達也	羊土社	9784758118286
			2018	

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/04/13(水)	4時限	講義	講義室 203	13:55-15:05
	タイトル	「国際コミュニケーション:医学英語への招待」 リソースパーソンによる経験談			
	担当者(所属)	遠藤　美香 石垣　景子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/04/19(火)	5時限	講義	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	医学英語のe-learningによる学び方および語彙学修			
	担当者(所属)	遠藤　美香 鈴木　光代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤, A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/05/19(木)	3時限	講義	ー	12:30-13:40
	タイトル	医学英語演習(語形成と発音)			

	担当者(所属)	遠藤　美香 鈴木　光代			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/06/10(金)	6時限	講義	講義室 201	16:35-17:45
	タイトル	Medical　Paper入門(1) ・検索方法			
	担当者(所属)	平　孝臣 遠藤　美香			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/06/29(水)	4時限	講義	講義室 303	13:55-15:05
	タイトル	英語プレゼンテーションの方法			
	担当者(所属)	遠藤　美香 押味　貴之			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/09(金)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	医学英語演習、プレゼンの原稿完成			
	担当者(所属)	遠藤　美香 奥村　晶子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/30(金)	1時限	講義	講義室 301	09:00-10:10
	タイトル	Medical Paper 入門(2)			
	担当者(所属)	遠藤　美香 坂元　晴香 奥村　晶子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,C-5-7)⑥⑦⑧			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/10/14(金)	2時限	講義	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	夏休みに読んだ英語論文のグループ発表(1)			
	担当者(所属)	遠藤　美香 奥村　晶子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②,G-4-4)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/10/28(金)	2時限	講義	講義室 303	10:25-11:35
	タイトル	夏休みに読んだ英語論文のグループ発表(2)			
	担当者(所属)	遠藤　美香 奥村　晶子 トーマス ジェームス			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②,A-4-1)①②,G-4-4)⑤			
	講義資料番号/連番(LMS)				9
10.	2022/11/18(金)	1時限	講義	講義室 203	09:00-10:10

タイトル	既習医学分野のレクチャー	
担当者（所属）	遠藤　美香 アラン　レフオー 奥村　晶子	
コアカリキュラム／S10国試出題基準	A-2-1)①②③④⑤,A-2-2)①②③,A-4-1)①②,A-8-1)①④,B-4-1)⑭,C-5-7)⑥⑦⑧	
講義資料番号／連番(LMS)		10

[国際コミュニケーション]

科目責任者：長坂　安子（麻酔科学）
講義担当者：遠藤　美香（統合教育学修センター　基礎教育学）　他

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
I. Medical Paper 入門	1. 英語で書かれた医学関連の論文の検索方法 2. 英語で書かれた医学関連の論文の読解	1）英語医学関連の論文の検索方法を学び、自分の興味のある論文を検索してみる。 2）英語で書かれた医学論文の種類・構成について学ぶ。 3）興味のある医学論文（英語）を読んで、内容を把握する。また、その内容について、発表する。
II. 医学英語の語彙学修	1．e－learning を通して、自己学修を習慣化	1）年間を通して医学英語専門の e-learning を継続的に行うことで、医学英語の語彙力を養う。 2）定期的に行われる語彙テストを通して、学修の自己評価を行う。
III. 医療関連のレクチャーを聴く	1．既習医学分野に関して、英語のレクチャーを聴く	1）英語を母語とする医師による医療関連のレクチャーを聴き、内容を理解するとともに、不明な点の質問および、自分の意見などを英語で表現できるようにする。

科目名	医療・患者安全学
科目責任者(所属)	加藤　多津子

到達目標	現代医学における科学的発見により医療成績は大いに改善された一方で、さまざまな研究によりこの医療の発展の陰で患者安全が重大に危険に曝されていることが明らかにされている。医療に関与する全員が患者安全の原則と概念を熟知し、それらの応用に習熟しておくことが不可欠である。 患者安全学では世界標準の患者安全教育カリキュラム（WHO患者安全カリキュラムガイド多職種版）を基盤として、ヒューマンファクターズ、システム思考、リスク管理から質改善などを通じて「組織人」としての医療者への成長を目標とし、知識・技能・行動・態度に渡って包括的かつ体系的に学んでいく。 二年次（S3, S4)では、医療におけるチームワークの重要性の理解と有能なチームの一員となるための方法、職場における危険や潜在的リスクを特定、評価、報告することによりリスクマネジメントの原則を適用する方法、改善の原理と患者安全の改善度評価に用いられる基本的な手法およびツールの理解、害の予防と有害事象から教訓を得る過程において、患者および介護者が医療におけるパートナーとして協働できる方法の理解、および日本の医療安全対策の動向と医療事故調査制度の理解を目標とする。
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	医療安全に必要な配慮を示すことができる。　Ⅰ-1-C-(3-4)-② 現象・事例から学ぶべきことを発見できる。　Ⅰ-2-A-(1-2)-① 問題の優先度および重要度を判断できる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-① 事例で診療上の心理的・社会的問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(3-4)-② 患者・家族が抱える心理的・社会的問題・不安を明らかにできる。　Ⅰ-2-A-(5-6)-① 仮説を導くことができる。　Ⅰ-2-B-(1-2)-① 事象、現象、観察などからその原因について考えられる。　Ⅰ-2-B-(1-2)-② 問題の科学的重要性を評価できる。　Ⅰ-2-B-(3-4)-① 既知と未知の問題を明らかにできる。　Ⅰ-2-C-(1-2)-① 事例から自分の知らないことを発見できる。　Ⅰ-2-C-(3-4)-① 未知の問題を解決する方法を見つけることができる。　Ⅰ-2-C-(3-4)-② 問題解決のための情報収集ができる。　Ⅰ-3-A-(1-2)-① 仮説を証明する手順を説明できる。　Ⅰ-3-A-(1-2)-② 事例に即した問題解決のための情報検索ができる。　Ⅰ-3-A-(3-4)-① 異なる問題解決の方法を提示し、比較できる。　Ⅰ-3-A-(5-6)-④ 情報に即して適切な解決方法を導くことができる。　Ⅰ-3-B-(1-2)-① 複数の問題解決法を考えることができる。　Ⅰ-3-B-(1-2)-② 情報を活用し適切な解決方法を判断できる。　Ⅰ-3-B-(5-6)-② 問題解決結果の妥当性を評価できる。　Ⅰ-3-C-(1-2)-① 結果に予想される誤差を考えられる。　Ⅰ-3-C-(1-2)-② 適切な問題解決を行ったか検証できる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-① 結果の客観的評価ができる。Ⅰ　-3-C-(3-4)-② 結果の解釈の限界を明らかにできる。　Ⅰ-3-C-(3-4)-③ 予想と異なる結果について原因を考察できる。　Ⅰ-3-C-(5-6)-③ 自分の考えを他者に伝えることができる。　Ⅰ-4-A-(1-2)-① 患者に分かる言葉を選択できる。　Ⅰ-4-A-(3-4)-② 簡潔で要点が明確な質問と回答ができる。　Ⅰ-4-C-(1-2)-① 相手の理解に合わせて、説明できる。　Ⅰ-4-C-(1-2)-② 自己学習の結果を適切に伝えられる。　Ⅰ-4-C-(1-2)-③

	医療チームでの情報共有について説明できる。	Ⅰ-4-C-(3-4)-②
	専門の異なる医療者に対して適切な情報交換を行える。	Ⅰ-4-C-(5-6)-④
	医師法・医療法の概要を説明できる。	Ⅰ-6-A-(3-4)-②
	立場の違いによる倫理観の違いを理解しながら倫理判断ができる。	Ⅰ-6-B-(5-6)-③
	他者の意志を聞き出すことができる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-①
	他者を尊重して対話ができる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-②
	他者の自己決定を理解できる。	Ⅱ-1-A-(1-2)-③
	患者の自己決定を支援し、必要な情報が提供できる。	Ⅱ-1-A-(5-6)-①
	様々な年齢の他者と意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(1-2)-①
	他者の気持ちに配慮して意志を交わすことができる。	Ⅱ-1-B-(3-4)-①
	患者・家族の解釈を理解し、対応できる。	Ⅱ-1-B-(5-6)-①
	患者・家族の信頼を得る振る舞いができる。	Ⅱ-1-B-(5-6)-②
	患者・家族への説明の場に配慮できる。	Ⅱ-1-B-(5-6)-③
	学習上の目標を設定することができる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-①
	卒業までに学ぶべきことの概要を理解できる。	Ⅱ-2-A-(1-2)-④
	卒業までの学習目標を立て、自分の達成度を評価できる。	Ⅱ-2-A-(3-4)-①
	医師として必要な知識、技能、態度を述べることができる。	Ⅱ-2-A-(3-4)-②
	意見の異なる他者の意見を尊重し対処できる。	Ⅱ-4-B-(1-2)-③
	他者の話を聴くことができる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-①
	対話の中で相手の述べることを要約できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-②
	役割分担を確実に実践できる。	Ⅱ-4-C-(1-2)-③
	グループ目標達成のために行動できる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-①
	講成員の役割と考えを尊重してグループの目標を立てられる。	Ⅱ-4-C-(3-4)-②
	自分が所属する医療チーム構成者の役割を説明できる。	Ⅱ-4-C-(5-6)-①
学修（教育）方法	講義、演習	
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義の出席とレポートの提出および筆記試験により評価する。	
評価方法 (2)評価項目	リスボン宣言等に示された患者の基本的権利を説明できる。	A-1-2)①
	患者の自己決定権の意義を説明できる。	A-1-2)②
	選択肢が多様な場合でも適切に説明を行い患者の価値観を理解して、患者の自己決定を支援する。	A-1-2)③
	インフォームド・コンセントとインフォームド・アセントの意義と必要性を説明できる。	A-1-2)④
	診療参加型臨床実習において患者やその家族と信頼関係を築くことができる。	A-1-3)①
	患者やその家族のもつ価値観や社会的背景が多様であり得ることを認識し、そのいずれにも柔軟に対応できる。	A-1-3)②
	医師が患者に最も適した医療を勧めなければならない理由を説明できる。	A-1-3)③
	医師には能力と環境により診断と治療の限界があることを説明できる。	A-1-3)④
	基本的な臨床技能（適応、実施方法、合併症、注意点）を理解し、適切な態度で診断や治療を行える。	A-3-1)③
	診療録（カルテ）についての基本的な知識を修得し、問題志向型医療記録(problem-oriented medical record <POMR>)形式で診療録を作成し、必要に応じて医療文書を作成できる。	A-3-1)④
	コミュニケーションの方法と技能（言語的と非言語的）を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。	A-4-1)①
	コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	A-4-1)②
	患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。	A-4-1)③

	患者と家族の精神的・身体的苦痛に十分配慮できる。	A-4-2)①
	患者に分かりやすい言葉で説明できる。	A-4-2)②
	患者の心理的及び社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。	A-4-2)③
	医療行為が患者と医師の契約的な信頼関係に基づいていることを説明できる。	A-4-2)④
	患者の要望（診察・転医・紹介）への対処の仕方を説明できる。	A-4-2)⑤
	チーム医療の意義を説明できる。	A-5-1)①
	医療チームの構成や各構成員（医師、歯科医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制を説明し、チームの一員として参加できる。	A-5-1)②
	自分の能力の限界を認識し、必要に応じて他の医療従事者に援助を求めることができる。	A-5-1)③
	実際の医療には、多職種が多段階の医療業務内容に関与していることを具体的に説明できる。	A-6-1)①
	医療上の事故等を防止するためには、個人の注意（ヒューマンエラーの防止）はもとより、組織的なリスク管理（制度・組織エラーの防止）が重要であることを説明できる。	A-6-1)②
	医療現場における報告・連絡・相談と記録の重要性や、診療録（カルテ）改竄の違法性を説明できる。	A-6-1)③
	医療の安全性に関する情報（薬剤等の副作用、薬害、医療過誤（事例や経緯を含む）、やってはいけないこと、優れた取組事例等）を共有し、事後に役立てるための分析の重要性を説明できる。	A-6-1)④
	医療の安全性確保のため、職種・段階に応じた能力向上の必要性を説明できる。	A-6-1)⑤
	医療機関における医療安全管理体制の在り方（事故報告書、インシデントレポート、医療事故防止マニュアル、医療廃棄物処理、医療安全管理者（リスクマネージャー）、安全管理委員会、事故調査委員会、医療事故調査制度、産科医療補償制度）を概説できる。	A-6-1)⑥
	真摯に疑義に応じることができる。	A-6-1)⑧
	医療上の事故等（インシデントを含む）と合併症の違いを説明できる。	A-6-2)①
	医療上の事故等（インシデントを含む）が発生したときの緊急処置や記録、報告を説明し、実践できる。	A-6-2)②
	医療過誤に関連した刑事・民事責任や医師法に基づく行政処分を説明できる。	A-6-2)③
	基本的予防策（ダブルチェック、チェックリスト法、薬品名称の改善、フェイルセイフ・フールプルーフの考え方等）を概説し、指導医の指導の下に実践できる。	A-6-2)④

評価方法 (3)評価基準	講義の出席とレポートの提出を50%，筆記試験による試験結果を50%の割合とし、100点満点にて点数化を行い、 S.極めて良く理解している（90点以上）A.良く理解している（80点以上90点未満） B.平均的に理解している（70点以上80点未満）C.最低限は理解している（60点以上70点未満） D.理解が不十分である（60点未満）のいずれかとして判定し、C以上を合格とする。
伝達事項	形成的評価（学生の成長のためのフィードバックとしての評価）は知識・技能・態度全般にわたって講義・演習や実習（レポートを含む）の際に随時行う。

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段：出版社 下段：出版年	ISBN
1.	『WHO 患者安全カリキュラムガイド　多職種版』	世界保健機関著、 (学)東京医科大学訳	 2011	9789241501958
2.	『これだけは知っておきたいWHO 患者安全カリキュラムガイド』	相馬孝博	メディカ出版 2013	9784840445245
3.	『医療におけるヒューマンエラー（第2版）』	河野龍太郎	医学書院 2014	9784260019378

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間

1.	2022/09/02(金)	2時限	講義・ワークショップ	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	有能なチームの一員であること			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-4,A-5,C-5-7)			
	講義資料番号/連番(LMS)				1
2.	2022/09/05(月)	4時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	臨床におけるリスクの理解とマネジメント			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6			
	講義資料番号/連番(LMS)				2
3.	2022/09/05(月)	5時限	講義・ワークショップ	講義室 301	15:15-16:25
	タイトル	品質改善の手法を用いて医療を改善する			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6			
	講義資料番号/連番(LMS)				3
4.	2022/09/08(木)	3時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	患者や介護者と協働する			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2), A-1-3), A-4			
	講義資料番号/連番(LMS)				4
5.	2022/09/12(月)	3時限	講義・ワークショップ	講義室 301	12:30-13:40
	タイトル	我が国の患者安全の施策の動向			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	B-1-8), B-2-1)			
	講義資料番号/連番(LMS)				5
6.	2022/09/12(月)	4時限	講義・ワークショップ	講義室 301	13:55-15:05
	タイトル	ケーススタディー演習1			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修			

		中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2), A-1-3), A-4, A-5, A-6, C-5-7)			
	講義資料番号/連番(LMS)				6
7.	2022/09/14(水)	2時限	講義・ワークショップ	講義室 301	10:25-11:35
	タイトル	ケーススタディー演習2			
	担当者(所属)	加藤　多津子 松村　剛毅 世川　修 中島　範宏 吉武　久美子 吉田　千鶴			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-1-2), A-1-3), A-4, A-5, A-6, C-5-7)			
	講義資料番号/連番(LMS)				7
8.	2022/11/02(水)	3時限	試験	講義室 303	12:30-13:40
	タイトル	医療・患者安全学(試験)			
	担当者(所属)	加藤　多津子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				8
9.	2022/12/09(金)	5時限	追・再試験	講義室 203	15:15-16:25
	タイトル	医療・患者安全学(追・再試験)			
	担当者(所属)	加藤　多津子			
	コアカリキュラム/S10国試出題基準				
	講義資料番号/連番(LMS)				9

〔医療・患者安全学〕(2学年)

科目責任者:加藤　多津子(衛生学・公衆衛生学)

セグメント4　到達目標:

Ⅰ.有能なチームの一員であること

・医療におけるチームワークの重要性を理解する

・有能なチームの一員となるための方法を学ぶ

・学生自身も複数の医療チームの一員となることを認識する

Ⅱ. 臨床におけるリスクの理解とマネジメント

職場における危険や潜在的リスクを特定、評価、報告することによって、リスクマネジメントの原則を適用する方法を学ぶ

Ⅲ. 品質改善の手法を用いて医療を改善する

改善の原理と患者安全の改善度評価に用いられる基本的な手法およびツールを説明できる.

Ⅳ. 患者や介護者と協同する

害の予防と有害事象から教訓を得る過程において，患者及び介護者が医療におけるパートナーとして協働できる方法を理解する.

Ⅴ.我が国の患者安全の施策の動向

我が国における患者安全に関する経緯を理解し、本来の目的である“患者安全”を見つめ直す。

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ．有能なチームの一員であること	1）医療における多様なチーム 2）チームとしての患者ケアに対する改善方法 3）効果的なチームや有効なリーダーシップの特徴 4）医療チームのためのコミュニケーション技術 5）意見の相違や対立（コンフリクト）の解決技術 6）効果的なチームワークを阻む障害 7）チームの実践の評価方法	1）チームとは 2）医療におけるチームの種類 3）チーム医療による医療の改善 4）チームの形成と発展 5）成功を収めるチームの特徴 6）意見の不一致や対立の解決 7）効果的なチームワークに対する障害 8）チームステップス 9）メディカルスタッフの種類と業務範囲
Ⅱ．臨床におけるリスクの理解とマネジメント	1）リスクに関する情報収集方法 2）診療適性（fitness-to-practice）の要件 3）臨床におけるリス	1）臨床リスク 2）リスクに関する情報収集 3）リスクアセスメント 4）インシデントモニタリング 5）医療者としての知識・技能・態度

	クマネジメントに関する個人的な説明責任 ４）職場におけるリスクや危険の報告方法 ５）他の医療専門家に支援を求めるタイミングと方法 ６）有害事象発生後の患者とその家族への適切な対応 ７）苦情への適切な対応 ８）自身の健康と幸福の維持	６）医師の義務 ７）医師法 ８）正確かつ完全な医療記録の記載
Ⅲ．品質改善の手法を用いて医療を改善する	１）改善の科学の理解（システムの理解、ばらつきの理解、知識の理論、心理学） ２）基本的な change concept（改善につながる変化への特定のアイデアを刺激し、その利点	１）PDSA サイクル ２）改善プロジェクトの進め方 ３）評価（アウトカム、プロセス、バランシング）４）臨床実践改善法（ＣＰＩ） ５）原因分析手法（根本原因分析（ＲＣＡ） ６）失敗モード影響分析法（ＦＭＥＡ）） ７）情報分析ツール（フローチャート、特性要因図、パレート図、ランチャー

	と信頼できる科学的倫理的基盤が証明された総合的な観念） ３）品質改善の原理（達成目標（評価項目)、対応策の評価方法） ４）エラー分析　/　一連の改善手法	ト、ヒストグラム）
Ⅳ．患者や介護者と協同する	１)基本的なコミュニケーション技術 ２)インフォームドコンセントの手順 ３）情報開示（オープンディスクロージャー）の基本事項	１）患者関与の効果 ２）患者の医療参加の促進 ３）患者と介護者を関与させる方法 ４）患者の権利と義務 ５）患者が知っておくべき情報 ６）インフォームドコンセント ７）文化能力 ８）コミュニケーション支援ツール（SEGUE） ９）有害事象 １０）オープンディスクロージャー １１）コミュニケーション支援ツール（SPIKES） １２）謝罪 １３）開示に関するハーバード手法
Ⅴ．我が国の患者	１）医療事故・患者安	１）我が国における医療事故および施策の流れ

安全の施策の動向	全の歴史 ２）医療事故と法的責任、医療訴訟の動向 ３）異状死の理解 ４）医療事故調査制度への理解 ５）医療法の推移（患者安全の強化）	２）医療事故と法的責任 ３）医療訴訟 ４）異状死 ５）医師法 21 条 ６）医療事故調査制度 ７）医療法の推移（患者安全の強化）

科目名	健康管理
科目責任者(所属)	加藤　多津子

到達目標	医師という職業選択をすでにすませている皆さんは職業上、医師として患者さんの健康管理に携わることになります。そのためには、自身の健康管理を学生中に身につけておくことが大変重要です。また自身の健康を管理することは、たとえばいつも机を並べる友人達、実習班の友人、同学年、医学部全体、大学全体、しいては、病院を守ることにつながります。健康管理の重要性を学ぶと同時に、皆さんのカリキュラムに沿った健康管理についてセグメントごとに講義を行い、皆さんに自身の健康管理について、予定されている健康管理行事の意義を理解し積極的に参加してほしいと考えています。 また、昨今では大学生のメンタルヘルスの重要性が社会で問われていますが、医学部では、共用試験が医師国家試験前に在学中に施されるようになり、大変ストレスのかかりやすい状況です。そうであっても、大学に理念にありますように社会に貢献できる女性医師となるためには、在学中に身体の健康だけではなく、心の健康についても6年間かけけて自身でコントロールできるようになっていくべきと考えています。	
アウトカム・ロードマップに係わる到達目標/項目番号	1）自己の認識ができることにより他者をうけいれることができる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅰ-6-B-(5-6)-③, Ⅱ-2-D-(3-4)-①, Ⅱ-2-E-(5-6)-①, Ⅱ-4-A-(3-4)-①, Ⅱ-4-A-(3-4)-②
	2）　自分の生活のリズムと食生活を整えることができその方法や必要性を説明できる	
	3）医学部学生のとしての感染管理の必要性を理解した上で実践できる	①　Ⅰ-6-A-(1-2)-①
	4）リーダーとしてメンバーとしての役割を認識し実践できる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅱ-4-B-(1-2)-③, Ⅱ-4-C-(1-2)-①, Ⅱ-4-C-(1-2)-②, Ⅱ-4-C-(1-2)-③, Ⅱ-4-C-(3-4)-①, Ⅱ-4-C-(3-4)-②
	5）ストレスへの対処方を理解し実践できる	Ⅱ-4-A-(1-2)-①
	6）病院実習における健康管理を理解し実践できる	Ⅰ-1-C-(3-4)-②, Ⅰ-6-A-(5-6)-①
	7）女性としての心と身体の健康管理について理解し実践できる	Ⅰ-4-A-(1-2)-①, Ⅱ-2-C-(1-2)-①
	8）医療従事者としての健康管理について理解し説明できる	Ⅰ-1-C-(3-4)-②, Ⅰ-6-A-(5-6)-①
	9）女性のキャリアと健康について理解できる	Ⅱ-2-C-(1-2)-①, Ⅱ-2-C-(3-4)-②, Ⅱ-2-C-(3-4)-③, Ⅱ-2-E-(3-4)-①, Ⅱ-2-C-(5-6)-①, Ⅱ-2-D-(5-6)-①
	10）学生健康管理行事の必要性について理解し実践できる	Ⅰ-1-B-(3-4)-③, Ⅰ-6-A-(1-2)-①, Ⅱ-5-B-(1-2)-①
学修(教育)方法	講義・健康管理行事・学生健康管理室の受診	
評価方法 (1)総括的評価の対象	講義への出席、学生健康管理行事への参加(定期健康診断、インフルエンザワクチン接種、その他)を形成的に評価する。総括的評価の対象とはしない	
評価方法 (2)評価項目	1）自己の認識	A-9-1)②③④, C-5-5)②
	2）生活のリズムと食生活	A-6-3)①, A-9-1)②③, B1-4)②③
	3）医学部学生の感染管理	A-6-3)①, B-1-8)⑫
	4）リーダーとしてメンバーとして	A-2-2)④, A-4-1)②, C-5-7)④
	5）ストレスへの対処方	A-9-1)②③④, B-1-5)④, C-5-4)④
	6）病院実習における健康管理	A-6-3)①④, F-3-2)①
	7）女性としての心と身体の健康管理	B-1-6)④　B-4-1)⑥, G-4-1)②
	8）医療従事者としての健康管理	A-2-1)⑤, A-6-3)①, A-9-1)①②③④, B-4-1)③, E-2-4)①②③

	9） 女性のキャリアと健康	A-9-1)③④, B-1-5)⑥
	10) 健康管理行事	B-6-1)④
評価方法 (3)評価基準	上記の評価項目について、講義内のアンケート、健康管理行事への参加を通して形成的に評価する	
伝達事項	健康管理行事に理由無く欠席しないこと	

教科書・参考図書

No	書籍名	著者名	上段:出版社 下段:出版年	ISBN
1.	『健康行動と健康教育』	【訳】曽根智史ら	医学書院 2006年	978-4-260-00350-6
2.	『近代日本の女性専門職教育』	渡邊洋子	明石書店 2014年	978-4-7503-4097-5
3.	『吉岡弥生　吉岡弥生伝』	吉岡弥生女史伝記編纂委員会	日本図書センター 1998年	4-8205-4308-3
4.	『最新　行動科学からみた健康と病気』	宗像恒次	メヂカルフレンド社 1996年	978-4-8392-1025-0
5.	『最新 保健学講座(別巻1)健康教育論』	宮坂忠夫・川田智恵子・吉田亨	メヂカルフレンド社 2006年	978-4-8392-1282-7
6.	『学生のための健康管理学(改訂2版)』	木村康一・熊澤幸子・近藤陽一	南山堂 2007年	978-4-525-62052-3
7.	『最新　女性心身医学』	本庄英雄監修、女性心身医学会編	ぱーそん書房 2015年	978-4907095246
8.	『TEXT BOOK 女性心身医学』	玉田太朗・本庄英雄編集責任、日本女性心身医学会編	永井書店 2006年	978-4-8159-1760-9
9.	『コンサイスガイド　女性のためのメンタルヘルス』	【訳】島悟・長谷川恵美子	日本評論社 1999年	4-535-98163-9
10.	『健康格差社会　何が心と健康を蝕むのか』	近藤克則	医学書院 2005年	978-4-260-00143-4
11.	『格差社会と健康　社会疫学からのアプローチ』	川上憲人・小林廉毅・橋本英樹編	東京大学出版会 2006年	4-13-060406-6

添付ファイル ※3つまで、1ファイルにつき5MBまで、圧縮ファイルOK	

授業予定表

回数	年月日	時限	授業形式	教室	開始終了時間
1.	2022/11/10(木)	4時限	講義	講義室 201	13:55-15:05
	タイトル	医療人としての感染対策と健康管理			
	担当者(所属)	横田　仁子			

コアカリキュラム/S10国試出題基準	A-6-3)①,B-1-8)⑫	
講義資料番号/連番(LMS)		1

〔健康管理〕

科目責任者:加藤　多津子(衛生学公衆衛生学)

大　項　目	中　　項　　目	小　　項　　目
Ⅰ. 身体の健康管理	1. 生活リズムと食生活	1) 体内時計と光と食
		2) 月経周期と体重・食欲の変化
		3) ストレスと食行動
		4) 摂食障害
		5) 日常生活の工夫
		6) 食事の摂り方
	2. 感染症対策	1) 健診スケジュールとワクチン接種
		2) 出席停止となる感染症
		3) 小児4種感染症
		4) インフルエンザ
		5) ノロウィルス
		6) 新型コロナウィルス感染症
		7) 子宮頸がん
		8) 医学生としての感染対策への責任
	3. 定期健康診断	1) 学校保健法と定期健康診断
		2) 健診の項目
		3) 結果の判定
		4) 事後措置
		5) 健康診断書の利用方法
Ⅱ. 大学生のメンタルヘルス	1. ストレスとストレス対処法	1) ストレスとは
		2) ストレスと心身の反応
		3) 医学部生活でのストレス
		4) ストレスコーピング
		5) リラクゼーション
	2. 大学生時代に注意したい精神健康障害	1) 適応障害
		2) うつ病
		3) 外傷後ストレス障害
		4) 医学部カリキュラムと心の危機
		a. 解剖実習
		b. CBT,OSCE
		c. 臨床実習
		d. マッチング
		e. 国家試験
	3. リーダー・メンバーとして	1)チームとグループの違い
		2)リーダーとは
		3)リーダーシップ
		5) メンバーの役割
		6) クラブ幹部の役割
Ⅲ. 女性の健康	1. ライフステージと女性の健康	1) 思春期から性成熟期への体の変化
		2) 若年女性の健康問題
		a. やせ
		b. 貧血

		c. 心身症 d. 月経関連症状
	2. 女性の健康の心理的要因	1）ストレスと心身の反応 2）自律神経症状 3）バイオレンスと心身への影響 4）対等な関係とは
	3. 女性の健康と社会的要因	1）女性の健康に関する時代背景 a. アルマ･アタ宣言 b. 男女雇用機会均等法 c. 国連女性会議 d. 男女共同参画基本法 e. 女性活躍推進法 2）健康決定要因の枠組み 3）持続的開発目標（SDGs） 4）ライフサイクルにおける性差別と健康 5）女性医師のキャリア

Ⅲ　試験科目表・試験日程表

試験科目

（必修科目）	（学年縦断科目）
臨床診断総論	「至誠と愛」の実践学修
循環器系1	医療・患者安全学
循環器系2	AI・データサイエンスと医療
呼吸器系1	基本的・医学的表現技術
呼吸器系2	国際コミュニケーション
腎尿路系1	選択科目
腎尿路系2	
生殖器系1	
生殖器系2	
妊娠と分娩	

試験日程

日程	曜日	開始時刻	終了時刻	試験内容	試験室
2022/11/2	水	12:30	13:40	医療・患者安全学	302, 303
2023/2/6	月	10:00	11:30	臨床診断総論	302, 303
2023/2/7	火	10:00	11:30	循環器系 1	302, 303
2023/2/8	水	10:00	11:30	呼吸器系 1	302, 303
2023/2/9	木	10:00	11:30	循環器系 2	302, 303
2023/2/13	月	10:00	11:30	呼吸器系 2	302, 303
2023/2/14	火	10:00	11:30	腎尿路系 1	302, 303
2023/2/15	水	10:00	11:30	腎尿路系 2	302, 303
2023/2/16	木	10:00	11:30	生殖器系 1	302, 303
2023/2/17	金	10:00	11:30	生殖器系 2	302, 303
2023/2/20	月	10:00	11:30	妊娠と分娩	302, 303

追・再試験日程

日程	曜日	開始時刻	終了時刻	試験内容	試験室
2022/12/9	金	15:15	16:25	医療・患者安全学(追・再試)	202, 203
2023/2/21	火	10:00	11:30	臨床診断総論(追・再試)	講義室303
2023/2/21	火	13:00	14:30	循環器系 1(追・再試)	**講義室301**
2023/2/22	水	10:00	11:30	循環器系 2(追・再試)	講義室303
2023/2/22	水	13:00	14:30	呼吸器系 1(追・再試)	講義室303
2023/2/24	金	10:00	11:30	呼吸器系 2(追・再試)	講義室301
2023/2/24	金	13:00	14:30	腎尿路系 1(追・再試)	講義室301
2023/2/27	月	10:00	11:30	腎尿路系 2(追・再試)	講義室301
2023/2/27	月	13:00	14:30	生殖器系 1(追・再試)	講義室301
2023/2/28	火	10:00	11:30	生殖器系 2(追・再試)	講義室301
2023/2/28	火	13:00	14:30	妊娠と分娩(追・再試)	講義室301

Ⅳ　テュートリアル・ＴＢＬ学修

Problem based learning（PBL）テュートリアルとTeam-based learning （TBL）について

PBLテュートリアル（テュートリアル）とTBLの概略

テュートリアルとTBLはいずれもactive learningに含まれる学修法である。本学ではテュートリアルを医師としての考え方を身につけるための学修法として1990年度から導入し、TBLを問題解決能力の向上のための学修法として2008年度から導入した。

１．PBLテュートリアル（テュートリアル）とこれまでの累進型について

テュートリアルでは、既に学んだあるいはこれから学ぶ知識を、人体内の現象、環境・外界と生体の関連、生体構造・機能の正常と異常、病者の理解と医療の実践、患者・家族・社会と医療・公衆衛生の関わりなどの視点で、どのように使い、医師としてあるいは医学者として考え、判断するために活用するかを修得する。医師は患者の問題を、研究者は科学的真理を自ら見つけ探究する専門職であり、テュートリアルはその方法と姿勢を修得し生涯学び発展できるための力と自信をつけるための学修である。

その全体的な目的は：

1) 未知の課題（専門職として自分がなさなければならないこと）に取り組む力を身につける（能動学修)。
2) 実際の流れ（現象や症例）の中で、解決すべき問題を見つける力を身につける。
3) 問題を解決するために、自分で方法を考え、情報検索を行い、分析・解釈を行う力を身につける（自己方向付け学修)。
4) 自分の問題解決（学修結果）を互いに教え合うことにより（グループ討論)、学修の確かさと不確かな点を明らかにして自分の学修を振り返り（省察）次の目標を立て、更に深く学び理解する姿勢を身につける。

これまでの大きな流れとして、1年生から4年生にかけて、自己学修を通じて行った問題解決を学生同士で教え合い振り返り合うテュートリアルの流れと学び方を学ぶ「入門テュートリアル」、課題から学修者が自分で解決すべき問題を考えて学修目標に設定する「学修項目発見型テュートリアル」、自分が必要なことは課題から発展させ、関係する領域全体を見渡して学ぶ「領域を統合して学ぶテュートリアル」、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常についての学修をするとともに、医学的な診断治療だけではなく、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生などを学修する「診療問題解決型テュートリアル」へと累進し、学生が考える力を段階的に高めていけるように「累進型テュートリアル」という形を構築して実施してきた。

２．Team-based learning （TBL）と高学年セグメントでの学修の継続

TBLでは教員・学生間および学生・学生間の双方向性授業を通じてお互いの知識を活用した問題解決を行う。具体的には、個人で学修し、関連した問題について個人で解答し、次に小グループ（チーム）に分かれ討論・解答し、専門家（教員）からの説明を含むクラス全体の学修内容共有を行う学修法である。数回の授業を通じて基礎的学修だけでなく、発展・応用的な内容に進む。

2008年度より4年生後期（セグメント8）で問題解決能力のさらなる向上のために、従来の「診療問題解決型テュートリアル」に代わってTBLを導入し、診療上の問題解決の中で、診療・治療を中心に考え方を学ぶTBLが行われている。臨床実習を行うにあたり、医師の基本能力ともいえる患

者に合わせた診断・治療を考えることを臨床推論 TBL という学修法で学ぶ。また、2013 年度から 1 年生後期（セグメント 2）では「学修項目発見型テュートリアル」の段階でテュートリアルと TBL を組み合わせて行っており、ここでは、セグメント 1 で学んだテュートリアルの方法を発展させ、より高学年で学ぶ医学への橋渡しとなる役割をなしてきた。2020 年度より 2，3，4 年生（セグメント 3−7）においてもテュートリアルに代わって TBL による学修が開始された。TBL は 4 年生で終了するが、医師にとって必要な考え方を学ぶ学修は卒業まで続けられる。2020 年度から開始された 4 年生後期（セグメント 8）の「入門型臨床実習」、5 年生（セグメント 9）以降の「診療参加型臨床実習」はそれまでに学んできた問題解決能力を本格的に臨床で実践しながら学ぶ機会となり、テュートリアルや TBL で体得した考える力は、卒業までに医師として考える力の継続的な向上につながっていく。

Team-based learning（TBL）について

科目責任者：中村　真一（消化器内科学）

※2022 年度は新型コロナ感染症の状況により適宜内容の変更を行う。

TBL の特徴

1．　予習（事前学修）を前提としている。
2．　個人で考えた後、チーム内で問題点についての討議を行い、全体セッションでチーム間の討議と教員の解説を行う学生参加型の授業。
3．　１人もしくは２人の教員がすべてのチームを管理。
4．　教員は司会者および専門家として機能する。
5．　学生同士が「チームへの貢献度」を互いに評価する。

本学での目的

S4 では、診療上の問題発見・解決の中で、臓器・器官系の構造と機能の正常と異常について学修する。さらに医学的知識のみならず、患者・家族の心理、患者支援・医療費など社会とのつながり、疫学・公衆衛生についても学修する。これまで「診療問題解決型テュートリアル」として行われてきた内容を TBL という学修法で学ぶ。

TBL の概要

事前学修に始まる以下の３つのプロセスで構成される。

Ⅰ．予習

事前に学修すべき項目が提示される。
項目に沿って個々に事前学修する。

Ⅱ．基本ユニット

個人テスト

・　学修項目に従って予習の知識の確認（予習確認テスト）

チーム内討論とチームテスト

・　個人テストと同じ設問に対し、チーム内で検討し、チームとしての解答を作成

チーム間討論とフィードバック

- チームテストの結果をもとに、クラス全体で討論
- 専門家によるフィードバック（理解の不十分な点の解説）

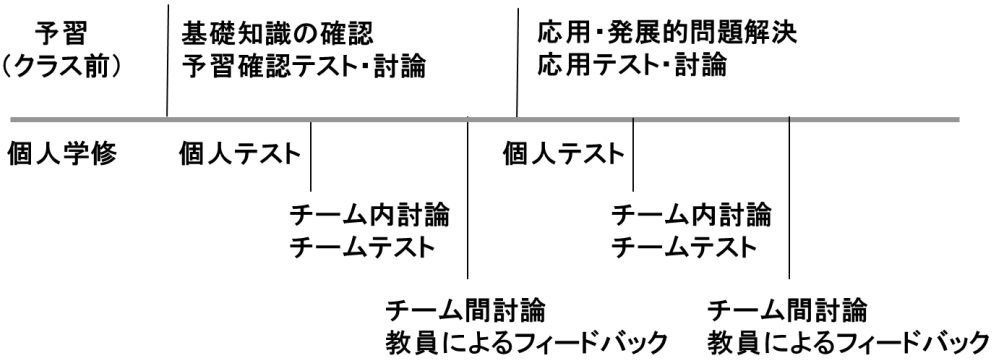
Ⅲ．応用ユニット

予習した学修項目を基に、応用的・発展的問題解決

応用テストにおいてⅡ.基本ユニットと同様の内容の繰り返し

TBL の進行（１回の授業）

Ⅰ．予習　　Ⅱ．基本ユニット　　Ⅲ．応用ユニット



具体的な進め方

進行の仕方

以下のⅠからⅢのプロセスを1回の授業として、2~4回繰り返し１つの課題を学ぶ。

Ⅰ．予習

事前に配布された事前学修項目を含む予習シートおよび予習資料に沿って、学生は個々に自己学修を行う。

Ⅱ．基本ユニット

1. 個人テスト
   - 事前学修の到達度の確認をするために、個人テスト（予習確認テスト）を施行する。レスポンスアナライザーで解答する。
2. チーム内討論とチームテスト
   - 個人テストと同じ設問について、チーム内で検討し、レスポンスアナライザーで解答する。
   - 答えを導いた思考過程についてはチーム解答用紙に記入する。
3. チーム間討論
   - 回答が出揃った後にレスポンスアナライザーで集計したチームの解答状況を表示する。
   - チーム毎に発表を行い、クラス全体で討論する。

・ 問題の正解について、異論があればチームとしてその根拠を示すことができる（アピール）。アピールは原則としてチーム解答用紙に思考過程を記載して提出し、後から専門家が判断する。

4. 専門家によるフィードバック

・ チームの解答を討論後、理解の不十分であった点について、専門家よりクラス全体にフィードバックする。

Ⅲ．応用ユニット

・ 予習シート（事前学修項目）、予習資料、予習確認テスト、新たな資料などをもとに発展的・応用的問題について、個人テスト（応用テスト）・チーム内討論とチームテスト・チーム間討論・フィードバックを行う。

Ⅳ．アセスメント

・ 課題終了時にアセスメントシートに記載する形で、自己評価、同僚評価を行う。

Ⅴ．評価

・ 個人テストの正答率とともに、チームテストの正答率および同僚評価(学生同士による「チームへの貢献度」評価)から評価を行う。評点は５点満点で、課題毎に評価が行われる。

・ 講義開始時のレスポンスアナライザ―端末への学生証の設置をもって、出欠をとるものとする。それ以降はすべて遅刻とみなす。
これら欠席・遅刻・早退は学生評価から減点される。やむを得ない事情で欠席する場合は欠席届（病気欠席の場合は診断書を添付）を医学部学務課に提出する。届けの提出された欠席については、学年教育委員長が減点について判断する。

・ 評点と欠席・遅刻・早退の評価が加味され、最終的には学年教育委員会で検討され、医学部教授会で決定される。全課題の評点の平均が２点未満の場合は進級できない。

・ 同チームの学生同士の評価として、上記「チームへの貢献度」のほか、自己学修や協働学修についての自己評価および同僚評価を行う場合もある（みんなの評価）。

授業としての一般的遵守事項

１． TBL は授業であるので飲食は行わない。

２． 教科書・資料の持ち込みは許可するが、個人のテスト中の使用は不可とする。

３． 個人テスト、チームテストともに個人成績に反映されるものであり、一般の試験と同様に真摯な態度で受けること。

用語解説

専門家：課題を作成し、TBL 施行時にその課題について専門的な解説を行う役割を担う教員

司会者：TBL の進行役を担う教員（専門家が兼ねることがある）

予習資料：初回は症例の簡単な現病歴と症候などの症例背景について記載されたシート。それ以降は次回の授業にあたって必要な症例の臨床経過などについて記載されたシートや症例に関する検査所見、画像など

予習シート：TBL のための予習すべき学修項目が記載されたシート（予習資料に記載されることもある。）

資料：授業の流れに応じて、必要な症例の臨床経過などのシート、検査データ、画像などの資料

基本ユニット：TBL の授業時間の中で、事前学修項目と予習資料をもとに、基本的知識・概念を学修する部分。授業の初めに行われる。

応用ユニット：TBL の授業時間の中で、基本ユニット終了後に行われる発展的・応用的課題に取り組む部分。

個人テスト：個人で解答するテスト（予習確認テストと応用テストに分かれる）。個人テストはノート、教科書、参考書を見ることなく、自分の力で解答する。

チームテスト：チームで行うテスト。内容は個人テストと同じ。

予習確認テスト：TBL 開始前（TBL 実施中は前回授業の最後）に示される学修項目についての自己学修・予習の知識を確認する、TBL 授業開始直後に行う試験。

応用テスト：毎回の授業で基本的知識・概念を確認した後に、応用的・発展的内容について問う試験。

チーム解答用紙：チーム内で検討し導き出された解答に対して、その思考過程、根拠などを記載する用紙。下記のアピールにも使用する。

チーム内討論：原則としてチームテストとして与えられた問題について、チーム内で検討するための討論。ただし、講義の進行によっては、専門家からその場で質問が発せられ、個人あるいはチームで解答する場合もある。

チーム間討論：チームテスト終了後、各チームの回答をもとに、解答の違い、解答の根拠をチーム間で討論する機会。司会者または専門家が進行する。

フィードバック：チーム内討論、チーム間討論での学生の問題解決に対して、専門家がコメントを述べ、合理的、妥当な問題解決を示す。

アピール：チームテストの結果で、自分のチームの解答が正解とされなかったとき、根拠を示して解答が正しい、あるいは正解を絞ることが不可能であることを論理的に説明すること。その内容をチーム解答用紙に記載して提出し、アピールの内容について専門家が認めればその設問を正解したとみなされる。

テュートリアル・TBL日程/課題作成者

課題番号	回数	実施日程年月日（YYYY/MM/DD）	曜（S4～S6は月木実施）	時間	講義室（学年講義室）	担当科	担当教員（課題作成者）氏名	備考
オリエンテーション		2022/9/12	（月）	15:15-16:25	301	腎臓内科	森山　能仁	
1	1	2022/9/15	（木）	14:00～15:40	301	腎臓内科	唐澤　一徳	
1	2	2022/9/26	（月）	14:00～15:40	301	腎臓内科	佐藤　尚代	
2	1	2022/9/29	（木）	14:00～15:40	301	呼吸器内科	八木　理充	
2	2	2022/10/3	（月）	14:00～15:40	301	呼吸器内科	八木　理充	
3	1	2022/10/13	（木）	14:00～15:40	301	循環器内科	上野　敦子	
3	2	2022/10/17	（月）	14:00～15:40	テュートリアル室29・30	循環器内科	齋藤　千紘	
4	1	2023/1/12	（木）	14:00～15:40	203	泌尿器科	課題作成者: 海老沼　晶紗 濵﨑　和代 講義担当者: 吉田　一彦	
4	2	2023/1/16	（月）	14:00～15:40	201	泌尿器科	課題作成者: 海老沼　晶紗 濵﨑　和代 講義担当者: 神澤　太一	
5	1	2023/1/23	（月）	14:00～15:40	201	産婦人科	熊切　順	
5	2	2023/1/26	（木）	14:00～15:40	201	産婦人科	藏本　吾郎	

Ⅴ　第２学年教育委員会・学生アドバイザー・学生委員

第２学年教育委員会

委員長	藤枝弘樹	教授（解剖学（神経分子形態学分野））※主担当 S3
副委員長	多賀谷悦子	教授（内科学(呼吸器内科学分野)）※主担当 S4
委員	坂井修二	教授（放射線医学(画像診断学・核医学分野)
〃	塚原富士子	特任教授（薬理学(薬理学分野)）
〃	石津綾子	教授（解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)）
〃	次期	教授（病理学(人体病理学・病態神経科学分野)）
〃	次期	教授（内科学(循環器内科学分野)
〃	新浪博	教授（外科学(心臓血管外科学分野)
〃	星野純一	教授（内科学(腎臓内科学分野)
〃	神崎正人	教授（外科学(呼吸器外科学分野)
〃	高木敏男	教授（泌尿器科学(泌尿器科学分野)）
〃	田畑務	教授（産婦人科学(産婦人科学分野)）

各担当委員

テュートリアル・TBL 委員会

委員長	中村真一	教授（内科学(消化器内科学分野)）
副委員長		
セグメント３	早川亨	助教（解剖学(神経分子形態学分野)）（課題調整）
	鈴木一史	准講師（放射線医学(画像診断学・核医学分野)
	塚原富士子	特任教授（薬理学(薬理学分野)）
	宇都健太	助教（病理診断学(病理診断学分野)）
セグメント４	桂秀樹	教授（内科学(呼吸器内科学分野)
	森山能仁	准教授（内科学(腎臓内科学分野)
	西井明子	准教授（予防医学科・内科学(循環器内科学分野)）
	中林章	准教授（産婦人科学(産婦人科学分野)）

「至誠と愛」の実践学修教育委員会

委員長	西村勝治	教授（精神医学(精神医学分野)）
副委員長	柳澤直子	教授（微生物学免疫学(微生物学免疫学分野)）
〃	岩﨑直子	教授（成人医学センター）
〃	佐藤梓	講師（統合教育学修センター基礎科学）
セグメント３委員	辻村貴子	講師（統合教育学修センター基礎教育学）
〃	浦瀬香子	助教（統合教育学修センター基礎科学）
セグメント４委員	小林浩子	講師（内科学(糖尿病・代謝内科学分野)）

AI・データサイエンスと医療教育委員会

委員長	岡本高宏	教授（外科学(内分泌外科学分野)）

基本的・医学的表現技術教育委員会

委員長	木林和彦	教授（法医学(法医学分野)）
副委員長	辻村貴子	講師（統合教育学修センター基礎教育学）

国際コミュニケーション委員会

委員長	長坂安子	教授（麻酔科学（麻酔科学分野））
副委員長	遠藤美香	講師（統合教育学修センター基礎教育学）

学生委員

三谷昌平	教授（生理学（分子細胞生理学分野））
西村勝治	教授（精神医学(精神医学分野)）

Ⅵ　選　択　科　目

外　国　語
人文科学系
社会科学系
自然科学系
保 健 体 育
他大学オープン科目

※各科目の講義内容、評価に関すること、日程等の詳細については「令和４（2022）年度学修の手引き＜選択科目＞」を参照すること。履修要領をよく読んで履修登録を行ってください。

選択科目履修要領（第1～第4学年）

1. 科目名(23科目)

初級ドイツ語	初級中国語	心理学	物理学
初級フランス語	倫理学	医療人のための経済学	化学
英語（Medical Discussion）	文化人類学	医療人のための法学	食と栄養の科学
英語（Basic Listening ）	女性とジェンダー	医療と社会デザイン	医学情報学
医療英語（Medical English ）	哲学	数学	フィットネスの理論と実技
初級コリア語	歴史学	生物学	

2. 開講期間・曜日・時限
開講期間は各科目とも半年間です。その時期は前期を4/13から9/14、後期は9/21から翌年1/25までの
水曜日5 限（15：20～16：30）、6 限（16：45～ 17：55）に開講する。

3. ガイダンスおよび履修登録について
・ガイダンス 今年度はガイダンスを開催しません。学修の手引きと追加資料（1年生には新入生オリエンテーションにて配布予定、2年生以上にはポータルサイトに掲載予定）を参照の上、履修登録を行うこと。

・履修登録について
１年生前期：
新入生オリエンテーション時の配布資料をよく読み、Google フォームにて出席番号、氏名を入力し、
履修希望科目を選び、送信すること。
登録期間は 4 月 7 日(木)12:30 まで
※１．期間厳守のこと。その後の申請は一切認めない。
２．Google フォームにて履修申請し、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
３．科目によって受講者数を制限することがある。
４．登録結果および各科目の講義室は、開講日までに学生ポータルサイト１年総合掲示板に掲載する。
３．により登録されなかった科目があった場合の指示もこの時に掲載する。
１年生後期、および 2～4 年(前・後期):
新学年ポータルサイトからの web 登録のみ受付を行う。
登録方法の詳細は登録期間前に各学年の総合掲示板に掲載する。
登録期間は次のとおり。
前期分…4 月 1 日(金)～4 月 7 日(木)12:30 まで（期間を過ぎると登録できない。）
後期分…8 月 29 日(月)～9 月 7 日(水)12:30 まで（ 〃 ）
※１．web 登録を行い、その科目が登録されなければ、出席しても無効となる。
２．受講者数の制限、登録結果等の掲載方法は上記と同様

4. 履修認定について
各科目は2単位(半年間)の科目を4年次までにのべ6科目以上（12単位以上）履修しなければならない。
そのうち2科目以上は人文・社会科学系の科目(学生便覧:学則第9条関係別表Ⅰ)とする。
各科目の講義内容は、前期・後期が同じ場合も異なる場合もある。この場合、同一科目でも内容あるいは段階が異なるものなら2科目と認められる。 なお、他大学での既修得単位を認定する場合がある。（以上、**学生便覧参照**）

5. 履修登録完了後は、その取り消しおよび変更は認めない。

6. 選択科目の成績は及落判定の対象となる。ただし、ある学年で選択科目が不合格の場合、上級学年で単位を取得できると認められるときに限って、及落には特別の配慮を行うことがある。

7. なお、第2～第4学年では、上記12単位の他に指定する他大学のオープン科目(自由選択)の中からさらに受講することができる。取得した単位は、東京女子医科大学医学部では増加単位として認められる。(卒業単位へは算入されない)

医学部 選択科目時間割

前　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

前　期（4月13日～9月14日）	
~~初級フランス語Ⅰ（）~~　令和4年度は非開講	
英語（Medical Discussion Ⅰ）（スタウト）	
初級中国語Ⅰ（舘）	（共通）
哲学Ａ（梶谷）	（共通）
医療人のための法学Ａ（中島）	（共通）
医療と社会デザインＡ（坂元）	
フィットネスの理論と実技Ａ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

前　期（4月13日～9月14日）	
初級ドイツ語Ⅰ（伊藤）	（共通）
英語（Basic Listening Ⅰ）（スタウト）	
~~医療英語（Medical English Ⅰ）（）（共通）~~ 令和4年度は非開講	
初級コリア語Ⅰ（朴）	（共通）
倫理学Ａ（磯部）	（共通）
歴史学Ａ（林）	（共通）
心理学Ａ（大塚）	
医療人のための経済学Ａ（粟沢）	（共通）
数学Ａ（小野木）	
医学情報学（佐藤）2～4年	

後　　期

【水曜　5限　15:20～16:30】

後　期（9月21日～1月25日）	
~~初級フランス語Ⅱ（）~~　令和4年度は非開講	
英語（Medical Discussion Ⅱ）（スタウト）	
初級中国語Ⅱ（舘）	（共通）
哲学Ｂ（梶谷）	（共通）
心理学Ｂ（宮脇）	
医療人のための法学Ｂ（中島）	（共通）
医療と社会デザインＢ（坂元）	
生物学（後期）（石井）	
物理学（後期）Ａ（辻野）	
化学（後期）（中村）	
フィットネスの理論と実技Ｂ（沢田）　※	

【水曜　6限　16:45～17:55】

後　期（9月21日～1月25日）	
初級ドイツ語Ⅱ（伊藤）	（共通）
英語（Basic Listening Ⅱ）（スタウト）	
~~医療英語（Medical English Ⅱ）（）（共通）~~ 令和4年度は非開講	
初級コリア語Ⅱ（朴）	（共通）
倫理学Ｂ（磯部）	（共通）
歴史学Ｂ（林）	（共通）
医療人のための経済学Ｂ（粟沢）	（共通）
数学Ｂ（小野木）	
物理学（後期）Ｂ（辻野）	
食と栄養の科学（松井）	

（共通）は看護学部との共通科目です。

※「フィットネスの理論と実技」は、前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

＜看護学部の開講科目＞

【水曜　5限　15:15～16:25】

※授業開始時間が医学部開講科目と異なりますので、ご注意ください。

前　期（4月13日～9月14日）	
文化人類学Ａ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＡ（平川）　※	（共通）

【水曜　5限　15:15～16:25】

後　期（9月21日～1月25日）	
文化人類学Ｂ（宍戸）　※	（共通）
女性とジェンダーＢ（平川）　※	（共通）

※「文化人類学」と「女性とジェンダー」は、前期と後期は同じ内容です。どちらか１つしか履修できません。

Ⅶ　講義・実習時間割表

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第1週	8／29 月	(講義) オリエンテーション セグメント4ガイダンス (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷)	(講義) 臨床診断総論-1 胸部(呼吸器) ((内科学(呼吸器内科学分野) 桂)	(講義) 呼吸器系 1-1 呼吸器正常構造(1) 呼吸器の発生、構造① (先端生命医科学研究所 北原)	(講義) 呼吸器系 1-2 呼吸器正常構造(2) 呼吸器の発生、構造② (先端生命医科学研究所 北原)	(講義) 臨床診断総論-2 医療面接 (放射線医学(放射線腫瘍学分野) 橋本)	
	8／30 火	(講義) 循環器系 1-1 心臓・脈管系の構造(1) 正常(形態)① (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 森島)	(講義) 循環器系 1-2 心臓・脈管系の構造(2) 正常(形態)② (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 森島)	(講義) クラスオリエンテーション (2年学年担当 学生委員)	(講義) 臨床診断総論-3 全身観察 (内科学(総合内科学・総合診療科分野) 島本)	(講義) 臨床診断総論-4 胸部(循環器) (内科学(総合内科学・総合診療科分野) 島本)	
	8／31 水	(講義) 循環器系 1-3 循環系の発生(1) 正常① (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 森島)	(講義) 循環器系 1-4 循環系の発生(2) 正常② (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 森島)	(講義) 循環器系 1-5 心臓・脈管系の構造(3) 微細構造① (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 森島)	循環器系 1-6 心臓・脈管系の構造(4) 微細構造② (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 森島)	(講義) 臨床診断総論-5 腹部 (内科学(消化器内科学分野) 徳重)	
	9／1 木	(講義) 循環器系 1-7 心臓機能(1) 心筋代謝、心筋の構造、収縮蛋白 (生化学(生化学分野) 中村)	(講義) 循環器系 1-8 心臓機能(2) 受容体、情報伝達機構 (生化学(生化学分野) 中村)	(講義) 臨床診断総論-6 腎・尿路系 (血液浄化療法科 土谷)	(講義) 臨床診断総論-7 検体検査(1)血液一般 (内科学(血液内科学分野) 篠原)	(講義) 臨床診断総論-8 検体検査(2)血球産生 (内科学(血液内科学分野) 田中)	
	9／2 金		(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-1 有能なチームの一員であること (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野) 加藤)	(実習) 循環器系 1 微細構造実習(1) 循環器系組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 菊田、石津、森島、望月) (統合教育学習センター 基礎科学 石井、浦瀬)			
	9／3 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第2週	9／5 月	(講義) 臨床診断総論-9 頭頸部 (耳鼻咽喉科(耳鼻咽喉科学分野)　山村)	(講義) 臨床診断総論-10 検体検査(3)生化学 (臨床検査科　佐藤)	(講義) 臨床診断総論-11 検体検査(4)尿、便、喀痰、髄液 (感染症科　平井)	(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-2 臨床におけるリスクの理解とマネジメント (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野)　加藤)	(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-3 品質改善の手法を用いて医療を改善する (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野)　加藤)	
	9／6 火	(講義) 呼吸器系 1-3 呼吸器正常構造(3) 肺の微細構造① (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　菊田)	(講義) 呼吸器系 1-4 呼吸器正常構造(4) 肺の微細構造② (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　菊田)	(講義) 腎尿路系 1-1 腎・尿路系の局所解剖(1) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　小針)	(講義) 腎尿路系 1-2 腎・尿路系の局所解剖(2) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　小針)	(講義) 腎尿路系 1-3 腎・尿路系の局所解剖(3) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　小針)	
	9／7 水	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-1 医療コミュニケーション(3)「医師の態度、アサーション」 (看護学部　松嵜) (内科学(血液内科学分野)　吉永) (統合教育学修センター　基礎科学　石井、浦瀬)	(講義) 「至誠と愛」の実践学修-2 医療コミュニケーション(4)「医師の態度、アサーション」 (看護学部　松嵜) (内科学(血液内科学分野)　吉永) (統合教育学修センター　基礎科学　石井、浦瀬)	(ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修-3 医療コミュニケーション(5)「ワークショップ(医師患者関係)」 (内科学(血液内科学分野)　吉永) (統合教育学修センター　基礎科学　石井、浦瀬) ほか委員、実行委員	(ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修-4 医療コミュニケーション(6)「ワークショップ(医師患者関係)」 (内科学(血液内科学分野)　吉永) (統合教育学修センター　基礎科学　石井、浦瀬) ほか委員、実行委員	(選択科目) 15:20～16:30 **前期 V-14**	(選択科目) 16:45～17:55 **前期 VI-14**
	9／8 木	(講義) 循環器系 1-9 病態(7)　不整脈、突然死 (先進電気的心臓制御研究部門　庄田)	(講義) 循環器系 1-10 循環(1)　肺循環 (内科学(循環器内科学分野)　志賀)	(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-4 患者や介護者と協働する (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野)　加藤)	(講義) 腎尿路系 1-4 腎・尿路系ガイダンス 腎疾患の基礎と臨床(腎症候群) (内科学(腎臓内科学分野　星野)	(講義) 腎尿路系 1-5 腎・尿路系の解剖(1) 腎・尿路系の正常構造 (足立医療センター泌尿器科　近藤)	
	9／9 金	(講義) 国際コミュニケーション-1 医学英語演習、プレゼンの原稿完成 (統合教育学修センター 基礎教育学　遠藤、森景)	(講義) 情報処理・統計-1 医学統計学の概要・統計学の復習 (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 野原)	(実習) 呼吸器系 1 微細構造実習(2)　呼吸器系組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　菊田、石津、森島、望月) (統合教育学習センター　基礎科学　石井、浦瀬)			
	9／10 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第3週	9／12 月	(講義) 呼吸器系 1-5 呼吸器正常構造(5)縦隔 (内科学(呼吸器内科学分野)　辻)	(講義) 臨床診断総論-12 神経・筋 (内科学(脳神経内科学分野)　吉澤)	(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-5 我が国の患者安全の施策の動向 (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野)　加藤)	(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-6 ケーススタディー演習1 (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野)　加藤)	(TBL) TBLオリエンテーション (未定)	
	9／13 火	(講義) 腎尿路系 1-6 腎・尿路系の解剖(2) 腎・尿路の微細構造① (先端生命医科学研究所　北原)	(講義) 腎尿路系 1-7 腎・尿路系の解剖(3) 腎・尿路の微細構造② (先端生命医科学研究所　北原)	(実習) 腎尿路系 1 微細構造実習(3) 腎尿路系 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)菊田、石津、森島、望月) (先端生命医科学研究所　北原) (統合教育学習センター　基礎科学　松下、石井、浦瀬)			
	9／14 水	(講義) 臨床診断総論-13 画像診断(1)核医学検査 (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　金子)	(講義・ワークショップ) 医療・患者安全学-7 ケーススタディー演習2 (衛生学公衆衛生学(環境・産業医学分野)　加藤)	(講義・ワークショップ) 「至誠と愛」の実践学修-5,6 チーム医療(12)(13)「振り返りワークショップ」 (統合教育学修センター　辻村、浦瀬)		(選択科目) 15:20～16:30 **前期 V-15**	(選択科目) 16:45～17:55 **前期 VI-15**
	9／15 木	(実習) 臨床診断総論 呼吸機能検査実習 (内科学(呼吸器内科学分野)　八木)	(講義) 循環器系 1-11 病態(1)　フリーラジカルと虚血 (生化学(生化学分野)　中村)	(TBL) 自己学修	(TBL) 課題1-1		(TBL) 自己学修
	9／16 金	(講義) AI・データサイエンスと医療-2 相関と回帰(相関係数、回帰直線) (先端生命医科学研究所　正宗)	(講義) 臨床診断総論-14 画像診断(2)超音波検査、内視鏡検査 (内科学(消化器内科学分野)　中村)	(講義) 臨床診断総論-15 画像診断(3)CT (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　長尾)	(講義) 臨床診断総論-16 検体検査(6)微生物、病理 (病理診断学(病理診断学分野)　長嶋)	(講義) 臨床診断総論-17 検体検査(5)免疫 (内科学(膠原病リウマチ内科学分野)　川口)	
	9／17 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第4週	9／19 月	敬老の日					
	9／20 火	(講義) 循環器系 1-12 病態(2)　動脈硬化と脂質代謝 (生化学(生化学分野)　越野)	(講義) 循環器系 1-13 心臓機能(4)　心臓のポンプ機能 (循環器小児科　稲井)	(講義) 循環器系 1-14 循環(2)　血圧 (足立医療センター総合診療科　青鹿)	(講義) 循環器系 1-15 病態(3)　高血圧、低血圧 (内科学(高血圧学分野)　森本)	(講義) 循環器系 1-16 病態(4)　心筋虚血 (低侵襲心血管病治療研究部門・山口)	
	9／21 水	(講義) 呼吸器系 1-6 呼吸メカニズム(1)　呼吸運動と換気力学① (生理学(神経生理学分野)　緑川)	(講義) 呼吸器系 1-7 呼吸メカニズム(2)　呼吸運動と換気力学② (生理学(神経生理学分野)　緑川)	(講義) 呼吸器系 1-8 呼吸メカニズム(3)　肺におけるガス交換 (生理学(神経生理学分野)　片山)	(講義) 呼吸器系 1-9 呼吸メカニズム(4)　血液によるガス運搬 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-1**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-1**
	9／22 木	(講義) 臨床診断総論-18 ME機器(1)治療機器 (外科学(呼吸器外科学分野　神崎)	(講義) 臨床診断総論-19 画像診断(4)原理、単純X線像 (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　坂井)	(講義) 臨床診断総論-20 画像診断(5)磁気共鳴画像 (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　坂井)	(講義) 臨床診断総論-21 ME機器(2)臨床検査機器 (先端生命医科学研究所　正宗)	(講義) 臨床診断総論-22 全身の診察、重要なサイン (内科学(呼吸器内科学分野)　多賀谷)	
	9／23 金	秋分の日					
	9／24 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第5週	9／26 月	(講義) 循環器系 1-17 病態(5)　急性心不全 (先端生命医科学研究所・循環器内科学　松浦)	(講義) 循環器系 1-18 循環(3)　正常循環(反射,神経,体液調整) (生理学(神経生理学分野)　片山)	(TBL) 自己学修	(TBL) 課題1-2		(TBL) 自己学修
	9／27 火	(講義) 呼吸器系 1-10 病理(1)　肺の病理① (病理診断学(病理診断学分野)　長嶋)	(講義) 呼吸器系 1-11 病理(2)　肺の病理② (病理診断学(病理診断学分野)　長嶋)	(講義) 呼吸器系 1-12 呼吸メカニズム(5)　呼吸と酸塩基平衡 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(講義) 呼吸器系 1-13 呼吸メカニズム(6)　総括と実習の説明 (生理学(神経生理学分野)　宮田)	(講義) 呼吸器系 1-14 非呼吸性肺機能 (生化学(生化学分野)　中村)	
	9／28 水	(講義) 循環器系 1-19 心臓機能(5)　心筋細胞の電気生理 (内科学(循環器内科学分野　鈴木)	(講義) 循環器系 1-20 心臓機能(6)　興奮と伝導 (内科学(循環器内科学分野)　鈴木)	(講義) 循環器系 1-21 心臓機能(7)　心筋収縮特性、興奮収縮連関 (循環器小児科　稲井)	(講義) 循環器系 1-22 心臓機能(8)　弁・心膜 (循環器小児科　竹内)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-2**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-2**
	9／29 木	(講義) 呼吸器系 1-15 病態と検査(1)　呼吸器感染症 (感染症科　菊池)	(講義) 呼吸器系 1-16 腫瘍性肺疾患 (生化学(生化学分野)　中村)	(TBL) 自己学修	(TBL) 課題2-1		(TBL) 自己学修
	9／30 金	(講義) 国際コミュニケーション-2 Medical Paper 入門(2) (国際環境・熱帯医学　坂元) (統合教育学修センター　基礎教育学　遠藤、森景)	(講義) AI・データサイエンスと医療-3 確率分布(正規分布) (先端生命医科学研究所　正宗)	(講義) 呼吸器系 1-17 呼吸器疾患の主要兆候と身体所見 (内科学(呼吸器内科学分野)　多賀谷)	(講義) 呼吸器系 1-18 病態と検査(2)　急性呼吸不全 (内科学(呼吸器内科学分野)　桂)	(講義) 呼吸器系 1-19 病態と検査(3)　慢性呼吸不全 (内科学(呼吸器内科学分野)　桂)	
	10／1 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第6週	10／3 月	(実習) 臨床診断総論 胸部X線・CT像 (内科学(呼吸器内科学分野)　有村)	(講義) 呼吸器系 1-20 病態と検査(4)気道、肺胞アレルギー (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷)	(TBL) 自己学修	(TBL) 課題2-2		(TBL) 自己学修
	10／4 火	(講義) 循環器系 1-23 心臓機能(9)　血栓、凝固 (予防医学科・内科学(循環器 内科学分野)　村崎)	(講義) 循環器系 1-24 心臓機能(10)　心臓リハビリテーション (内科学(循環器内科学分野)　上野)	(講義) 循環器系 1-25 心臓・脈管系の構造(5)　形態異常 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　森島)	(講義) 循環器系 1-26 循環系の発生(3)　異常 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　森島)	(講義) 腎尿路系 1-8 腎・尿路系の生理(1)正常糸球体の機能 (内科学(腎臓内科学分野)　星野)	
	10／5 水	(講義) 腎尿路系 1-9 腎・尿路系の生理(2)尿細管における物質の輸送 (薬理学(薬理学分野) 塚原)	(講義) 腎尿路系 1-10 主要症候と病態生理(1)細胞外液の調節(体液量と水電解質、浮腫) (臨床工学科　亀井)	(講義) 腎尿路系 1-11 診断と検査(2)　腎機能検査 (内科学(腎臓内科学分野)　森山)	(講義) 腎尿路系 1-12 診断と検査(1)　検体検査(免疫学的検査など)・腎生検(適応・検査法) (内科学(腎臓内科学分野)　中谷)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-3**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-3**
	10／6 木	(講義) 呼吸器系 1-21 呼吸器正常構造(6)画像診断① (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)	(講義) 呼吸器系 1-22 呼吸器正常構造(7)画像診断② (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)	(行事) **「至誠と愛」の実践学修** **解剖慰霊祭** (統合教育学修センター　佐藤、辻村、浦瀬、遠藤) (看護学部)吉武、吉田			
	10／7 金	(講義) AI・データサイエンスと医療-4 母集団と標本集団(標本抽出、サンプルサイズ) (先端生命医科学研究所 正宗)		(講義) 呼吸器系 1-23 病態と検査(5)　閉塞性、拘束性換気障害 (内科学(呼吸器内科学分野)　桑平)	(講義) 呼吸器系 1-24 病態と検査(6)　不均等分布と拡散障害 (内科学(呼吸器内科学分野)　桑平)	(実習) 臨床診断総論 胸部・腹部超音波検査 (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 長尾)	
	10／8 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【原則、301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第7週	10／10 月						
	10／11 火	(講義) 循環器系 2-1 心臓血管外科治療総論 (外科学(心臓血管外科学分野) 齋藤)	(講義) 循環器系 2-2 虚血性心疾患(1) (外科学(心臓血管外科学分野) 新浪)	(講義) 循環器系 2-3 薬物療法(1)　心臓作動薬 (薬理学(薬理学分野) 塚原)	(講義) 循環器系 2-4 薬物療法(2)　血管系作動薬 (薬理学(薬理学分野) 塚原)	(講義) 循環器系 1-27 病態(6)　慢性心不全 (内科学(循環器内科学分野)　志賀)	(講義) 循環器系 1-28 心臓機能(3)心周期にともなう血行動態 (内科学(循環器内科学分野)　志賀)
	10／12 水	(講義) 腎尿路系 1-13 主要症候と病態(2) 泌尿器科症候論 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　吉田)	(講義) 腎尿路系 1-14 診断と検査(3)　腎・尿路の画像診断(検査方法と正常像:上部尿路) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　吉田)	(講義) 腎尿路系 1-15 診断と検査(4)　腎・尿路の画像診断(検査方法と正常像:下部尿路) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　高木)	(講義) 腎尿路系 1-16 主要症候と病態生理(3)　腎における酸塩基平衡 (血液浄化療法科 花房)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-4**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-4**
	10／13 木	(講義) 呼吸器系 1-25 病理(3)　肺の病理③ (病理診断学(病理診断学分野)　吉澤)	(講義) 腎尿路系 1-17 主要症候と病態(4) 排尿機能 (足立医療センター 骨盤底機能再建診療部　巴)	(TBL) 自己学修	(TBL) 課題3-1	(講義) 呼吸器系 1-26 病態と検査(7)　内視鏡 (内科学(呼吸器内科学分野　有村)	(TBL) 自己学修
	10／14 金	(講義) AI・データサイエンスと医療-5 母集団の平均の推定(点推定と誤差) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野) 櫻谷)	(講義) 国際コミュニケーション-3 夏休みに読んだ英語論文のグループ発表(1) (統合教育学修センター　遠藤、奥村)	(講義) 腎尿路系1-18 主要症候と病態生理(2)腎の排泄機能と内分泌機能 (多発性嚢胞腎病態研究部門　望月)	(実習) 循環器系 1 病理学的実習(2)　循環器系の病理 (病理診断学(病理診断学分野)　宇都)		
	10／15 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【301講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第8週	10／17 月	(講義) 循環器系 2-5 診断　小児 (循環器小児科　豊原)	(講義) 循環器系 2-6 臨床疫学 (未定)	(TBL) 自己学修	(TBL) 課題3-2	(講義) 腎尿路系 1-19 特別講義　腎疾患の病態に関する最近の進歩 (内科学(腎臓内科学分野)　星野)	(講義) 腎尿路系 1-20 主要症候と病態 (3) 糸球体疾患 (内科学(腎臓内科学分野)　森山) (TBL) 自己学修
	10／18 火	(講義) 循環器系 2-7 先天性心疾患(2) (循環器小児科　稲井)	(講義) 循環器系 1-29 病理(1)　心臓 (病理診断学(病理診断学分野)　宇都)	(講義) 循環器系 1-30 病理(2)　血管 (病理診断学(病理診断学分野)　宇都)	(実習) 呼吸器系 1 病理学的実習(1) 呼吸器系の病理 (病理診断学)病理診断学分野　長嶋)		(講義) 腎尿路系 1-15 主要症候と病態(1) 尿細管疾患 (血液浄化療法科　土谷)
	10／19 水	(講義) 循環器系 2-8 検査(3)　心電図① (内科学(循環器内科学分野)　柳下)	(講義) 循環器系 2-9 検査(4)　心電図② (内科学(循環器内科学分野)　柳下)	(講義) 循環器系 2-10 心不全の外科治療 (外科学(心臓血管外科学分野) 齋藤)	(講義) 循環器系 2-11 高血圧、高血圧性心疾患 (内科学(循環器内科学分野)　志賀)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-5**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-5**
	10／20 木	**女子医大祭の準備**					
	10／21 金	**女子医大祭**					
	10／22 土	**女子医大祭**					

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【302-303講義室】

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第9週	10／24 月		PCR検査結果待ち				
	10／25 火		(講義) 循環器系 2-12 先天性心疾患(1) (循環器小児科　原田)	(講義) 循環器系 2-13 虚血性心疾患(2) 未定	(講義) 循環器系 2-14 虚血性心疾患(3) (内科学(循環器内科学分野)　山口)	(講義) 循環器系 2-15 検査(2)心臓超音波① (循環器小児科　島田)	
	10／26 水	(講義) 腎尿路系 1-22 腎病理(3)　各論② (病理診断学(病理診断学分野)　種田)	(講義) 腎尿路系 1-23 腎病理(1)　総論 (病理診断学(病理診断学分野)　種田)	(講義) 腎尿路系 1-24 腎病理(2)　各論① (病理診断学(病理診断学分野)　種田)	(講義) 循環器系 2-16 肺高血圧、肺性心、腫瘍、その他 (予防医学科・内科学(循環器内科学分野)　西井)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-6**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-6**
	10／27 木	(講義) 循環器系 2-17 治療総論、心不全の治療 (先端生命医科学研究所・内科学(循環器内科学分野)　松浦)	(講義) 循環器系 2-18 先天性心疾患の外科治療(1) (外科学(心臓血管外科学分野)　松村)	(講義) 循環器系 2-19 先天性心疾患の外科治療(2) (外科学(心臓血管外科学分野)　松村)	(講義) 循環器系 2-20 検査(1)　心カテーテル、心血管造影 (循環器小児科　竹内)	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 医療コミュニケーション(7)「外来患者付き添い実習ガイダンス」 (眼科学(眼科学分野)　篠崎) (統合教育学修センター　基礎科学　佐藤、山口、辻野)	
	10／28 金	(講義) AI・データサイエンスと医療-6 母集団の平均の推定(区間推定) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野)　櫻谷)	(講義) 国際コミュニケーション-4 夏休みに読んだ英語論文のグループ発表(2) (統合教育学修センター　遠藤、森景、James Thomas)	(実習) 循環器系 1　腎尿路系 1 生化学的実習(1) (グループ別にローテーション実習) (生化学(生化学分野)　中村、越野、田中、新敷、瀧澤))			
	10／29 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【302-303講義室】

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第10週	10／31 月			(実習) 循環器系 1　腎尿路系 1 生化学的実習(2) (グループ別にローテーション実習) (生化学(生化学分野)　中村、越野、田中、新敷、瀧澤))			
	11／1 火	(実習) 腎尿路系 1 病理学的実習(3)　腎尿路系の病理 (病理診断学(病理診断学分野)　種田)	(講義) AI・データサイエンスと医療-7 仮説検定の基礎(検定統計量、仮説、有意水準、検定) (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野)　櫻谷)	(講義) 循環器系 2-21 大動脈瘤のステントグラフト治療 (外科学(心臓血管外科学分野)　東)	(講義) 循環器系 2-22 弁膜疾患 (予防医学科・内科学(循環器内科学分野)　村崎)	(講義) 循環器系 2-23 検査(5)　胸部X線、CT、MRI、核医学 (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　百瀬)	
	11／2 水	(講義) 循環器系 2-24 弁膜症の外科 (外科学(心臓血管外科学分野)　齋藤)	**(実習)** **臨床診断総論** **腹部X・CT像実習** **(泌尿器科学(泌尿器科学分野)　海老沼)**	(試験) 医療・患者安全学 (試験)12:30～13:40 303講義室 (講義)循環器系 2-26 不整脈(2) **PC室1** (先進電気的心臓制御研究部門・循環器内科学　庄田)	(講義) 循環器系 2-25 不整脈(1) **302-303講義室** (先進電気的心臓制御研究部門・循環器内科学　庄田)	選択科目 15:20～16:30 **後期 V-7**	選択科目 16:45～17:55 **後期 VI-7**
	11／3 木	(文化の日)					
	11／4 金	「至誠と愛」の実践学修(実習) 医療コミュニケーション(8)～(11)「外来患者付き添い実習」 (眼科学　篠崎)(統合教育学修センター　基礎科学　佐藤、山口、辻野) ほか委員、実行委員				(講義) 循環器系 2-27 大動脈、その他の脈管疾患 (心臓血管外科学　上部)	
	11／5 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【201講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第11週	11／7 月	(講義) 呼吸器系 2-1 拘束性肺疾患(1) (内科学(呼吸器内科学分野) 近藤)	(講義) 呼吸器系 2-2 感染性肺疾患(1) (内科学(呼吸器内科学分野) 八木)	(講義) 呼吸器系 2-3 呼吸管理、人工呼吸 (内科学(呼吸器内科学分野) 桑平)	(講義) 呼吸器系 2-4 呼吸中枢の異常 (内科学(呼吸器内科学分野) 桑平)	(講義) 呼吸器系 2-5 タバコによる肺障害と禁煙指導 (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷)	
	11／8 火	(講義) 循環器系 2-28 心筋疾患 (内科学(循環器内科学分野) 南)	(講義) 循環器系 2-29 心膜疾患、心内膜疾患 (内科学(循環器内科学分野) 南)	(講義) 循環器系 2-30 検査(6) 心臓超音波② (内科学(循環器内科学分野) 芦原)	(講義) 呼吸器系 2-6 感染性肺疾患(2) (内科学(呼吸器内科学分野) 小林)	(講義) 呼吸器系 2-7 感染性肺疾患(3) (内科学(呼吸器内科学分野) 小林)	
	11／9 水	(講義) 呼吸器系 2-8 感染性肺疾患(5) 呼吸器寄生虫 (国際環境・熱帯医学(国際環境・熱帯医学分野)本間)	(講義) 呼吸器系 2-9 感染性肺疾患(6) 国際的動向 (国際環境・熱帯医学(国際環境・熱帯医学分野)岩下)	(講義) 呼吸器系 2-10 アレルギー性気道・肺疾患(1) (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷)	(講義) 呼吸器系 2-11 アレルギー性気道・肺疾患(2) (内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-8**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-8**
	11／10 木	(講義) 呼吸器系 2-12 肺腫瘍(3) (外科学(呼吸器外科学分野) 西内)	(講義) 呼吸器系 2-13 肺腫瘍(2) (内科学(呼吸器内科学分野) 有村)	(講義) 呼吸器系 2-14 外傷・異物 (外科学(呼吸器外科学分野) 松本)	(講義) 健康管理学-1 医療人としての感染対策と健康管理 (学生健康管理室 横田)	(講義) 呼吸器系 2-15 先天性肺疾患 (外科学(呼吸器外科学分野) 松本)	
	11／11 金		(講義) 呼吸器系 2-16 横隔膜・胸壁疾患 (外科学(呼吸器外科学分野) 井坂)	(講義) 呼吸器系 2-17 物理・化学的原因による肺障害 (内科学(呼吸器内科学分野) 辻)	(講義) 呼吸器系 2-18 肺腫瘍(5) (外科学(呼吸器外科学分野) 小山)	(講義) 呼吸器系 2-19 肺循環障害 (外科学(呼吸器外科学分野) 神崎)	
	11／12 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第12週	11／14 月	(講義) 呼吸器系 2-20 肺腫瘍(1) **@201講義室** (外科学(呼吸器外科学分野)　神崎)	(講義) 呼吸器系 2-21 縦隔疾患(2) **@201講義室** (外科学(呼吸器外科学分野)　青島　)	(講義) 呼吸器系 2-22 胸膜疾患 **@201講義室** (外科学(呼吸器外科学分野)　小山)	(講義) 呼吸器系 2-23 肺腫瘍(4) **@201講義室** (外科学(呼吸器外科学分野)　青島)	(講義) 呼吸器系 2-24 肺癌ならびに縦隔腫瘍の放射線治療 **@201講義室** (放射線医学(放射線腫瘍学分野)　栗林)	
	11／15 火	(講義) 呼吸器系 2-25 閉塞性肺疾患(1) **202-203講義室** (内科学(呼吸器内科学分野)　桂)	(講義) 呼吸器系 2-26 閉塞性肺疾患(2) **202-203講義室** (内科学(呼吸器内科学分野)　桂)	(講義) 呼吸器系 2-27 拘束性肺疾患(2) **202-203講義室** (内科学(呼吸器内科学分野)　近藤)	(講義) 呼吸器系 2-28 全身疾患と肺病変 **202-203講義室** (内科学(呼吸器内科学分野)　近藤)	(講義) 呼吸器系 2-29 感染性肺疾患(4)　嚢胞および拡張性気管支・肺疾患 **202-203講義室** (外科学(呼吸器外科学分野)　松本)	
	11／16 水	(講義) 呼吸器系 2-30 呼吸器異常構造、画像診断(1) **202-203講義室** (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　坂井)	(講義) 呼吸器系 2-31 呼吸器異常構造、画像診断(2) **202-203講義室** (放射線医学(画像診断学・核医学分野)　坂井)	(実習) 「至誠と愛」の実践学修 解剖慰霊祭ワークショップ **大実習室1、PC室1** (法医学(法医学分野)　木林)(統合教育学修センター　佐藤) (解剖学(神経分子形態学分野)　藤枝、(顕微解剖学・形態形成学分野)　石津) (看護学部　吉武、吉田)		(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-9**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-9**
	11／17 木	(講義) AI・データサイエンスと医療-8 平均値の推定と検定(対応のある・対応のない2群の差の検定) **202-203講義室** (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野)　櫻谷)	(講義) 呼吸器系 2-32 縦隔疾患(1) **202-203講義室** (外科学(呼吸器外科学分野　井坂)	(講義) 呼吸器系 2-33 睡眠時無呼吸症候群 **202-203講義室** (睡眠科　山口)	(講義) 腎尿路系 2-1 2次性高血圧症　腎血管性 **202-203講義室** (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　神澤)	(講義) 腎尿路系 2-2 腎・泌尿器疾患(1)　嚢胞性腎疾患 **202-203講義室** (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　吉田)	
	11／18 金	(講義) 国際コミュニケーション-5 既習医学分野のレクチャー **202-203講義室** (統合教育学修センター　遠藤、森景　レフオー)	(講義) AI・データサイエンスと医療-9 頻度の推定と検定(カイニ乗検定・一元配置分散分布) **202-203講義室** (衛生学公衆衛生学(公衆衛生学分野)　櫻谷)	(講義) 腎尿路系 2-3 画像診断(1)腎・泌尿器疾患　上部尿路 **202-203講義室** (足立医療センター　放射線科　町田)	(講義) 腎尿路系 2-4 画像診断(2)腎・泌尿器疾患　下部尿路 **202-203講義室** (足立医療センター　放射線科　町田)	(講義) 腎尿路系 2-5 腎・泌尿器疾患(4) 尿路結石症 **202-203講義室** (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　八木澤)	
	11／19 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表 【原則、202-203講義室】

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第13週	11／21 月	(講義) 腎尿路系 2-6 血圧と腎疾患、良性腎硬化症、悪性腎硬化症 (足立医療センター　内科　小川)	(講義) 腎尿路系 2-7 膀胱機能障害(OABなど) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　濵﨑)	(講義) 腎尿路系 2-8 腎疾患の治療(1)　薬物、ステロイド、免疫抑制薬、ARB含む (足立医療センター　内科　大前)	(講義) 腎尿路系 2-9 原発性糸球体疾患(1)　急性糸球体腎炎、急速進行性糸球体腎炎 (内科学(腎臓内科学分野)　板橋)	(講義) 腎尿路系 2-10 腎・泌尿器疾患(5)　腎・尿路外傷 (移植管理科　石田)	
	11／22 火	(講義) 腎尿路系 2-11 泌尿器腫瘍(1)　尿路上皮腫瘍(腎盂尿管) (足立医療センター　泌尿器科　近藤)	(講義) 腎尿路系 2-12 腎移植 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　田邉)	(講義) 腎尿路系 2-13 泌尿器腫瘍(2)　尿路上皮腫瘍(膀胱) (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　橋本)	(講義) 腎尿路系 2-14 副腎疾患 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　飯塚)		
	11／23 水	(勤労感謝の日)					
	11／24 木	(講義) 腎尿路系 2-15 尿細管間質疾患(1)尿細管間質性腎炎、腎血管障害、薬剤性・医原性腎障害 (腎臓内科学　佐藤)	(講義) 腎尿路系 2-16 尿細管間質疾患(2)電解質異常とその治療 (血液浄化療法科　川口)	(講義) 腎尿路系 2-17 泌尿器腫瘍(3)　その他の腫瘍(陰茎、後腹膜など) (泌尿器科学　飯塚)	(講義) 基本的・医学的表現技術-1 医学論文の読解と要旨作成1(演習) **PC室1、大実習室3** (法医学　木林、島田、多木、中尾) (統合教育学修センター　基礎教育学　辻村、佐藤)	(講義) 基本的・医学的表現技術-2 医学論文の読解と要旨作成2(演習) **PC室1、大実習室3** (法医学　木林、島田、多木、中尾) (統合教育学修センター　基礎教育学　辻村、佐藤)	
	11／25 金	(講義) AI・データサイエンスと医療-10 ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀを用いた臨床研究(膠原病リウマチ領域におけるﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀ解析) (膠原病リウマチ内科　針谷・酒井)	(講義) 腎尿路系 2-18 泌尿器腫瘍の放射線治療 (放射線腫瘍学　橋本)	(講義) 腎尿路系 2-19 原発性糸球体疾患(2)　糸球体腎炎・ネフローゼ症候群(総論) (腎臓内科学　内田)	(講義) 腎尿路系 2-20 腎・泌尿器疾患(6)　尿路感染症、尿路結核 (泌尿器科学　高木)	(講義) 腎尿路系 2-21 続発性糸球体疾患(1)　(DM腎症など)　遺伝性腎疾患(遺伝性腎炎・多発性嚢胞腎) (多発性嚢胞腎病態研究部門　望月)	
	11／26 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表 【原則、202-203講義室】

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第14週	11／28 月		(講義) 腎尿路系 2-22 続発性糸球体疾患(3)血液疾患に伴う腎障害(アミロイド腎など)、妊娠と腎 (内科学(腎臓内科学分野) 内田)	(講義) 腎尿路系 2-23 続発性糸球体疾患(2)膠原病・血管炎に伴う腎障害(ループス腎炎など) (内科学(腎臓内科学分野) 唐澤)	(講義) 腎尿路系 2-24 原発性糸球体疾患(3)慢性糸球体腎炎(IgA腎症、紫斑病性腎炎) (内科学(腎臓内科学分野) 森山)	(講義) 腎尿路系 2-25 原発性糸球体疾患(4)ネフローゼ症候群(各論;微小変化型、膜性腎症など) (内科学(腎臓内科学分野) 森山)	
	11／29 火	(講義) 腎尿路系 2-26 腎・泌尿器疾患(2) 先天性疾患①(腎、腎盂) (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 鈴木)	(講義) 腎尿路系 2-27 腎・泌尿器疾患(3) 先天性疾患②(尿管、膀胱) (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 鈴木)	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 生理学的実習(1)心筋細胞のイオンチャネル 生理学的実習(1)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換 (グループ別にローテーション実習) **PC室1、大実習室2,3** (生理学(神経生理学分野) 宮田、緑川、植田、中山、夏堀、金谷、片山、丸山)			
	11／30 水	(講義) 腎尿路系 2-28 尿細管間質疾患(3)遺伝性尿細管疾患、尿細管性アシドーシス、利尿薬 (多発性嚢胞腎病態研究部門 片岡)	(講義) 腎尿路系 2-29 腎不全(1) 慢性腎臓病(CKD)総論 (内科学(腎臓内科学分野) 星野)	(講義) 生殖器系 1-1 女性生殖器の微細構造(1) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 菊田)	(講義) 生殖器系 1-2 女性生殖器の微細構造(2) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 菊田)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-10**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-10**
	12／1 木	(講義) 腎尿路系 2-30 腎不全(2) 慢性腎臓病各論(CKD3～5の病態) (多発性嚢胞腎病態研究部門 片岡)	(講義) 腎尿路系 2-31 腎不全(3) 急性腎障害(AKI) (血液浄化療法科 土谷)	(講義) 生殖器系 1-3 受精 (産婦人科学(産婦人科学分野) 中林)	(講義) 腎尿路系 2-32 泌尿器腫瘍(4) 腎腫瘍 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 高木)	(講義) 腎尿路系 2-33 腎疾患の治療(2) 脱水症と輸液療法 (多発性嚢胞腎病態研究部門 望月)	
	12／2 金	(講義) AI・データサイエンスと医療-11 ﾋﾞｯｸﾞﾃﾞｰﾀの収集と活用(感染症ｻｰﾍﾞｲﾗﾝｽの仕組み) (国立感染症研究所 菅原)	(講義) 腎尿路系 2-34 腎疾患の治療(3) 食事および生活指導 (内科学(腎臓内科学分野) 板橋)	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 生理学的実習(2)心筋細胞のイオンチャネル 生理学的実習(2)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換 (グループ別にローテーション実習) **PC室1、大実習室2,3** (生理学(神経生理学分野) 宮田、緑川、植田、中山、夏堀、金谷、片山、丸山)			
	12／3 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表 【原則、202-203講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第15週	12／5 月	（創立記念日）					
	12／6 火	(講義) 腎尿路系 2-35 腎疾患の治療(4)　血液浄化療法(CKD5Dも含めて) （血液浄化療法科　花房）	(講義) 腎尿路系 2-36 腎疾患の治療(5)　血液浄化療法と合併症 （血液浄化療法科　花房）	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 生理学的実習(3)心筋細胞のイオンチャネル 生理学的実習(3)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換 (グループ別にローテーション実習) **PC室1、大実習室2,3** （生理学(神経生理学分野)　宮田、緑川、植田、中山、夏堀、金谷、片山、丸山）		
	12／7 水	(講義) 腎尿路系 2-37 小児腎疾患(3) （腎臓小児科　服部）	(講義) 腎尿路系 2-38 小児腎疾患(1) （腎臓小児科　三浦）	(講義) 腎尿路系 2-39 小児腎疾患(2) （腎臓小児科　三浦）	(講義) 腎尿路系 2-40 特別講義 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　高木)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 Ⅴ-11**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-11**
	12／8 木	(講義) 生殖器系 1-4 男性生殖器の解剖 （八千代医療センター泌尿器科　乾）	(講義) 生殖器系 1-5 男性生殖器の発生 （八千代医療センター泌尿器科　乾）	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 生理学的実習(4)心筋細胞のイオンチャネル 生理学的実習(4)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換 (グループ別にローテーション実習) **大実習室2,3、201** （生理学(神経生理学分野)　宮田、緑川、植田、中山、夏堀、金谷、片山、丸山）			
	12／9 金	(講義) 生殖器系 1-6 女性ホルモンの動態と更年期 (産婦人科学(産婦人科学分野)　石谷)	(講義) AI・データサイエンスと医療-12 医療とスマートデバイス、ICTの活用 (先端生命医科学研究所　正宗)	(講義) 生殖器系 1-7 男性生殖器の微細構造と機能(1) (先端生命医科学研究所　北原)	(講義) 生殖器系 1-8 男性生殖器の微細構造と機能(2) (先端生命医科学研究所　北原)	(追・再試) 医療・患者安全学 (追・再試) 15:15～16:25	
	12／10 土						

令和3年度　Segment4　講義・実習時間割表 【202-203講義室】

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第16週	12／12 月	(講義) 生殖器系 1-9 泌尿器科面接法心理的配慮 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 小内)	(講義) 生殖器系 1-10 男性生殖器の検査方法とその画像 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 飯塚)	(実習) 生殖器系 1 女性生殖器組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)石津、菊田、森島、望月) (統合教育学修センター 石井、浦瀬)			
	12／13 火	(講義) 生殖器系 1-11 女性生殖器の発育と排卵月経開始 (産婦人科学(産婦人科学分野) 劉)	(講義) 生殖器系 1-12 女性生殖器局所解剖 (産婦人科学(産婦人科学分野) 本橋)	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 生理学的実習(5)心筋細胞のイオンチャネル 生理学的実習(5)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換 (グループ別にローテーション実習) **大実習室2、PC1、203講義室** (生理学(神経生理学分野) 宮田、緑川、植田、中山、夏堀、金谷、片山、丸山)			
	12／14 水	(講義) 生殖器系 1-13 男性ホルモンの動態と精子産生、射精の機序 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 高木)	(講義) 生殖器系 1-14 男性生殖器局所解剖 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 高木)	(講義) 生殖器系 1-14 婦人科検査法 (産婦人科学(産婦人科学分野) 下地)	(講義) 生殖器系 1-15 産婦人科面接法、診察法、心理的配慮 (産婦人科学(産婦人科学分野) 高橋)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-12**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-12**
	12／15 木	(講義) 生殖器系 1-17 女性生殖器の画像 (放射線医学)画像診断学・核医学分野 森田)	(講義) 生殖器系 1-18 乳腺の発育・構造と機能 (外科学(乳腺外科学分野) 塚田)	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 生理学的実習(6)心筋細胞のイオンチャネル 生理学的実習(6)スパイロメトリー、肺胞換気とガス交換 (グループ別にローテーション実習) **PC室1、大実習室2、203講義室** (生理学(神経生理学分野) 宮田、緑川、植田、中山、夏堀、金谷、片山、丸山)			
	12／16 金	(講義) 生殖器系 1-19 乳腺検査法 (放射線医学(画像診断学・核医学分野) 坂井)	(講義) 生殖器系 2-1 子宮悪性腫瘍(体癌) (産婦人科学(産婦人科学分野) 田畑)	(実習) 生殖器系 1 男性生殖器組織 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野) 石津、菊田、森島、望月) (統合教育学修センター 石井、浦瀬)			
	12／17 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【202-203講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第17週	1／2 月	冬季休業					
	1／3 火	冬季休業					
	1／4 水	冬季休業					
	1／5 木		PCR検査				
	1／6 金	(講義) 生殖器系 2-2 陰茎腫瘍　尿道腫瘍　尿膜管癌 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　飯塚)	(講義) 生殖器系 2-3 前立腺良性腫瘍 (足立医療センター輸血・細胞治療部　小林)	(講義) 生殖器系 2-4 男性不妊の原因と診断 (足立医療センター泌尿器科　土岐)	(講義) 生殖器系 2-5 男性生殖器の先天異常 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　鈴木)	(講義) 生殖器系 2-6 月経異常の成因とホルモン治療 (産婦人科学(産婦人科学分野)　安達)	
	1／7 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【202-203講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第18週	1／9 月	成人の日					
	1／10 火	PCR検査結果待ち					
	1／11 水		(講義) 生殖器系 2-7 男性生殖器の感染症 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　高木)	(講義) 生殖器系 2-8 良性卵巣腫瘍 (足立医療センター産婦人科　橋本)	(講義) 生殖器系 2-9 悪性卵巣腫瘍 (足立医療センター産婦人科　橋本)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-13**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 VI-13**
	1／12 木	(実習) 生殖器系 2 病理学的実習(4)　男性生殖器の病理 (病理診断学(病理診断学分野)　長嶋)		(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題4-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	1／13 金	(講義) 生殖器系 2-10 生殖器と尿失禁 (泌尿器科学(泌尿器科学分野)　小内)	(講義) 生殖器系 2-11 乳がん (外科学(乳腺外科学分野)　野口)	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 腎尿路系 1 臨床実習(1)　臨床心電図、スパイロメトリー(臨床)、尿沈渣 (グループ別にローテーション実習) 大実習室1、大実習室3、203講義室 (内科学(循環器内科学分野)　萩原、上野、関口)　(外科学(心臓血管外科学分野)　新浪、齋藤、市原) (予防医学科・内科学(循環器内科学分野)　村崎)　(内科学(呼吸器内科学分野)　多賀谷、八木) (内科学(腎臓内科学分野)　森山、唐澤、佐藤、秋山、秋久)　(泌尿器科学(泌尿器科学分野)　高木、石井、海老沼)(中央検査部　横山)		
	1／14 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【201講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第19週	1／16 月	(講義) 生殖器系 2-12 前立腺悪性腫瘍 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 橋本)	(講義) 生殖器系 2-13 精巣と副睾丸の異常 精巣腫瘍 (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 橋本)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題4-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	1／17 火	(講義) 生殖器系 2-14 女性生殖器の先天異常 (産婦人科学(産婦人科学分野) 熊切)	(講義) 生殖器系 2-15 子宮良性腫瘍 (産婦人科学(産婦人科学分野) 熊切)	(実習) 循環器系1･･･大実習室1　呼吸器系1(配信)　腎尿路系1･･･大実習室3 臨床実習(2)　臨床心電図、スパイロメトリー(臨床)、尿沈渣(グループ別にローテーション実習) (内科学(循環器内科学分野) 萩原、上野、関口)　(外科学(心臓血管外科学分野) 新浪、齋藤、市原) (予防医学科・内科学(循環器内科学分野) 村崎)　(内科学(呼吸器内科学分野) 多賀谷、八木) (内科学(腎臓内科学分野) 森山、唐澤、佐藤、秋山、秋久)　(泌尿器科学(泌尿器科学分野) 高木、石井、海老沼) (中央検査部 横山)	(講義) 生殖器系 2-16 乳腺良性腫瘍 (八千代・乳腺内分泌内科 地曳)	(講義) 生殖器系 2-17 女性の不定愁訴更年期 老年期 (産婦人科学 高橋)	上段3～5限の講義は配信、下段3～5限の実習は対面で行います。(自宅学修期間だが、この日のみ登
	1／18 水	(講義) 生殖器系 2-18 外陰・膣の疾患 (産婦人科学(産婦人科学分野) 石谷)	(講義) 生殖器系 2-19 子宮悪性腫瘍(頸がん) (足立医療センター産婦人科 長野)	(講義) 生殖器系 2-20 女性不妊の原因と診断 (産婦人科学(産婦人科学分野) 安達)	(講義) 生殖器系 2-21 リプロダクティブヘルス・ライツ、避妊 (産婦人科学(産婦人科学分野) 安達)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 Ⅴ-14**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-14**
	1／19 木	(講義) 生殖器系 2-22 不妊治療　体外受精胚移植 (産婦人科学(産婦人科学分野) 中林)	(講義) 生殖器系 2-23 男性の性ホルモンとその異常　男性機能障害(ED) (泌尿器科学(泌尿器科学分野) 吉田)	(講義) 生殖器系 2-24 絨毛性疾患 (産婦人科学(産婦人科学分野) 菅野)	(講義) 生殖器系 2-25 子宮内膜症 (産婦人科学(産婦人科学分野) 熊切)	(講義) 生殖器系 2-26 女性生殖器の感染症 (産婦人科学(産婦人科学分野) 秋澤)	
	1／20 金	(講義) 妊娠と分娩-1 妊娠と高血圧 (内科学(高血圧学分野) 市原)	(講義) 妊娠と分娩-2 科目の概要、妊娠の成立、胎児の発生と教育 (八千代医療センター母体胎児科・婦人科 小川)	(講義) 妊娠と分娩-3 正常・異常産褥 (母子総合医療センター 小熊)	(講義) 妊娠と分娩-4 分娩の生理、三要素 (足立医療センター産婦人科 橋本)	(講義) 妊娠と分娩-5 正常分娩の経過と管理 (足立医療センター産婦人科 橋本)	
	1／21 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【201講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第20週	1／23 月	(講義) 妊娠と分娩-6 妊娠／小児と薬物 (薬理学(薬理学分野)　塚原)	(講義) 妊娠と分娩-7 妊娠中、分娩時の麻酔 (麻酔科学(麻酔科学分野)　長坂)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題5-1		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	1／24 火	(講義) 妊娠と分娩-8 胎児発育不全、羊水の異常 (八千代医療センター母体胎児科・婦人科　中島)	(講義) 妊娠と分娩-9 臓器の形成 (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　森島)	(講義) 妊娠と分娩-10 多胎妊娠 (母子総合医療センター鈴木)	(講義) 妊娠と分娩-11 妊娠高血圧症候群、産科ショック(母子総合医療センター鈴木正人)		上段3,4限の講義は配信、下段3～5限の実習は、対面で行います。 (呼吸器系1以外) （自宅学修期間だが、この日のみ登校で
		(実習) 循環器系1･･･PC室1 呼吸器系1(配信) 腎尿路系･･･大実習室3 臨床実習(3)　臨床心電図、スパイロメトリー(臨床)、尿沈渣(グループ別にローテーション実習) (内科学(循環器内科学分野)　萩原、上野、関口)　(外科学(心臓血管外科学分野)　新浪、齋藤、市原) (予防医学科・内科学(循環器内科学分野)　村崎)　(内科学(呼吸器内科学分野)　多賀谷、八木) (内科学(腎臓内科学分野)　森山、唐澤、佐藤、秋山、秋久)　(泌尿器科学(泌尿器科学分野)　高木、石井、海老沼) (中央検査部　横山)				
	1／25 水		(講義) 妊娠と分娩-12 胎盤(機能と形態) (母子総合医療センター　藏本)	(講義) 妊娠と分娩-13 受精のメカニズム (産婦人科学(産婦人科学分野)　安達)	(講義) 妊娠と分娩-14 異常分娩(CPD、回旋異常) (足立医療センター橋本)	(選択科目) 15:20～16:30 **後期 V-15**	(選択科目) 16:45～17:55 **後期 Ⅵ-15**
	1／26 木	(講義) 妊娠と分娩-15 合併症妊娠(内科外科疾患合併) (産婦人科学(産婦人科学分野)　小林)	(講義) 妊娠と分娩-16 流早産、異所性妊娠 (産婦人科学(産婦人科学分野)　小林)	(TBL) 12:30～13:40 自己学修	(TBL) 14:00～15:40 課題5-2		(TBL) 15:50～17:00 自己学修
	1／27 金	(実習) 生殖器系 2 病理学的実習(5)　女性生殖器の病理 (足立医療センター病理診断科　増永)		(実習) 生殖器系 2 婦人科診察法 (産婦人科学(産婦人科学分野)　中林)	(実習) 生殖器系 2 女性生殖器系組織診、細胞診 (産婦人科学(産婦人科学分野)　秋澤)		
	1／28 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【302-303講義室】

		I	II	III	IV	V	VI
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第21週	1/30 月	(実習) 生殖器系 2 病理学的実習(6)　乳腺の病理 (足立医療センター病理診断科 黒田)					
	1/31 火	(講義) 妊娠と分娩-17 正常妊娠の管理 (母子総合医療センター　正岡)	(講義) 妊娠と分娩-18 合併症妊娠(婦人科疾患合併) (母子総合医療センター　正岡)	(講義) 妊娠と分娩-19 胎盤の異常(常位胎盤早期剥離、前置胎盤) (母子総合医療センター　水主川)	(講義) 妊娠と分娩-20 母子保健 (母子総合医療センター　水主川)	(講義) 妊娠と分娩-21 妊娠中の母体の生理的現象 (母子総合医療センター　橋本)	
	2/1 水	**入学試験**					
	2/2 木	(講義) 妊娠と分娩-22 分娩監視と胎児機能不全 (母子総合医療センター　阿部)	(講義) 妊娠と分娩-23 遺伝相談・出生前診断 (母子総合医療センター　金沢)	(実習) 妊娠と分娩 胎児循環 303講義室(対面) 301講義室(配信) PC室1(配信) (解剖学(顕微解剖学・形態形成学分野)　北原、森島、菊田) (母子総合医療センター　和田、細川) (循環器小児科　島田)		(実習) 生殖器系 2 乳腺診察法 大実習室3、PC室1 (外科学(乳腺外科学分野)　塚田)	
	2/3 金	(実習) 妊娠と分娩 病理学的実習(7) 妊娠の病理 (足立医療センター病理診断科　増永)	(実習) 妊娠と分娩 病理学的実習(7) 妊娠の病理 (足立医療センター病理診断科　増永)	(実習) 循環器系 1 呼吸器系 1 腎尿路系 1 臨床実習(4)　臨床心電図 スパイロメトリー(臨床) 尿沈渣 (グループ別にローテーション実習) (内科学(循環器内科学分野)　萩原、上野、関口)　(外科学(心臓血管外科学分野)　新浪、齋藤、市原) (予防医学科・内科学(循環器内科学分野)　村崎)　(内科学(呼吸器内科学分野)　多賀谷、八木) (内科学(腎臓内科学分野)　森山、唐澤、佐藤、秋山、秋久)　(泌尿器科学(泌尿器科学分野)　高木、石井、海老沼) (中央検査部　横山)			
	2/4 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【302-303講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第22週	2／6 月		(試験) 臨床診断総論(試験) 10:00～11:30				
	2／7 火		(試験) 循環器系 1(試験) 10:00～11:30				
	2／8 水		(試験) 呼吸器系 1(試験) 10:00～11:30				
	2／9 木		(試験) 循環器系 2(試験) 10:00～11:30				
	2／10 金						
	2／11 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表【302-303講義室】

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第23週	2／13 月		(試験) 呼吸器系 2(試験) 10:00～11:30				
	2／14 火		(試験) 腎尿路系 1(試験) 10:00～11:30				
	2／15 水		(試験) 腎尿路系 2(試験) 10:00～11:30				
	2／16 木		(試験) 生殖器系 1(試験) 10:00～11:30				
	2／17 金		(試験) 生殖器系 2(試験) 10:00～11:30				
	2／18 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00　10:10	10:25　11:35	12:30　13:40	13:55　15:05	15:15　16:25	16:35　17:45
第24週	2／20 月		(試験) 妊娠と分娩(試験) 10:00～11:30 302-303講義室				
	2／21 火		(追・再試験) 臨床診断総論(追・再試)　10:00～11:30 302-303講義室		(追・再試験) 循環器系 1(追・再試) 13:00～14:30 **301講義室**		
	2／22 水		(追・再試験) 循環器系 2(追・再試) 10:00～11:30 302-303講義室		(追・再試験) 呼吸器系 1(追・再試) 13:00～14:30 302-303講義室		
	2／23 木	建国記念日					
	2／24 金		(追・再試験) 呼吸器系 2(追・再試) 10:00～11:30 301講義室		(追・再試験) 腎尿路系 1(追・再試) 13:00～14:30 301講義室		
	2／25 土						

令和4年度　Segment4　講義・実習時間割表

		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ
		09:00 10:10	10:25 11:35	12:30 13:40	13:55 15:05	15:15 16:25	16:35 17:45
第25週	2／27 月		(追・再試験) 腎尿路系 2(追・再試) 10:00～11:30 301講義室		(追・再試験) 生殖器系 1(追・再試) 13:00～14:30 301講義室		
	2／28 火		(追・再試験) 生殖器系 2(追・再試) 10:00～11:30 301講義室		(追・再試験) 妊娠と分娩(追・再試) 13:00～14:30 301講義室		
	3／1 水						
	3／2 木						
	3／3 金						
	3／4 土						